

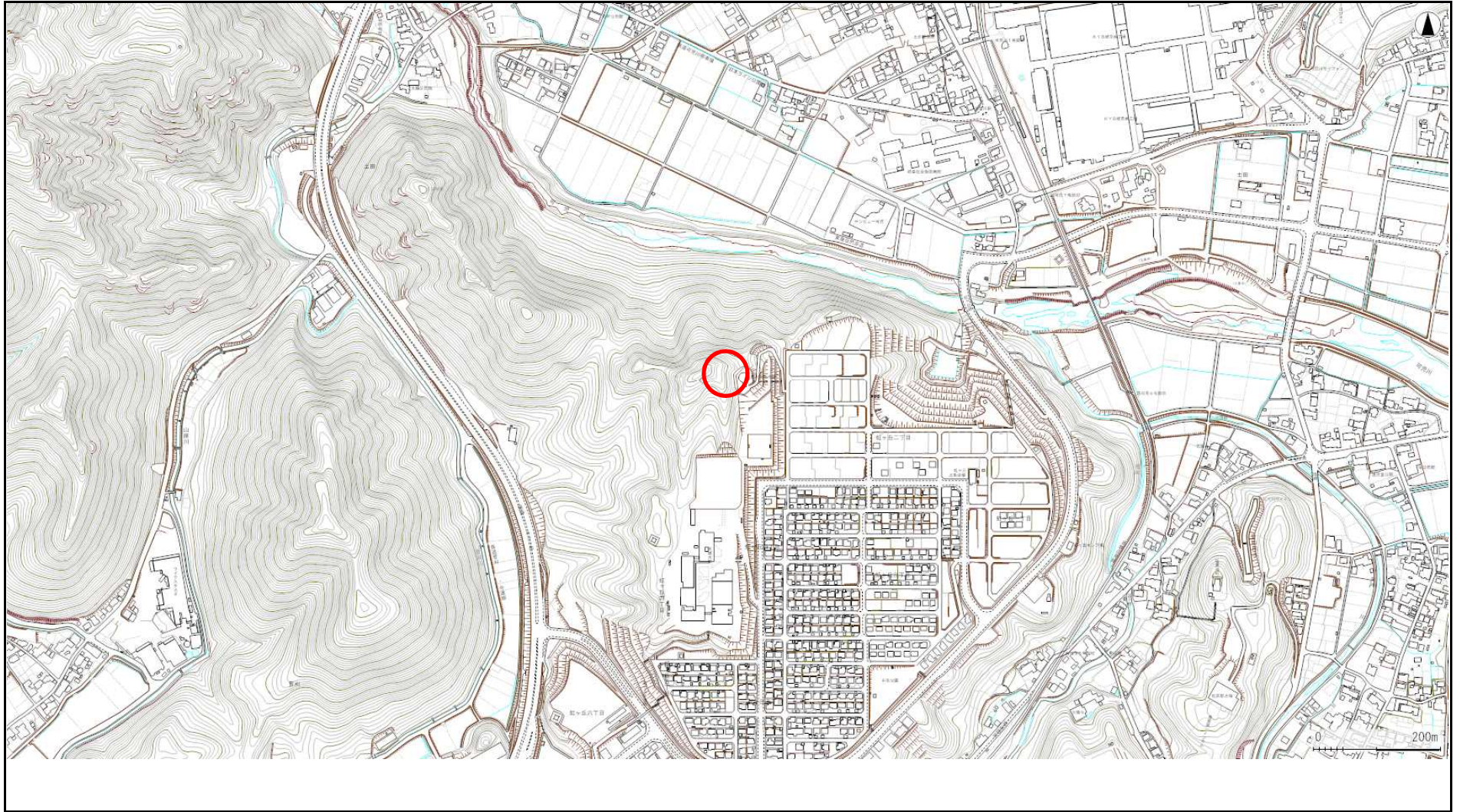
課長	係長	検算	設計

事業年度	平成29年度
事業種別	
工事番号	改工-1

工事名 虹ヶ丘配水池建設（場内配管・電気機械室築造）工事

可児市 水道部 水道課

施行箇所図 S=



○ 施工箇所

工事番号	改工-1	工事箇所	可児市 虹ヶ丘 地内																					
工 事 名	虹ヶ丘配水池建設（場内配管・電気機械室築造）工事																							
施 行 理 由		工 事 概 要																						
耐震性の劣る鳩吹台配水池を廃止し、鳩吹台配水区を虹ヶ丘配水区に統合するため、虹ヶ丘に新たな配水池を建設する。		<table border="0"> <tr> <td>GX φ 200</td> <td>95.5 m</td> </tr> <tr> <td>GX φ 300</td> <td>81.5 m</td> </tr> <tr> <td>ドレン φ 100</td> <td>1.0 ケ所</td> </tr> <tr> <td>ドレン φ 50</td> <td>1.0 ケ所</td> </tr> <tr> <td>鋼管 φ 300</td> <td>12.2 m</td> </tr> <tr> <td>仕切弁</td> <td>22.0 基</td> </tr> <tr> <td>植生マット工</td> <td>130.0 m²</td> </tr> <tr> <td>電気・機械室築造</td> <td>1.0 式</td> </tr> <tr> <td>不断水スッパ[°]ー</td> <td>2.0 基</td> </tr> <tr> <td>不断水丁字</td> <td>2.0 基</td> </tr> </table>			GX φ 200	95.5 m	GX φ 300	81.5 m	ドレン φ 100	1.0 ケ所	ドレン φ 50	1.0 ケ所	鋼管 φ 300	12.2 m	仕切弁	22.0 基	植生マット工	130.0 m ²	電気・機械室築造	1.0 式	不断水スッパ [°] ー	2.0 基	不断水丁字	2.0 基
GX φ 200	95.5 m																							
GX φ 300	81.5 m																							
ドレン φ 100	1.0 ケ所																							
ドレン φ 50	1.0 ケ所																							
鋼管 φ 300	12.2 m																							
仕切弁	22.0 基																							
植生マット工	130.0 m ²																							
電気・機械室築造	1.0 式																							
不断水スッパ [°] ー	2.0 基																							
不断水丁字	2.0 基																							
金 額		円	内消費税相当額	円																				

特記仕様書①

1. 一般事項

- (1) 受注者は、「工事請負契約書」「可児市水道工事共通仕様書」「可児市建設工事共通仕様書」「岐阜県上水・工業用水道工事標準仕様書」「公共建築工事標準仕様書」「建築物解体工事共通仕様書」及び「特記仕様書」に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は、共通仕様書に優先する。
 - (2) 受注者は、本工事が「可児市工事事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。
 - (3) 受注者は、受注時、変更時、完成時の各時点において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を提出し監督員の確認を受けた後に、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完了時は完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金500万円未満に変更する場合には変更時登録を行うものとする。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。
 - (4) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。
 - (5) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成17年法律第51条）」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号、最終改定平成22年3月18日付け国総施第291号）」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定（平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号）」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成18年3月17日付け国総施第215号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械（以下「排出ガス対策型建設機械等」という。）を使用しなければならない。
排出ガス対策型建設機械等を使用できないことを監督員が認めた場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発技術の技術審査・証明事業もしくは、建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することができるが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。
- 機 種
- ・バックホウ ・トラクタシャベル ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・ロードローラ ・タイヤローラ ・振動ローラ
 - ・ホイールクレーン ・その他ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械
 - ・油圧ユニット（以下に示す基礎工用機械のうちベアスマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：油圧ハンマ、ロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機
油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケー掘削機）
 - ・オフロード法の基準適合表示が付されているもの又は特定特殊自動車確認証の交付を受けているもの
 - ・排出ガス対策型建設機械として指定を受けたもの

2. 産業廃棄物の適正処理について

- (1) 受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。
建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。ただし、建設発生土が100m³未満の場合はこの限りではない。また請負者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。

3. 使用材料

- (1) アスファルト再生合材について
本工事の本復旧で使用するアスファルト再生合材には「ささゆりクリーンパーク溶融スラグ」を混入するものとし、使用にあたっては、「溶融スラグの土木資材への利用に関するガイドライン（可児市）」によること。
- (2) コンクリート二次製品について
本工事に使用するコンクリート二次製品については、ささゆりクリーンパーク溶融スラグ混入資材を使用するものとし、施工前に溶出試験結果等の品質を証明する書類を提出し、監督員の許可を得ること。
- (3) 生コンクリートについて
本工事に使用する生コンクリート（均しコンクリートを除く）については、水セメント比60%以下とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。

4. 工事施工について

- (1) 契約書18条第1項第1号から5号に係る設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行うこと。
- (2) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。
- (3) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、受注者の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。
- (4) 工事着手前に、可児市基準点（世界測地系）を用い、境界（座標）を確認すること。また、特に指示しない限り、構造物を官民境界とするため、官民境界と構造物の位置を示した図面等にて施工した構造物が民地を侵していないことを報告すること。
- (5) 施工区間と現道との取付については、交通の支障とならないよう充分留意すること。
- (6) 必要に応じ交通誘導警備員を配置し、安全を期さなければならない。また、夜間の安全確保についても十分な対策を施すこと。

5. 工事保険について

本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた損害）及び工事保険（保険対象：工事目的物、工事材料及び仮設物等）に加入するものとする。

6. ワンデーレスボンスの取り組みについて

- (1) この工事は、ワンデーレスボンス実施対象工事です。
「ワンデーレスボンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
- (2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスボンス実施要領に基づき実施する。
- (3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。
- (4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

7. 電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

8. 暴力団等による不当介入における通報義務について

- (1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱（平成22年可児市訓令甲第47号）に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。
- (2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

9. 仮復旧・本復旧について

- (1) 仮復旧は、毎日、管布設及び埋め戻しが完了した範囲を行うものとする。
- (2) 交通量が少なく路盤での開放が可能な箇所は、監督員と協議し、一週間以内に仮舗装を行うこと。また、本復旧までに不陸や破損が発生したときは、速やかに補修をすること。
- (3) 監督員の検査により、車両走行に対して危険性があると判断されたときは、速やかに仮舗装をめくり取り、再施工とすること。
- (4) 本復旧は、1ヶ月以上の養生期間を経てから行うこと。

10. 現場代理人の兼務について

現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。

また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。

1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が2,500万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員が認めた場合は、兼務を取り消すものとする。現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

11. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材搬入、仮設工事等が開始されるまでの期間）については主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員と打ち合わせにおいて定める。

また、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

特記仕様書②

工事名 虹ヶ丘配水池建設(場内配管・電気機械室築造)工事

下記項目、事項のうちレ印または■印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示す。なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

(条件明示)

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等	
工 程	■ 1. 関連する別途発注工事あり	■ A. 工種 (機械・電気設備) ■ B. 期間 (2016/10/28 ~ 2017/12/15)	
	□ 2. 他機関協議による工程条件あり	□ A. 工種 () □ B. 期間 (~)	
	□ 3. 他機関との協議状況	□ A. 協議済機関及び内容 () □ B. 未協議機関及び内容 ()	
	□ 4. 占用許可状況 ()	□ A. 許可済 □ B. 申請中	
	■ 5. 建築確認	■ A. 許可済 □ B. 申請中	
	□ 6. 河川区域、保全区域内作業あり	□ A. 許可済 □ B. 申請中	
	□ 7. 文化財協議 (教育文化財課)	□ A. 協議済内容 () □ B. 未協議内容 ()	
	□ 8. その他	□ A. その他 ()	
用 地	1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	□ A. 区間 (NO. ~ NO) □ B. 着工見込時期 () □ C. 内容 ()	
	□ 2. 工事用地の不買収	□ A. 場所 () □ B. 処理の見込み時期 () □ C. 未買収地への立ち入り可否 ()	
	□ 3. 仮設ヤードの有無	□ A. 官有地 □ B. 民有地 □ C. その他 () □ D. 別途協議	
	□ 4. その他	□ A. その他 ()	
	公 害 対 策	1. 施工方法の制限あり	□ A. 騒音 □ B. 振動 □ C. 水質 □ D. その他 ()
		□ 2. 事業損失防止に関する調査あり	□ A. 調査の項目 ()
		□ 3. 環境影響調査あり	□ A. 生物・植物調査あり □ A. アスベスト含有材あり □ B. フロン回収あり □ C. その他 ()
		□ 4. その他	□ A. その他 ()
	安 全 対 策	1. 交通規制あり	□ A. 全面通行止め □ B. 片側通行止め □ C. 時間制限あり ()
		□ 2. 通学路あり	□ A. 迂回路あり □ B. 仮設歩道必要
		2. 交通整理員	□ A. 区間 () 配置人員 人/日 □ B. 区間 () 配置人員 人/日 □ C. 区間 (NO. ~) 配置人員 人/日 □ D. 交替要員あり
		□ 3. 鉄道等の近接作業制限あり	□ A. 工法制限あり () □ B. 作業時間制限あり ()
□ 4. バス路線 (運行者との協議)		□ A. 協議済内容 () □ B. 未協議内容 ()	
□ 5. その他	□ A. その他 ()		
工 事 用 道 路	1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	□ A. 搬入経路指定あり □ B. 時間帯制限あり	
	2. 仮設道路の設置条件あり	□ A. 一般交通供用あり □ B. 安全施設必要 () □ C. 路面工 () □ D. 工事完了後存続又は撤去 () □ E. 構造 () □ F. 用地 (借地) □ G. 用地 (公用地) □ H. 用地 (その他) □ A. その他 ()	
指 定 仮 設 備	□ 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	□ A. 工種 ()	
	□ 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	□ A. 工種 () □ B. 内容 ()	
	□ 3. その他	□ A. その他 ()	

明示項目	明示事項	制約条件等
建 設 発 生 土 建 設 (産 業) 廃 棄 物 係 関	1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	■ A. 運搬距離 (19.5 Km) □ B. 投棄料計上あり □ C. 整地 (押土、敷均、締固等) 必要 ■ D. 整地 (押土) 必要
	2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	■ A. 盛土、埋戻 □ B. ストックヤード利用あり () □ C. 仮置場必要 () □ D. 運搬距離 (Km) □ E. 仮置場の用地借上費計上あり
	□ 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	□ A. 場所 () □ B. 盛土、埋戻 □ C. 整地 (押土、敷き均し、転圧) あり □ D. ストックヤード利用あり () □ E. 仮置場必要 () □ F. 運搬距離 (Km) □ G. 仮置場の用地借上費計上あり □ H. 処分料計上あり
	□ 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	□ A. 他工事名 () □ B. 請負者運搬あり (運搬距離) □ C. 盛土、埋め戻し () □ D. ストックヤード利用あり () □ E. 仮置場必要 () □ F. 仮置場の用地借上費計上あり
	□ 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	□ A. 種類 () □ B. 場所 () □ C. 中間処理施設までの運搬距離 (Km) □ D. 処理費計上あり
	□ 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	□ A. 槽内洗浄必要 □ B. 可見市環境課と打合せの必要あり
	7. 「可見市が発注する公共工事から発生する産業廃棄物適正処理について」に基づく提出・提示書類あり	■ A. 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) ■ B. 建設発生土処理地の関係図書 ■ C. クレダス
工 事 支 障 物 件	□ 1. 占用支障物件あり (電気)	□ A. 移設時期 (H 年 月 頃) □ B. 移設しない
	□ 2. 占用支障物件あり (電話)	□ A. 移設時期 (H 年 月 頃) □ B. 移設しない
	□ 3. 占用支障物件あり (水道)	□ A. 移設時期 (H 年 月 頃) □ B. 移設しない
	□ 4. 占用支障物件あり (下水道)	□ A. 移設時期 (H 年 月 頃) □ B. 移設しない
	□ 5. 占用支障物件あり (ガス)	□ A. 移設時期 (H 年 月 頃) □ B. 移設しない
	□ 6. 占用支障物件あり (モノホ-ル蓋、仕切弁蓋)	□ A. 管理者による高さ調整 () □ B. 移設しない ()
	□ 7. 占用支障物件あり (その他)	□ A. 移設時期 (H 年 月 頃) □ B. 移設しない
	□ 8. その他	□ A. その他 ()
排 水 工 関 係	□ 1. 濁水、湧水処理条件あり	□ A. 方法 () □ A. その他 ()
	□ 2. その他	□ A. その他 ()
再 生 材 使 用 及 び 溶 融 ス ラ グ	1. 再生材使用指定あり	■ A. RC □ B. アスファルト再生合材 (30% 再生) □ C. アスファルト再生合材 (100% 再生) □ D. 溶融スラグ使用あり () □ E. 再生材を使用できない場合別途協議
	□ 2. その他	□ A. その他 ()
そ の 他	□ 1. 現場発生材あり	□ A. 品名 () □ B. 納入場所 ()
	□ 2. 支給材あり	□ A. 品名 () □ B. 引渡し場所 ()
	□ 3. イメージアップあり	□ A. 仮設費 () □ B. 安全費 () □ C. 富繕費 () □ D. 特別なイメージアップ ()
	□ 4. 「可見市工事品質証明実施要領」該当あり	□ A. 品質証明員の配置あり
	□ 5. その他	□ A. その他 ()

本工事費内訳書

【場内配管】虹ヶ丘配水池建設（場内配管・電気機械室築造）工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
本工事費内訳書（場内配管）	式	1			費目行	
場内配管工	式	1			工種行	
資材費（場内配管）	式	1			1号明細書 7頁	
労務費（場内配管）	式	1			2号明細書 15頁	
土工費（場内配管）	式	1			3号明細書 19頁	
植生工	式	1			工種行	
植生マット工	式	1			4号明細書 20頁	
直接工事費						
共通仮設費計						
共通仮設費(積上分計)						
技術管理費	式	1			1号内訳書 3頁	
共通仮設費(率分)	式	1			2号内訳書 4頁	
純工事費						
現場管理費	式	1			3号内訳書 5頁	

本工事費内訳書

【場内配管】虹ヶ丘配水池建設（場内配管・電気機械室築造）工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
工事原価						
一般管理費等	式	1			4号内訳書 6頁	
契約保証	%					
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額	%					
設計価格						

技術管理費

内訳書

1号内訳書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
通水試験工 2000m/日 既設管と連絡して給水車が不要	m	254.800			61号代価表 85頁	
計						

共通仮設費(率分)

内訳書

2号内訳書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
率分表示	式	1				
計						

現場管理費

内訳書

3号内訳書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
率分表示	式	1				
計						

一般管理費等

内訳書

4号内訳書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
率分表示	式	1				
計						

明細書

1号明細書

資材費 (場内配管)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
GX形 タケタル鑄鉄管 S種 Φ300 内面エポキシ粉体塗装 L=6000	本	2				
GX形 タケタル鑄鉄管 S種 Φ200 内面エポキシ粉体塗装 L=5000	本	7				
GX形 タケタル鑄鉄管 S種 Φ300 内面エポキシ粉体塗装 L=6000	本	11				
GX形 タケタル鑄鉄管 S種 Φ200 内面エポキシ粉体塗装 L=5000	本	12				
GX形 タケタル鑄鉄異形管 曲管 Φ300*90° 内面エポキシ粉体塗装	個	4				
GX形 タケタル鑄鉄異形管 曲管 Φ200*90° 内面エポキシ粉体塗装	個	2				
GX形 タケタル鑄鉄異形管 曲管 Φ300*45° 内面エポキシ粉体塗装	個	3				
GX形 タケタル鑄鉄異形管 曲管 Φ200*45° 内面エポキシ粉体塗装	個	3				
GX形 タケタル鑄鉄異形管 曲管 Φ300*22° 1/2 内面エポキシ粉体塗装	個	2				
GX形 タケタル鑄鉄異形管 曲管 Φ200*22° 1/2 内面エポキシ粉体塗装	個	5				
GX形 タケタル鑄鉄異形管 曲管 Φ300*11° 1/4 内面エポキシ粉体塗装	個	10				
GX形 タケタル鑄鉄異形管 曲管 Φ200*11° 1/4 内面エポキシ粉体塗装	個	9				
GX形 タケタル鑄鉄異形管 両受曲管 Φ300*45° 内面エポキシ粉体塗装	個	4				
GX形 タケタル鑄鉄異形管 両受曲管 Φ300*22° 1/2 内面エポキシ粉体塗装	個	2				

明細書

1号明細書

資材費 (場内配管)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
GX形 ダクタイル鋳鉄異形管 両受曲管 Φ200*22° 1/2 内面エポキシ粉体塗装	個	1				
GX形 ダクタイル鋳鉄異形管 二受丁字管 Φ300*Φ300 内面エポキシ粉体塗装	個	1				
GX形 ダクタイル鋳鉄異形管 二受丁字管 Φ300*Φ100 内面エポキシ粉体塗装	個	1				
GX形 ダクタイル鋳鉄異形管 二受丁字管 Φ200*Φ200 内面エポキシ粉体塗装	個	2				
GX形 ダクタイル鋳鉄異形管 短管1号 Φ300 内面エポキシ粉体塗装	個	1				
GX形 ダクタイル鋳鉄異形管 短管1号 Φ200 内面エポキシ粉体塗装	個	1				
GX形 ダクタイル鋳鉄異形管 短管2号 Φ300 内面エポキシ粉体塗装	個	1				
GX形 ダクタイル鋳鉄異形管 両受短管 Φ300 内面エポキシ粉体塗装	個	1				
GX形 可とう管 U*U Φ300 7.5k 偏心量200mm タイロット含	個	2				
GX形 可とう管 U*S Φ300 7.5k 偏心量200mm タイロット含	個	1				
GX形 可とう管 U*U Φ200 7.5k 偏心量200mm タイロット含	個	2				
GX形 栓 直管用 Φ300 内面エポキシ粉体塗装	個	1				
GX形 栓 異形管用 Φ200 内面エポキシ粉体塗装	個	1				
GX形 ダクタイル鋳鉄異形管 継輪 Φ300 内面エポキシ粉体塗装	個	3				

明細書

1号明細書

資材費 (場内配管)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
GX形 タケタル鋳鉄異形管 継輪 Φ200 内面珪酸エポキシ粉体塗装	個	2				
GX形 ライナー Φ300 内面珪酸エポキシ粉体塗装	組	10				
GX形 ライナー Φ200 内面珪酸エポキシ粉体塗装	組	12				
GX形 切管エット G-Link Φ300 内面珪酸エポキシ粉体塗装	組	26				
GX形 切管エット G-Link Φ200 内面珪酸エポキシ粉体塗装	組	20				
GX形 接合部材 Φ300 内面珪酸エポキシ粉体塗装	組	25				
GX形 接合部材 Φ200 内面珪酸エポキシ粉体塗装	組	17				
GX形 接合部材 Φ100 内面珪酸エポキシ粉体塗装	個	2				
耐震GX形ソフトシール仕切弁(両受口タイプ) Φ300 内外粉体塗装	基	1				
GX形ソフトシール仕切弁(受挿し口タイプ) Φ300 内外粉体塗装	基	1				
GX形ソフトシール仕切弁(受挿し口タイプ) Φ200 内外粉体塗装	基	2				
GX形ソフトシール仕切弁(受挿し口タイプ) Φ100 内外粉体塗装	基	1				
ソフトシール仕切弁(内衽式) フランジ Φ300 内外面粉体塗装	基	9				
ソフトシール仕切弁(内衽式) フランジ Φ200 内外面粉体塗装	基	4				

明細書

1号明細書

資材費 (場内配管)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ソフトシル仕切弁(内ネジ式) フランジ Φ100 内外面粉体塗装	基	2				
ソフトシル仕切弁(ホリ挿しロタイプ) Φ100 内外面粉体塗装	基	1				
ソフトシル仕切弁(外ネジ式) フランジ 手動式 Φ50 内外面粉体塗装	基	1				
不断水丁字管 鋳鉄管用 耐震K形 Φ300*Φ300	個	1				
不断水丁字管 鋳鉄管用 耐震K形 Φ200*Φ200	個	1				
特殊押輪 タクティル鋳鉄管接合部品 耐震 Φ200	組	1				
不断水簡易バルブ 鋳鉄管用 Φ300	個	1				
不断水簡易バルブ 鋳鉄管用 Φ200	個	1				
片フランジ長管 ハトール付き RF-メカシキ形 300A*1208L	本	1				
片フランジ長管 ハトール付き GF-メカシキ形 300A*1300L	本	1				
片フランジ長管 ハトール付き GF-メカシキ形 300A*1394L	本	1				
三フランジ丁字管 NCP鋼管 GF-GF-GF 300A*300A	本	3				
両フランジ丁字管 NCP鋼管 GF-GF-GF 300A*50A	本	1				
両フランジ曲管 NCP鋼管 RF-RF 300A*90°	本	2				

明細書

1号明細書

資材費 (場内配管)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
両フランジ 曲管 NCP鋼管 GF-RF 50A*90°	本	1				
両フランジ 片落管 NCP鋼管 GF-RF 300A*150A	本	1				
両フランジ 片落管 NCP鋼管 RF-RF 300A*150A	本	1				
両フランジ 長管 NCP鋼管 GF-GF 300A*862L	本	2				
両フランジ 長管 NCP鋼管 RF-GF 300A*664L	本	2				
両フランジ 長管 NCP鋼管 RF-RF 300A*498L	本	1				
両フランジ 短管 NCP鋼管 GF-GF 150A*500L	本	1				
フランジアダプター Φ300	本	1				
フランジアダプター Φ150	本	1				
水道配水用ホリエチレン管 HPPE 片受直管 Φ100	本	10				
水道配水用ホリエチレン管 HPPE プレーンエンド直管 Φ100	本	15				
水道配水用ホリエチレン管 EF両受ヘント 90° Φ100	個	2				
水道配水用ホリエチレン管 EF両受ヘント 45° Φ100	個	10				
水道配水用ホリエチレン管 EF両受ヘント 22° 1/2 Φ100	個	5				

明細書

1号明細書

資材費 (場内配管)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
水道配水用ポリエチレン管 EF両受ヘント 11° 1/4 Φ100	個	6				
水道配水用ポリエチレン管 EF片受ヘント 11° 1/4 Φ100	個	5				
水道配水用ポリエチレン管 EFチース Φ100*Φ100	個	3				
水道配水用ポリエチレン管 EFフランジ短管(G形) Φ100	個	4				
水道配水用ポリエチレン管 EFソケット Φ100	個	7				
水道配水用ポリエチレン管 EFキャップ Φ100	個	1				
PVジョイント Φ100	個	1				
ダクタイル鋳鉄管用異種管継手(GX形-HPPE) Φ100	個	1				
フランジ材料 GFホッキン Φ300 7.5k	組	25				
ボルト・ナット(SUS) Φ300 7.5k M20*85*10本	組	25				
フランジ材料 GFホッキン Φ200 7.5k	組	5				
ボルト・ナット(SUS) Φ200 7.5k M16*80*8本	組	5				
フランジ材料 GFホッキン Φ150 7.5k	組	2				
ボルト・ナット(SUS) Φ150 7.5k M16*75*6本	組	2				

明細書

1号明細書

資材費 (場内配管)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
フランジ材料 GFホッキン Φ100 7.5k	組	2				
ボルト・ナット(SUS) Φ100 7.5k M16*75*4本	組	6				
フランジ材料 GFホッキン Φ50 7.5k	組	2				
ボルト・ナット(SUS) Φ50 7.5k M16*65*4本	組	2				
仕切弁用鉄蓋(受枠共) 円形1号Φ250 T-25	組	13				
レシコンクリート製ボックス 上部壁 Φ250 H=150	個	13				
レシコンクリート製ボックス 底版 Φ250-Φ350用 H=40	個	13				
サドル付分水栓 鋳鉄管用 Φ300*Φ20	個	1				
鋳鉄管防錆挿入リング Φ20	個	1				
分止水テーパ Φ20*Φ13	個	1				
ポリエチレンパイプ 2層管 Φ13	m	4500				
メーターユニオン PP用 Φ13	個	2				
甲止水栓 Φ13 本体のみ	個	1				
オスネジテーパソケット PP用 Φ13	個	1				

資材費 (場内配管)

明細書

1号明細書

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
計						

明細書

2号明細書

労務費 (場内配管)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
鋳鉄管吊込み据付(機械) 管径300mm	m	81.500			1号代価表 21頁	
鋳鉄管吊込み据付(機械) 管径200mm	m	95.500			2号代価表 22頁	
鋼管吊込み据付(機械) A種 呼び径300mm	m	12.200			3号代価表 23頁	
鋼管吊込み据付(人力) 呼び径50mm	m	0.700			4号代価表 24頁	
ポリエチレン管(融着接合) 据付 呼び径100mm	m	131.400			5号代価表 25頁	
GX形継手接合 P-Linkを使用しない 据付 直管 呼び径 300mm	口	13			6号代価表 26頁	
GX形継手接合 P-Linkを使用しない 据付 直管 呼び径 200mm	口	19			7号代価表 27頁	
GX形継手接合 G-Linkを使用しない 据付 異形管 呼び径 300mm	口	26			8号代価表 28頁	
GX形継手接合 G-Linkを使用しない 据付 異形管 呼び径 200mm	口	18			9号代価表 29頁	
GX形継手接合 G-Linkを使用しない 据付 異形管 呼び径 100mm	口	2			10号代価表 30頁	
GX形継手接合 G-Linkを使用する 据付 異形管 呼び径 300mm	口	26			11号代価表 31頁	
GX形継手接合 G-Linkを使用する 据付 異形管 呼び径 200mm	口	20			12号代価表 32頁	
ポリエチレン管継手(融着接合) 据付 呼び径100mm 1口継手	箇所	62			13号代価表 33頁	
ポリエチレン管継手(融着接合) 据付 呼び径100mm 2口継手	箇所	7			14号代価表 34頁	

明細書

2号明細書

労務費（場内配管）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
鑄鉄管メカニカル継手工 据付 φ100mm	口	2			15号代価表 35頁	
フランジ継手 据付 鑄鉄管 JWWA7.5K 呼び径300mm	口	25			16号代価表 36頁	
フランジ継手 据付 鑄鉄管 JWWA7.5K 呼び径200mm	口	5			17号代価表 37頁	
フランジ継手 据付 鑄鉄管 JWWA7.5K 呼び径100mm	口	6			18号代価表 38頁	
フランジ継手 据付 鑄鉄管 JWWA7.5K 呼び径65mm以下	口	2			19号代価表 39頁	
鑄鉄管切断工 300mm エンジンカッター	口	22			20号代価表 40頁	
鑄鉄管切断工 200mm エンジンカッター	口	19			21号代価表 41頁	
ポリエチレン管切断 呼び径100mm	口	33			22号代価表 42頁	
鑄鉄製伸縮可とう管据付 呼び径300mm (U*U接合)	基	2			23号代価表 43頁	
鑄鉄製伸縮可とう管据付 呼び径300mm (U*S接合)	基	1			24号代価表 44頁	
鑄鉄製伸縮可とう管据付 呼び径200mm (U*U接合)	基	2			25号代価表 45頁	
鑄鉄製仕切弁設置 縦型 呼び径300mm	基	11			26号代価表 46頁	
鑄鉄製仕切弁設置 縦型 呼び径200mm	基	6			27号代価表 47頁	
鑄鉄製仕切弁設置 縦型 呼び径100mm以下	基	5			28号代価表 48頁	

明細書

2号明細書

労務費（場内配管）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
不断水丁字取付穿孔工 耐震K形 Φ300*Φ300	個所	1				
不断水丁字取付穿孔工 耐震K形 Φ200*Φ200	個所	1				
不断水簡易バルブ取付工 鑄鉄管用 Φ300	個所	1				
不断水簡易バルブ取付工 鑄鉄管用 Φ200	個所	1				
鉄蓋設置 円形(1号) 250mm 30kg未満	個	13			29号代価表 49頁	
レシコンクリート製ボックス設置 円形(1号) 上部壁 内寸250mm 高さ150mm	個	13			30号代価表 50頁	
レシコンクリート製ボックス設置 円形(1号) 底版 内寸250mm 高さ40mm	個	13			31号代価表 51頁	
ポリエチレンスリーブ被覆工 固定用ゴムバンド 呼び径 300mm	m	81.500			32号代価表 52頁	
ポリエチレンスリーブ被覆工 固定用ゴムバンド 呼び径 200mm	m	95.500			33号代価表 53頁	
管明示テープ工（鑄鉄管布設工） φ300*6000 4箇所/本 天端明示無	m	81.500			34号代価表 55頁	
管明示テープ工（鑄鉄管布設工） φ200*5000 4箇所/本 天端明示無	m	95.500			35号代価表 56頁	
管明示シート工	m	308.400			36号代価表 57頁	
【施P】鉄筋コンクリート 打設量10m3/日未満 24-12-25B種W/C=60%以下 一般養生	m3	1.700			37号代価表 58頁	
【施P】型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	m2	9.700			38号代価表 59頁	

明細書

2号明細書

労務費 (場内配管)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
スクラップ処分工	式	1			39号代価表 60頁	
【施P】無筋コンクリート 打設量10m3/日未満 18-8-40(高炉) 一般養生	m3	2.700			40号代価表 61頁	
【施P】型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	m2	2.900			38号代価表 59頁	
【施P】勾配コンクリート 打設量10m3/日未満 18-8-40(高炉) 一般養生	m3	0.100			41号代価表 62頁	
サドル分水栓建込み 分水栓径20mm 鑄鉄管300mm	箇所	1			42号代価表 63頁	
コア取付工 呼び径13mm~50mm	箇所	1			43号代価表 64頁	
ポリエチレン管据付工 13mm	m	4.500			44号代価表 65頁	
止水栓取付 止水栓+筐 PP用 口径13mm	箇所	1			45号代価表 66頁	
ポリエチレン管継手工 据付 管径13mm	口	3			46号代価表 67頁	
鋼管小口径管ねじ込み接合 据付 呼び径13mm	口	3			47号代価表 68頁	
ポリエチレン管切断 呼び径13mm	口	2			48号代価表 69頁	
計						

明細書

3号明細書

土工費 (場内配管)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
【施P】舗装版切断 コンクリート舗装版 Co:15cm以下	m	37			49号代価表 70頁	
バックホ舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下	m2	64			50号代価表 71頁	
【施P】掘削 硬岩 片切掘削 有り(50,000m3未満) 集積押土無し	m3	170			51号代価表 72頁	
管路掘削バックホ掘削積込 クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	40			52号代価表 74頁	
管路埋戻(機械埋戻・バックホ) 機械投入+締固め 再生碎石	m3	51			53号代価表 75頁	
管路埋戻(機械埋戻・バックホ) 機械投入+締固め 流用土	m3	40			54号代価表 77頁	
管路埋戻(機械埋戻・バックホ) 機械投入+締固め サントクッション用砂	m3	99			55号代価表 78頁	
Co殻処分工 タンク 4t BH0.45m3 7.6km Co塊(鉄筋)良好 DID無	m3	6			56号代価表 80頁	
残土処分工 硬岩	m3	170			57号代価表 81頁	
軽量鋼矢板土留 バックホ建込+クレーン引抜	m	4,200			58号代価表 82頁	
U型側溝[市場単価] 再利用撤去・据付け 鉄筋コンクリートU型300*240*600 50m未満 碎石有	m	6,300			59号代価表 83頁	
計						

明細書

4号明細書

植生マット工

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
人力施工による植生工 植生マット工 500m2未満 制約無	m2	130			60号代価表 84頁	
計						

代価表

1号代価表

10 m当り

鋳鉄管吊込み据付(機械)
管径300mm

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
トラック クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊	時間				1号単価表	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 m 当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 管径の選択(75mm以下~2600mm)：Pi=300；300mm；管径(mm)						
クレーンの規格選択：クレーン付トラック4t積2.9t吊 クレーン付トラック運転費：トラック；クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊						
歩掛割増係数(割増なし=1.00)：W=1 資材計上区分：施工費のみ						

代価表

2号代価表

10 m当り

鋳鉄管吊込み据付(機械)
管径200mm

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
トラック クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊	時間				1号単価表	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 m 当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 管径の選択(75mm以下~2600mm)：Pi=200；200mm；管径(mm)						
クレーンの規格選択：クレーン付トラック4t積2.9t吊 クレーン付トラック運転費：トラック；クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊						
歩掛割増係数(割増なし=1.00)：W=1 資材計上区分：施工費のみ						

代価表

3号代価表

10 m当り

鋼管吊込み据付(機械)
A種 呼び径300mm

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
トラック クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊	時間				1号単価表	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 m 当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 管種選択：A種 呼び径 80mm～600mm						
歩掛(呼び径80mm～600mm)：S1=0.09, S2=0.17, R=300； 300mm:6.0m；					鋼管吊込み据付(機械)(10m当り)：配管工(人), 普通作業員(人), 呼び径係数	
現場状況による割増(割増なし=1)：K=1						
鋼管計上区分：計上しない						
吊込機械選択：クレーン付トラック4t積2.9t吊(標準)						
クレーン付トラック運転費：トラック；クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊						

代価表

4号代価表

10 m当り

鋼管吊込み据付(人力)
呼び径50mm

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
計						
1 m 当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 施工歩掛：S1'=0.18, S2'=0.18；50mm；吊込据付(人力)(10m当り)：配管工(人), 普通作業員(人)						
現場状況による割増(割増なし=1)：K=1 鋼管計上区分：計上しない						

代価表

5号代価表

10 m当り

ポリエチレン管(融着接合) 据付
呼び径100mm

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
計						
1 m 当り						
施工区分：ポリエチレン管(融着接合)						
配管材の据付・撤去区分：据付						
歩掛：100mm						
資材計上区分：施工費のみ						

代価表

6号代価表

GX形継手接合 P-Linkを使用しない 据付
直管 呼び径 300mm

1口当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 管区分：直管						
施工歩掛：300mm 接合方法：P-Linkを使用しない						

代価表

7号代価表

GX形継手接合 P-Linkを使用しない 据付
直管 呼び径 200mm

1口当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 管区分：直管						
施工歩掛：200mm 接合方法：P-Linkを使用しない						

代価表

8号代価表

GX形継手接合 G-Linkを使用しない 据付
異形管 呼び径 300mm

1口当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 管区分：異形管						
施工歩掛：300mm 接合方法：G-Linkを使用しない						

代価表

9号代価表

GX形継手接合 G-Linkを使用しない 据付
異形管 呼び径 200mm

1口当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 管区分：異形管						
施工歩掛：200mm 接合方法：G-Linkを使用しない						

代価表

10号代価表

GX形継手接合 G-Linkを使用しない 据付
異形管 呼び径 100mm

1口当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 管区分：異形管						
施工歩掛：100mm 接合方法：G-Linkを使用しない						

代価表

11号代価表

GX形継手接合 G-Linkを使用する 据付
異形管 呼び径 300mm

1口当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 管区分：異形管						
施工歩掛：300mm 接合方法：G-Linkを使用する						

代価表

12号代価表

GX形継手接合 G-Linkを使用する 据付
異形管 呼び径 200mm

1口当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 管区分：異形管						
施工歩掛：200mm 接合方法：G-Linkを使用する						

代価表

13号代価表

ポリエチレン管継手(融着接合) 据付
呼び径100mm 1口継手

1箇所当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1箇所当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 ポリエチレン管継手工歩掛：100mm						
資材計上区分：施工費のみ 1箇所当りポリエチレン管用継手材数量：K=0.7；1口継手；補正						

代価表

14号代価表

ポリエチレン管継手(融着接合) 据付
呼び径100mm 2口継手

1箇所当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1箇所当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 ポリエチレン管継手工歩掛：100mm						
資材計上区分：施工費のみ 1箇所当りポリエチレン管用継手材数量：K=1；2口継手；補正						

代価表

15号代価表

鋳鉄管メカニカル継手工 据付
φ100mm

1口当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 管径区分(75以下~2600mm)：PA=100；φ100mm；管径(mm)						
離脱防止継手の歩掛割増(鋳鉄管メカニカル継手)：割増なし；労務割増率(%)						
特殊押輪の歩掛割増：割増なし；T頭ボルトに対する押しボルトの数に係る労務割増率(%)						
資材計上区分：施工費のみ						

代価表

16号代価表

フロン継手 据付
 鋳鉄管 JWVA7.5K 呼び径300mm

1口当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 鋼管・鋳鉄管区分：鋳鉄管						
管種別：JWVA 7.5K 呼び径：300mm						
資材計上区分：施工費のみ						

代価表

17号代価表

フロン継手 据付
 鋳鉄管 JWVA7.5K 呼び径200mm

1口当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 鋼管・鋳鉄管区分：鋳鉄管						
管種別：JWVA 7.5K 呼び径：200mm						
資材計上区分：施工費のみ						

代価表

18号代価表

フロン継手 据付
 鋳鉄管 JWVA7.5K 呼び径100mm

1口当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 鋼管・鋳鉄管区分：鋳鉄管						
管種別：JWVA 7.5K 呼び径：100mm						
資材計上区分：施工費のみ						

代価表

19号代価表

フレンジ継手 据付
 鋳鉄管 JWVA7.5K 呼び径65mm以下

1口当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
配管材の据付・撤去区分：据付 鋼管・鋳鉄管区分：鋳鉄管						
管種別：JWVA 7.5K 呼び径：65mm以下						
資材計上区分：施工費のみ						

代価表

20号代価表

鋳鉄管切断工
300mm エンジンカッター

1口当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
鋳鉄管切断機	日					
雑材料	%				諸雑費	
計						
1口当り						
カッターの選択：エンジンカッター使用 施工歩掛：300mm；鋳鉄管切断（1口当り）：特殊作業員（人）、普通作業員（人）、機械損料（日）、雑材料（%）						
エンジンカッターの規格選択：エンジンカッター（軽ノイト砥石）；プレート径305mm程度 排気量70cc程度 損料入力区分：損料金額入力する（運転1日当り換算損料を入力）						
運転1日当り換算損料：SnDj=699円						

代価表

21号代価表

鋳鉄管切断工
200mm エンジンカッター

1口当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
鋳鉄管切断機	日					
雑材料	%				諸雑費	
計						
1口当り						
カッターの選択：エンジンカッター使用 施工歩掛：200mm；鋳鉄管切断（1口当り）：特殊作業員（人）、普通作業員（人）、機械損料（日）、雑材料（%）						
エンジンカッターの規格選択：エンジンカッター（軽ノイト砥石）；プレート径305mm程度 排気量70cc程度 損料入力区分：損料金額入力する（運転1日当り換算損料を入力）						
運転1日当り換算損料：SnDj=699円						

代価表

22号代価表

ホ°ポリエチレン管切断
呼び径100mm

1口当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
雑材料	%				諸雑費	
計						
1口当り						
ホ°ポリエチレン管切断歩掛 : S1=0.02, S2=0.02, S3=7 ;	100mm ;	ホ°ポリエチレン管切断	(1口当り):配管工(人),普通作業員(人),雑材料(%)			

代価表

23号代価表

1 基当り

鋳鉄製伸縮可とう管据付
呼び径300mm (U*U接合)

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
トラック クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊	時間				1号単価表	
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1 基 当 り						
配管材の据付・撤去区分：据付 呼び径：300mm						
接合形式：U*U 伸縮可とう管の計上：計上しない						
吊込み機械：クレーン付トラック4t積2.9t吊 クレーン付トラック運転費：トラック；クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊						

代価表

24号代価表

1 基当り

鋳鉄製伸縮可とう管据付
呼び径300mm (U*S接合)

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
トラック クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊	時間				1号単価表	
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1 基 当 り						
配管材の据付・撤去区分：据付 呼び径：300mm						
接合形式：U*S 伸縮可とう管の計上：計上しない						
吊込み機械：クレーン付トラック4t積2.9t吊 クレーン付トラック運転費：トラック；クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊						

代価表

25号代価表

1 基当り

鋳鉄製伸縮可とう管据付
呼び径200mm (U*U接合)

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
トラック クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊	時間				1号単価表	
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1 基 当 り						
配管材の据付・撤去区分：据付 呼び径：200mm						
接合形式：U*U 伸縮可とう管の計上：計上しない						
吊込み機械：クレーン付トラック4t積2.9t吊 クレーン付トラック運転費：トラック；クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊						

代価表

26号代価表

鋳鉄製仕切弁設置 縦型
呼び径300mm

1基当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
トラック クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊	時間				1号単価表	
計						
1基当り						
設置撤去区分：設置 呼び径：100~350mm						
弁の設置方法：縦型 歩掛(100~350mm)：Hi=0.11, Ft=0.17, Kr=0.91, Pi=300； (mm)		300mm；	鋳鉄製	仕切弁設置工(1基当り)：配管工(人), 普通作業員(人), クレーン	運転時間(h), 呼び径	
吊込み機械：クレーン付トラック4t積、2.9t吊						
クレーン付トラック：トラック；クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊						
仕切弁計上区分：計上しない						
割増(割増なし = 1.00)：W=1						

代価表

27号代価表

鑄鉄製仕切弁設置 縦型
呼び径200mm

1基当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
トラック クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊	時間				1号単価表	
計						
1基当り						
設置撤去区分：設置 呼び径：100~350mm						
弁の設置方法：縦型 歩掛(100~350mm)：Hi=0.05, Ft=0.08, Kr=0.57, Pi=200； (mm)		200mm				
吊込み機械：クレーン付トラック4t積、2.9t吊						
クレーン付トラック：トラック；クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊						
仕切弁計上区分：計上しない						
割増(割増なし = 1.00)：W=1						

代価表

28号代価表

鋳鉄製仕切弁設置 縦型
呼び径100mm以下

1 基当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
トラック クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊	時間				1号単価表	
計						
1 基 当り						
設置撤去区分：設置 呼び径：100~350mm						
弁の設置方法：縦型 歩掛(100~350mm)：Hi=0.03, Ft=0.05, Kr=0.4, Pi=100； 呼び径(mm) 吊込み機械：クレーン付トラック4t積、2.9t吊						
クレーン付トラック：トラック；クレーン装置付・積載質量4t積・2.9t吊 仕切弁計上区分：計上しない						
割増(割増なし = 1.00)：W=1						

代価表

29号代価表

鉄蓋設置
円形(1号) 250mm 30kg未満

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
普通作業員	人					
無収縮モルタル 25kg	袋	0.250				
計						
1個当り						
鉄蓋設置歩掛 : s1a=0.06, s2a=0.003 ; 30kg未満	円形(1号):250mm ;	鉄蓋設置工(1個当り)	普通作業員(人), 無収縮モルタル(m3)			
施工区分 : 設置						
資材計上区分 : 施工費のみ						

代価表

30号代価表

1個当り

レジンコンクリート製ボックス設置 円形(1号)
上部壁 内寸250mm 高さ150mm

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
普通作業員	人					
計						
1個当り						
規格選択：円形(1号)						
円形(1号)：s1a=0.01；上部壁：内寸250mm；高さ150mm；						
レジンコンクリート製ボックス設置(1個当り)					円形1号：普通作業員(人)	
施工区分：設置						
資材計上区分：施工費のみ						

代価表

31号代価表

1個当り

レジンコンクリート製ボックス設置 円形(1号)
底版 内寸250mm 高さ40mm

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
普通作業員	人					
計						
1個当り						
規格選択：円形(1号)						
円形(1号)：s1a=0.01；底版：内寸250mm：高さ40mm；レジンコンクリート製ボックス設置(1個当り)					円形1号：普通作業員(人)	
施工区分：設置						
資材計上区分：施工費のみ						

代価表

32号代価表

100 m当り

ホリエレンスリーブ被覆工 固定用コムハント
呼び径 300mm

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
水道用ダクタイル鋳鉄管用ホリエレンスリーブ 呼び径300×7000mm	本	16,670				
水道用ダクタイル鋳鉄管用ホリエレンスリーブ 固定用コムハント 呼び径300mm	個	150				
計						
1 m 当り						
呼び径：350mm以下 歩掛(呼び径 350mm以下)：Pi=300, Hi=0.59, Ft=0.59, L1=6, L2=7, Ne=147.9； 300mm； ホリエレンスリーブ被覆工(100m当り)：呼び径(mm), 配管工(人), 普通作業員(人) , 直管長(m/本), 管1本当り スリーブ長(m), 粘着テープ(m) ホリエレンスリーブの計上確認：計上する(計算算出)(標準)						
ホリエレンスリーブ割増係数(呼び径350mm以下)：α=0 ホリエレンスリーブ：水道用ダクタイル鋳鉄管用ホリエレンスリーブ； 呼び径300×7000mm						
ホリエレンスリーブ材料費の単位選択：「本」単位のホリエレンスリーブ材料費 ホリエレンスリーブ1本(又は枚)当りの長さ：L3=7m						
固定具の計上確認：計上する 固定具：固定用コムハント						
固定用コムハント：水道用ダクタイル鋳鉄管用ホリエレンスリーブ 固定用コムハント； 呼び径300mm 固定ハント割増係数(呼び径350mm以下)：β=0						

代価表

33号代価表

100 m当り

ホリエチレンスリーブ被覆工 固定用コムバンド
呼び径 200mm

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
水道用ダクタイル鋳鉄管用ホリエチレンスリーブ 呼び径200×6000mm	本	17.140				
水道用ダクタイル鋳鉄管用ホリエチレンスリーブ 固定用コムバンド 呼び径200mm	個	160				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 m 当り						
呼び径：350mm以下 歩掛(呼び径 350mm以下)：Pi=200, Hi=0.43, Ft=0.43, L1=5, L2=6, Ne=104； 200mm； ホリエチレンスリーブ被覆工(100m当り)：呼び径(mm), 配管工(人), 普通作業員(人), 直管長(m/本), 管1本当り スリーブ長(m), 粘着テープ(m) ホリエチレンスリーブの計上確認：計上する(計算算出)(標準) ホリエチレンスリーブ割増係数(呼び径350mm以下)：α=0 ホリエチレンスリーブ：水道用ダクタイル鋳鉄管用ホリエチレンスリーブ； 呼び径200×6000mm ホリエチレンスリーブ材料費の単位選択：「本」単位のホリエチレンスリーブ材料費 ホリエチレンスリーブ1本(又は枚)当りの長さ：L3=7m 固定具の計上確認：計上する 固定具：固定用コムバンド						

代価表

34号代価表

100 m当り

管明示テープ工(鋳鉄管布設工)
φ300*6000 4箇所/本 天端明示無

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員	人					
計						
1 m 当り						
管明示テープ工(鋳鉄管布設工) : S1=0.11 ; φ300*6000:4箇所/本:無 ; 管明示テープ工(鋳鉄管布設工):普通作業員(人/100m) 作業員の編成人員(日当り施工量算出) : Sa=1人						

代価表

35号代価表

100 m当り

管明示テープ工(鋳鉄管布設工)
φ200*5000 4箇所/本 天端明示無

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員	人					
計						
1 m 当り						
管明示テープ工(鋳鉄管布設工) : S1=0.12 ; φ200*5000:4箇所/本:無 ; 管明示テープ工(鋳鉄管布設工):普通作業員(人/100m) 作業員の編成人員(日当り施工量算出) : Sa=1人						

代価表

36号代価表

100 m当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
普通作業員	人					
計						
1 m 当り						

代価表

【施P】鉄筋コンクリート
打設量10m3/日未満 24-12-25B種W/C=60%以下 一般養生

37号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
Z					86頁	
Z1	生コンクリート 24-12-25B種W/C=55%以下				62号代価表 86頁	
	日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 構造物識別：無筋・鉄筋構造物					
	施工条件：打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 コンクリート規格：各種					
	養生工の種類：一般養生 現場内小運搬の有無：無し					
	生コンクリート：生コンクリート；各種 21-8-25B種W/C=60%以下					

代価表

【施P】型枠
一般型枠 鉄筋・無筋構造物

38号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
R						
R1	型わく工					
R2	普通作業員					
R3	土木一般世話役					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
	型枠の種類：一般型枠					
	構造物の種類：鉄筋・無筋構造物					

代価表

39号代価表

1式当り

スクラップ処分工

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
【施P】現場発生産品・支給品運搬 クレーン装置付2t積2t吊 9.0km以下 1.1t超1.5t以下	回	1			63号代価表 87頁	
鉄くず ヘビーH2 建築の鉄くず込み	t	1.500				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当 り						

代価表

【施P】無筋コンクリート
打設量10m3/日未満 18-8-40(高炉) 一般養生

40号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
Z					88頁	
Z1	生コンクリート 18-8-40(高炉)				64号代価表 88頁	
	日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 構造物識別：無筋・鉄筋構造物					
	施工条件：打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 コンクリート規格：18-8-40(高炉)					
	養生工の種類：一般養生 現場内小運搬の有無：無し					
	生コンクリート：生コンクリート；18-8-40(高炉)					

代価表

【施P】勾配コンクリート
打設量10m3/日未満 18-8-40(高炉) 一般養生

41号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
Z					89頁	
Z1	生コンクリート 18-8-40(高炉)				65号代価表 89頁	
	日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 構造物識別：無筋・鉄筋構造物					
	施工条件：打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 コンクリート規格：18-8-40(高炉)					
	養生工の種類：一般養生 現場内小運搬の有無：無し					
	生コンクリート：生コンクリート；18-8-40(高炉)					

代価表

42号代価表

サドル分水栓建込み
分水栓径20mm 铸铁管300mm

1箇所当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1箇所当り						
施工区分：铸铁管：サドル分水栓径13～25mm 歩掛(铸铁管13～25)：S1=0.1, S2=0.1, S3=12；	铸铁管:300mm；	サドル分水栓建込み	铸铁管	(1箇所当り):	分水栓径20mm:配管工(人), 普通作業員(人), 諸雑費(%)	

代価表

43号代価表

コ取付工
呼び径13mm~50mm

1箇所当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1箇所当り						

代価表

44号代価表

10 m当り

ポリエチレン管据付工
13mm

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
計						
1 m 当り						
配管材の据付・撤去区分：据付						
資材計上区分：施工費のみ						
管径区分(13~50mm)：13mm						

代価表

45号代価表

止水栓取付 止水栓+筐 PP用
口径13mm

1箇所当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
計						
1箇所当り						
口径：13mm 施工区分：止水栓 + 筐						
歩掛(接合及び止水栓筐取付)：S1=0.04, S2=0.02；13mm；止水栓取付け 止水栓計上区分：計上しない					歩掛(1箇所当り):PP用:配管工(人), 普通作業員(人)	

代価表

46号代価表

10口当り

ポリエチレン管継手工 据付
管径13mm

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
計						
1口当り						
代価表当り数量：10口当り 管径区分(13~50mm)：D2=13；13mm；管径(mm)						
配管材の据付・撤去区分：据付 資材計上区分：施工費のみ						

代価表

47号代価表

2口当り

鋼管小口径管ねじ込み接合 据付
呼び径13mm

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
工種区分：小口径管ねじ込み接合(2口当り) 代価表当り単位の選択：2口当り代価表						
配管材の据付・撤去区分：据付 ねじ込み接合2口当り歩掛：13mm；ねじ込み接合(2口当り)：配管工(人)、普通作業員(人)						
現場状況による割増(割増なし=1)：K=1 資材計上区分：施工費のみ						

代価表

48号代価表

ポリエチレン管切断
呼び径13mm

1口当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
配管工	人					
普通作業員	人					
雑材料	%				諸雑費	
計						
1口当り						
ポリエチレン管切断歩掛 : S1=0.01, S2=0.01, S3=1 ;	13mm ;	ポリエチレン管切断(1口当り):配管工(人),普通作業員(人),雑材料(%)				

代価表

49号代価表

1 m当り

【施P】舗装版切断
 コンクリート舗装版 Co:15cm以下

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	コンクリートカッタ バキューム式・湿式・切削深20cm級・プレート径56cm					
R						
R1	特殊作業員					
R2	普通作業員					
Z						
Z1	コンクリートカッタプレート 径56cm(55cm)					
Z2	レギュラーガソリン スタント					
	日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 舗装版種別：コンクリート舗装版					
	コンクリート舗装版厚：15cm以下 コンクリートカッタ(プレート)径22インチ：コンクリートカッタプレート；径56cm(55cm)					
	ガソリンレギュラー：レギュラーガソリン；スタント					

代価表

50号代価表

100 m2当り

バックホウ舗装版直接掘削・積込
舗装厚0cm超え10cm以下

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
バックホウ(排対1次) クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				2号単価表	
諸雑費	式	1			調整金	
計						
1 m2 当り						
舗装版掘削・積込 : S1=0.42, S2=0.63, S3b=3.35, D=194 ; バックホウ:山積0.28m3(平積0.20m3) ; 舗装版掘削・積込(バックホウ)(100m2当り):舗装厚 0cm超え10cm以下: 世話役(人), 普通作業員(人), バックホウ(時間), 日当り施工量(m2/日)						
(バックホウ)排ガス機械の選択 : 排ガス対策型(第1次基準値)						
バックホウ運転費 : バックホウ(排対1次) ; クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)						

代価表

【施P】掘削
硬岩 片切掘削 有り(50,000m3未満) 集積押土無し

51号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	バックホリ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クローラ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)					
K2	大型ブレイカ(ベースマシン含まず) 油圧式1300kg級					
R						
R1	特殊作業員					
R2	普通作業員					
R3	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー パトロール給油					
	日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 土質：硬岩					
	施工方法：片切掘削 火薬使用：不可					
	破砕除去の有無：有り(50,000m3未満) 機種区分：標準					

代価表

52号代価表

100 m3当り

管路掘削バックホウ掘削積込
クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
バックホウ(排対1次) クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				3号単価表	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 m3 当り						
機械掘削工(バックホウ) : クローラ型山積 0.28m3(平積0.20m3) ; 機械掘削工(バックホウ)(100m3当り):世話役(人),普通作業員(人),運転時間(h),日当り施工量(m3/日)						
(バックホウ)排ガス機械の選択 : 排ガス対策型(第1次基準値)						
バックホウ : バックホウ(排対1次) ; クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)						

代価表

53号代価表

100 m3当り

管路埋戻(機械埋戻・バックホ)
機械投入+締固め 再生砕石

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
バックホ(排対1次) クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				3号単価表	
タンパ°及びランマ(賃料) 質量60~80kg	日				4号単価表	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 m3 当り						
埋戻土の計上：計上する						
埋戻土の選択：再生砕石；RC-40						
埋戻土の単位選択：「m3」単位の材料単価						
土量変化率(岩なし)：再生資材；変化率L, 変化率C						
埋戻土量算出方法：土量変化率より計算算出						
土量変化率(L/C)：L=0, C=0, f=0						
施工区分：S1a=2.1, S2a=5.9, S5a=3, Db=33；機械投入+締固め；世話役(人/100m3), 普通作業員(人/100m3), タンパ°運転(日/100m3), タンパ°						日当り施工量(m3/日)
タンパ°：タンパ°及びランマ(賃料)；質量60~80kg						
バックホ規格選択：クローラ型山積 0.28m3(平積0.20m3)；100m3当り運転時間(時間), 日当り施工量(m3/日)						
(バックホ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)						

代価表

53号代価表

100 m3当り

管路埋戻(機械埋戻・バックホ)
 機械投入+締め 再生砕石

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
岩石補正：補正なし						
バックホ：バックホ(排対1次)；クローラ型・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)						

代価表

54号代価表

100 m3当り

管路埋戻(機械埋戻・バックホ)
機械投入+締固め 流用土

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
バックホ(排対1次) クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				3号単価表	
タンパ及びランマ(賃料) 質量60~80kg	日				4号単価表	
諸雑費	式	1			調整金	
計						
1 m3 当り						
埋戻土の計上：計上しない						
施工区分：S1a=2.1, S2a=5.9, S5a=3, Db=33；機械投入+締固め；世話役(人/100m3), 普通作業員(人/100m3), タンパ運転(日/100m3), タンパ日当り施工量(m3/日)						
タンパ：タンパ及びランマ(賃料)；質量60~80kg						
バックホ規格選択：クローラ型山積 0.28m3(平積0.20m3)；100m3当り運転時間(時間), 日当り施工量(m3/日)						
(バックホ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)						
岩石補正：補正なし						
バックホ：バックホ(排対1次)；クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)						

代価表

55号代価表

100 m3当り

管路埋戻(機械埋戻・バックホウ)
機械投入+締固め サントクッション用砂

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
サントクッション用砂 サントクッション用砂	m3	126				
バックホウ(排対1次) クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				3号単価表	
タンパ°及びランマ(賃料) 質量60~80kg	日				4号単価表	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 m3 当り						
埋戻土の計上：計上する 埋戻土の選択：サントクッション用砂；サントクッション用砂						
埋戻土の単位選択：「m3」単位の材料単価 土量変化率(岩なし)：砂及び砂質土:砂；変化率L, 変化率C						
施工区分：S1a=2.1, S2a=5.9, S5a=3, Db=33；機械投入+締固め；世話役(人/100m3), 普通作業員(人/100m3), タンパ°運転(日/100m3), タンパ°						日当り施工量(m3/日)
タンパ°：タンパ°及びランマ(賃料)；質量60~80kg						
バックホウ規格選択：クローラ型山積 0.28m3(平積0.20m3)；100m3当り運転時間(時間), 日当り施工量(m3/日) (バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)						

代価表

55号代価表

100 m3当り

管路埋戻(機械埋戻・バックホ)
機械投入+締め サンドクッション用砂

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
岩石補正：補正なし バックホ：バックホ(排対1次)；クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)						

代価表

56号代価表

10 m3当り

Co殻処分工 ダンプ 4t BH0.45m3
7.6km Co塊(鉄筋)良好 DID無

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ダンプトラック 良好 オンロード・ディーゼル・積載質量4t積級	日				5号単価表	
コンクリート処理場 有筋	t	25				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 m3 当り						
規格の選択 : 4t 片道運搬距離(km) : L=7.6km						
積込機種区分 4t : バックホウ油圧式クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3) DID区間 : 無し						
土質区分 : K=0.37 ; :Co塊(鉄筋) ; 補正係数 損料補正(硬岩・As塊・Co無筋) : 補正無し						
代価表形式の選択 : 施工土量10m3当り代価表 路面の状態 : 良好						
ダンプトラック : ダンプトラック 良好 ; オンロード・ディーゼル・積載質量4t積級 処理料金 : 計上する						
処理料金(鉄筋) : コンクリート処理場 ; 有筋 1m3当りの廃棄物の数量(鉄筋) : 数量=2.5 t						

残土処分工
硬岩

代価表

57号代価表

1 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
発生土処分工 ｸﾞﾗﾝﾌﾟ 4t BH0.45m3 19.5km 硬岩 良好 DID無	m3	1			66号代価表 90頁	
【施P】整地 残土受入れ地での処理	m3	1			67号代価表 91頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

58号代価表

15 m 当り

軽量鋼矢板土留
バックホ建込+クレーン引抜

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
軽量鋼矢板建込工（両側分） 有効幅333mm 掘削深3.5m以下	m	15			68号代価表 92頁	
軽量鋼矢板引抜工（両側分） 有効幅333mm 掘削深3.5m以下	m	15			69号代価表 93頁	
支保工（軽量金属）設置・撤去 2段 水圧式ハイポート	m	15			70号代価表 94頁	
計						
1 m 当り						
1式当りの土留延長：L=15m 工種を選択：バックホによる建込とクレーンによる引抜 掘削深：YC=3.5；3.5m以下；掘削深上限(m以下) バックホによる軽量鋼矢板建込工の計上：計上する バックホによる軽量鋼矢板建込工：軽量鋼矢板建込工（両側分）；有効幅250mm 掘削深3.5m以下 クレーンによる軽量鋼矢板引抜工の計上：計上する クレーンによる軽量鋼矢板引抜工：軽量鋼矢板引抜工（両側分）；有効幅250mm 掘削深3.5m以下 土留支保工の計上：軽量金属支保工を計上する 土留支保・軽量金属支保工：支保工（軽量金属）設置・撤去；2段 水圧式ハイポート 軽量鋼矢板の計上：計上しない						

代価表

59号代価表

10 m 当り

U型側溝[市場単価] 再利用撤去・据付け
鉄筋コンクリートU型300*240*600 50m未満 砕石有

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
排水構造物工[手間のみ] U型側溝 L600mm 60を超え300kg/個以下	m	10				
排水構造物工[手間のみ] U型側溝 L600mm 60を超え300kg/個以下	m	10				
計						
1 m 当り						
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) : 無 代価表の当り数量 : 10当り代価表						
作業区分 : 再利用撤去・据付け 再利用撤去・据付けの積算方法 : 市場単価行(施工費)を設置・撤去別行で計上						
L=1,000mmL=4,000mmL=5,000mmの使用の有無 : 無(L=600又はL=2,000mm) U型側溝の種類(600・2000mm) : 鉄筋コンクリートU型JISA5372・300A・300*240*600						
施工規模 : 50m未満 夜間作業の補正 : 無						
施工箇所における補正 : 無 基礎砕石施工の有無 : 有						
基礎砕石の材料計上区分 : 計上する 基礎砕石の種類 : 再生クラッシュラン40~0						
基礎砕石の種類 再生クラッシュラン40~0 : 再生砕石 ; RC-40 基礎砕石10m当り設計数量 : Crua=0m3/10m, k1=1.2, CruA=0m3/10m						
市場単価の補正方法 : 単価欄に対して補正計算を行う 市場単価の日当り施工量補正有無 : 有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)						

代価表

60号代価表

1 m2当り

人力施工による植生工
植生マット工 500m2未満 制約無

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
法面工 人力施工による植生工[材工共] 植生マット工 肥料袋付き	m2	1				
計						
1 m2 当り						
代価表の当り数量：1当り代価表						
工種区分：植生マット工						
施工規模：500m2未満						
市場単価の補正方法：単価欄に対して補正計算を行う						
市場単価の日当り施工量補正有無：有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)						

代価表

61号代価表

2,000 m当り

通水試験工 2000m/日
既設管と連絡して給水車が不要

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1 m 当り						
施工単位の選択：m当り代価表 通水試験歩掛：S1=3, S2=3, S3=0, S4=20；既設管と連絡して給水車が不要の場合；通水試験工(φ800mm以下に適用)(1日当り):配管工(人),普通作業員(人), 一般運転手(人),器具損料及び諸雑費(%) 1日当り試験距離：D=2000m/日						

代価表

62号代価表

生コンクリート
24-12-25B種 W/C=55%以下

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
(高炉)生コンクリート 24-12-25 B種 W/C=55%以下	m3	1				
計						
1 m3 当り						
生コンクリート規格 各種 : (高炉)生コンクリート ; 21-8-25 B種 W/C=60%以下 生コンクリート規格 18-8-25(20)(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種 W/C=60%以下						
生コンクリートの夜間割増の有無 : 無						
生コンクリート小型車割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート山岳割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート冬期加熱費計上区分(標準=なし) : 計上しない						

代価表

【施P】現場発生品・支給品運搬
クレーン装置付2t積2t吊 9.0km以下 1.1t超1.5t以下

63号代価表

1 回当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	トラック クレーン装置付・積載質量 2t積・2.0t吊					
R						
R1	運転手(特殊)					
R2	普通作業員					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー ハトロール給油					
	トラック機種：クレーン装置付ベーストラック2t級、吊能力2t(参考)荷台長L=3.0m荷台幅W=1.6m 片道運搬距離：9.0km以下					
	1回当り平均積載質量：1.1t超1.5t以下 軽油 1.2号：軽油；小型ローリー ハトロール給油					

代価表

64号代価表

生コンクリート
18-8-40(高炉)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
(高炉)生コンクリート 18-8-25, 18-8-40 B種 W/C=60%以下	m3	1				
計						
1 m3 当り						
生コンクリート規格 18-8-40(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種 W/C=60%以下 生コンクリート規格 18-8-25(20)(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種 W/C=60%以下						
生コンクリートの夜間割増の有無 : 無 生コンクリート小型車割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート山岳割増額の計上 : 計上しない 生コンクリート冬期加熱費計上区分(標準=なし) : 計上しない						

代価表

65号代価表

生コンクリート
18-8-40(高炉)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
(高炉)生コンクリート 18-8-25, 18-8-40 B種	m3	1				
計						
1 m3 当り						
生コンクリート規格 18-8-40(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種 生コンクリート規格 18-8-25(20)(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種 W/C=60%以下						
生コンクリートの夜間割増の有無 : 無 生コンクリート小型車割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート山岳割増額の計上 : 計上しない 生コンクリート冬期加熱費計上区分(標準=なし) : 計上しない						

代価表

66号代価表

10 m3当り

発生土処分工 ダンプ 4t BH0.45m3
19.5km 硬岩 良好 DID無

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ダンプトラック 良好 岩25% オンロード・ディーゼル・積載質量4t積級	日				6号単価表	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 m3 当り						
規格の選択 : 4t 片道運搬距離(km) : L=19.5km						
積込機種区分 4t : ハックホリ油圧式クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3) DID区間 : 無し						
土質区分 : K=0.37 ; ※:硬岩 ; 補正係数 代価表形式の選択 : 施工土量10m3当り代価表						
路面の状態 : 良好 ダンプトラック : ダンプトラック 良好 岩25% ; オンロード・ディーゼル・積載質量4t積級						
処理料金 : 計上しない						

代価表

67号代価表

1 m3当り

【施P】整地
残土受入れ地での処理

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	ブルドーザ [排出ガス対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)					
R						
R1	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー バトル給油					
	作業区分：残土受入れ地での処理 (ブルドーザ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)					
	軽油 1.2号：軽油；小型ローリー バトル給油					

代価表

68号代価表

100 m当り

軽量鋼矢板建込工（両側分）
有効幅333mm 掘削深3.5m以下

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
バックホウ(排対1次) クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				7号単価表	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 m 当り						
軽量鋼矢板の規格：有効幅250mm(標準) 代価表の選択(250mm)：両側分 100m当り						
建込工機種選択：Ka1=0.2；バックホウ:クローラ型山積 0.28m3(平積0.20m3)；平積(m3) (建込工:バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)						
建込工:バックホウ：バックホウ(排対1次)；クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)						

代価表

69号代価表

100 m当り

軽量鋼矢板引抜工（両側分）
有効幅333mm 掘削深3.5m以下

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
トラッククレーン(作業料金) 4.9t吊 オペレータ付 日極	台/日					
計						
1 m 当り						
軽量鋼矢板の規格：有効幅250mm(標準) 代価表の選択(250mm)：両側分 100m当り						
引抜工使用機種：トラッククレーン (トラッククレーン)賃料長期割引の適用：トラッククレーン(作業料金)；4.9t吊 オペレータ付 日極						
(トラッククレーン)賃料深夜割増の適用：深夜割増なし						

代価表

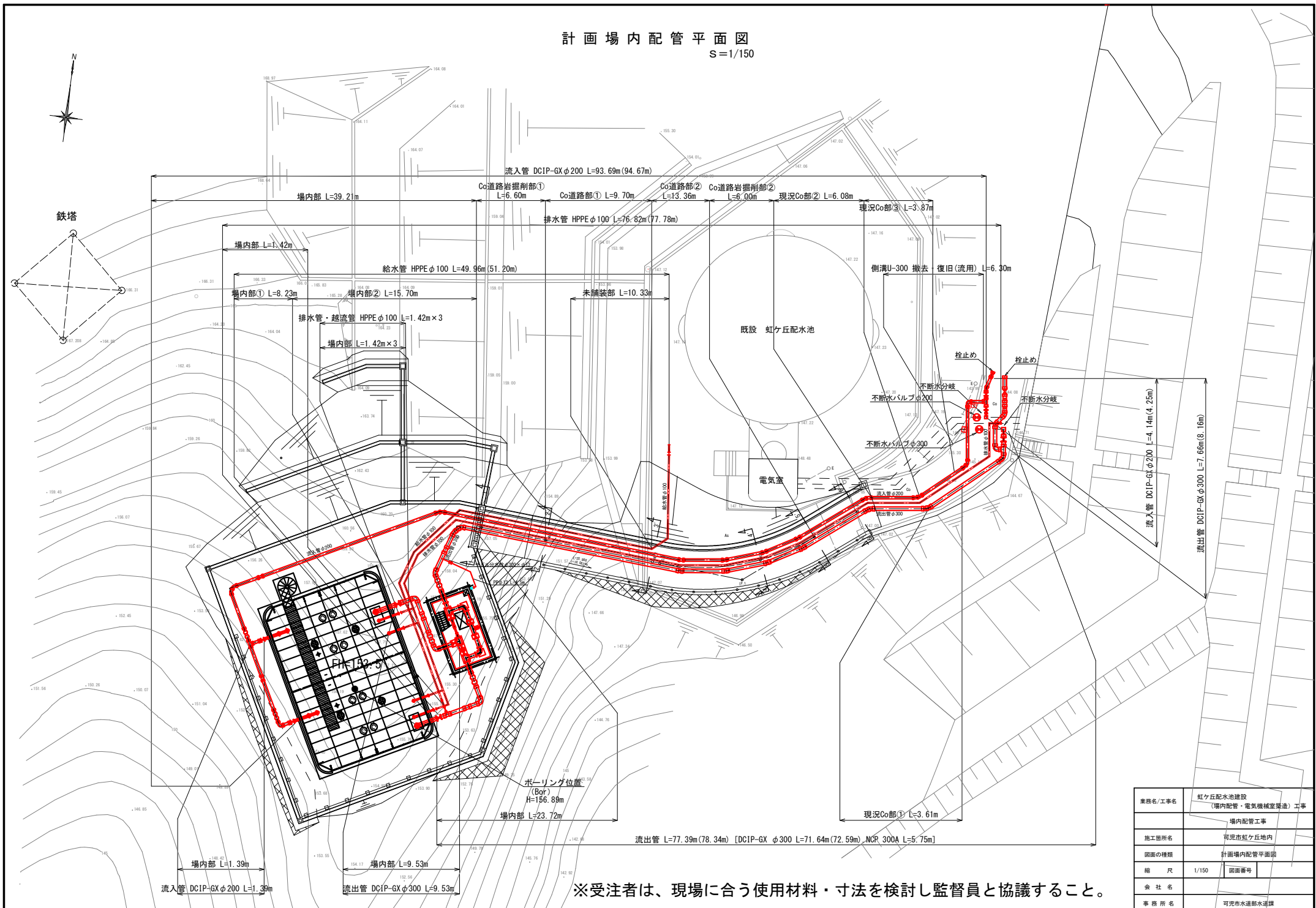
70号代価表

100 m当り

支保工(軽量金属)設置・撤去
2段 水圧式^ハイ^フサ^ホート

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 m 当り						
設置・撤去の選択 : 設置・撤去 段数選択 : 2段						
切梁材の選択 : 水圧式 ^ハ イ ^フ サ ^ホ ート 支保材計上区分 : 支保材料費を計上しない(施工費のみ)						

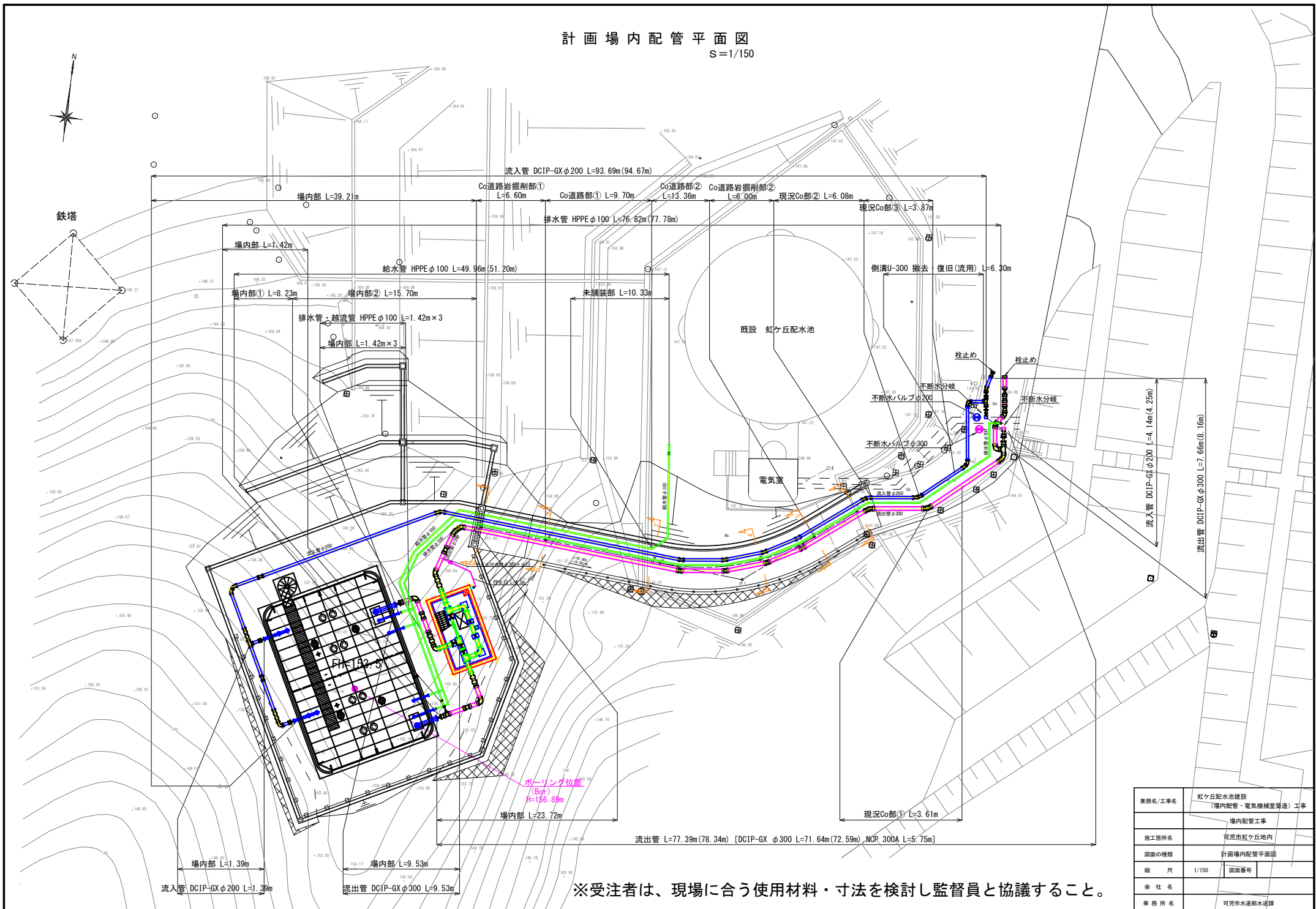
計画場内配管平面図
S=1/150



※受注者は、現場に合う使用材料・寸法を検討し監督員と協議すること。

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事	
	場内配管工事	
施工箇所名	青見市虹ヶ丘地内	
図面の種類	計画場内配管平面図	
縮尺	1/150	図面番号
会社名		
事務所名	可児市水道部水道課	

計画場内配管平面図
S=1/150

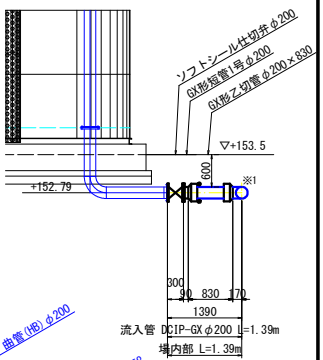
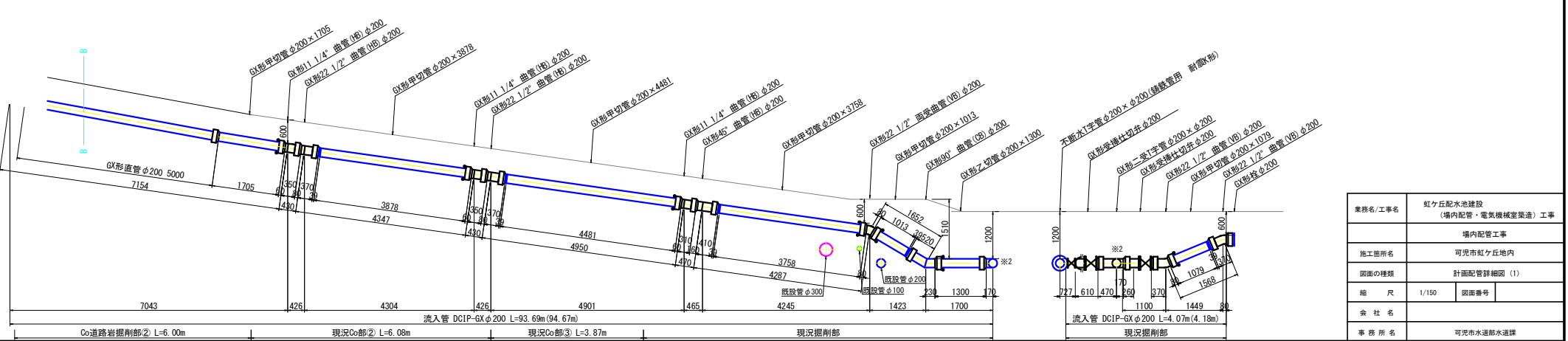
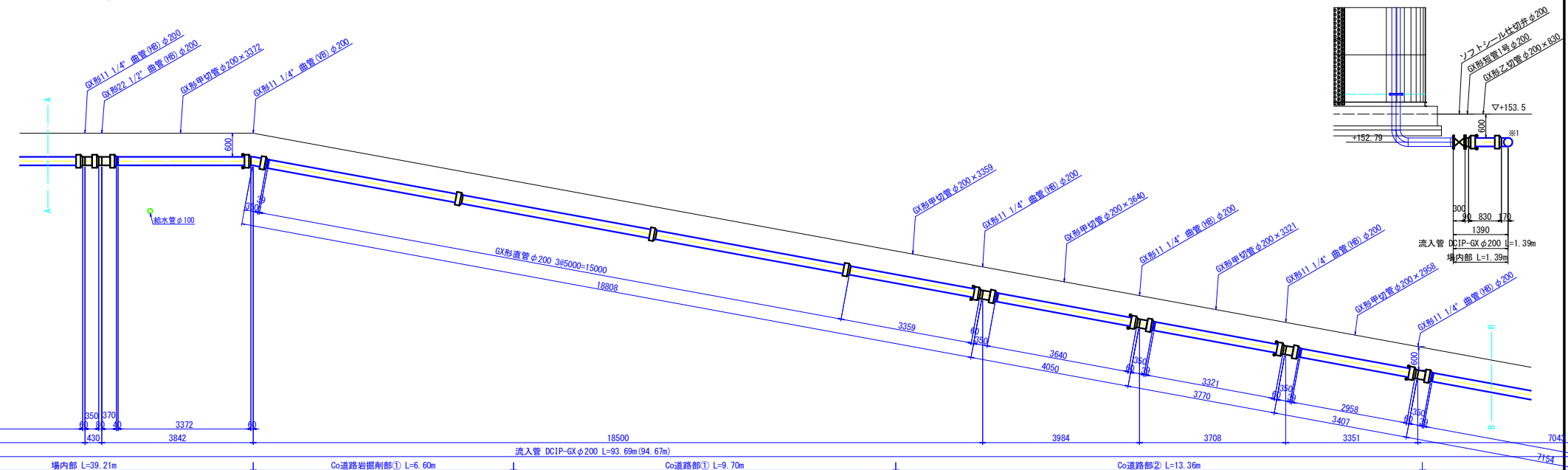
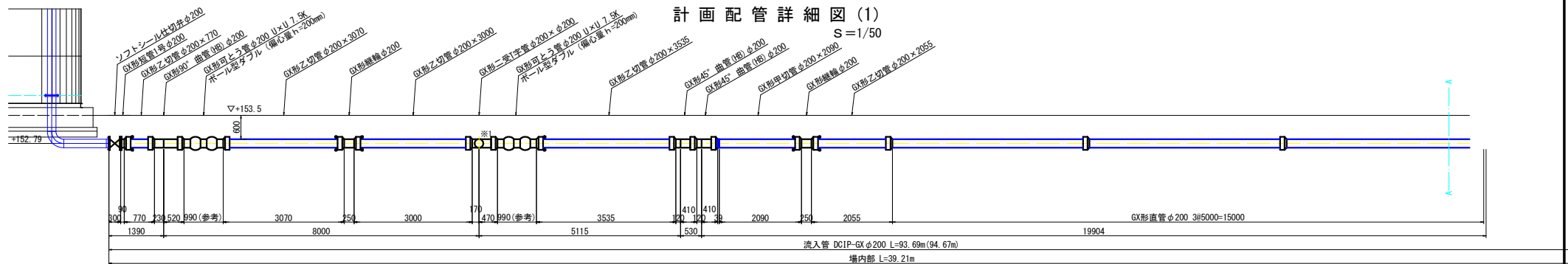


※受注者は、現場に合う使用材料・寸法を検討し監督員と協議すること。

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事	
	場内配管工事	
施工箇所	市見市虹ヶ丘地内	
図面の種類	計画場内配管平面図	
縮尺	1/150	図面番号
会社名		
事務所名	可児市水道部水道課	

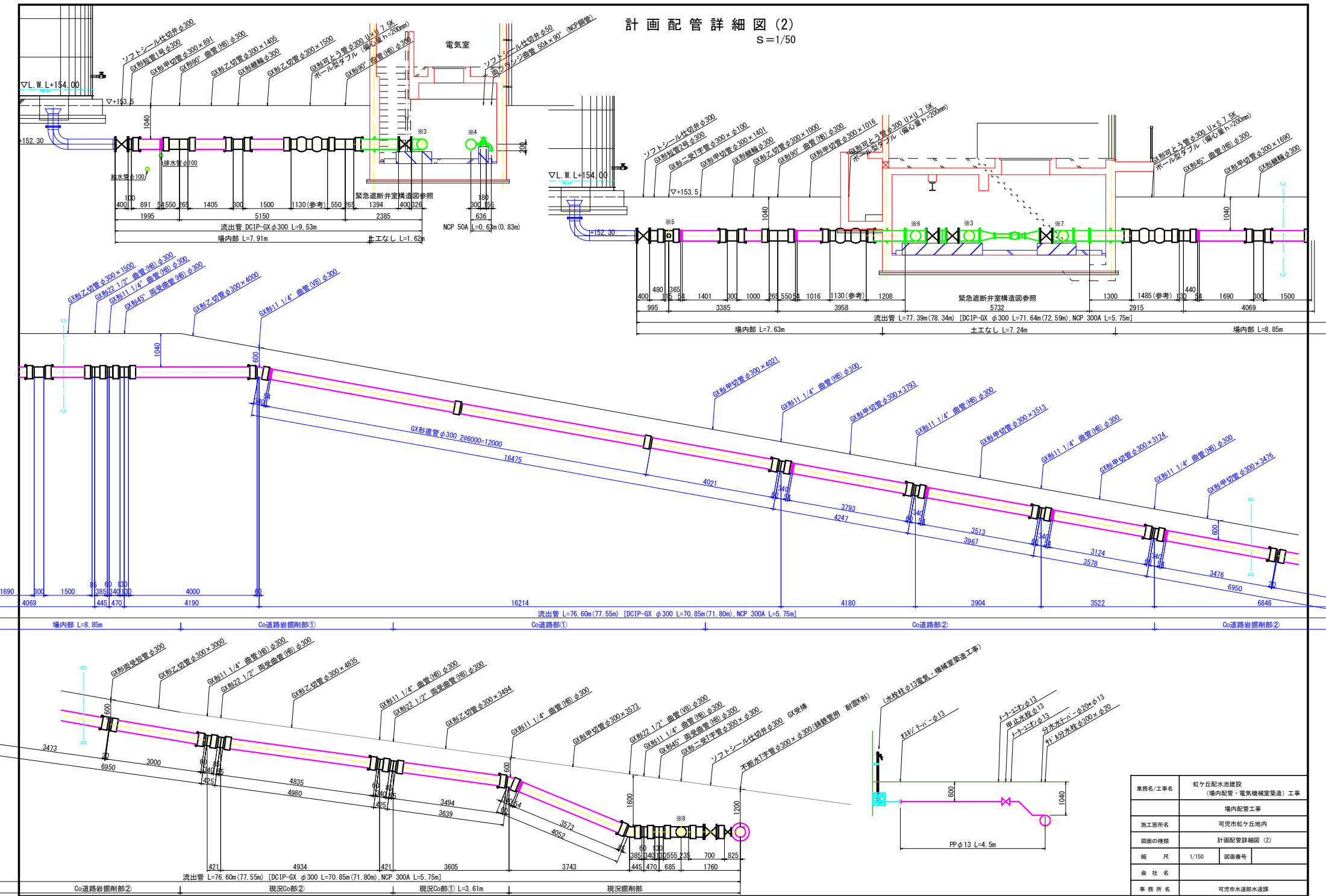
計画配管詳細図(1)

S=1/50



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事
場内配管工事	
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内
図面の種類	計画配管詳細図(1)
縮尺	1/150 図面番号
会社名	
事務所名	可児市水道部水道課

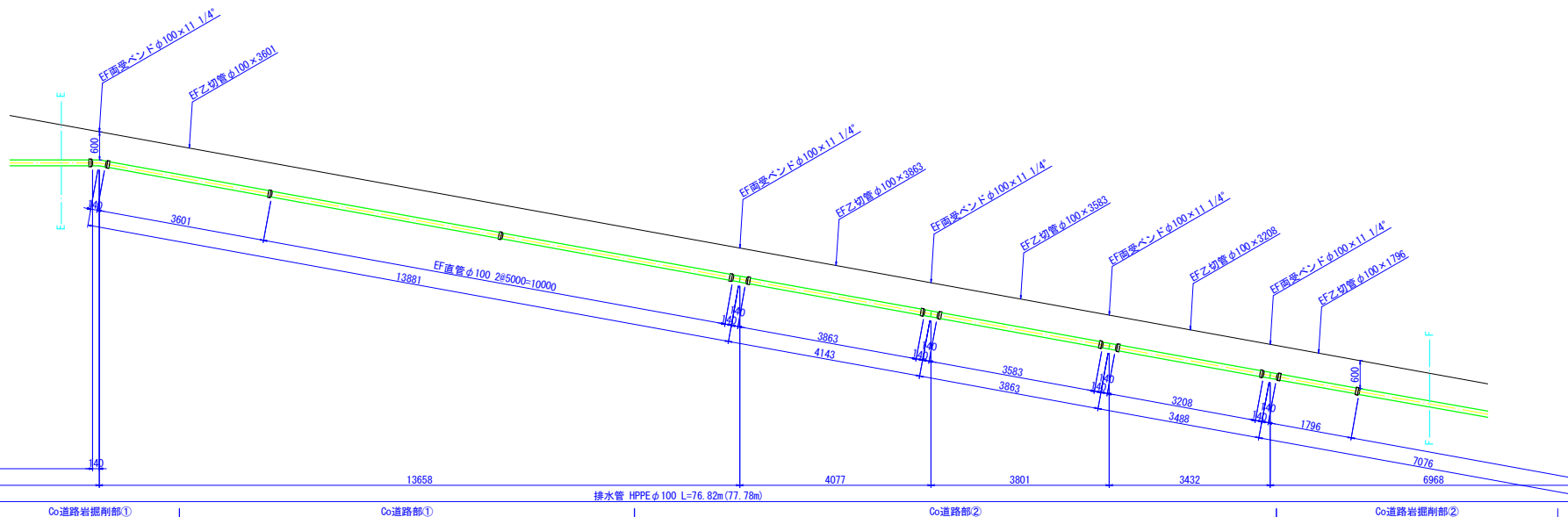
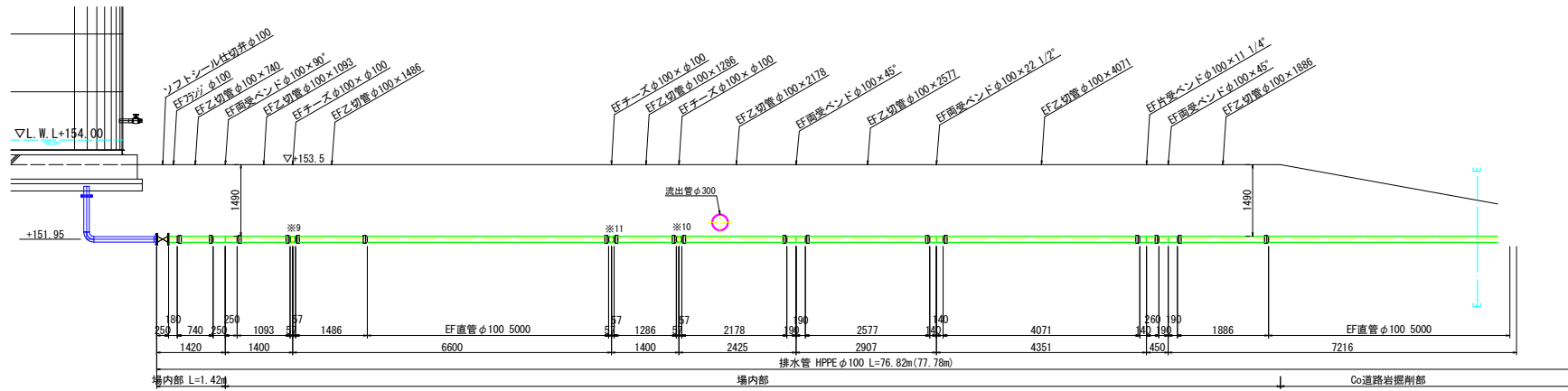
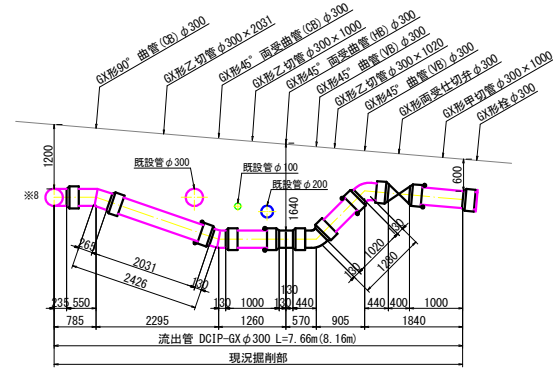
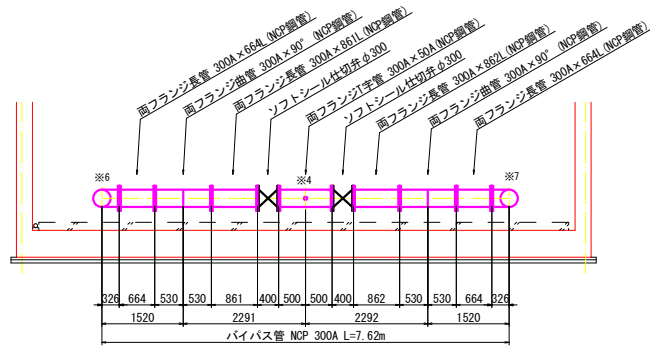
計画配管詳細図(2)
S=1/50



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事
場内配管工事	
施工箇所	可児市虹ヶ丘地内
図面の種類	計画配管詳細図(2)
縮尺	1/150 図面番号
会社名	
事務所名	可児市水道部水道課

計画配管詳細図(3)

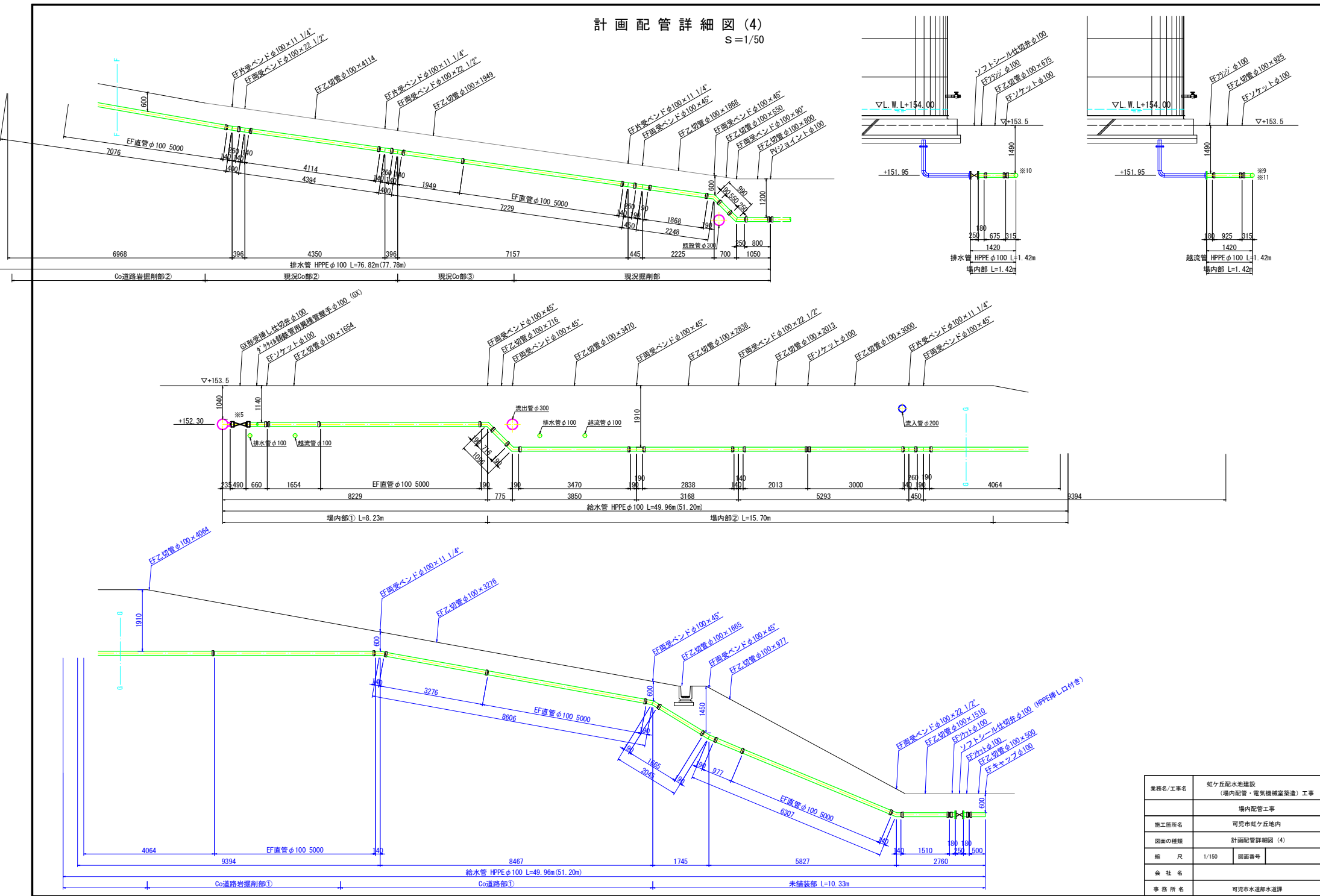
S=1/50



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事	
	場内配管工事	
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内	
図面の種類	計画配管詳細図(3)	
縮尺	1/150	図面番号
会社名		
事務所名	可見市水道部水道課	

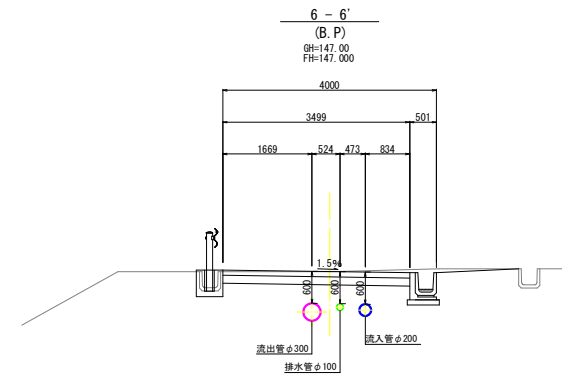
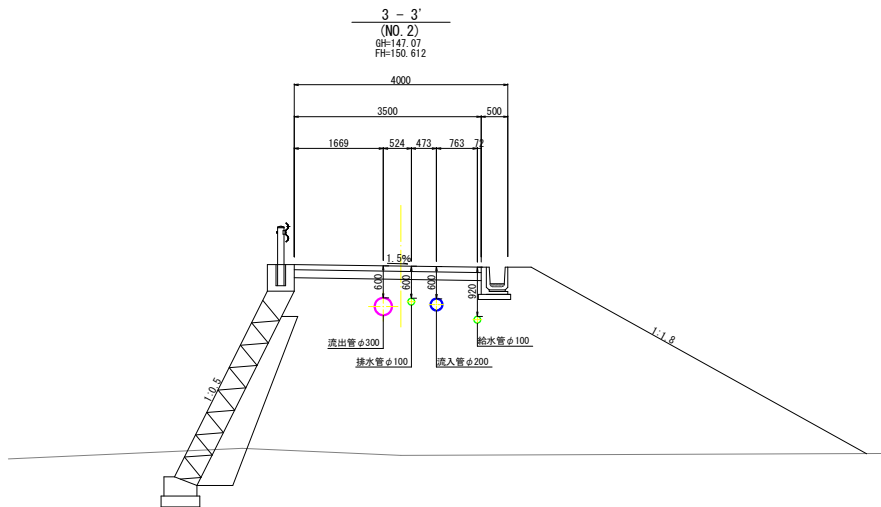
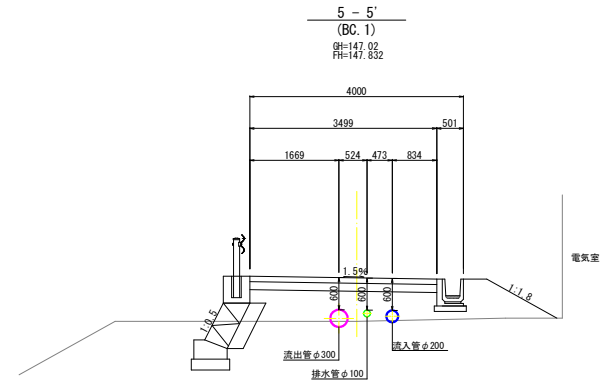
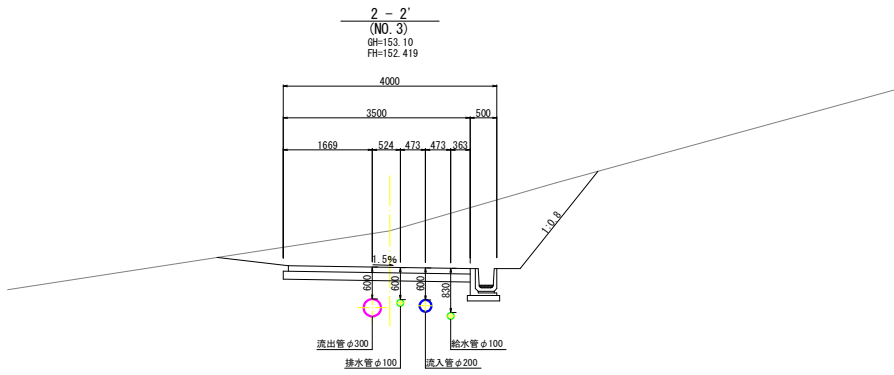
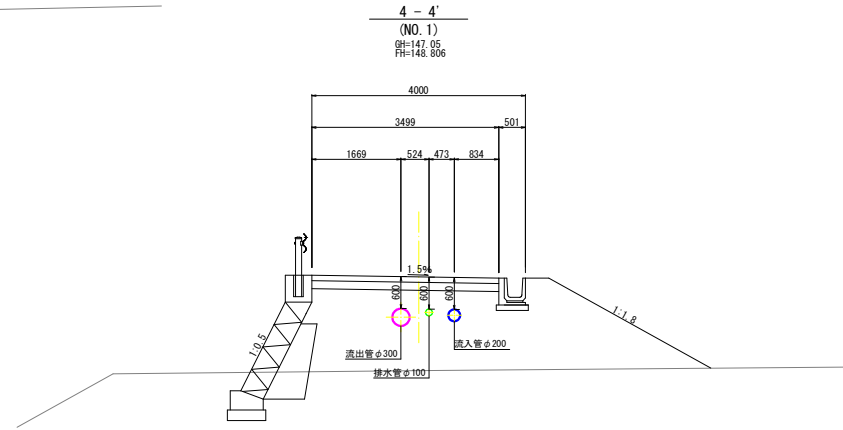
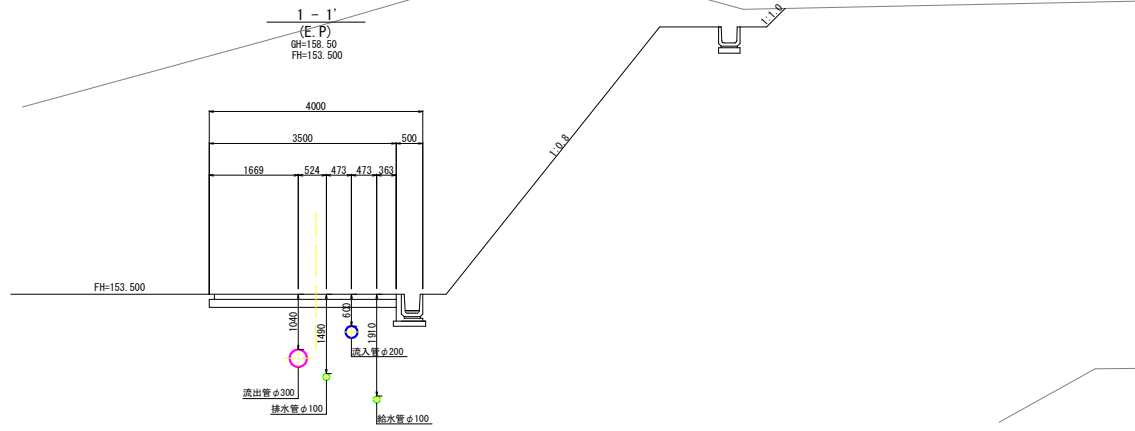
計画配管詳細図(4)

S=1/50



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	場内配管工事		
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内		
図面の種類	計画配管詳細図(4)		
縮尺	1/150	図面番号	
会社名			
事務所名	可見市水道部水道課		

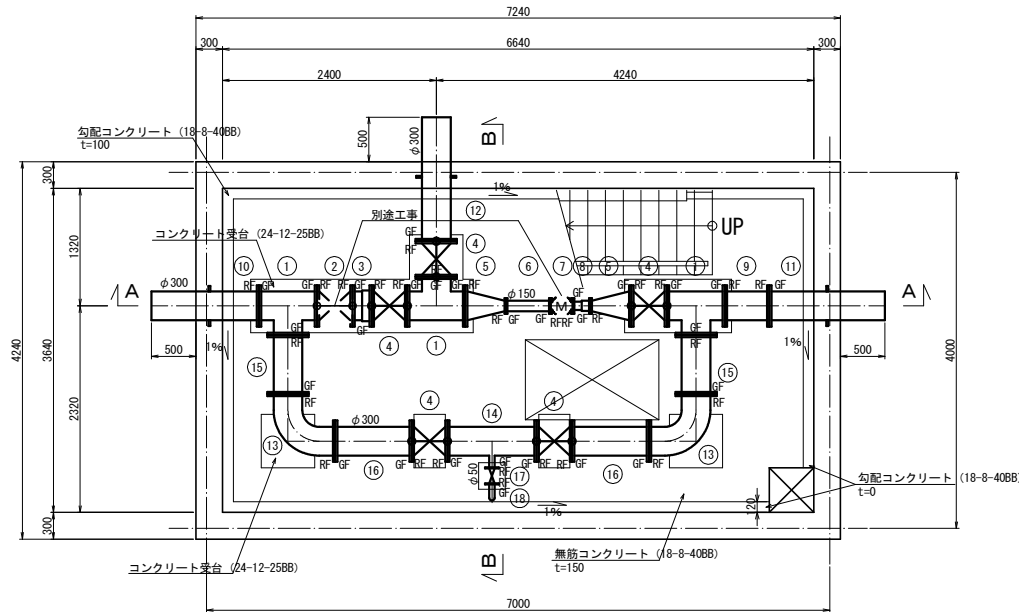
横断面
S=1/50



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事	
	場内配管工事	
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内	
図面の種類	横断面	
縮尺	1/150	図面番号
会社名		
事務所名	可見市水道部水道課	

緊急遮断弁室構造図
S=1/30

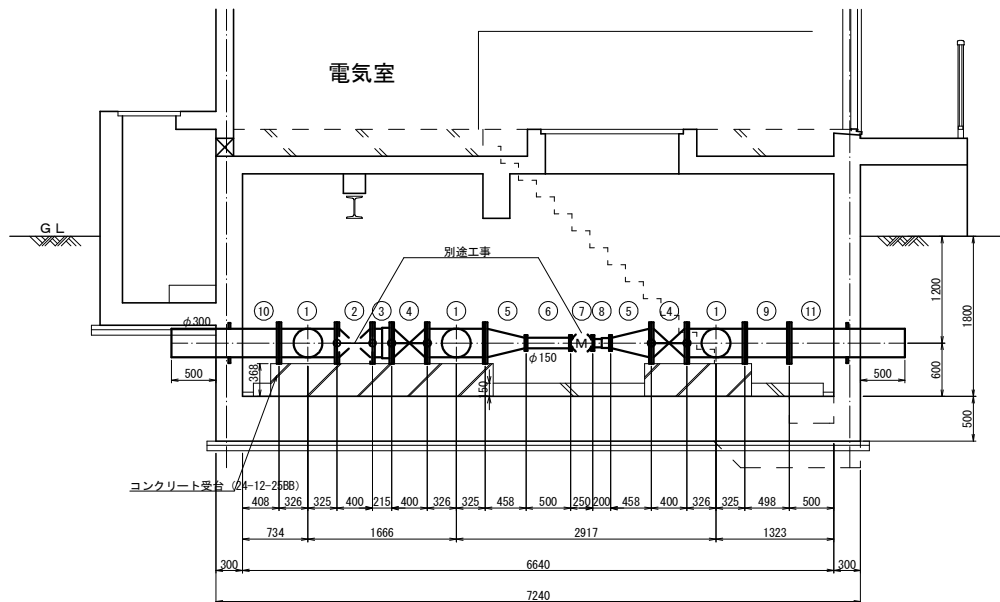
平面図



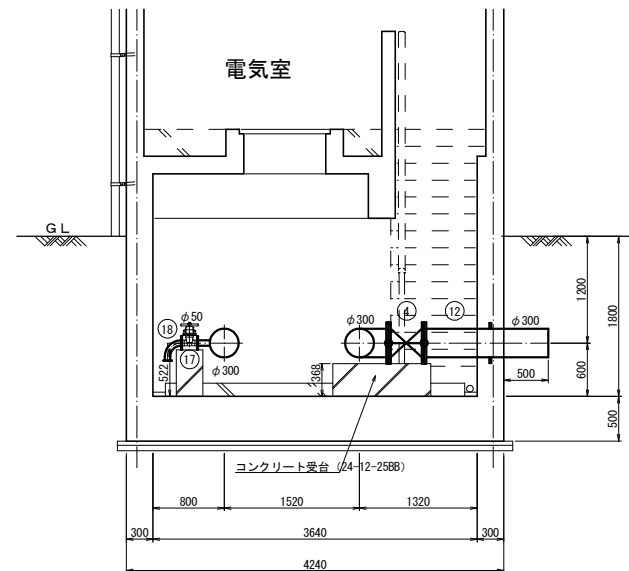
配管材料表

番号	名称	数量	摘要
1	三フランジT字管 300A×300A	3	NCP鋼管
2	緊急遮断弁 φ300	1	※別途工事
3	フランジアダプター φ300	1	
4	ソフトシール仕切弁 φ300	5	
5	両フランジ片落管 300A×100A	2	NCP鋼管
6	両フランジ短管 150A×500L	1	NCP鋼管
7	電磁流量計 φ150	1	※別途工事
8	フランジアダプター φ150	1	
9	両フランジ長管 300A×498L	1	NCP鋼管
10	片フランジ長管 300A×1208L	1	パドル付
11	片フランジ長管 300A×1300L	1	パドル付
12	片フランジ長管 300A×1394L	1	パドル付
13	両フランジ曲管 300A×90°	2	NCP鋼管
14	両フランジT字管 300A×50A	1	NCP鋼管
15	両フランジ長管 300A×664L	2	NCP鋼管
16	両フランジ長管 300A×862L	2	NCP鋼管
17	ソフトシール仕切弁 φ50	1	手動式 外ねじ式
18	両フランジ曲管 50A×90°	1	NCP鋼管

A-A断面図



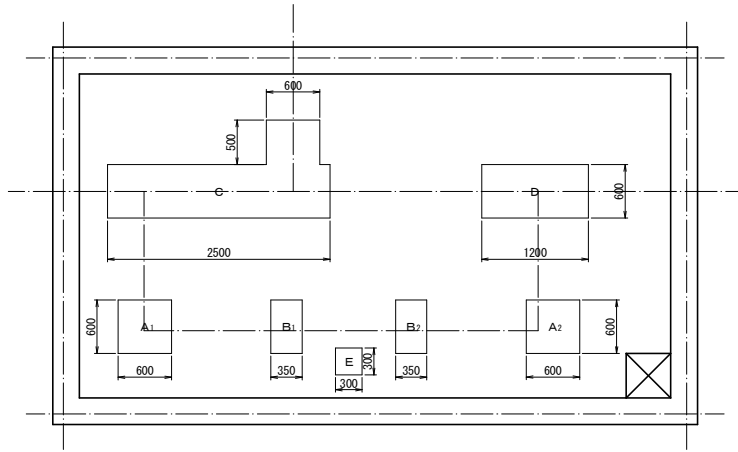
B-B断面図



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事	
	場内配管工事	
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内	
図面の種類	緊急遮断弁室構造図	
縮尺	1/150	図面番号
会社名		
事務所名	可見市水道部水道課	

基礎コンクリート図

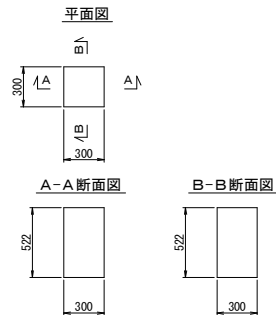
平面図
S=1/30



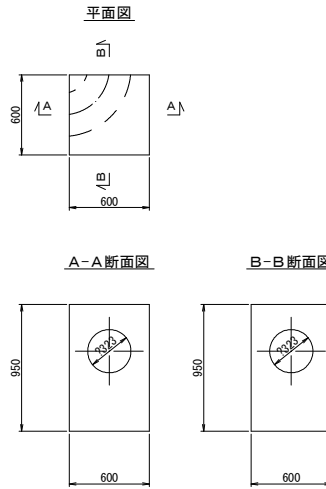
基礎コンクリート寸法表

	B	W	B ₁	W ₁	H	摘要
A ₁	600	600			950	
A ₂	600	600			950	
B ₁	350	600			368	
B ₂	350	600			368	
C	2500	600	600	500	368	
D	1200	600			368	
E	300	300			522	

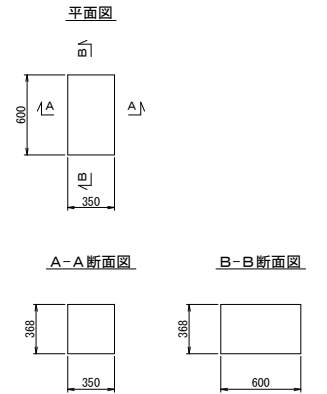
Eタイプ基礎詳細図
S=1/20



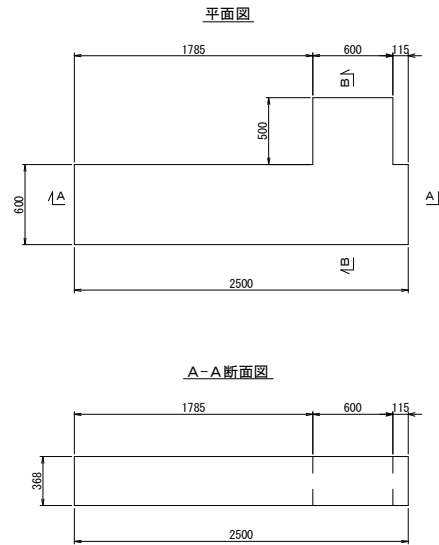
Aタイプ基礎詳細図
S=1/20



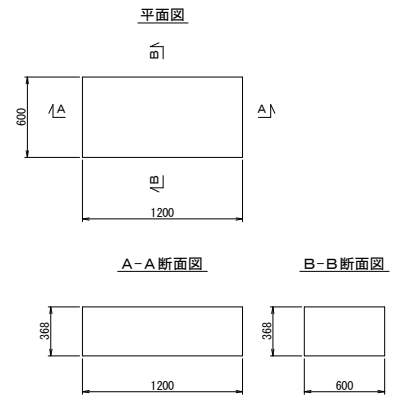
Bタイプ基礎詳細図
S=1/20



Cタイプ基礎詳細図
S=1/20



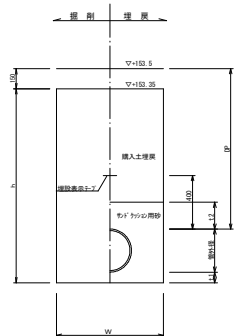
Dタイプ基礎詳細図
S=1/20



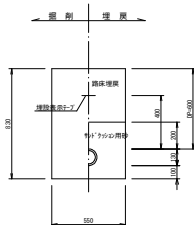
業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	場内配管工事		
施工場所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	コンクリート受台図		
縮尺	1/150	図番	
会社名			
事務所名	可児市水道部水道課		

土工定規図

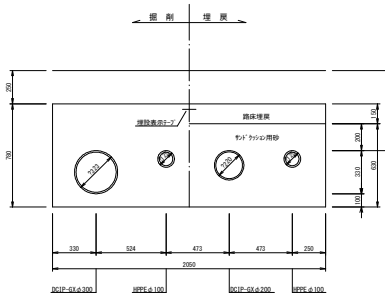
場内部



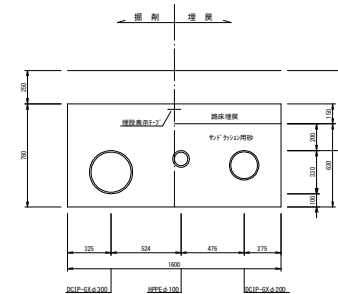
未舗装部



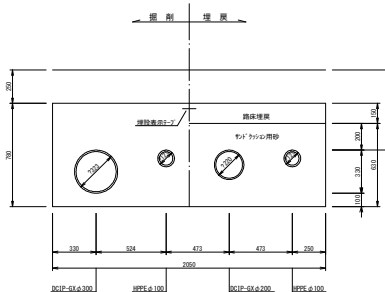
Co道路岩掘削部①



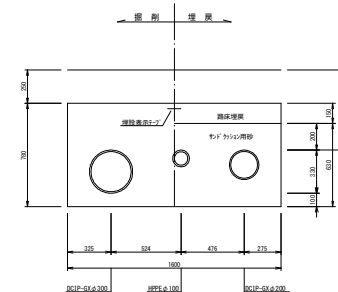
Co道路岩掘削部②



Co道路部①



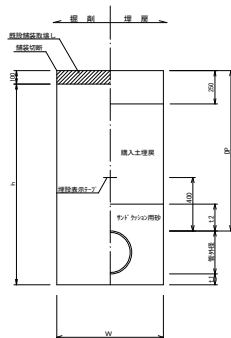
Co道路部②



場内部

口 径	DCIP-GXφ300	DCIP-GXφ200	HPPEφ100	HPPEφ100×2①	HPPEφ100×2②
管外径	323	220	125	125	125
土 被 DP	1040	600	1490	1490・1140	1490・1910
掘削幅 W	700	600	550	1000	1000
掘削深 h	1320	770	1570	1570・1220	1990・2410
敷 砂 t1	100	100	100	100	100
埋戻砂 t2	200	200	200	200	200

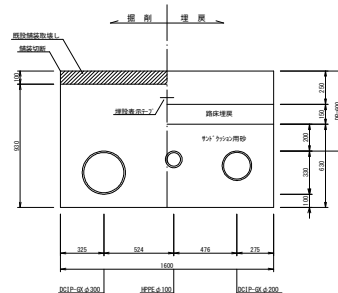
現況Co部①



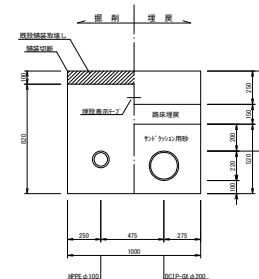
道路部

口 径	DCIP-GXφ300	DCIP-GXφ300
管外径	323	220
土 被 DP	600	600
掘削幅 W	700	600
掘削深 h	1030	920
敷 砂 t1	100	100
埋戻砂 t2	200	200

現況Co部②



現況Co部③



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事	
施工箇所名	場内配管工事	
図面の種類	土工定規図	
縮 尺	1/150	図面番号
会 社 名		
事 務 所 名	可児市水道部水道課	

本工事費内訳書

【電気・機械室築造】虹ヶ丘配水池建設（場内配管・電気機械室築造）工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
本工事費内訳書	式	1			費目行	
弁室	式	1			工種行	
土工（弁室）	式	1			1号明細書 7頁	
躯体工（弁室）	式	1			2号明細書 8頁	
付帯工（弁室）	式	1			3号明細書 10頁	
建築主体	式	1			工種行	
直接仮設（建築主体）	式	1			4号明細書 11頁	
土工事（建築主体）	式	1			5号明細書 12頁	
コンクリート工事（建築主体）	式	1			6号明細書 13頁	
型枠工事（建築主体）	式	1			7号明細書 14頁	
鉄筋工事（建築主体）	式	1			8号明細書 15頁	
防水工事（建築主体）	式	1			9号明細書 16頁	
タイル工事（建築主体）	式	1			10号明細書 17頁	
屋根工事（建築主体）	式	1			11号明細書 18頁	

本工事費内訳書

【電気・機械室築造】虹ヶ丘配水池建設（場内配管・電気機械室築造）工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
金属工事（建築主体）	式	1			12号明細書 19頁	
左官工事（建築主体）	式	1			13号明細書 20頁	
建具工事（建築主体）	式	1			14号明細書 21頁	
ユニット工事（建築主体）	式	1			15号明細書 22頁	
建築設備	式	1			工種行	
換気設備（建築設備）	式	1			16号明細書 23頁	
給水設備（建築設備）	式	1			17号明細書 24頁	
建築電気	式	1			工種行	
電灯設備（建築電気）	式	1			18号明細書 25頁	
直接工事費						
共通仮設費計						
共通仮設費（率分）	式	1			1号内訳書 4頁	
純工事費						
現場管理費	式	1			2号内訳書 5頁	

本工事費内訳書

【電気・機械室築造】虹ヶ丘配水池建設（場内配管・電気機械室築造）工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	備 考
工事原価						
一般管理費等	式	1			3号内訳書 6頁	
契約保証	%					
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額	%					
設計価格						

共通仮設費(率分)

内訳書

1号内訳書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
率分表示	式	1				
計						

現場管理費

内訳書

2号内訳書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
率分表示	式	1				
計						

一般管理費等

内訳書

3号内訳書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
率分表示	式	1				
計						

土工（弁室）

明細書

1号明細書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
【施P】掘削 硬岩 片切掘削 火薬不可 有り (50,000m3未満) 集積押土無し	m3	220			1号代価表 26頁	
【施P】基面整正	m2	33			2号代価表 28頁	
埋戻し 購入土	m3	140			3号代価表 29頁	
残土処分工 硬岩	m3	220			4号代価表 30頁	
計						

明細書

2号明細書

躯体工（弁室）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
鉄筋工[市場単価] SD295A・D10 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満(補)	t	0.100			5号代価表 31頁	
鉄筋工[市場単価] SD295A・D13 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満(補)	t	0.160			6号代価表 33頁	
鉄筋工[市場単価] SD345・D13 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満(補)	t	3.250			7号代価表 35頁	
鉄筋工[市場単価] SD345・D16・D25 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満	t	0.820			8号代価表 37頁	
鉄筋工[市場単価] SD345・D16・D25 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満	t	2.260			9号代価表 39頁	
【施P】鉄筋コンクリート 打設量10m3/日以上 24-12-25B種W/C=55%以下 一般養生	m3	41			10号代価表 41頁	
【施P】無筋コンクリート 打設量10m3/日以上 18-8-40(高炉) 一般養生	m3	0.200			11号代価表 43頁	
【施P】均しコンクリート 打設量10m3/日未満 18-8-40(高炉) 一般養生	m3	4			12号代価表 45頁	
【施P】型枠 一般型枠 鉄筋構造物	m2	192			13号代価表 46頁	
【施P】型枠 一般型枠 無筋構造物	m2	0.200			14号代価表 47頁	
円形型枠 フジシームレスチューブ 内径600×厚8.0×長4000mm	本	0.050				
【施P】型枠 一般型枠 均しコンクリート	m2	3			15号代価表 48頁	
【施P】基礎碎石 17.5cm超20.0cm以下 再生クラッシュラン40~0	m2	2			16号代価表 49頁	
手摺先行型枠組足場設置・撤去 安全ネット不要	掛m2	100			17号代価表 51頁	

明細書

2号明細書

躯体工（弁室）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
パイポット支保設置・撤去 $f \leq 40\text{kN/m}^2$ ($f \leq 4.1\text{t/m}^2$)	空m3	50			18号代価表 52頁	
計						

明細書

3号明細書

付帯工 (弁室)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
足掛金物設置工 (ステンレス製) φ22 (SUS304) W=400	本	5				
スチール製グレーチング 受枠共 開口 900*1500	組	1				
スチール製グレーチング 受枠共 開口 500*500	組	1				
マンホール蓋 φ600	個所	1				
HI-VP管 Φ75	m	0.200				
止水板 塩ビ製 FF150*5	m	21.800				
計						

明細書

4号明細書

直接仮設（建築主体）

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
墨出し RC造 地上	m2	28				
養生 RC造 地上	m2	28				
整理清掃後片付け RC造 地上	m2	28				
外部足場 枠組本足場 600	m2	151				
安全手摺	m	30	700			
災害防止 養生シート	m2	151				
内部躯体足場 鉄筋・型枠足場（脚立） 階高4.0以上5.0未満	m2	28				
計						

明細書

5号明細書

土工事（建築主体）

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
碎石地業	m3	0.100				
【施P】均しコンクリート 打設量10m3/日未満 FC18 S15 一般養生	m3	0.100			19号代価表 53頁	
計						

コンクリート工事（建築主体）

明細書

6号明細書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
躯体（コンクリート工事）	式	1			20号代価表 54頁	
外部（コンクリート工事）	式	1			21号代価表 55頁	
計						

明細書

7号明細書

型枠工事（建築主体）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
躯体（型枠工事）	式	1			22号代価表 56頁	
外部（型枠工事）	式	1			23号代価表 57頁	
内部（型枠工事）	式	1			24号代価表 58頁	
計						

明細書

8号明細書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
躯体（鉄筋工事）	式	1			25号代価表 59頁	
外部（鉄筋工事）	式	1			26号代価表 60頁	
計						

明細書

9号明細書

防水工事 (建築主体)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
外部 (防水工事)	式	1			27号代価表 61頁	
内部 (防水工事)	式	1			28号代価表 62頁	
計						

明細書

10号明細書

タイル工事 (建築主体)

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
段鼻タイル 60*150	m	6				
計						

明細書

11号明細書

屋根工事（建築主体）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
金属板葺 かん合型瓦棒 フッ素樹脂塗装鋼板 t=0.4 裏貼り ポリエチレンフォーム t=4	m2	49				
ポリエチレンフォーム保温板 PFt25	m2	49				
アスファルトルーフィング 940	m2	49				
唐草納め	m	8,200				
水上包み 止め面戸・エプロン面戸共	m	8,200				
妻包み	m	12				
軒樋 ステンス 化粧（R面付既製品）	m	8,200				
落し口 φ80	個所	2				
縦樋 ステンス φ80	m	8,800				
計						

明細書

12号明細書

金属工事（建築主体）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
外部（金属工事）	式	1			29号代価表 63頁	
内部（金属工事）	式	1			30号代価表 64頁	
計						

左官工事（建築主体）

明細書

13号明細書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
外部（左官工事）	式	1			31号代価表 65頁	
内部（左官工事）	式	1			32号代価表 66頁	
計						

明細書

14号明細書

建具工事 (建築主体)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
SSD-1 親子開き扉 取付け工事費込み ステンスHL 見込170 W1200×H2500 大型簡易気密(外部用)	個所	1				
AG-1 固定ガラリ 取付け工事費込み アルミB-2 見込70 W800×H800 防虫網付	個所	1				
計						

明細書

15号明細書

ユニット工事 (建築主体)

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
水抜きパイプ H1VPΦ20 L=250	個所	4				
水抜きパイプ打ち込み手間 1箇所あたり L1250mm	個所	4				
計						

明細書

16号明細書

換気設備（建築設備）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
機器設備	式	1			33号代価表 67頁	
ダクト設備	式	1			34号代価表 68頁	
総合調整	式	1			35号代価表 69頁	
計						

明細書

17号明細書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
横水栓 自動継手付 φ13	個	1			36号代価表 70頁	
不凍水栓柱 φ13 1.2m	個	1			37号代価表 71頁	
計						

明細書

18号明細書

電灯設備（建築電気）

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
分電盤	式	1			38号代価表 72頁	
電線管	式	1			39号代価表 73頁	
電線	式	1			40号代価表 74頁	
ボックス類	式	1			41号代価表 75頁	
配線器具	式	1			42号代価表 76頁	
電動機接続材 ビニル被覆有 (16) (19) ~F2 (17) 材工共	個所	1				
温度調節機 室内、2位置 T-5、15~40℃ 材工共	個	1			43号代価表 77頁	
照明器具	式	1			44号代価表 78頁	
計						

代価表

【施P】掘削
 硬岩 片切掘削 火薬不可 有り(50,000m3未満) 集積押土無し

1号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	バックホリ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クローラ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)					
K2	大型ブレイカ(ベースマシン含まず) 油圧式1300kg級					
R						
R1	特殊作業員					
R2	普通作業員					
R3	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー パトロール給油					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
土質：	硬岩					
施工方法：	片切掘削					
火薬使用：	不可					
破碎除去の有無：	有り(50,000m3未満)					
機種区分：	標準					

代価表

1号代価表

1 m3当り

【施P】掘削
硬岩 片切掘削 火薬不可 有り (50,000m3未満) 集積押土無し

名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
(バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第2次基準値) 軽油：軽油；小型ローリーパトロール給油					

【施P】 基面整正

代価表

2号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
R						
R1	普通作業員					

代価表

3号代価表

埋戻し
購入土

1 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
【施P】埋戻し	m3	1			45号代価表 79頁	
土木建設工事単価 盛土材	m3	1				
計						
1 m3 当り						

代価表

4号代価表

残土処分工
硬岩

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
【施P】土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3) 硬岩 DID無し 19.5km以下	m3	1			46号代価表 81頁	
【施P】整地 残土受入れ地での処理	m3	1			47号代価表 82頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

5号代価表

1 t 当り

鉄筋工[市場単価]

SD295A・D10 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トレ無 法面無 太径10%未満(補正無) 地下構造物

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
異形棒鋼 SD295A D10mm 0.56kg/m	t	1.030				
鉄筋工 加工・組立[手間のみ] 一般構造物	t	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 t 当り						
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 代価表単位の選択：t当り代価表						
代価表の当り数量：1当り代価表 資材計上区分：材料費+施工費						
鉄筋材料規格・径：SD295A・D10 鉄筋(SD295A・D10)：異形棒鋼 SD295A； D10mm 0.56kg/m						
鉄筋材料費の単位選択：「t」単位の鉄筋材料単価 規格・仕様区分：一般構造物						
施工規模：10t未満 夜間作業の補正：無						
トレ内作業の補正：無 法面作業の補正：無						
太径鉄筋補正：10%未満(補正無) 構造物種別による補正：地下構造物						

鉄筋工[市場単価]

SD295A・D10 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トシ無 法面無 太径10%未満(補正無) 地下構造物

代価表

5号代価表

1 t 当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
市場単価の補正方法：単価欄に対して補正計算を行う						
市場単価の日当り施工量補正有無：有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)						

代価表

6号代価表

鉄筋工[市場単価]

SD295A・D13 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トレ無 法面無 太径10%未満(補正無) 地下構造物

1 t 当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
異形棒鋼 SD295A D13mm 0.995kg/m	t	1.030				
鉄筋工 加工・組立[手間のみ] 一般構造物	t	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 t 当り						
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 代価表単位の選択：t当り代価表						
代価表の当り数量：1当り代価表 資材計上区分：材料費+施工費						
鉄筋材料規格・径：SD295A・D13 鉄筋(SD295A・D13)：異形棒鋼 SD295A； D13mm 0.995kg/m						
鉄筋材料費の単位選択：「t」単位の鉄筋材料単価 規格・仕様区分：一般構造物						
施工規模：10t未満 夜間作業の補正：無						
トレ内作業の補正：無 法面作業の補正：無						
太径鉄筋補正：10%未満(補正無) 構造物種別による補正：地下構造物						

代価表

6号代価表

1 t 当り

鉄筋工[市場単価]

SD295A・D13 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トシ無 法面無 太径10%未満(補正無) 地下構造物

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
市場単価の補正方法：単価欄に対して補正計算を行う						
市場単価の日当り施工量補正有無：有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)						

代価表

7号代価表

鉄筋工[市場単価]

SD345・D13 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 地下構造物

1 t 当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
異形棒鋼 SD345 D13mm 0.995kg/m	t	1.030				
鉄筋工 加工・組立[手間のみ] 一般構造物	t	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 t 当り						
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 代価表単位の選択：t当り代価表						
代価表の当り数量：1当り代価表 資材計上区分：材料費+施工費						
鉄筋材料規格・径：SD345・D13 鉄筋(SD345・D13)：異形棒鋼 SD345； D13mm 0.995kg/m						
鉄筋材料費の単位選択：「t」単位の鉄筋材料単価 規格・仕様区分：一般構造物						
施工規模：10t未満 夜間作業の補正：無						
トンネル内作業の補正：無 法面作業の補正：無						
太径鉄筋補正：10%未満(補正無) 構造物種別による補正：地下構造物						

鉄筋工[市場単価]

SD345・D13 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 地下構造物

代価表

7号代価表

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
市場単価の補正方法：単価欄に対して補正計算を行う						
市場単価の日当り施工量補正有無：有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)						

代価表

8号代価表

鉄筋工[市場単価]

SD345・D16~D25 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 地下構造物

1 t 当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
異形棒鋼 SD345 D16mm 1.56kg/m	t	1.030				
鉄筋工 加工・組立[手間のみ] 一般構造物	t	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 t 当り						
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 代価表単位の選択：t当り代価表						
代価表の当り数量：1当り代価表 資材計上区分：材料費+施工費						
鉄筋材料規格・径：SD345・D16~D25 鉄筋(SD345・D16~D25)：異形棒鋼 SD345； D16mm 1.56kg/m						
鉄筋材料費の単位選択：「t」単位の鉄筋材料単価 規格・仕様区分：一般構造物						
施工規模：10t未満 夜間作業の補正：無						
トンネル内作業の補正：無 法面作業の補正：無						
太径鉄筋補正：10%未満(補正無) 構造物種別による補正：地下構造物						

鉄筋工[市場単価]

SD345・D16・D25 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 地下構造物

代価表

8号代価表

1 t 当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
市場単価の補正方法：単価欄に対して補正計算を行う						
市場単価の日当り施工量補正有無：有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)						

代価表

9号代価表

鉄筋工[市場単価]

SD345・D16~D25 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 地下構造物

1 t 当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
異形棒鋼 SD345 D19mm 2.25kg/m	t	1.030				
鉄筋工 加工・組立[手間のみ] 一般構造物	t	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 t 当り						
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 代価表単位の選択：t当り代価表						
代価表の当り数量：1当り代価表 資材計上区分：材料費+施工費						
鉄筋材料規格・径：SD345・D16~D25 鉄筋(SD345・D16~D25)：異形棒鋼 SD345； D19mm 2.25kg/m						
鉄筋材料費の単位選択：「t」単位の鉄筋材料単価 規格・仕様区分：一般構造物						
施工規模：10t未満 夜間作業の補正：無						
トンネル内作業の補正：無 法面作業の補正：無						
太径鉄筋補正：10%未満(補正無) 構造物種別による補正：地下構造物						

鉄筋工[市場単価]

SD345・D16~D25 一般構造物 10t未満 制約無 夜間無 トンネル無 法面無 太径10%未満(補正無) 地下構造物

代価表

9号代価表

1 t 当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
市場単価の補正方法：単価欄に対して補正計算を行う						
市場単価の日当り施工量補正有無：有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)						

代価表

【施P】鉄筋コンクリート
打設量10m3/日以上 24-12-25B種W/C=55%以下 一般養生

10号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式・圧送能力 90~110m3/h					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
R4	運転手(特殊)					
Z					83頁	
Z1	生コンクリート 24-12-25B種W/C=55%以下				48号代価表 83頁	
Z2	軽油 小型ローリーハトロール給油					
	日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 構造物識別：無筋・鉄筋構造物					
	施工条件：打設量10m3/日以上又は打設地上高さ2m超 コンクリート規格：各種					

代価表

10号代価表

1 m3当り

【施P】鉄筋コンクリート
 打設量10m3/日以上 24-12-25B種W/C=55%以下 一般養生

名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
設計日打設量：10m3以上300m3未満 養生工の種類：一般養生					
圧送管の追加延長：延長無し 軽油：軽油；小型ローリーパトロール給油					
生コンクリート：生コンクリート；24-12-25B種W/C=55%以下					

代価表

【施P】無筋コンクリート
打設量10m3/日以上 18-8-40(高炉) 一般養生

11号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式・圧送能力 90~110m3/h					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
R4	運転手(特殊)					
Z					84頁	
Z1	生コンクリート 18-8-40(高炉)				49号代価表 84頁	
Z2	軽油 小型ローリーハトロール給油					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 構造物識別：無筋・鉄筋構造物					
施工条件	打設量10m3/日以上又は打設地上高さ2m超 コンクリート規格：18-8-40(高炉)					

代価表

【施P】無筋コンクリート
 打設量10m³/日以上 18-8-40(高炉) 一般養生

11号代価表

1 m³当り

No.	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
設計日	打設量：10m ³ 以上300m ³ 未満					
養生工	の種類：一般養生					
圧送管	の追加延長：延長無し					
軽油	：軽油； 小型ローリー バトル給油					
生コンクリート	：生コンクリート； 18-8-40(高炉)					

代価表

【施P】均しコンクリート
打設量10m3/日未満 18-8-40(高炉) 一般養生

12号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
Z					85頁	
Z1	生コンクリート 18-8-40(高炉)				50号代価表 85頁	
	日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 構造物識別：無筋・鉄筋構造物					
	施工条件：打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 コンクリート規格：18-8-40(高炉)					
	養生工の種類：一般養生 現場内小運搬の有無：無し					
	生コンクリート：生コンクリート；18-8-40(高炉)					

代価表

【施P】型枠
一般型枠 鉄筋構造物

13号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
R						
R1	型わく工					
R2	普通作業員					
R3	土木一般世話役					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
型枠の	種類：一般型枠					
構造物	の種類：鉄筋・無筋構造物					

代価表

【施P】型枠
一般型枠 無筋構造物

14号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
R						
R1	型わく工					
R2	普通作業員					
R3	土木一般世話役					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
型枠の	種類：一般型枠					
構造物	の種類：鉄筋・無筋構造物					

代価表

【施P】型枠
一般型枠 均しコンクリート

15号代価表

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
R						
R1	型わく工					
R2	普通作業員					
R3	土木一般世話役					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
型枠の	種類：一般型枠					
構造物	の種類：均しコンクリート					

代価表

【施P】基礎砕石
17.5cm超20.0cm以下 再生クラッシュラン40~0

16号代価表

1 m2当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	バックホウ(賃貸)クローラ 山積み0.8m3					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
R4	運転手(特殊)					
Z						
Z1	再生砕石 RC-40					
Z2	軽油 小型ローリー ハトロール給油					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
	砕石の厚さ：17.5cm超20.0cm以下					
	砕石の種類：再生クラッシュラン 40~0					
	(バックホウ山積み0.8m3) 賃料長期割引の適用：バックホウ(賃貸)クローラ；山積み0.8m3					

代価表

【施P】基礎砕石
17.5cm超20.0cm以下 再生クラッシュラン40~0

16号代価表

1 m2当り

名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
再生クラッシュラン 40~0 : 再生砕石 ; RC-40 軽油 : 軽油 ; 小型ローリー ハトロール給油					

代価表

17号代価表

手摺先行型枠組足場設置・撤去
安全ネット不要

100掛m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					
とび工	人					
普通作業員	人					
ラフテレンクレーン・作業料金 25t吊 オペレータ付 日極	台/日					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1 掛m2 当り						
歩掛 : S1'=1.4, S2'=6.3, S3'=1.2, S6'=1.4, SZ=34 ; 安全ネット不要 ; 手摺先行型枠組足場設置・撤去(100掛m2当り):土木一般世話役(人), とび工(人), 普通作業員(人), ラフテレンクレーン(日), 諸雑費(%)						
(クレーン)賃料長期割引の適用 : 長期割引あり						
クレーン賃料補正 : 標準						

代価表

18号代価表

パイポット支保設置・撤去
 $f \leq 40\text{kN/m}^2$ ($f \leq 4.1\text{t/m}^2$)

100 空m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					
型わく工	人					
とび工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1 空m3 当り						
総設置数量(V) : $V \leq 40$ 空m3 施工歩掛(標準+小規模) : $f \leq 40\text{kN/m}^2$ ($f \leq 4.1\text{t/m}^2$) : $t \leq 120\text{cm}$:標準(100空m3当り) ; 世話役(人), 型枠工(人), とび工(人), 普通作業員(人)						

代価表

【施P】均しコンクリート
打設量10m3/日未満 FC18 S15 一般養生

19号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
Z					86頁	
Z1	生コンクリート FC18 S15				51号代価表 86頁	
	日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 構造物識別：無筋・鉄筋構造物					
	施工条件：打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 コンクリート規格：18-8-40(高炉)					
	養生工の種類：一般養生 現場内小運搬の有無：無し					
	生コンクリート：生コンクリート；18-8-40(高炉)					

躯体 (コンクリート工事)

代価表

20号代価表

1 式 当 り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
【施P】鉄筋コンクリート 打設量10m ³ /日以上 FC24+3N S18 一般養生	m ³	31			52号代価表 87頁	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当 り						

外部（コンクリート工事）

代価表

21号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
【施P】嵩上げコンクリート 打設量10m ³ /日以上 18-8-40(高炉) 一般養生	m ³	0.500			53号代価表 89頁	
計						
1式当り						

代価表

22号代価表

1式当り

躯体（型枠工事）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
普通型枠 上部 壁式	m2	10.500				
打放合板型枠 B種 地上躯体部	m2	169				
打放合板型枠 C種 地上躯体部	m2	51.600				
型枠目地棒 打継目地 20*20	m	20.900				
型枠目地棒 誘発目地 20*20	m	87.400				
型枠運搬費	m2	229				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

外部（型枠工事）

代価表

23号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
打放し面補修 B種	m2	92.100				
打放し面補修 C種	m2	25.700				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

代価表

24号代価表

1式当り

内部（型枠工事）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
打放し面補修 B種	m2	76.600				
打放し面補修 C種	m2	25.900				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

代価表

25号代価表

1式当り

躯体（鉄筋工事）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
鉄筋工[市場単価] SD295A・D10 一般構造物 10t未満	t	2.030			54号代価表 91頁	
鉄筋工[市場単価] SD295A・D13 一般構造物 10t未満	t	1.100			55号代価表 93頁	
鉄筋工[市場単価] SD295A・D16 一般構造物 10t未満	kg				56号代価表 95頁	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

外部（鉄筋工事）

代価表

26号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
溶接金網 異形鉄線 CD6 100×100mm	m2	2.200				
溶接金網・付帯工事 異形鉄筋金網 【手間のみ】 D6 100×100mm	m2	2.200				
計						
1式当り						

外部（防水工事）

代価表

27号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
シーリング PU-2 20*10 打継目地	m	20.900				
シーリング PU-2 20*10 誘発目地	m	43.600				
シーリング PU-2 10*10 建具周囲	m	10.600				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

内部（防水工事）

代価表

28号代価表

1式当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
シーリング PU-2 20*10 誘発目地	m	43.800				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当 り						

外部（金属工事）

代価表

29号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
アルミ手摺（水平） W1100*H1100	個所	1				
アルミ手摺（水平） W2600*H1100 取り外し式	個所	1				
アルミ手摺（斜め） W1700*H900	個所	1				
アルミ手摺取付け工事費 外部・内部 込	式	1				
計						
1式当り						

内部（金属工事）

代価表

30号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
アルミ手摺（斜め） W3800*H900	個所	1				
ホイストレール設置工	式	1			57号代価表 97頁	
段鼻ノンスリップ金物 ステンレス	m	13.500				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

代価表

31号代価表

1式当り

外部（左官工事）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
屋根均しモルタル t 30	m2	49				
床コンクリート直均し仕上げ 仕上げ	m2	2,300				
庇コンクリート直均し仕上げ 吹付け下	m2	3,800				
天端コンクリート直均し仕上げ W200	m	5,200				
外壁 複層塗材RE 凹凸模様 コンクリート面 下地調整C-1共	m2	88,100				
軒裏 外装薄塗材E 砂壁状 コンクリート面 下地調整C-1共	m2	21,900				
庇天端 複層塗材RE トップコートのみ コンクリート面 下地調整C-1共	m2	3,800				
建具周囲モルタル詰め 防水材入り	m	10,600				
踏面ヶ込モルタル	m2	2,200				
段溝モルタル	m2	2,500				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

代価表

32号代価表

1式当り

内部（左官工事）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
踏面ヶ込モルタル	m2	5.200				
諸雑費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

代価表

33号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
FE-1 排気ファン 斜流ファン 鋼板製 φ300*0.5kw	台	1				
搬入・据付費	式	1			58号代価表 98頁	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

代価表

34号代価表

1式当り

ダクト設備

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
長方形ダクト（低圧） 亜鉛鉄板、共板工法、0.5mm 材工共	m2	11				
長方形ダクト（低圧） 亜鉛鉄板、共板工法、0.6mm 材工共	m2	1				
ボックス（低圧） 亜鉛鉄板、共板工法、0.5mm 材工共	m2	1				
たわみ継手 送風機用、No2 材工共	組	1				
吸込口 アルミ製、GVS 200×200 材工共	個	1			59号代価表 99頁	
吸込口 アルミ製、GVS 450×200 材工共	個	2			60号代価表 100頁	
ダンパー 鋼板製 VD 150×150 材工共	個	1			61号代価表 101頁	
ダンパー 鋼板製 VD 300×300 材工共	個	1			62号代価表 102頁	
ウェザーカバー 換気扇φ250用 SUS製 深形 防鳥網付 材工共	個	1			63号代価表 103頁	
風量測定口 材工共	個	2			64号代価表 104頁	
塗装工事 亜鉛鉄板が外上 調合ペイント 材工共	m2	12				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

代価表

35号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ダクト系統 長方形ダクト 材工共	m2	12			65号代価表 105頁	
計						
1式当り						

代価表

37号代価表

不凍水栓柱
φ13 1.2m

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
不凍水栓柱 φ13 1.2m	個	1				
固定バンド SUS製	個	1				
鋼管小口径管ねじ込み接合 据付 呼び径13mm	口	1			66号代価表 106頁	
砂利地業	m3	0.100				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 個 当 り						

代価表

38号代価表

1式当り

分電盤

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
分電盤 D・L-1 鋼板製、露出形	面	1				
雑材料 盤価格*0.02	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

電線管

代価表

39号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
電線管 ねじなし管 露出 (19) 材工共	m	20				
電線管 ねじなし管 露出 (25) 材工共	m	11				
電線管 ねじなし管 露出 (31) 材工共	m	9				
電線管 HIVE管 露出 (16) 材工共	m	12			67号代価表 107頁	
電線管 HIVE管 露出 (22) 材工共	m	4			68号代価表 108頁	
電線管 PE管 インペイ (16) 材工共	m	2				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当 り						

電線

代価表

40号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
電線 EM-IE 管内 1.6mm 材工共	m	155				
電線 EM-IE 管内 2.0mm 材工共	m	36				
電線 EM-IE PF管内 1.6mm 材工共	m	8			69号代価表 109頁	
導入線 カー鉄線 管内 1.2mm 材工共	m	6			70号代価表 110頁	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当 り						

代価表

41号代価表

1式当り

ボックス類

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
アウトレットボックス 樹脂製 中形四角44 材工共	個	2				
丸型露出ボックス 樹脂製 3方出 (22) 材工共	個	3				
丸型露出ボックス 鋼製 3方出 (25) 材工共	個	4				
露出スイッチボックス 樹脂製 1方出 1個用 (22) 材工共	個	1			71号代価表 111頁	
露出スイッチボックス 鋼製 1方出 1個用 (25) 材工共	個	4				
露出スイッチボックス 鋼製 1方出 1個用 (25) 材工共	個	1				
プルボックス 塗装仕上げ 鋼製 露出SS 0.2㎡以上0.3㎡未満 材工共	m2	0.500				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

代価表

42号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
タンブラスイッチ 金属プレート 1P15A*1 材工共	個	1			72号代価表 112頁	
タンブラスイッチ (ホテル) 金属プレート 3WH15A*1 材工共	個	1			73号代価表 113頁	
タンブラスイッチ (ホテル) 金属プレート 1PH15A*1+3WH15A*1 材工共	個	1			74号代価表 114頁	
自動点滅器 プラグイン式 3A 100~200V 材工共	個	1			75号代価表 115頁	
埋め込みコンセント 金属プレート 2P15A*2口 材工共	個	1			76号代価表 116頁	
防水コンセント 抜止、防雨 合成樹脂製 2P15A*2口 材工共	個	1			77号代価表 117頁	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

代価表

43号代価表

1 個 当 り

温度調節機
室内、2位置 T-5、15～40℃ 材工共

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
温度調節機 室内、2位置 15～40℃	個所	1				
調整費 材*0.1	式	1				
電工	人					
その他 労*0.10	式	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 個 当 り						

代価表

44号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
LED灯 一体型 LSS9-3200LM 材工共	個	3			78号代価表 118頁	
LED灯 鋼板製、防湿 直管型 高出力、1灯用 材工共	個	3			79号代価表 119頁	
LED灯 SUS製枠、防雨 ブラケット 蛍光灯20W相当 材工共	個	1			80号代価表 120頁	
LED非常灯 一体型 LSS9-3200LMタイプ 材工共	個	2			81号代価表 121頁	
LED非常灯 鋼板製、防湿、電池内臓 直管型 高出力、1灯用 材工共	個	1			82号代価表 122頁	
誘導標識 避難口用 蓄光式、中輝度 材工共	個	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						

代価表

45号代価表

1 m3当り

【施P】埋戻し

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)					
K2	タンパ(賃貸) 質量60~80kg					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー パトロール給油					
Z2	レギュラーガソリン スタント					
	施工方法：最大埋戻幅1m未満 (バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値) (タンパ)賃料長期割引の適用：タンパ(賃貸)；質量60~80kg 軽油：軽油；小型ローリー パトロール給油					

代価表

【施P】土砂等運搬
標準 バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3) 硬岩 DID無し 19.5km以下

46号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	ダンプトラック オンロード・ティール・積載質量10t積級					
R						
R1	運転手(一般)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリーハトル給油					
	土砂等発生現場：標準 積込機種・規格：バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)					
	土質：硬岩 DID区間の有無：無し					
	運搬距離：19.5km以下 軽油：軽油； 小型ローリーハトル給油					

代価表

47号代価表

1 m3当り

【施P】整地
残土受入れ地での処理

	名 称 ・ 規 格	構 成 比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	フルトラクタ [排出ガス対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)					
R						
R1	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー バトル給油					
	作業区分：残土受入れ地での処理 (フルトラクタ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)					
	軽油 1.2号：軽油； 小型ローリー バトル給油					

代価表

48号代価表

1 m3当り

生コンクリート
24-12-25B種 W/C=55%以下

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
(高炉)生コンクリート 24-12-25 B種 W/C=55%以下	m3	1				
計						
1 m3 当り						
生コンクリート規格 各種 : (高炉)生コンクリート ; 21-8-25 B種 W/C=60%以下 生コンクリート規格 18-8-25(20)(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種 W/C=60%以下						
生コンクリートの夜間割増の有無 : 無 生コンクリート小型車割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート山岳割増額の計上 : 計上しない 生コンクリート冬期加熱費計上区分(標準=なし) : 計上しない						

代価表

49号代価表

生コンクリート
18-8-40(高炉)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
(高炉)生コンクリート 18-8-25, 18-8-40 B種	m3	1				
計						
1 m3 当り						
生コンクリート規格 18-8-40(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種 生コンクリート規格 各種 : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種						
生コンクリート規格 18-8-25(20)(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種 W/C=60%以下 生コンクリートの夜間割増の有無 : 無						
生コンクリート小型車割増額の計上 : 計上しない 生コンクリート山岳割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート冬期加熱費計上区分(標準=なし) : 計上しない						

代価表

50号代価表

生コンクリート
18-8-40(高炉)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
(高炉)生コンクリート 18-8-25, 18-8-40 B種	m3	1				
計						
1 m3 当り						
生コンクリート規格 18-8-40(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種 生コンクリート規格 18-8-25(20)(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種						
生コンクリートの夜間割増の有無 : 無						
生コンクリート小型車割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート山岳割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート冬期加熱費計上区分(標準=なし) : 計上しない						

代価表

51号代価表

生コンクリート
FC18 S15

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
生コンクリート FC18 S15	m3	1				
計						
1 m3 当り						
生コンクリート規格 18-8-40(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種 生コンクリート規格 18-8-25(20)(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種						
生コンクリートの夜間割増の有無 : 無 生コンクリート小型車割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート山岳割増額の計上 : 計上しない 生コンクリート冬期加熱費計上区分(標準=なし) : 計上しない						

代価表

【施P】鉄筋コンクリート
打設量10m3/日以上 FC24+3N S18 一般養生

52号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式・圧送能力 90~110m3/h					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
R4	運転手(特殊)					
Z					123頁	
Z1	生コンクリート FC24+3N S18				83号代価表 123頁	
Z2	軽油 小型ローリーハトロール給油					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 構造物識別：無筋・鉄筋構造物					
施工条件	打設量10m3/日以上又は打設地上高さ2m超 コンクリート規格：各種					

代価表

【施P】鉄筋コンクリート
 打設量10m3/日以上 FC24+3N S18 一般養生

52号代価表

1 m3当り

名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
設計日打設量：10m3以上300m3未満 養生工の種類：一般養生					
圧送管の追加延長：延長無し 軽油：軽油； 小型ローリー バトル給油					
生コンクリート：生コンクリート； 24-12-25B種W/C=55%以下					

代価表

【施P】嵩上げコンクリート
打設量10m3/日以上 18-8-40(高炉) 一般養生

53号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式・圧送能力 90~110m3/h					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
R4	運転手(特殊)					
Z					124頁	
Z1	生コンクリート FC18 S15				84号代価表 124頁	
Z2	軽油 小型ローリー バトロール給油					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 構造物識別：無筋・鉄筋構造物					
施工条件	打設量10m3/日以上又は打設地上高さ2m超 コンクリート規格：18-8-40(高炉)					

代価表

【施P】嵩上げコンクリート
打設量10m³/日以上 18-8-40(高炉) 一般養生

53号代価表

1 m³当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
設計日	打設量：10m ³ 以上300m ³ 未満					
養生工	の種類：一般養生					
圧送管	の追加延長：延長無し					
軽油	：軽油；小型ローリーパトロール給油					
生コンクリート	：生コンクリート；18-8-40(高炉)					

代価表

54号代価表

1 t 当り

鉄筋工[市場単価]
SD295A・D10 一般構造物 10t未満

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
異形棒鋼 SD295A D10mm 0.56kg/m	t	1.030				
鉄筋工 加工・組立[手間のみ] 一般構造物	t	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 t 当り						
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 代価表単位の選択：t当り代価表						
代価表の当り数量：1当り代価表 資材計上区分：材料費+施工費						
鉄筋材料規格・径：SD295A・D10 鉄筋(SD295A・D10)：異形棒鋼 SD295A； D10mm 0.56kg/m						
鉄筋材料費の単位選択：「t」単位の鉄筋材料単価 規格・仕様区分：一般構造物						
施工規模：10t未満 夜間作業の補正：無						
トコ内作業の補正：無 法面作業の補正：無						
太径鉄筋補正：10%未満(補正無) 構造物種別による補正：補正無(一般構造物)						

代価表

55号代価表

鉄筋工[市場単価]
SD295A・D13 一般構造物 10t未満

1 t 当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
異形棒鋼 SD295A D13mm 0.995kg/m	t	1.030				
鉄筋工 加工・組立[手間のみ] 一般構造物	t	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 t 当り						
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 代価表単位の選択：t当り代価表						
代価表の当り数量：1当り代価表 資材計上区分：材料費+施工費						
鉄筋材料規格・径：SD295A・D13 鉄筋(SD295A・D13)：異形棒鋼 SD295A； D13mm 0.995kg/m						
鉄筋材料費の単位選択：「t」単位の鉄筋材料単価 規格・仕様区分：一般構造物						
施工規模：10t未満 夜間作業の補正：無						
トン内作業の補正：無 法面作業の補正：無						
太径鉄筋補正：10%未満(補正無) 構造物種別による補正：補正無(一般構造物)						

鉄筋工[市場単価]
SD295A・D13 一般構造物 10t未満

代価表

55号代価表

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
市場単価の補正方法：単価欄に対して補正計算を行う						
市場単価の日当り施工量補正有無：有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率・補正係数を乗ずる)						

代価表

56号代価表

1,000 kg 当り

鉄筋工[市場単価]
SD295A・D16 一般構造物 10t未満

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
異形棒鋼 SD295A D16mm 1.56kg/m	t	1.030				
鉄筋工 加工・組立[手間のみ] 一般構造物	t	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 kg 当り						
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 代価表単位の選択：kg当り代価表						
代価表の当り数量：1000当り代価表 資材計上区分：材料費+施工費						
鉄筋材料規格・径：SD295A・D16 鉄筋(SD295A・D16)：異形棒鋼 SD295A； D16mm 1.56kg/m						
鉄筋材料費の単位選択：「t」単位の鉄筋材料単価 規格・仕様区分：一般構造物						
施工規模：10t未満 夜間作業の補正：無						
トン内作業の補正：無 法面作業の補正：無						
太径鉄筋補正：10%未満(補正無) 構造物種別による補正：補正無(一般構造物)						

代価表

57号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ホイストレール 電気室(1階) 0.5t吊 亜鉛メッキ L3680 I-250*125*7.5*12.5	個所	1				
ホイストレール 機械室(地下1階) 0.5t吊 亜鉛メッキ L2590 I-250*125*7.5*12.5	個所	1				
チェーンブロック	個所	2				
荷重表示板	個所	2				
計						
1式当り						

代価表

58号代価表

1式当り

搬入・据付費

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
設備機械工	人					
その他 労*0.10	式	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当 り						

代価表

59号代価表

1個当り

吸込口
アルミ製、GVS 200×200 材工共

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
吸込口 アルミ製、GVS 200×200	個	1				
吸込口取付費	個	1				
計						
1個当り						

代価表

60号代価表

吸込口
アルミ製、GVS 450×200 材工共

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
吸込口 アルミ製、GVS 450×200	個	1				
吸込口取付費	個	1				
計						
1個当り						

代価表

61号代価表

ダンパー
鋼板製 VD 150×150 材工共

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ダンパー 鋼板製、VD 150×150	個	1				
ダンパー取付費	個	1				
計						
1個当り						

代価表

62号代価表

ダンパー
鋼板製 VD 300×300 材工共

1個当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ダンパー 鋼板製、VD 300×300	個	1				
ダンパー取付費	個	1				
計						
1 個 当 り						

代価表

63号代価表

ウェザーカバー 換気扇φ250用
SUS製 深形 防鳥網付 材工共

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ウェザーカバー 換気扇φ250用 SUS製 深形 防鳥網付	個	1				
取付枠（不燃） 換気扇φ250用	個	1				
設備機械工	人					
その他 労*0.10	式	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 個 当 り						

風量測定口
材工共

代価表

64号代価表

1個当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
風量測定口	個	1				
風量測定口取付費	個	1				
計						
1 個 当 り						

代価表

65号代価表

1 m2当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ダクト工	人					
その他 総合調整 労*0.10	式	1				
計						
1 m2 当り						

代価表

66号代価表

20口当り

鋼管小口径管ねじ込み接合 据付
呼び径13mm

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
配管工	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1口当り						
工種区分：小口径管ねじ込み接合(2口当り)						
代価表当り単位の選択：20口当り代価表						
配管材の据付・撤去区分：据付						
ねじ込み接合2口当り歩掛：13mm；ねじ込み接合(2口当り)：配管工(人),普通作業員(人)						
現場状況による割増(割増なし=1)：K=1						
資材計上区分：施工費のみ						

代価表

67号代価表

1 m 当り

電線管
HIVE管 露出 (16) 材工共

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
HIVE管 露出 (16)	m	1.100				
付属品 電線価格*0.3	式	1				
電工	人					
雑材料 材*0.05	式	1				
その他 労*0.12	式	1				
計						
1 m 当り						

代価表

68号代価表

1 m 当り

電線管
HIVE管 露出 (22) 材工共

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
HIVE管 露出 (22)	m	1.100				
付属品 電線価格*0.3	式	1				
電工	人					
雑材料 材*0.05	式	1				
その他 労*0.12	式	1				
計						
1 m 当り						

代価表

69号代価表

電線
EM-IE PF管内 1.6mm 材工共

1 m当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
電線 EM-IE PF管内 1.6mm	m	1				
雑材料 材*0.05	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
計						
1 m 当り						

代価表

71号代価表

露出スイッチボックス
樹脂製 1方出 1個用 (22) 材工共

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
露出スイッチボックス 樹脂製 1方出 1個用 (22)	個	1				
雑材料 材*0.02	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
計						
1個当り						

代価表

72号代価表

タンブラスイッチ
金属プレート 1P15A*1 材工共

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
埋め込みスイッチ 1P15A	個	1				
取付け枠	個	1				
金属プレート	枚	1				
雑材料 材*0.02	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
計						
1個当り						

代価表

73号代価表

タンブラスイッチ (ホタル)
金属プレート 3WH15A*1 材工共

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
埋め込みスイッチ (ホタル付き) 3WH15A	個	1				
取付け枠	個	1				
金属プレート	枚	1				
雑材料 材*0.02	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
計						
1個当り						

代価表

74号代価表

タンブラスイッチ (ホタル)
 金属プレート 1PH15A*1+3WH15A*1 材工共

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
埋め込みスイッチ (ホタル付き) 1PH15A	個	1				
埋め込みスイッチ (ホタル付き) 3WH15A	個	1				
取付け枠	個	1				
金属プレート	枚	1				
雑材料 材*0.02	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
計						
1個当り						

代価表

75号代価表

1個当り

自動点滅器
プラグイン式 3A 100～200V 材工共

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
自動点滅器 プラグイン式 3A 100～200V	個	1				
雑材料 材*0.02	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
計						
1個当り						

代価表

76号代価表

埋め込みコンセント
金属プレート 2P15A*2口 材工共

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
埋め込みコンセント 2P15A*2口 (取り付け枠付き)	個	1				
金属プレート	枚	1				
雑材料 材*0.02	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
計						
1個当り						

代価表

77号代価表

防水コンセント 抜止、防雨
合成樹脂製 2P15A*2口 材工共

1 個 当 り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
防水コンセント 抜止、防雨 2P15A*2口	個	1				
雑材料 材*0.02	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
計						
1 個 当 り						

代価表

78号代価表

LED灯
一体型 LSS9-3200LM 材工共

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
LED灯 一体型 LSS9-3200LM	個	1				
雑材料 材*0.05	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
諸雑費	式	1			調整金	
計						
1個当り						

代価表

79号代価表

LED灯 鋼板製、防湿
直管型 高出力、1灯用 材工共

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
LED灯 鋼板製、防湿 直管型 高出力、1灯用	個	1				
雑材料 材*0.05	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 個 当 り						

代価表

80号代価表

1 個 当 り

LED灯 SUS製枠、防雨
ブラケット 蛍光灯20W相当 材工共

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
LED灯 SUS製枠、防雨 ブラケット 高出力、1灯用	個	1				
雑材料 材*0.05	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
計						
1 個 当 り						

代価表

81号代価表

LED非常灯
一体型 LSS9-3200LMタイプ 材工共

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
LED非常灯 電池内臓 一体型 LSS9-3200LMベース	個	1				
雑材料 材*0.05	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 個 当 り						

代価表

82号代価表

LED非常灯 鋼板製、防湿、電池内臓
直管型 高出力、1灯用 材工共

1個当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
LED非常灯 鋼板製、防湿、電池内臓 直管型 高出力、1灯用	個	1				
雑材料 材*0.05	式	1				
電工	人					
その他 労*0.12	式	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 個 当 り						

代価表

83号代価表

生コンクリート
FC24+3N S18

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
生コンクリート FC24+3N S18	m3	1				
計						
1 m3 当り						
生コンクリート規格 各種 : (高炉)生コンクリート ; 21-8-25 B種 W/C=60%以下 生コンクリート規格 18-8-25(20)(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種 W/C=60%以下						
生コンクリートの夜間割増の有無 : 無						
生コンクリート小型車割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート山岳割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート冬期加熱費計上区分(標準=なし) : 計上しない						

代価表

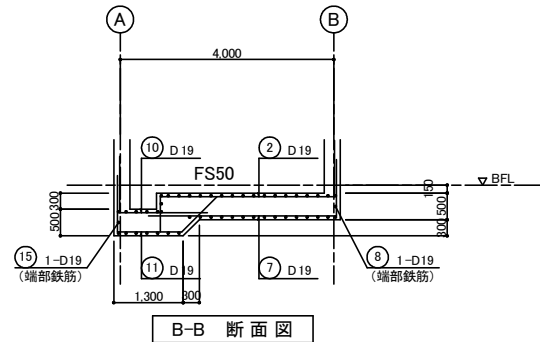
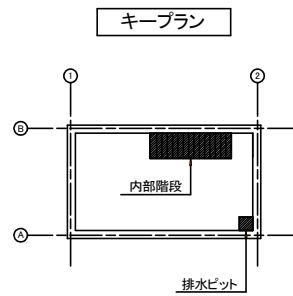
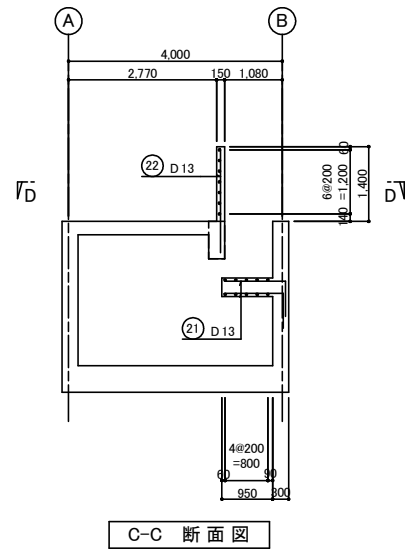
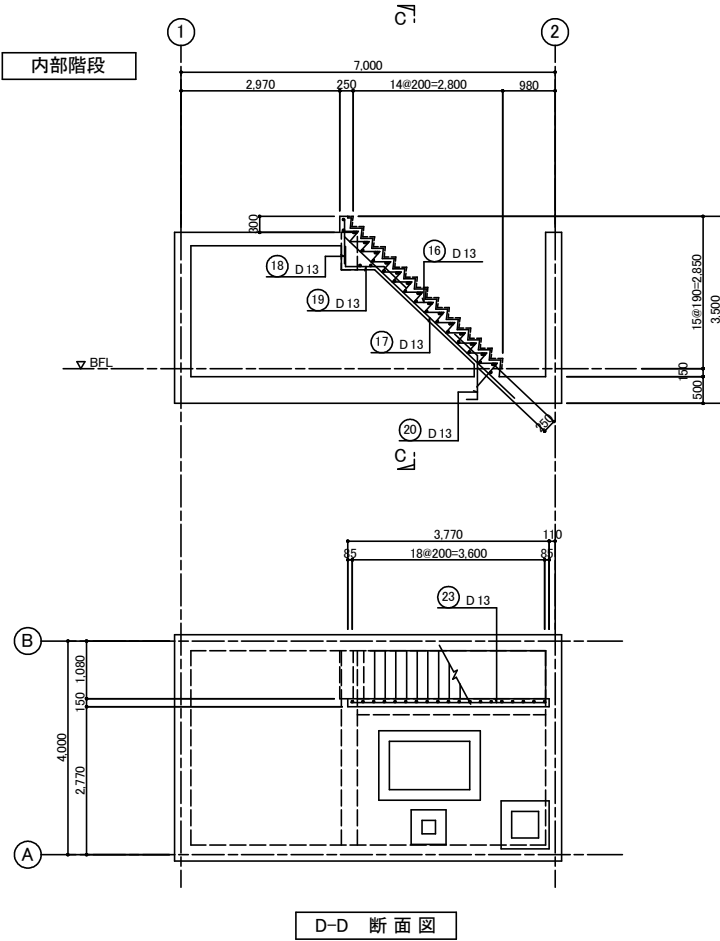
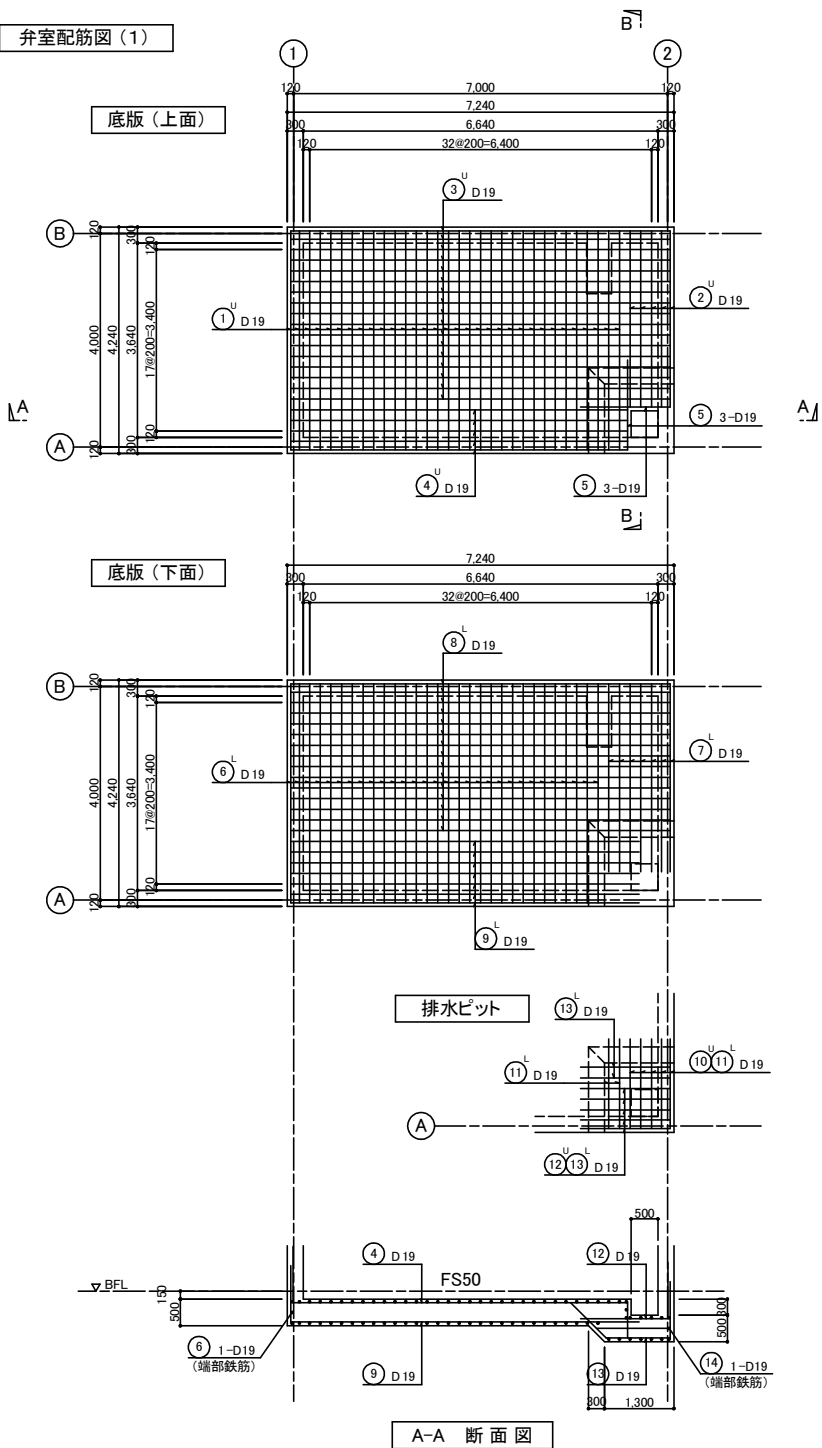
84号代価表

生コンクリート
FC18 S15

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
生コンクリート FC18 S15	m3	1				
計						
1 m3 当り						
生コンクリート規格 18-8-40(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種 生コンクリート規格 各種 : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種						
生コンクリート規格 18-8-25(20)(高炉) : (高炉)生コンクリート ; 18-8-25, 18-8-40 B種 W/C=60%以下 生コンクリートの夜間割増の有無 : 無						
生コンクリート小型車割増額の計上 : 計上しない 生コンクリート山岳割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート冬期加熱費計上区分(標準=なし) : 計上しない						

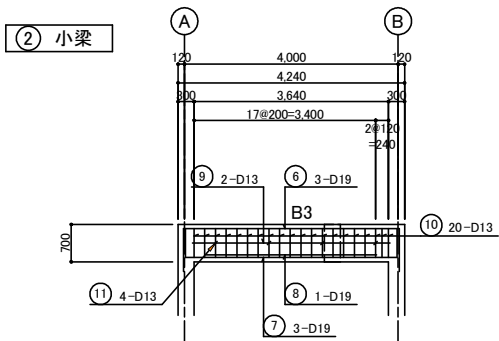
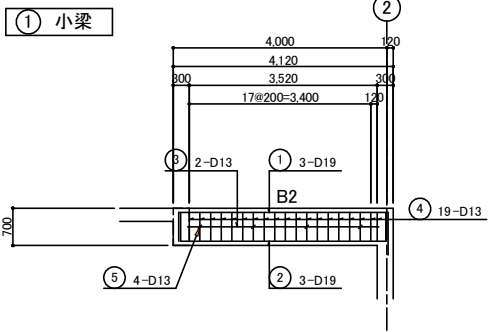
弁室配筋図(1)



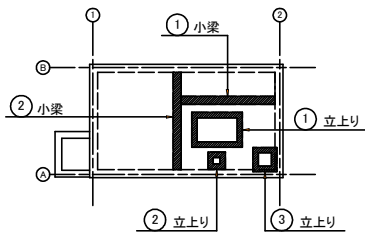
・鉄筋番号(24)は組立筋とする。(1m²当り1本)
 U:上側鉄筋 L:下側鉄筋
 ・特記事項なき限り、両面鉄筋を示す。

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	弁室配筋図(1)		
縮尺	1:50	図面番付	業之内
設計者	株式会社 東栄設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		

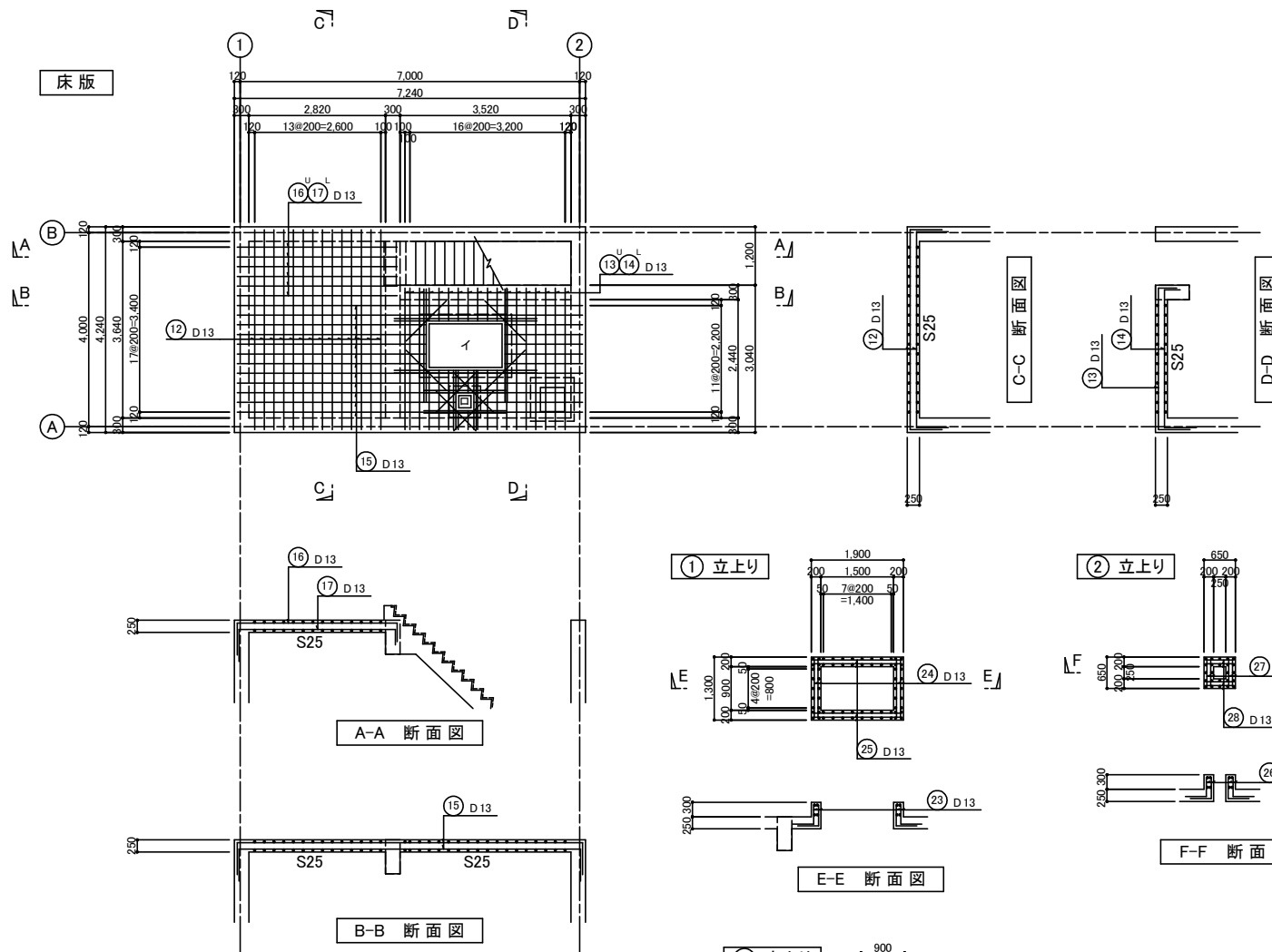
弁室配筋図(2)



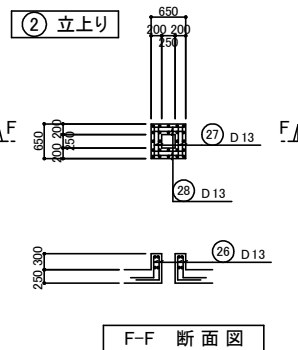
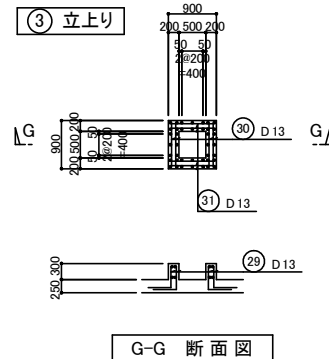
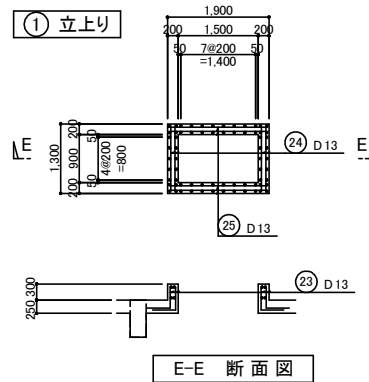
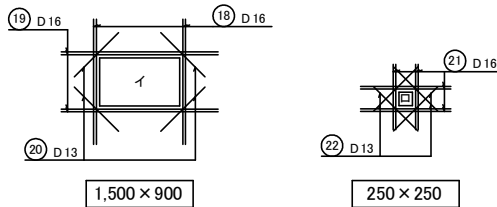
ケーブルラン



床版



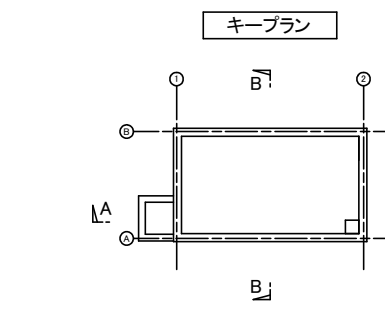
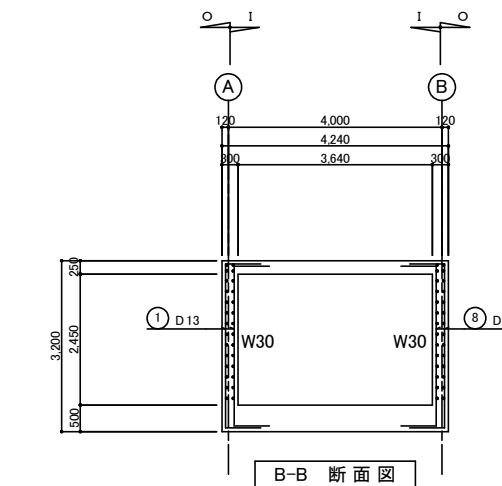
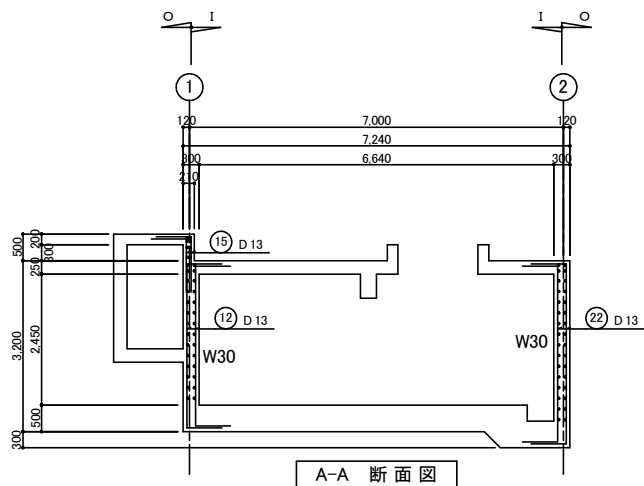
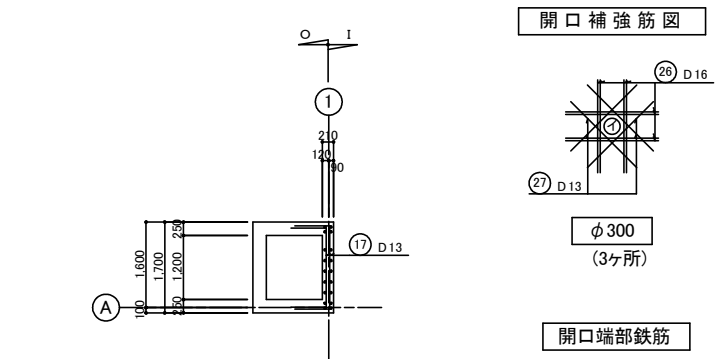
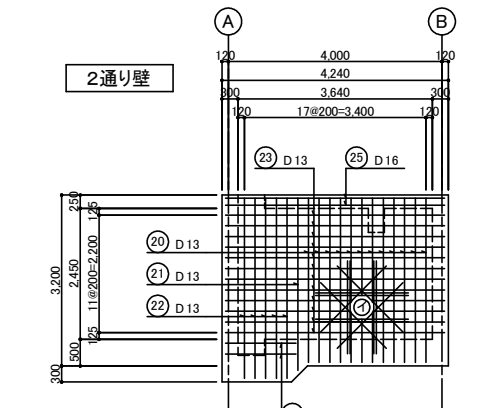
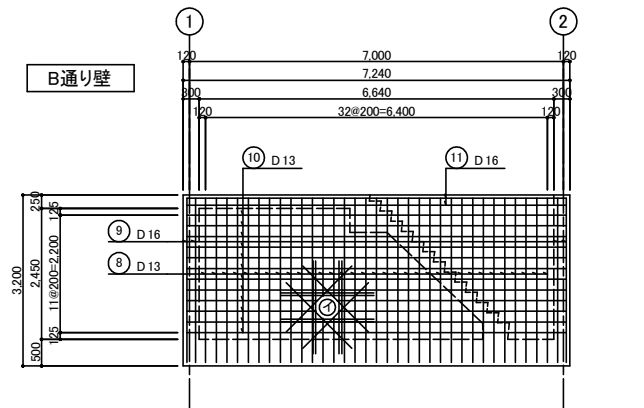
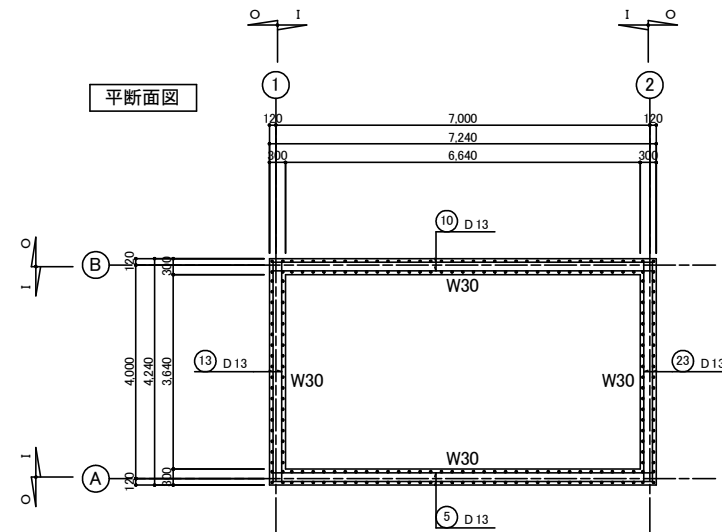
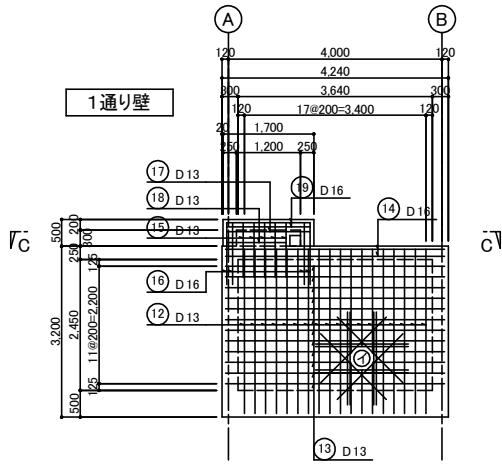
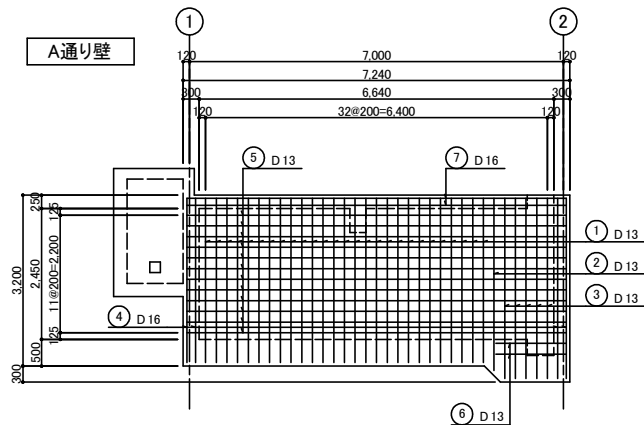
開口補強筋図



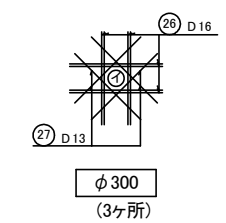
・鉄筋番号(32)は組立筋とする。(1m²当り1本)
 U:上側鉄筋 L:下側鉄筋
 ・特記事項なき限り、両面鉄筋を示す。

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内		
図面の種類	弁室配筋図(2)		
縮尺	1:50	図面番号	業之内
設計者	株式会社 東洋設計事務所		
事務所名	可見市水道部水道課		

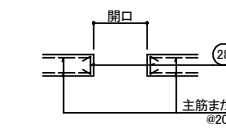
弁室配筋図 (3)



開口補強筋図



開口端部鉄筋



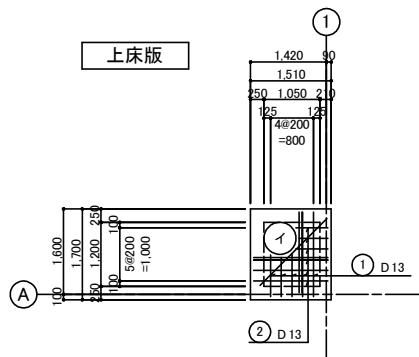
- ・鉄筋番号 (29) は巾止筋とする。(1m²当り1本)
- : 外側鉄筋 I: 内側鉄筋
- ・特記事項なき限り、両面鉄筋を示す。

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	弁室配筋図 (3)		
縮 尺	1:50	図面番号	業之内
設 計 者	株式会社 東京設計事務所		
事 務 所 名	可児市水道部水道課		

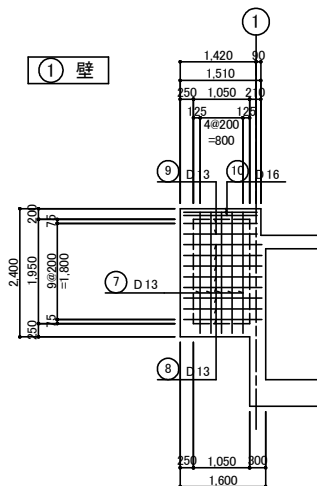
弁室配筋図(4)

ハンドホール

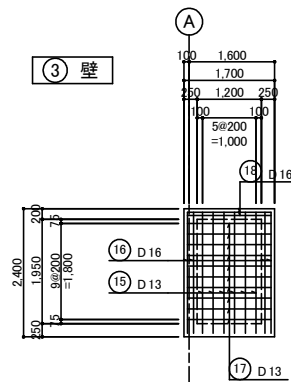
上床版



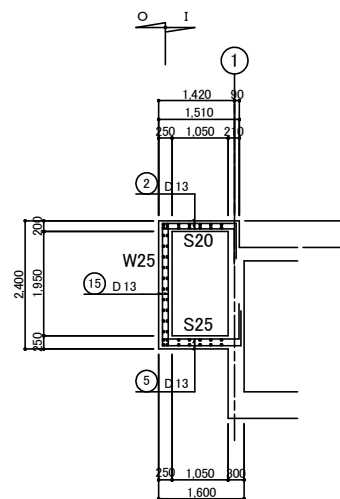
① 壁



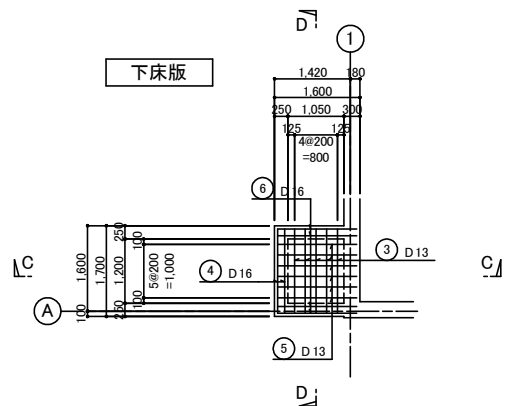
③ 壁



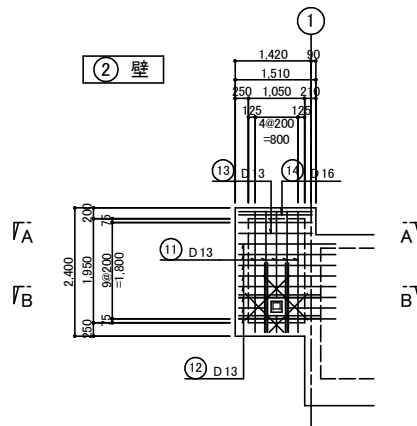
C-C 断面図



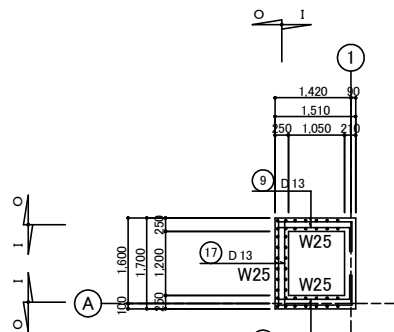
下床版



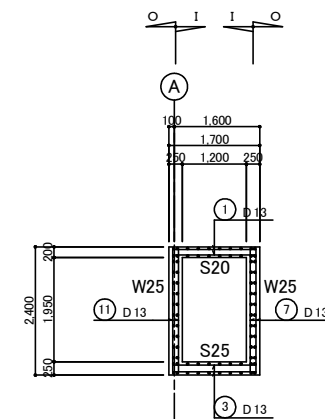
② 壁



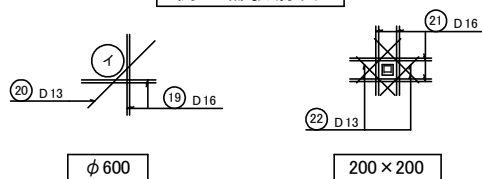
A-A 断面図



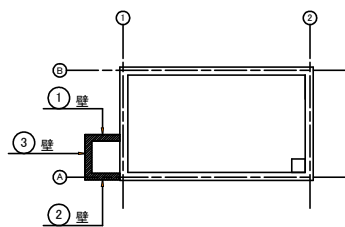
D-D 断面図



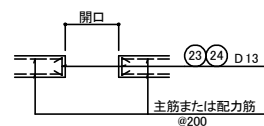
開口補強筋図



キープラン



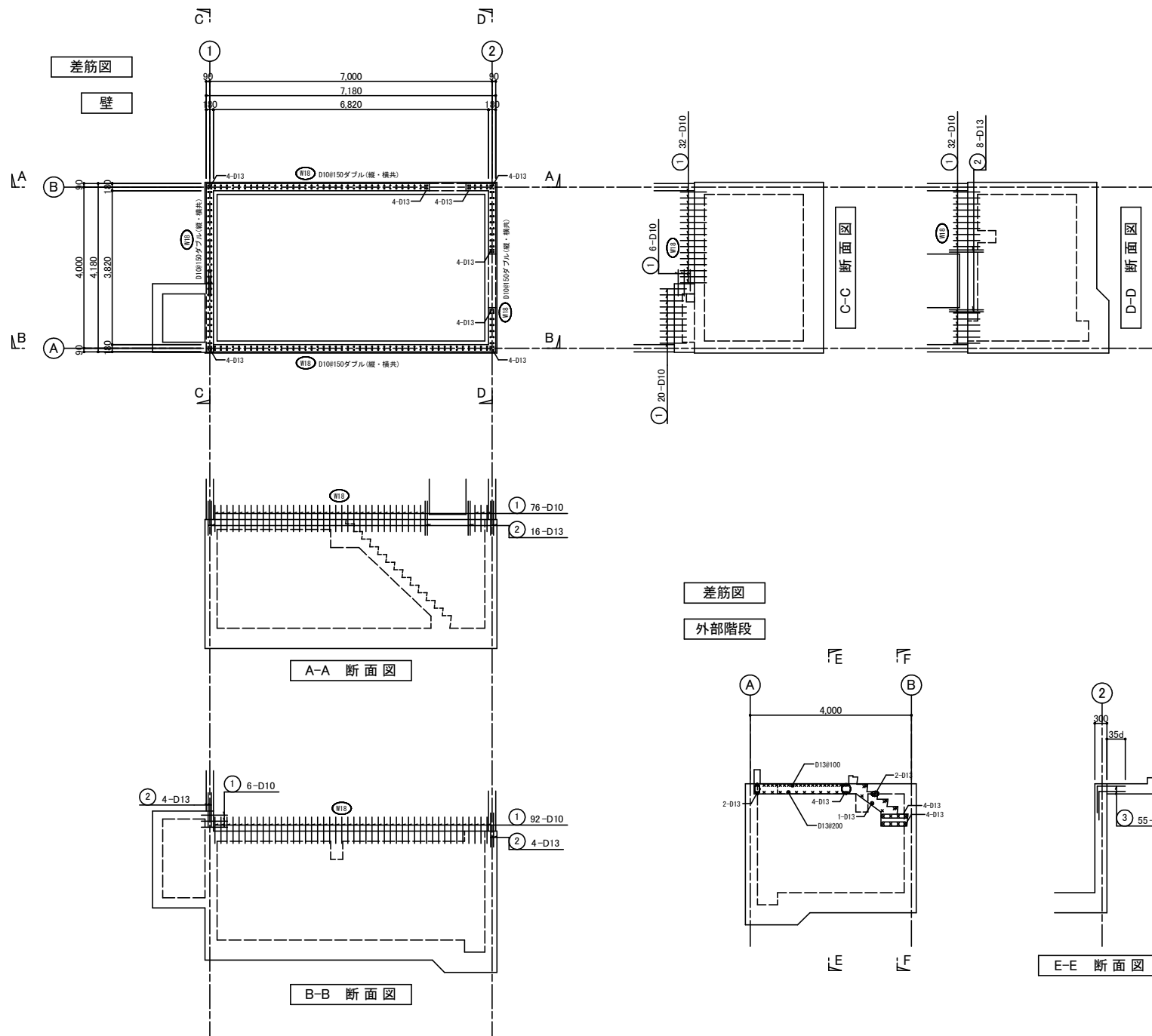
開口端部鉄筋



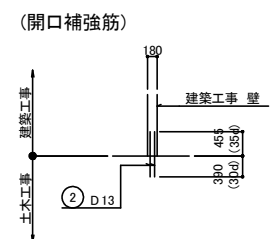
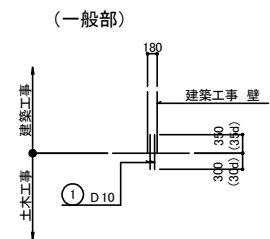
- 鉄筋番号 (25)(26) は組立筋とする。(1m²当り1本)
U: 上側鉄筋 L: 下側鉄筋
- 鉄筋番号 (27) は中止筋とする。(1m²当り1本)
O: 外側鉄筋 I: 内側鉄筋
- 特記事項なき限り、両面鉄筋を示す。

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	弁室配筋図 (4)		
縮 尺	1: 50	図面番付	業之内
設 計 者	株式会社 東洋設計事務所		
事 務 所 名	可児市水道部水道課		

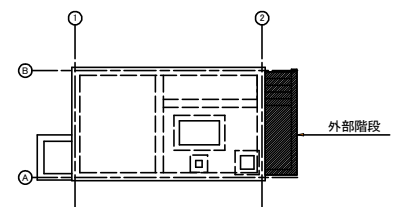
弁室配筋図(5)



壁 断面
W18



キープラン

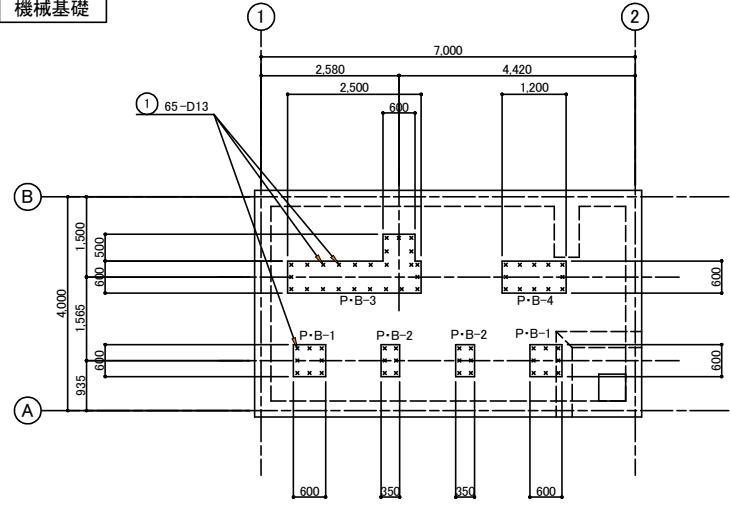


業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内		
図面の種類	弁室配筋図 (5)		
縮 尺	1:50	図面番号	業之内
設 計 者	株式会社 東京設計事務所		
事 務 所 名	可見市水道部水道課		

弁室配筋図(6)

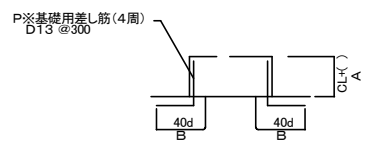
差筋図

機械基礎



P※基礎 差筋リスト ・基礎高さ部の差筋長さは、MAX 520 (40d)とする。

符号	基礎高さ A	差筋径	差筋長さ A+B	スラブ定着部 B(40d)	備 考
P-B-1	CL+950	D13	1,040	520	
P-B-2	CL+368	D13	1,040	520	
P-B-3	CL+368	D13	1,040	520	
P-B-4	CL+368	D13	1,040	520	



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内		
図面の種類	弁室配筋図 (6)		
縮 尺	1 : 50	図面番号	業之内
設 計 者	株式会社 東京設計事務所		
事 務 所 名	可見市水道部水道課		

特記仕様書

1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。

2. 本特記仕様書における採用事項

① 項目欄は番号等に 〇印を付したものを適用する。

② 項目欄に 〇印を付し特記事項欄に ㊦を付していない場合は標準仕様書による。

③ 特記事項は ㊦を付したものを適用する。但し、㊦が付かない場合は※印の付した事項を採用する。

〇印と㊦を付した場合は共に適用する。

3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。

〇国土交通省大臣官房長官賞補部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成25年版

・ 国土交通省大臣官房長官賞補部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成24年版

4. その他事項

・ 各項目欄の番号(例：1.4 〇〇〇)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する

・ 各項目欄の番号(例：1.* 〇〇〇)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする

・ 該当項目無き章は、省略している。

章 項目 特記事項

④ 監督員事務所の設置 設置の要否： ・必要 ・不要

④ 監督員事務所の規模

・ ()号(会議室 ()m2 を含む)

・ ()号に会議室 ()m2 を加えた規模

④ 監督員事務所の設備、備品

・ 専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具

・ その他：

④ 工事用水

④ 工事電力

3.6 仮囲い

種別： ・仮囲い用成型鋼板；H=3.0m,t=1.2mm

・ 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板；H=1.8m,t=0.19mm

・ ガードフェイス；H=1.8m ・A型バリアード；H=0.8m

・

塗装： ・単色：片面SOP塗 ・模様；

門扉（施設付）：

種別 ・シートゲート ・バリアードゲート

形状： ・W3.6m×H4.5m

・

3.7 落下物、飛散物等による危害防止

・ 工事現場からの落下物、飛散物による危害防止は下記又は同等以上の措置をする。

・ 防護鉄網 ・防護シート ・防護網 ・防音シート ・防音バリアード

・ その他；

3.8 洗車設備

・ 洗車ピット(幅3m×長さ5m×厚さ20cm 程度の土間コンクリート、給排水設備共)

・ 洗車装置(高圧洗浄装置程度)

3.9 仮排水

・ 既設排水溝や排水管、会所等の撤去時には、仮設の排水設備を設け、排水上支障のないようにする。

章 項目 特記事項

④ 3.4 セメント鈎工法

アースオーガーの支持地盤への掘削深さ： ・図示

杭の支持地盤への掘入れ深さ： ・図示

杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内

3.5 特定埋設杭工法

施工法の種類： ・図示

杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内

支持地盤の位置、種類： ・図示

杭の継手の工法： ・7-7溶接 ・無溶接継手(工法：)

杭頭の処理法： ・図示

4. 鋼杭地業

4.1 適用範囲

工法の適用： ・打込み工法(4.4.3) ・特定埋設杭工法(4.4.4) ・図示

4.2 材料

材料の種類： ・SKK400 ・SKK490 ・SHK400 ・SHK490M ・図示

杭の現場継手の工法： ・自動7-7溶接 ・半自動7-7溶接

5. 現場打ちコンクリート杭地業

5.1 適用範囲

工法の適用： ・アースドリル工法(4.5.4) ・リバー工法(4.5.4) ・オルケック工法(4.5.4)

・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・拡底杭工法(4.5.5) ・図示

5.3 材料その他

帯筋の加工、組立： ・図示

鉄筋の最小かぶり厚さ： ・図示 ・60mm

セメントの種類： ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種 ・混合セメント ・図示

コンクリートの設計基準強度： ・F_c=21N/mm² ・F_c=24N/mm² ・図示

コンクリートの種別： ・A種 ・B種 ・図示

コンクリートの構造体強度補正値(S)： ・図示 ※3N/mm

5.4 アースドリル工法、リバー工法、オルケック工法

支持地盤の位置、種類： ・図示

杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内

杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内

5.5 場所打ち鋼管コンクリート杭工法、拡底杭工法

④ 砂利、砂および捨てコンクリート地業等

④ 砂利及び砂地業

④ 捨てコンクリート地業

6.5 床下防湿層

床下防湿層の適用： ・適用しない ・適用する ・図示

床下防湿層の範囲： ・図示

章 項目 特記事項

④ 工事実績情報登録 登録： ④適用 ・不適用

④ 建築基準法の風圧 基準風速： 〇 $v_o = 3.2$ (m/s) 平成12年建築第1454号第2

積雪に関する規定 地表面粗度区分： ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ

積雪区分： ・区域=(32) / $\alpha = 0.0009$ / $\beta = 0.00$ / $\gamma = 0.21$ / R=0

平成12年建築第1445号 別表

3.3 電気保安技術者 技術者の適用： ・適用する ・適用しない

④ 施工条件 施工順序等の制約： ・無し ・㊦【・現説】説明書による ・図示

工事車両の駐車場所： ・図示 ・㊦説明書による

資材、機材置場： ・図示 ・㊦説明書による

発生土仮置場： ・図示 ・㊦説明書による

その他の施工条件： ・図示 ・㊦説明書による

④ 発生土の処理等

・ 発注者への引渡発生土；

・ 特別管理産業廃棄物；

④ リサイクル発生土：「建設リサイクル法」に準じ適正な措置を講ずる事。

④ 仮設材以外の全ての建築材料(仕上材、下地材、副資材)のホルムアルデヒド放散量はJIS等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてF☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にF☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。

④ 化学物質の濃度測定 濃度測定： ④実施 ・実施

化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。

測定対象物質： ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・ステレン ・図示

測定方法： ・簡易法 ・パッシブ型採取機器 ・測定パッチ；

測定対象室： ・図示

測定箇所数： ・図示 ・箇所

・ 厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。

④ 完成時の提出図書 完成図： ④要 ・不要

④ 完成図 安全に関する資料： ④要 ・不要

提出部数： ※各2部 ・部

種類： ※表1.7.1 ・一般図 ④施設設計図一式

記入内容： ※表1.7.1 ・図示

提出要領： ④A3原稿2つ折り製本 ・A3版原図(CAD作図による)

④A4データ

施工計画書： ④監督員の承諾を受けたもの

施工図： ④A3原稿2つ折り製本 ・A3縮刷版第2原図 ・CADデータ

④監督員の承諾を受けたもの

④ 安全に関する資料 ④安全に関する資料 提出部数： ※各2部 ・部

章 項目 特記事項

④ 埋戻し及び盛土

種別： ・A種 ④種 ・C種 ・D種

・ 搬入まき土(砂礫等の混入のない良質なものとし、水締め、機器による締固めとする)

・ 現場説明書による ・構外搬出適切処理 ・構内指定場所堆積 ・構内指定場所敷均し

・ 他現場に搬入()

・ 指定処分地()

3.3 山留めの撤去

・ 撤去 ・存置

④ 1.* 地業工事

・ 本章の事項は構造特記仕様書による

2.2 試験杭

試験杭の位置、本数、載荷荷重： ・図示

2.3 杭の載荷試験

載荷試験： ・水平試験 ・鉛直試験

試験杭の位置、本数、載荷荷重： ・図示

試験方法： ・図示

試験報告書の記載事項等： ・図示

2.4 地盤の載荷試験

載荷試験： ・平板載荷試験

試験の位置、載荷荷重： ・図示

試験方法： ・図示

試験報告書の記載事項等： ・図示

3. 既製コンクリート杭地業

3.1 適用範囲

工法の適用： ・打込み工法(4.3.3) ・セメント鈎工法(4.3.4)

・ 特定埋設杭工法(4.3.5) ・図示

3.2 材料

材料の強度等による区分：

杭の寸法、継ぎ手の箇所数、杭先端形状： ・図示

3.3 打込み工法

杭の設計支持力： ・図示

施工法の種類： ・図示

プレローリングの掘削深さ及び径： ・図示 ・深さ： m 径： m

試験杭の推定支持力の算定方法： ・図示

杭の支持地盤への掘入れ深さ： ・図示

杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内

支持地盤の位置、種類： ・図示

章 項目 特記事項

④ 3.4 セメント鈎工法

アースオーガーの支持地盤への掘削深さ： ・図示

杭の支持地盤への掘入れ深さ： ・図示

杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内

3.5 特定埋設杭工法

施工法の種類： ・図示

杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内

支持地盤の位置、種類： ・図示

杭の継手の工法： ・7-7溶接 ・無溶接継手(工法：)

杭頭の処理法： ・図示

4. 鋼杭地業

4.1 適用範囲

工法の適用： ・打込み工法(4.4.3) ・特定埋設杭工法(4.4.4) ・図示

4.2 材料

材料の種類： ・SKK400 ・SKK490 ・SHK400 ・SHK490M ・図示

杭の現場継手の工法： ・自動7-7溶接 ・半自動7-7溶接

5. 現場打ちコンクリート杭地業

5.1 適用範囲

工法の適用： ・アースドリル工法(4.5.4) ・リバー工法(4.5.4) ・オルケック工法(4.5.4)

・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・拡底杭工法(4.5.5) ・図示

5.3 材料その他

帯筋の加工、組立： ・図示

鉄筋の最小かぶり厚さ： ・図示 ・60mm

セメントの種類： ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種 ・混合セメント ・図示

コンクリートの設計基準強度： ・F_c=21N/mm² ・F_c=24N/mm² ・図示

コンクリートの種別： ・A種 ・B種 ・図示

コンクリートの構造体強度補正値(S)： ・図示 ※3N/mm

5.4 アースドリル工法、リバー工法、オルケック工法

支持地盤の位置、種類： ・図示

杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内

杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内

5.5 場所打ち鋼管コンクリート杭工法、拡底杭工法

④ 砂利、砂および捨てコンクリート地業等

④ 砂利及び砂地業

④ 捨てコンクリート地業

6.5 床下防湿層

床下防湿層の適用： ・適用しない ・適用する ・図示

床下防湿層の範囲： ・図示

④ 鉄筋工事

④ 鉄筋

鉄筋の種類： ④造細目共通図による

・ SR295 ・SD295A ・SD295B ・SD345 ・SD390 ・図示

④ 溶接金網

溶接金網の寸法、径： ・φ6x150x150 ・φ6x100x100 ・φ4.5x50x50 ・図示

④ 継手及び定着

継手の種類： ④造細目共通図による

・ 重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械継手 ・図示

継手の位置： ④造細目共通図による

梁主筋の重ね継手長さ： ・④造細目共通図による

④ 鉄筋のかぶり厚さ

④構造細目共通図による

及び間隔

土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ(軽量コンクリートの場合)：

・ 図示 ・40mm ・50mm ・60mm

塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ： ・図示

特殊な鉄筋継手のあき寸法： ・図示

④ 各部配筋

各部の配筋： ④示

④ 圧接完了後の試験

採取試験の方法： ※超音波探傷試験

・ 引張試験

④ 鉄筋の継手

④構造細目共通図による

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造)工事	
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内	
図面の種類	特記仕様書-1	
縮 尺	-	図面番号 19 課之内 1
設 計 者	株式会社 東洋設計事務所	
事 務 所 名	可見市水道部水道課	

章	項目	特記事項															
第1章 コンクリート工事	1.1 コンクリート工事	①本章の事項は構造細目共通図による															
	1.2 コンクリートの種類	② コンクリートの種類及び品質															
	1.3 コンクリートの強度	③構造細目共通図による ・気乾単位容積質量による種類： ・普通コンクリート（下表による） ・図示															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度(N/mm2)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・構造躯体（基礎～階）</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体（階～階）</td> <td>24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体（1階）</td> <td>21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・捨てコンクリート</td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備考	・構造躯体（基礎～階）	30		・構造躯体（階～階）	24		・構造躯体（1階）	21		・捨てコンクリート	・18 ・21	
	施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備考														
	・構造躯体（基礎～階）	30															
	・構造躯体（階～階）	24															
	・構造躯体（1階）	21															
	・捨てコンクリート	・18 ・21															
		コンクリートの要求性能等による種類： ・図示 ・ コンクリートの種別： ※Ⅰ類 ・Ⅱ類															
	・気乾単位容積質量による種類： ・軽量コンクリート（下表による） ・図示																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度(N/mm2)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ルーフバルコニー防水押え</td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・屋上防水押え</td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・浴室防水押え</td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備考	・ルーフバルコニー防水押え	・18 ・21		・屋上防水押え	・18 ・21		・浴室防水押え	・18 ・21					
施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備考															
・ルーフバルコニー防水押え	・18 ・21																
・屋上防水押え	・18 ・21																
・浴室防水押え	・18 ・21																
	コンクリートの要求性能等による種類： ・図示 ・ コンクリートの種別： ※Ⅰ類 ・Ⅱ類																
	スランプ： ※標準仕様書表6.2.2による ・図示 ・																
	打放し仕上げの種別（合板せき板を用いる場合）																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・化粧打放し部</td> <td>A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④打放し補修下部</td> <td>B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・基礎部</td> <td>C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤スラブ裏部</td> <td>C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	種別	備考	・化粧打放し部	A種		④打放し補修下部	B種		・基礎部	C種		⑤スラブ裏部	C種		
施工部位	種別	備考															
・化粧打放し部	A種																
④打放し補修下部	B種																
・基礎部	C種																
⑤スラブ裏部	C種																
1.4 コンクリートの材料	⑤ コンクリートの材料及び調合 セメントの種類： ※普通ポルトランドセメントA種 ※混合ポルトランドセメントB種 ・フライアッシュセメントB種 高炉セメントB種の適用箇所： ・図示 ・基礎 ・地中梁 ・ フライアッシュセメントB種の適用箇所： ・図示 ・ 骨材のアルカリシリカ反応性による区分： ※A ・B 混和剤： ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・ 混和材： ・フライアッシュ ・高炉スラグ微粉末 ・膨張剤 ・ 混和材料の使用法等： ・図示 ※製造メーカー資料に基づき承諾																
1.5 コンクリートの調査	⑥ コンクリートの工事現場内運搬並びに打込み及び締固め 打継ぎ目地の見付寸法： ⑦図示 ・25mm ・20mm ・15mm ・																
1.6 打継ぎ																	
1.7 一般事項	⑧ 型枠 外部に面する打放し仕上げの増厚寸法： ・25mm ・20mm ・15mm ・図示 ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法： ・下表による ・図示																
1.8 材料	⑨ 型枠 型枠の材料等： ⑩表による ・図示 ・																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別・厚さ</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑪合板</td> <td>※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm</td> <td>※複合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm</td> <td>※南洋材</td> </tr> <tr> <td>・床型枠用鋼製デッキプレート</td> <td></td> <td>・針葉材</td> </tr> </tbody> </table>	種類	種別・厚さ	材質	⑪合板	※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm	※複合		・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材	・床型枠用鋼製デッキプレート		・針葉材				
種類	種別・厚さ	材質															
⑪合板	※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm	※複合															
	・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材															
・床型枠用鋼製デッキプレート		・針葉材															
	鋼材の形状及び寸法： ・図示 ・																
	断熱材を兼用した型枠材： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・】 MCR工法： ・適用する【適用箇所： ・図示 ・】 スリーブ： ※標準仕様書表6.9.3(i)による ・図示 ・硬質塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼管 ・鋼管 ・つば付き鋼管																

章	項目	特記事項																							
第2章 鉄骨工事	2.1 材料	スリーブ： ・つば付き鋼管 ・鉄釘																							
	10.1 一般事項	10. 軽量コンクリート 土に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・】 水に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・】 軽量コンクリート種類： ・下表による ・図示																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ルーフバルコニー防水押え</td> <td>・1種 ・2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・屋上防水押え</td> <td>・1種 ・2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・浴室防水押え</td> <td>・1種 ・2種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	種類	備考	・ルーフバルコニー防水押え	・1種 ・2種		・屋上防水押え	・1種 ・2種		・浴室防水押え	・1種 ・2種												
	施工部位	種類	備考																						
	・ルーフバルコニー防水押え	・1種 ・2種																							
	・屋上防水押え	・1種 ・2種																							
	・浴室防水押え	・1種 ・2種																							
	10.2 材料及び調合	所要スランプ： ※21cm以下 ・18cm以下 ・図示 ・																							
	11.2 材料及び調合	11. 寒中コンクリート 適用期間： ・図示 ・11月 日～4月 日まで 積算温度の採用： ・採用する ・採用しない																							
	12.2 材料及び調合	12. 暑中におけるコンクリートの取扱 構造体強度補正値(S)： ※6 N/mm ・																							
13.2 材料及び調合	13. マスコンクリート セメントの種類： ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・混合セメント 混合セメントの混和材： ・フライアッシュ【Ⅰ種 ・Ⅱ種】 ・高炉スラグ微粉末(4000)																								
13.3 品質	所要スランプ： ・8cm以下 ・12cm以下 ※15cm以下 ・																								
14.1 一般事項	14. 無筋コンクリート 適用箇所： ※標準仕様書表6.14.1(d)による ・下表による ・図示																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度(N/mm2)</th> <th>スランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・バルコニー防水押え</td> <td>・18 ・21</td> <td>※15以下 ※18以下</td> </tr> <tr> <td>・浴室防水押え</td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	設計基準強度(N/mm2)	スランプ	・バルコニー防水押え	・18 ・21	※15以下 ※18以下	・浴室防水押え	・18 ・21																
施工部位	設計基準強度(N/mm2)	スランプ																							
・バルコニー防水押え	・18 ・21	※15以下 ※18以下																							
・浴室防水押え	・18 ・21																								
15.1 一般事項	15. 流動化コンクリート 流動化コンクリートの適用： ・適用する【使用箇所： ・図示 ・】																								
1.* 鉄骨工事	・本章の事項は構造特記仕様書による																								
1.3 鉄骨製作工場	製作工場のグレードは下記同等以上で大臣認定された工場とする： ・Sグレード ・Hグレード ・Mグレード ・Rグレード ・Jグレード 施工監理技術者： ・適用する ・適用しない																								
2.1 鋼材	鋼材の材質： ・下表による ・図示 ・																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>材質（種類の記号）</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・構造躯体</td> <td>SS400</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体（階～階）</td> <td>SM400A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体（階～階）</td> <td>SM400</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>BS235</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>SM400C</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>SS400</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>SM400A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	材質（種類の記号）	備考	・構造躯体	SS400		・構造躯体（階～階）	SM400A		・構造躯体（階～階）	SM400			BS235			SM400C			SS400			SM400A	
施工部位	材質（種類の記号）	備考																							
・構造躯体	SS400																								
・構造躯体（階～階）	SM400A																								
・構造躯体（階～階）	SM400																								
	BS235																								
	SM400C																								
	SS400																								
	SM400A																								
2.2 高力ボルト	種類： ・トルク型高力ボルト2種(S10T) ・JISの高力ボルト2種(F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当) 高力ボルトの径： ・図示 ・																								
2.3 普通ボルト	普通ボルトの径： ・図示 ・																								
2.4 アンカーボルト	構造用アンカーボルトの材質： ・図示 ・SNR400A ・SNR400B ・SNR490B 建方用アンカーボルトの材質： ・図示 ・SS400 ・SS490 ・SS540																								
2.5 溶接材料	ねじの種類、等級の規格及び仕上げの程度： ※標準仕様書表7.2.31による 溶接棒等（標準仕様書表7.2.4）及びガス以外の溶接材料： ・図示 ・																								
2.6 アンカーボルト	種類： ※建築用アンカーボルト（鋼・割替式、ボルト・羽子板ボルト） ・図示 ・																								
2.6 アンカーボルト	ねじの呼び等： ・図示 ・																								

章	項目	特記事項																
第3章 鉄骨工事	2.7 デッキプレート	構造床として使用するデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・ 合成スラブとして使用するデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・ 床型枠用鋼製デッキプレート： 標準仕様書表6.9.3(c)による その他のデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・ レールの規格、形状、寸法等： ・下表による ・図示																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>規格番号</th> <th>形状、寸法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑫天井クレーン走行用</td> <td>JIS E 1101</td> <td></td> <td>⑬形状、寸法は図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JIS E 1102</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>JIS B 1251</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	規格番号	形状、寸法	備考	⑫天井クレーン走行用	JIS E 1101		⑬形状、寸法は図示		JIS E 1102				JIS B 1251		
	施工部位	規格番号	形状、寸法	備考														
	⑫天井クレーン走行用	JIS E 1101		⑬形状、寸法は図示														
		JIS E 1102																
		JIS B 1251																
	2.9 柱底均しモルタル	モルタルの種類： ・図示 ・無収縮モルタル ・ 無収縮モルタルの調合： ※標準仕様書表7.2.9(b)(1)～(4)による ・図示 ・ 引張りを受ける鋼板の試験： ・適用する ・適用しない ・図示 ・																
	2.10 材料試験等	3. 工作一般 現寸図は必要に応じて作成する 高力ボルト、普通ボルト、アンカーボルトのヘリ、ピッチ、ゲージ等： ・鉄骨工作標準図による又、同図面に記載なき事項は国土交通大臣官房官庁営繕部 「建築鉄骨設計基準及び同解説」による鉄骨設計基準図による。 ・図示 ・																
	3.2 工作図	3.10 仮組 仮組の実施： ・行わない ・行う																
	3.2 工作図	4. 高力ボルト接合 すべり係数試験の実施： ・行わない ・行う 処理 試験の方法、試験片の摩擦面の状態： ・図示 ・																
4.2 摩擦面の性能及び処理	4.7 締付け ボルト長さかねじの呼びの5倍をJIS型ボルトのナット回転法の回転量： ・120° ・																	
4.7 締付け	6. 溶接接合 溶接技能者の技量付加試験： ・行わない ・行う 開先の形状： ・図示 ・																	
6.3 溶接技能者	6.4 材料準備 6.7 溶接施工 エンドタブの切除の有無： ・無し ・有り【切除の適用箇所： ・図示 ・】 スラップの形状： ・図示 ・																	
6.4 材料準備	6.11 溶接部の試験 完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験： ・適用する ・適用しない ◎工場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ※行う（全数検査を行い試験結果報告書を出し） 第三者機関による検査： ※行う ・行わない AQL： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ※行う ・行わない AQL： ・2.5% ※4.0%																	
6.11 溶接部の試験	7. スタッド溶接及びデッキプレート溶接 デッキプレートと鉄骨の溶接方法： ・図示 ・																	
7.8 デッキプレートの溶接	8. 錆止塗装 SRC造の鋼製スリーブ（鉄骨に溶接されたもの）の内面： ・図示 ・標準仕様書表18.3.1【※A種 ・B種 ・C種】 ・ 耐火被覆材の接着面： ・図示 ・標準仕様書表18.3.1【・A種 ・B種 ・C種】 ・																	
8.3 塗料の種類	9. 耐火被覆 耐火被覆材の種類及び性能： ※図示 ・																	
9.2 種別及び性能	10. 工事現場施工 10.3 アンカーボルト等の設置 構造用アンカーボルトの適用： ・適用する ・適用しない																	
10.3 アンカーボルト等の設置	<table border="1"> <tr> <td>業務名/工事名</td> <td>虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電気・機械室築造工事</td> </tr> <tr> <td>施工箇所</td> <td>可児市虹ヶ丘地内</td> </tr> <tr> <td>図面の種類</td> <td>特記仕様書 - 2</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>- 図面番号 19 葉之内 2</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>株式会社 東洋設計事務所</td> </tr> <tr> <td>事務所名</td> <td>可児市水道部水道課</td> </tr> </table>	業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事		電気・機械室築造工事	施工箇所	可児市虹ヶ丘地内	図面の種類	特記仕様書 - 2	縮尺	- 図面番号 19 葉之内 2	設計者	株式会社 東洋設計事務所	事務所名	可児市水道部水道課			
業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事																	
	電気・機械室築造工事																	
施工箇所	可児市虹ヶ丘地内																	
図面の種類	特記仕様書 - 2																	
縮尺	- 図面番号 19 葉之内 2																	
設計者	株式会社 東洋設計事務所																	
事務所名	可児市水道部水道課																	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
7章 鉄骨工事	10.3 アンカーボルト等の設置	構造用アンカーボルトの形状及び寸法： ・図示 ・ 構造用アンカーフレームの形状及び寸法： ・図示 ・ アンカーボルトの保持及び埋込み工法の種別： ・A種 ・B種 ・C種 柱底均しモルタルの厚さ： ・図示 ・ 柱底均しモルタルの工法の種別： ※A種 ・B種 1 1. 軽量形鋼構造 ボルトの接合方法： ・図示 ・ 1 2. 溶融亜鉛めっき工法 2.4 溶融亜鉛めっき 高力ボルト接合	8章 防水工事	2.3 防水層の種類、種別及び工法	種類 種別 施工箇所 ・保護防水密着 ・A-1 ・A-2 ・A-3 ・AI-1 ・AI-2 ・AI-3 ・保護防水絶縁 ・B-1 ・B-2 ・B-3 ・BI-1 ・BI-2 ・BI-3 ・D-1 ・D-2 階段室・2/R階 ・露出防水絶縁 ・D-3 ・D-4 ・DI-1 ・DI-2 ・屋内防水密着 ・E-1 ・E-2 立上り部の保護コンクリートの適用： ・適用する ・適用しない 工法： ・ ◎脱気装置 種類： ※製造メーカー指定 ・ 設置数量： ※製造メーカー指定 ・ 屋内防水部分の保護層： ・設ける ・設けない ◎防水層下地 下地モルタル塗り： ・適用する ・適用しない 適用箇所： ルーフレイン廻りの断熱材の張仕舞い位置： ・製造メーカー推奨による ・図示 立上りコンクリートの仕上の種別： ・A種 ・B種 ・C種 ・ 防水立上り端部押さえ金物： ・使用する ・使用しない 立上り部の保護： ・コンクリート押え ・れんが押え ・モルタル押え ・乾式保護材 ・7&3水切り金物押え 伸縮調整目地： ・図示 ・ 屋上排水溝： ・適用 ・適用しない 3. 改質アスファルトシート防水 改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ： ※標準仕様書表9.3.1～9.3.3による ・図示 ・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ： ※標準仕様書表9.3.1～9.3.3による ・図示 ・	9章 防水工事	5.3 種別及び工程	5. 塗膜防水 種類 種別 施工箇所 ・ウレタンゴム系 ・X-1 ・X-2 ・ゴムアスファルト系 ・Y-1 ・Y-2 ・アクリルゴム系 仕上塗装： ・シムバー ・カラー ・ノズリップ ・遮熱塗料 ◎脱気装置 種類： ※製造メーカー指定 ・ 設置数量： ※製造メーカー指定 ・ 保護層： ・設置する ・設置しない 6. ケイ酸質系塗布防水 部位 種別 施工箇所 ・背面水圧側 ・C-U1 ・C-UP ・図示 ・地下外壁 ・地下床 ・ピット ・水圧側 ・C-U1 ・C-UP ・図示 ・地下外壁 ・水槽 ・ピット 下地処理： ・ ⑦ シーリング シーリング保証書： ◎提出する ・提出しない ◎保証書 (請負人、材料製造所、 シーリング施工者連帯保証)は 各2通提出すること。 ノンブリードタイプシーリング材の適用： ※使用する ・使用しない 施工箇所： ・ボリクリン系シーリングで仕上げありの部位
	11.2 施工	保証書(請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証)は各2通提出すること。 ・防水施工者は、防水材料製造所指定の施工者とし、監督員の承諾を受ける。		2.4 施工	◎防水層下地 下地モルタル塗り： ・適用する ・適用しない 適用箇所： ルーフレイン廻りの断熱材の張仕舞い位置： ・製造メーカー推奨による ・図示 立上りコンクリートの仕上の種別： ・A種 ・B種 ・C種 ・ 防水立上り端部押さえ金物： ・使用する ・使用しない 立上り部の保護： ・コンクリート押え ・れんが押え ・モルタル押え ・乾式保護材 ・7&3水切り金物押え 伸縮調整目地： ・図示 ・ 屋上排水溝： ・適用 ・適用しない 3. 改質アスファルトシート防水 改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ： ※標準仕様書表9.3.1～9.3.3による ・図示 ・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ： ※標準仕様書表9.3.1～9.3.3による ・図示 ・		6.1 適用範囲	6.2 材料
8章 防水工事	1.* 防水工事の保証書の提出、保証年限	保証書提出工事 保証箇所 保証年限 ・7&3防水 屋根(保護用) ※10年 ・年 屋根(露出用) ※10年 ・年 浴室・便所 ※10年 ・年 地下室・貯水槽 ※10年 ・年 ・改質アスファルトシート防水 ※10年 ・年 ・合成高分子ルーフィング 防水 ※10年 ・年 ・塗膜防水 ※10年 ・年	2.4 施工	◎保証書 (請負人、材料製造所、 シーリング施工者連帯保証)は 各2通提出すること。 ノンブリードタイプシーリング材の適用： ※使用する ・使用しない 施工箇所： ・ボリクリン系シーリングで仕上げありの部位	6.3 保証年限	◎材料	◎保証書 (請負人、材料製造所、 シーリング施工者連帯保証)は 各2通提出すること。 ノンブリードタイプシーリング材の適用： ※使用する ・使用しない 施工箇所： ・ボリクリン系シーリングで仕上げありの部位	
	2.2 材料	水張り試験： ・行う ・行わない 試験箇所： ・3階屋上部分、階段室2(R階部分) 試験方法： ※ドレーン廻りをルーフィング類やウエス類で仮の蓋をし、防水層の立上り端部を越えないように水を張り、2.4時間以上そのままにしておいた後、周辺や階下への漏れの有無を確認する。 2. アスファルト防水 改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ： ※標準仕様書表9.2.3～9.2.8による ・図示 ・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ： ※標準仕様書表9.2.5～9.2.8による ・図示 ・ ◎屋根保護防水断熱工法の断熱材 材質： ※A種押出法※リスレンフォームM3種b7&3層付(JIS A9511) 厚さ： ・30mm ・25mm ・図示 ◎屋根露出防水断熱工法の断熱材 材質： ※A種押出法※リスレンフォームL2種1号又は2号(JIS A9511) 厚さ： ・30mm ・25mm ・図示 ◎絶縁用シート 材質(保護防水工法)： ※※リフレンフォーム;t=0.15mm以上 材質(保護防水断熱工法)： ※7&3コンクレス(70g/m2程度) 防水層立上り部の保護の種類： ・乾式保護 ・湿式保護【 ・図示 ※普通れんが(JIS R1250) ・モルタル ・ 】	2.3 防水層の種類、種別及び工法	◎材料	◎保証書 (請負人、材料製造所、 防水施工者連帯保証)は 各2通提出すること。			

業務名/工事名	紅ヶ丘配水池建設 (管内配管・電気機械室築造)工事		
施工箇所名	可見市紅ヶ丘区内		
図面の種類	特記仕様書-3		
縮尺	-	図面番号	19 葉之内 3
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可見市水道部水道課		

章	項目	特記事項							章	項目	特記事項							章	項目	特記事項														
① 建築 工事	② 材料	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類等：・図示・下表による・							① 建築 工事	② 材料	長尺金属板葺 材料：※塗装溶融55%7%ニッケル-亜鉛合金めっき鋼板材種(フッ素樹脂塗装) ・塗装ステンレス鋼板・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ 板厚：①.4mm以上・0.6mm・0.8mm・ 下葺材料：①スファルト-フック 940・ ・改質アスファルト-フック【・一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ】 屋根葺形式：①木なし瓦葺葺・立はげ葺・平葺・ 雪止め：・設置する・設置しない 3. 折板葺 材料：※塗装溶融55%7%ニッケル-亜鉛合金めっき鋼板材種 ・塗装ステンレス鋼板・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ 板厚(mm)：・1.0・0.8・0.6・ 山高(mm)：・90・150・180・ 軒先面戸板：・有・無 断熱材張り：・無・有(材種等；) 形式による区分：・重ね形又ははげ葺形・ 4. 粘土瓦葺 種類：・和瓦・洋瓦・ 区分：・釉薬瓦・塩焼瓦 大きさ：・53形・64形・ 産地：・石州・淡路・三州・ 役物瓦：・図示・ ・軒先瓦()・棟瓦() ・鬼瓦()・隅鬼瓦() 雪止瓦：・使用する・使用しない 瓦棧の材質：※杉又は桧・杉・桧・ 瓦棧の寸法：※21mm(W)x15mm(H)・30mm(W)x18mm(H)・ 瓦棧木の留付け工法：※標準仕様書による・ 棟の工法：・ ⑤と 軒どいの材質：①フェリス既製品・7%フッ素樹脂鋼板・耐候性被覆鋼板 縦どいの材質：①フェリス既製品・配管用鋼管・硬質塩化ビニル管【・カラー・】 掃除口：・有・無 飾り樹：・塩ビ製・鋼板製・ とい受け金物：①フェリス製・亜鉛めっき鋼板製・ ルーフトレイン：・ステンレス製・鋳鉄製・7%ニッケル製 鋼管製との防露：・行う・行わない 施工箇所：※標準仕様書表13.5.4による・							① 建築 工事	2.2 合金の表面処理	表面処理：・下表による ※標準仕様書による 種類別 表面処理 施工箇所 ・B-1種 標準仕様書による ・B-2種 標準仕様書による ・A-1種 標準仕様書による ・D種 ・7%フッ素樹脂付塗装 ・フッ素樹脂焼付塗装 陽極酸化皮膜の着色方法：※二次電解着色・7%フッ素樹脂焼付塗装 ・静電塗装・ふっ素樹脂焼付塗装 表面処理方法 種類 施工箇所 ・溶融亜鉛メッキ ・A種・B種・C種 ・屋外階段各部・屋上各部手摺 ・電気亜鉛メッキ ・D種・E種・F種 4. 軽量鉄骨天井下地 種類：※標準仕様書表14.4.1による・ 屋外の野縁受け、吊りボルト、インサートの間隔：・与@900mm・ 屋外の野縁の間隔：※標準仕様書表14.4.2による・ 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法：・図示・ 天井ふとところが1.5mを超える場合の補強方法：※標準仕様書による・図示・ 天井ふとところが3mを超える場合の補強方法：・図示・ 5. 軽量鉄骨壁下地 種類：・50形・65形・90形・100形・ 6. 金属成形板張り 材種 ・7%ニッケル ・ガルバリウム鋼板 製法 ・押し出し・プレス ・押し出し・プレス ・ロール 表面処理 ・55%7%ニッケル-亜鉛合金めっき処理 取付け用下地：※標準仕様書による・ 7. アルミニウム製笠木 種類：・250形・300形・350形・図示 表面処理：・A-1種・A-2種・ 耐風圧、耐積雪対応固定方法：・製造メーカー仕様による・ ⑧手すり及びタラップ 種類 材種 表面処理の種類 ①手すり ①7%ニッケル ・A-1 ・A-2 ②-2 亜鉛めっきの場合 ・タラップ ・ステンレス鋼 ・No.2B・														
	③ 外部階段	60 x 150	ノスリタイプ	-	-	-	-	-		③ 工法	3.2 材料	3.2 材料 3.3 工法 4.2 材料 4.3 工法							2.3 鉄鋼の亜鉛メッキ	2.3 鉄鋼の亜鉛メッキ 4.2 材料 4.3 形状及び寸法 4.4 工法 5.3 形状及び寸法 6.2 材料 6.3 工法 7.2 材料 7.3 工法														
	2.7 施工	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない ◎壁タイル張り 内装タイルの工法：・改良積上げ張り・ 外装タイルの工法：・密着張り・改良積上げ張り・改良圧着張り 内装以外のユニットタイルの工法：・マス張り・モザイク張り								3.2 材料	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない								4.2 材料	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない							6.2 材料	◎手すり及びタラップ 種類 材種 表面処理の種類 ①手すり ①7%ニッケル ・A-1 ・A-2 ②-2 亜鉛めっきの場合 ・タラップ ・ステンレス鋼 ・No.2B・						
	3.2 材料	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない								3.2 材料	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない								4.2 材料	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない							6.2 材料	◎手すり及びタラップ 種類 材種 表面処理の種類 ①手すり ①7%ニッケル ・A-1 ・A-2 ②-2 亜鉛めっきの場合 ・タラップ ・ステンレス鋼 ・No.2B・						
	3.2 材料	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない								3.2 材料	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない								4.2 材料	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない							6.2 材料	◎手すり及びタラップ 種類 材種 表面処理の種類 ①手すり ①7%ニッケル ・A-1 ・A-2 ②-2 亜鉛めっきの場合 ・タラップ ・ステンレス鋼 ・No.2B・						
	3.7 施工	モルタル塗りコンクリート素地面：・素肌・MCR工法・目荒し工法(高圧水洗) ◎壁タイル張り 内装タイルの工法：・内装タイル接着剤張り・ 外装タイルの工法：・外装タイル接着剤張り・ 内装以外のユニットタイルの工法：・外装タイル接着剤張り・								3.7 施工	モルタル塗りコンクリート素地面：・素肌・MCR工法・目荒し工法(高圧水洗) ◎壁タイル張り 内装タイルの工法：・内装タイル接着剤張り・ 外装タイルの工法：・外装タイル接着剤張り・ 内装以外のユニットタイルの工法：・外装タイル接着剤張り・								4.2 材料	4. 陶磁器質タイル型枠先付け タイルの種類等：・図示・下表による・							6.3 工法	取付け用下地：※標準仕様書による・						
	4.2 材料	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない								4.2 材料	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない								5.3 工法	1.3 工法 2.1 ステンレスの表面仕上							6.3 工法	取付け用下地：※標準仕様書による・						
	4.3 タイル型枠先付の種類	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない タイル型枠のせき板材料：※標準仕様書による・ 小口タイル：・タイルカット法・目地樹法・ 二丁掛タイル：・タイルカット法・目地樹法・ 大形タイル：・積木法・								4.3 工法	あと施工アンカーの引抜き試験：・行う・行わない 2. 表面処理 材質：・図示・SUS304・SUS430・ 種類別 施工箇所 ※H仕上げ ※No.2B ・ガフ(#400) ・野付仕上げ ・鏡面仕上げ								5.3 工法	あと施工アンカーの引抜き試験：・行う・行わない 2. 表面処理 材質：・図示・SUS304・SUS430・ 種類別 施工箇所 ※H仕上げ ※No.2B ・ガフ(#400) ・野付仕上げ ・鏡面仕上げ							6.3 工法	取付け用下地：※標準仕様書による・						
	4.3 タイル型枠先付の種類	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない タイル型枠のせき板材料：※標準仕様書による・ 小口タイル：・タイルカット法・目地樹法・ 二丁掛タイル：・タイルカット法・目地樹法・ 大形タイル：・積木法・								4.3 工法	あと施工アンカーの引抜き試験：・行う・行わない 2. 表面処理 材質：・図示・SUS304・SUS430・ 種類別 施工箇所 ※H仕上げ ※No.2B ・ガフ(#400) ・野付仕上げ ・鏡面仕上げ								5.3 工法	あと施工アンカーの引抜き試験：・行う・行わない 2. 表面処理 材質：・図示・SUS304・SUS430・ 種類別 施工箇所 ※H仕上げ ※No.2B ・ガフ(#400) ・野付仕上げ ・鏡面仕上げ							6.3 工法	取付け用下地：※標準仕様書による・						
	4.3 タイル型枠先付の種類	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない タイル型枠のせき板材料：※標準仕様書による・ 小口タイル：・タイルカット法・目地樹法・ 二丁掛タイル：・タイルカット法・目地樹法・ 大形タイル：・積木法・								4.3 工法	あと施工アンカーの引抜き試験：・行う・行わない 2. 表面処理 材質：・図示・SUS304・SUS430・ 種類別 施工箇所 ※H仕上げ ※No.2B ・ガフ(#400) ・野付仕上げ ・鏡面仕上げ								5.3 工法	あと施工アンカーの引抜き試験：・行う・行わない 2. 表面処理 材質：・図示・SUS304・SUS430・ 種類別 施工箇所 ※H仕上げ ※No.2B ・ガフ(#400) ・野付仕上げ ・鏡面仕上げ							6.3 工法	取付け用下地：※標準仕様書による・						
4.3 タイル型枠先付の種類	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない タイル型枠のせき板材料：※標準仕様書による・ 小口タイル：・タイルカット法・目地樹法・ 二丁掛タイル：・タイルカット法・目地樹法・ 大形タイル：・積木法・							4.3 工法	あと施工アンカーの引抜き試験：・行う・行わない 2. 表面処理 材質：・図示・SUS304・SUS430・ 種類別 施工箇所 ※H仕上げ ※No.2B ・ガフ(#400) ・野付仕上げ ・鏡面仕上げ							5.3 工法	あと施工アンカーの引抜き試験：・行う・行わない 2. 表面処理 材質：・図示・SUS304・SUS430・ 種類別 施工箇所 ※H仕上げ ※No.2B ・ガフ(#400) ・野付仕上げ ・鏡面仕上げ							6.3 工法	取付け用下地：※標準仕様書による・									

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (橋内配管・電気機械室築造) 工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	特記仕様書-4		
縮尺	-	図面番号	19_東之内_4
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		

章 項目	特記事項																																										
2.2 材料	2. モルタル塗り 既製目地： ・適用 ・不適用 既製目地の形状寸法等： ・図示 ・																																										
2.5 工法	床の目地： ・設ける ・設けない 工法： ・押し目地 ・切り目地 ・ 外壁タイル下地モルタルの接着力試験： ・行う ・行わない																																										
3.1 適用範囲	3. 床コンクリート直均し仕上げ 施工箇所： ・一般の床、倉庫、車庫、通路 ・塗り物、敷物、張り物等の下地 ・防水の下地 ・																																										
4.2 材料	4. セルフレベリング材塗り 品質： ・セメント系 ・せっこう系 ・ 厚さ： ※10mm ・図示																																										
5.1 材料	⑤ 仕上塗材仕上げ 薄付仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・ 材料の防火指定： ・無 ・有 (
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げる形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装薄塗材 Si</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状 ・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>吹付け ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 Si</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状 ・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>吹付け ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>⑥ 外装薄塗材 E</td> <td>○砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状 ・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状 ・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>吹付け こて塗り ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状 ・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>吹付け こて塗り ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td>・ゆず肌状・さざ波状 ・凹凸状</td> <td>ローラー塗り 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td>・砂壁状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 C</td> <td>・凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 L</td> <td>・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>こて塗り ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 Si</td> <td>・砂壁状じゅうらく・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 E</td> <td>・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>こて塗り ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 W</td> <td>・京壁状じゅうらく・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 W(調湿形)</td> <td>・平たん状・凹凸状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 W(耐湿性)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		種類(呼び名)	仕上げる形状	工法	・外装薄塗材 Si	・砂壁状・ゆず肌状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け ローラー塗り	・可とう形外装薄塗材 Si	・砂壁状・ゆず肌状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け ローラー塗り	⑥ 外装薄塗材 E	○砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状 ・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け こて塗り ローラー塗り	・可とう形外装薄塗材 E	・砂壁状・ゆず肌状 ・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け こて塗り ローラー塗り	・防水形外装薄塗材 E	・ゆず肌状・さざ波状 ・凹凸状	ローラー塗り 吹付け	・外装薄塗材 S	・砂壁状	吹付け	・内装薄塗材 C	・凹凸状	吹付け	・内装薄塗材 L	・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状	こて塗り ローラー塗り	・内装薄塗材 Si	・砂壁状じゅうらく・ゆず肌状	吹付け	・内装薄塗材 E	・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状	こて塗り ローラー塗り	・内装薄塗材 W	・京壁状じゅうらく・ゆず肌状	吹付け	・内装薄塗材 W(調湿形)	・平たん状・凹凸状	こて塗り	・内装薄塗材 W(耐湿性)		
種類(呼び名)	仕上げる形状	工法																																									
・外装薄塗材 Si	・砂壁状・ゆず肌状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け ローラー塗り																																									
・可とう形外装薄塗材 Si	・砂壁状・ゆず肌状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け ローラー塗り																																									
⑥ 外装薄塗材 E	○砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状 ・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け こて塗り ローラー塗り																																									
・可とう形外装薄塗材 E	・砂壁状・ゆず肌状 ・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状	吹付け こて塗り ローラー塗り																																									
・防水形外装薄塗材 E	・ゆず肌状・さざ波状 ・凹凸状	ローラー塗り 吹付け																																									
・外装薄塗材 S	・砂壁状	吹付け																																									
・内装薄塗材 C	・凹凸状	吹付け																																									
・内装薄塗材 L	・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状	こて塗り ローラー塗り																																									
・内装薄塗材 Si	・砂壁状じゅうらく・ゆず肌状	吹付け																																									
・内装薄塗材 E	・平たん状・凹凸状 ・ゆず肌状・さざ波状	こて塗り ローラー塗り																																									
・内装薄塗材 W	・京壁状じゅうらく・ゆず肌状	吹付け																																									
・内装薄塗材 W(調湿形)	・平たん状・凹凸状	こて塗り																																									
・内装薄塗材 W(耐湿性)																																											
厚付仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・ 材料の防火指定： ・無 ・有 (
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げる形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装厚塗材 C</td> <td>・吹放し・凸部処理 ・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>吹付け こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 Si</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 E</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し ・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 C</td> <td>・吹放し・凸部処理 ・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>吹付け こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 L</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 G</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 Si</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 E</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し ・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り ローラー塗り</td> </tr> </tbody> </table>		種類(呼び名)	仕上げる形状	工法	・外装厚塗材 C	・吹放し・凸部処理 ・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	吹付け こて塗り	・外装厚塗材 Si	・吹放し・凸部処理	吹付け	・外装厚塗材 E	・平たん状・凹凸状・ひき起し ・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り ローラー塗り	・内装厚塗材 C	・吹放し・凸部処理 ・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	吹付け こて塗り	・内装厚塗材 L	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り	・内装厚塗材 G	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り	・内装厚塗材 Si	・吹放し・凸部処理	吹付け	・内装厚塗材 E	・平たん状・凹凸状・ひき起し ・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り ローラー塗り															
種類(呼び名)	仕上げる形状	工法																																									
・外装厚塗材 C	・吹放し・凸部処理 ・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	吹付け こて塗り																																									
・外装厚塗材 Si	・吹放し・凸部処理	吹付け																																									
・外装厚塗材 E	・平たん状・凹凸状・ひき起し ・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り ローラー塗り																																									
・内装厚塗材 C	・吹放し・凸部処理 ・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	吹付け こて塗り																																									
・内装厚塗材 L	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り																																									
・内装厚塗材 G	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り																																									
・内装厚塗材 Si	・吹放し・凸部処理	吹付け																																									
・内装厚塗材 E	・平たん状・凹凸状・ひき起し ・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り ローラー塗り																																									

章 項目	特記事項																					
5.2 材料	複層仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・ 材料の防火指定： ・無 ・有 (不燃認定品																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げる形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理 ①凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 Si</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②複層塗材 RE</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 RS</td> <td>・凸部処理・凹凸模様 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け ローラー塗り</td> </tr> </tbody> </table>		種類(呼び名)	仕上げる形状	工法	・複層塗材 CE	・凸部処理 ①凹凸模様	吹付け	・複層塗材 Si	・ゆず肌状	ローラー塗り	・複層塗材 E			②複層塗材 RE			・可とう形複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様 ・ゆず肌状	吹付け ローラー塗り	・複層塗材 RS	・凸部処理・凹凸模様 ・ゆず肌状	吹付け ローラー塗り
種類(呼び名)	仕上げる形状	工法																				
・複層塗材 CE	・凸部処理 ①凹凸模様	吹付け																				
・複層塗材 Si	・ゆず肌状	ローラー塗り																				
・複層塗材 E																						
②複層塗材 RE																						
・可とう形複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様 ・ゆず肌状	吹付け ローラー塗り																				
・複層塗材 RS	・凸部処理・凹凸模様 ・ゆず肌状	吹付け ローラー塗り																				
6.2 塗材塗り	③ 防水形複層塗材 CE ・凸部処理・凹凸模様 吹付け																					
8.3 配合、かさ比重	④ 防水形複層塗材 E ・ゆず肌状 ローラー塗り																					
8.3 配合、かさ比重	⑤ 防水形複層塗材 RE ・防水形複層塗材 RE																					
耐候性： ※耐候形3種 ・ 上塗材溶媒： ※水系 ・ 上塗材樹脂： ※アクリル系 ・ 上塗材外観： ※つやあり ・つやなし ・マット ・ 防水形の増塗材の適用： ・する ・しない 6. マスク塗材塗り 種類： ・A種 ・B種 8. ロックウール吹付け 吹付け厚さ： ・図示 ・25 ・30 ・20 ・																						
1.3 防火戸	① 一般事項 防火戸の指定： ・図示 ・ ・防火戸等の自動閉鎖装置は、日本建築センター評定品とする。 建具見本の制作： ・必要 ・不要 仮組の実施： ・行う ・行わない 防火建具部品の適用： ・図示 ・適用 ・適用しない ※塗装溶融垂鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板																					
② 見本の制作等	② アルミニウム製建具 【めっきの付着量： ・AZ90 ・】																					
2.2 性能及び構造	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込み寸法 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td rowspan="2">I-3</td> <td rowspan="2">I-4</td> <td rowspan="2">70</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>I-4</td> <td>I-5</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法 (mm)	・A種	S-4	I-3	I-4	70	・B種	S-5	・C種	S-6	I-4	I-5	100				
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法 (mm)																		
・A種	S-4	I-3	I-4	70																		
・B種	S-5																					
・C種	S-6	I-4	I-5	100																		
防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 遮音性の等級： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 断熱ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 断熱性の等級： ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5 耐震ドアセットの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 面内変形追随性の等級： ・D-1 ・D-2 ・D-3 防虫網の適用： ③ 用 ・適用しない ・図示 網の材質： ※合成樹脂製 ・ステンレス製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 形式： ・外面納まり可動式 ・外面納まり固定式 建具枠の見込： ・図示 ⑦ ⑧ ・100 ・ 外部に面する建具の表面処理： ・B-1種 ・⑨ ⑩ 種 屋内の建具の表面処理： ・C-1種 ・ 表面色： ⑪ 標準色 ・特注色 引違い建具落下防止機構： ・採用する ・採用しない 水切り板： ⑫ 取付ける ・取付けない ぜんば板： ・取付ける ・取付けない 結露水の処理方法： ・図示 ・																						
③ 材料																						
④ 形状及び仕上げ																						

章 項目	特記事項																	
3.2 性能及び構造	3. 樹脂製建具 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込み寸法 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td rowspan="2">I-4</td> <td rowspan="2">I-5</td> <td rowspan="2">70</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法 (mm)	・A種	S-4	I-4	I-5	70	・B種	S-5	・C種	S-6			
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法 (mm)														
・A種	S-4	I-4	I-5	70														
・B種	S-5																	
・C種	S-6																	
3.2 性能及び構造	防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 遮音性の等級： ・T-1 ・T-2 ・ 断熱ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 断熱性の等級： ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5																	
3.3 材料	ガラスの形式： ・複層ガラス ・単層ガラス ・三重ガラス ・																	
3.4 形状及び仕上げ	建具の表面色： ・標準色 ・特注色																	
3.5 工法	水切り板： ・取付ける ・取付けない ぜんば板： ・取付ける ・取付けない																	
4.2 性能及び構造	4. 鋼製建具 性能及び構造： ※JIS規格による ・ 外部に面する鋼製建具の耐風圧性能： ・S-4 ・S-5 ・S-6 ・																	
4.3 材料	鋼板の種類： ・JIS G 3302；溶融亜鉛めっき鋼板帯 ・JIS G 3317；溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板帯 JIS G 3302のめっきの最小付着量(両面)： ・Z12又はF12 (120 g/m ²) 以上 ・ JIS G 3317のめっきの最小付着量(両面)： ・Y08以上 ・																	
4.4 形状及び仕上げ	鋼板類の厚さ： ※標準仕様書表16.4.2による ・ 防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 遮音性の等級： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4																	
5.2 性能及び構造	5. 鋼製軽量建具 性能及び構造： ※JIS規格による ・ 簡易気密型ドアセットの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 気密性： ・A-1 ・ 水密性： ・W-1 ・																	
5.3 材料	鋼板の種類： ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ・図示 召合わせ、縦口包み板等の適用： ・適用 ・適用しない ・図示 材質： ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム押出型材 ・																	
5.4 形状及び仕上げ	鋼板類の厚さ： ・図示 ・0.6mm ・1.5mm(ステンレス鋼板) ・1.6mm ・2.3mm ・																	
⑥ 材料	⑥ ステンレス製建具 性能及び構造： ※JIS規格による ・ ステンレス鋼板の材質： ※SUS304, 430J1L, 430 ・SUS304 ・SUS430 ・ 表面仕上げ： ※HL ・鏡面 ・パフ () ・ 曲げ加工： ⑦ ⑧ 通曲げ ・角出し曲げ																	
⑦ 工法																		

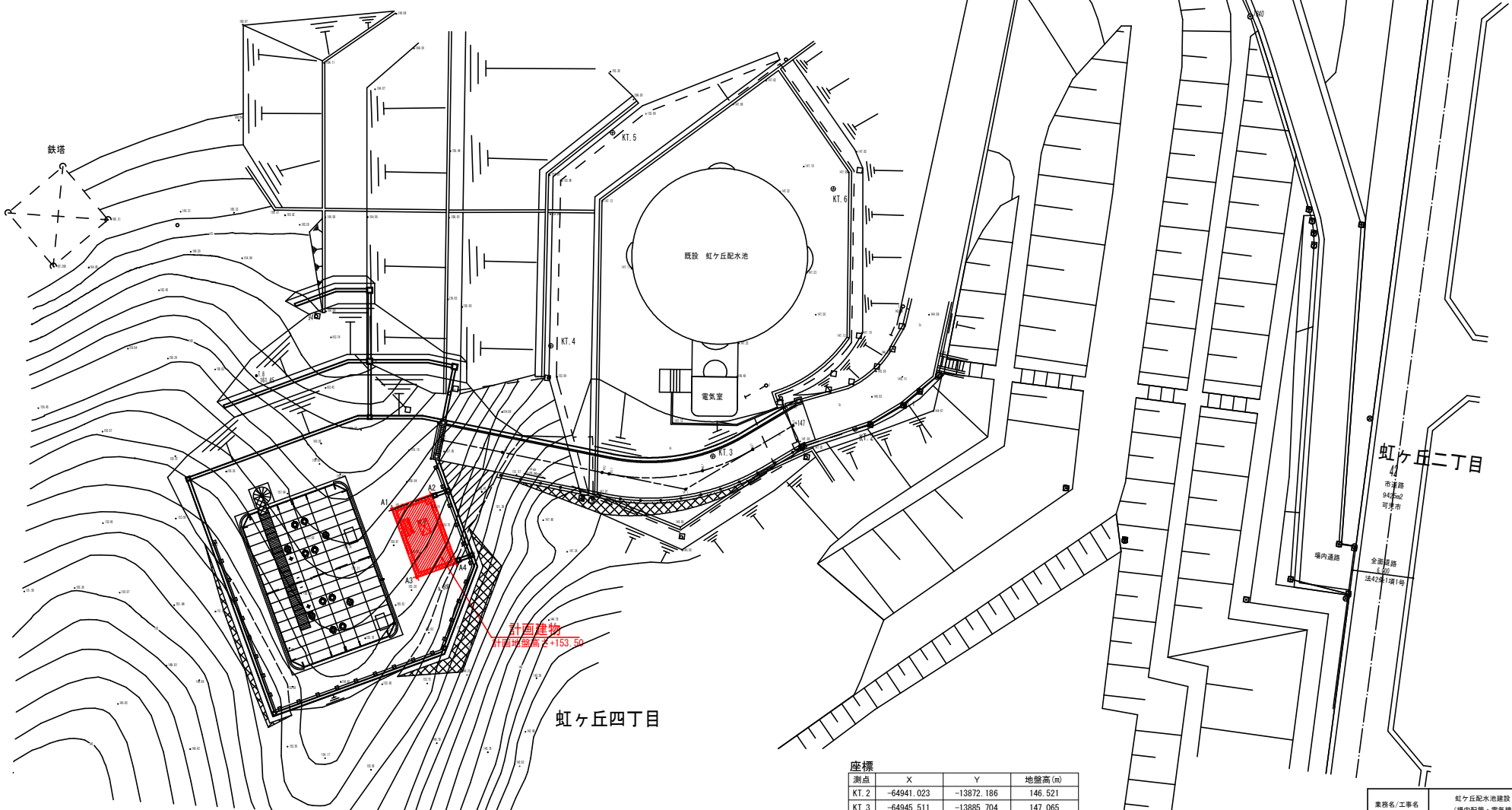
業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (境内配管・電気機械室築造) 工事	
施工箇所名	可児市虹ヶ丘境内	
図面の種類	特記仕様書-5	
縮尺	-	図面番号 19 業之内 5
設計者	株式会社 東京設計事務所	
事務所名	可児市水道部水道課	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																					
16 建築 工事	7.2 材 料	7. 木製建具 建具材の加工、組立て時の含水率の種別： ・A種 ※B種 ・C種 ・フラッシュ戸の心材の中骨、上下棧及び中棧には空気を適正に設ける。 合板類の適用： ・適用 ・適用しない ・図示 種類： ・ワン合板 ・シ合板 ・図示 ・ かまち戸の樹種： ・松 ・杉 ・楠 鏡板の樹種： ・杉 ・松 ・楠 ・材種 ・材種 ・材種 ふすまの上張りの種類： ・本鳥の子 ・新鳥の子 ・ビニル紙 ・ 代用樹種等を適用しない箇所： ・ フラッシュ戸の表面板の厚さ： ・標準仕様書表16.7.51による ・ かまち戸の見込寸法： ・図示 ※36mm ・ ふすまの見込寸法： ・図示 ※19.5mm ・ 戸ぶすまの見込寸法： ・図示 ※30mm ・ 紙貼障子の見込寸法： ・図示 ※30mm ・	16 建築 工事	12.2形式及び機構	1 2. 軽量シャッター <バイブシャッター> 開閉形式： ※手動式 ・上部電動式(手動併用) ・ <開閉形式>： ※手動式 ・上部電動式(手動併用) ・ 耐風圧性能： ・50 ・80 ・120 ・ スラット等鋼板の種類： ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステン鋼板 ・塗装溶融亜鉛-5%Zn-Ni合金めっき鋼板 ・7%Zn押出型材 溶融亜鉛めっきの付着量： ・Z06(F06) ・AZ90 ・ <バイブの材質>： ・ステンレス ・スチール ・ <バイブ径>： ・図示 ・13mm ・16mm ・19mm ・ <バイブ間隔>： ・図示 ・70mm ・ <格子間隔>： ・図示 ・500mm ・ スラットの形状： ・インナーロッキング形 ・オーバ-ラッピング形	16 建築 工事	2.2 71-714707	② ユニット工事等	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材質・形状・寸法</th> <th>表面仕上材質・形状・寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・7%Znイナスト：450x450x50</td> <td>・帯電防止ビニル床材：450x450x2.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・スチール：500x500x50</td> <td>・タイルカベット：500x500x6.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・樹脂製：500x500x50</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	材質・形状・寸法	表面仕上材質・形状・寸法		・7%Znイナスト：450x450x50	・帯電防止ビニル床材：450x450x2.5		・スチール：500x500x50	・タイルカベット：500x500x6.5		・樹脂製：500x500x50									
	施工箇所	材質・形状・寸法		表面仕上材質・形状・寸法																									
		・7%Znイナスト：450x450x50		・帯電防止ビニル床材：450x450x2.5																									
		・スチール：500x500x50		・タイルカベット：500x500x6.5																									
		・樹脂製：500x500x50																											
	7.3 形状及び仕上げ	耐震性能： ・0.6G ・1.0G ・ 所定荷重： ・3,000N ・5,000N ・ 耐衝撃性能： ・0.6G ・1.0G ・ 帯電防止性能： ・ 漏えい抵抗： ・ ◇試 験 耐荷重性能： ※標準仕様書による ・ 耐衝撃性能： ※標準仕様書による ・ ローリングロード性能： ※標準仕様書による ・ 耐燃焼性能： ※標準仕様書による ・ 適用地震時水平力 寸法精度： ※±0.5mm ・		12.4形状及び仕上げ	1 3. オーバーヘッドドア セクション材料による区別： ・図示 ・下表による		2.3 可動間仕切	<table border="1"> <tr> <th>構造形式による種類</th> <td>・S ・P ・SP</td> <td>・M ・O ・F</td> </tr> <tr> <th>構成材の種類</th> <td>・N ・D ・W</td> <td>・AL ・ST ・E ・W ・st</td> </tr> <tr> <th>遮音性</th> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td></td> </tr> </table>	構造形式による種類	・S ・P ・SP	・M ・O ・F	構成材の種類	・N ・D ・W	・AL ・ST ・E ・W ・st	遮音性	・0 ・12 ・20 ・28 ・36													
	構造形式による種類	・S ・P ・SP		・M ・O ・F																									
	構成材の種類	・N ・D ・W		・AL ・ST ・E ・W ・st																									
	遮音性	・0 ・12 ・20 ・28 ・36																											
	7.4 工 法	ふすまの工法： ・I型 ・II型 ・ ふすまの線の仕上げ： ・図示 ・本漆塗り ・カヌー塗り ・ウレタン塗装 ・素木 ・		13.2形式及び機構	セクション材料による区別		2.4 移動間仕切	<table border="1"> <tr> <th>開閉方式による種類</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> <tr> <td>・スチール製</td> <td>・バラス式</td> <td>・スタンダード形</td> </tr> <tr> <td>・7%Znイナスト</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> </tr> <tr> <td>・7%Znイナスト</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・パーチナ形</td> </tr> </table>	開閉方式による種類	収納形式による区分	ガイドレールの材料	・スチール製	・バラス式	・スタンダード形	・7%Znイナスト	・チェーン式	・ローヘッド形	・7%Znイナスト	・電動式	・ハイリフト形			・パーチナ形						
開閉方式による種類	収納形式による区分	ガイドレールの材料																											
・スチール製	・バラス式	・スタンダード形																											
・7%Znイナスト	・チェーン式	・ローヘッド形																											
・7%Znイナスト	・電動式	・ハイリフト形																											
		・パーチナ形																											
④ 適用範囲	④ 建具用金物 適用範囲： ・建具製作所仕様以外の金物(金物の種類、材質： ※標準仕様書表16.8.11による ・ 軸吊りヒンジ： ・④閉装置付き ・自閉装置なし ドアクローザのディレードアクション(遅延閉)機能の適用： ・適用 ・適用しない 戸当り： ・あおり止め(フック)付き ・あおり止め(フック)付きなし 樹脂製建具の丁番： ※標準仕様書表16.8.31による ・	14.2 材 料	耐風圧性能： ・50 ・75 ・100 ・125	2.5 トイレブース	<table border="1"> <tr> <th>パネル表面仕上げ</th> <td>・</td> </tr> <tr> <th>取得建具形状・寸法</th> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <th>パネルの操作方法による種類</th> <td>・</td> </tr> <tr> <th>パネル表面材の材質、仕上げ</th> <td>・</td> </tr> <tr> <th>パネル圧接装置の操作方法</th> <td>・</td> </tr> <tr> <th>遮音性能</th> <td>・</td> </tr> <tr> <th>ハンガーレール取付け下地の補強</th> <td>・ ※標準仕様書による ・</td> </tr> <tr> <th>あと施工アンカーの材質、寸法等</th> <td>・</td> </tr> <tr> <th>パネル表面材質</th> <td>・7%Zn樹脂化粧板 ・ポリリス樹脂系化粧板 ・ 脚部の形状： ※幅木型 ・足金物型</td> </tr> <tr> <th>材質</th> <td>・ステンレス製付入り ・床材一体型ビニルシート</td> </tr> <tr> <th>形状・寸法</th> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <th>取付工法</th> <td>・ ※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table>	パネル表面仕上げ	・	取得建具形状・寸法	・図示 ・	パネルの操作方法による種類	・	パネル表面材の材質、仕上げ	・	パネル圧接装置の操作方法	・	遮音性能	・	ハンガーレール取付け下地の補強	・ ※標準仕様書による ・	あと施工アンカーの材質、寸法等	・	パネル表面材質	・7%Zn樹脂化粧板 ・ポリリス樹脂系化粧板 ・ 脚部の形状： ※幅木型 ・足金物型	材質	・ステンレス製付入り ・床材一体型ビニルシート	形状・寸法	・図示 ・	取付工法	・ ※接着工法 ・埋込み工法
パネル表面仕上げ	・																												
取得建具形状・寸法	・図示 ・																												
パネルの操作方法による種類	・																												
パネル表面材の材質、仕上げ	・																												
パネル圧接装置の操作方法	・																												
遮音性能	・																												
ハンガーレール取付け下地の補強	・ ※標準仕様書による ・																												
あと施工アンカーの材質、寸法等	・																												
パネル表面材質	・7%Zn樹脂化粧板 ・ポリリス樹脂系化粧板 ・ 脚部の形状： ※幅木型 ・足金物型																												
材質	・ステンレス製付入り ・床材一体型ビニルシート																												
形状・寸法	・図示 ・																												
取付工法	・ ※接着工法 ・埋込み工法																												
⑤ 鍵	マスターキー： ・製作する ・製作しない ・マスターキーの製作については施設管理者及び監督員と協議する。 マスターキーの系統： ・系統 指定建物錠の防犯性能の適用： ・⑤ ・しない 指定建物錠とは、建物の外部出入口用に用いるシリンダー錠・シリンダー錠・シリンダー錠が該当 耐ピッキング性能： ・5分未満 ・5分以上 ※10分以上 耐鍵穴壊し性能： ・5分未満 ・5分以上 ※10分以上 耐サムターン回し性能： ・なし(5分未満) ※あり(5分以上) 耐カム送り解錠性能： ・なし(5分未満) ※あり(5分以上) 耐こじ破り性能： ・なし(5分未満) ※あり(5分以上) 出荷時の子鍵本数： ※3本 ・本 鍵箱の適用： ・必要 ・⑤必要	14.3ガラス溝の寸法、形状等	1 4. ガラス ガラスの種類： ・図示 ・ ガラス留め材	⑥ 階段滑り止め	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類・材質</th> </tr> <tr> <td>・7%Znイナスト</td> <td>・シーリング材 ※ガスタット ・パテ材(・1種 ・2種)</td> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種)</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種)</td> </tr> <tr> <td>・木製</td> <td>※シーリング材 ・パテ材(・木製用 ・)</td> </tr> </table>	種類	種類・材質	・7%Znイナスト	・シーリング材 ※ガスタット ・パテ材(・1種 ・2種)	・鋼製	※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種)	・ステンレス製	※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種)	・木製	※シーリング材 ・パテ材(・木製用 ・)														
種類	種類・材質																												
・7%Znイナスト	・シーリング材 ※ガスタット ・パテ材(・1種 ・2種)																												
・鋼製	※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種)																												
・ステンレス製	※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種)																												
・木製	※シーリング材 ・パテ材(・木製用 ・)																												
9.2 性 能	9. 自動ドア開閉装置 スライディングドアの開閉性能： ・ ※標準仕様書表16.9.11による ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSDL-1 ・DSDL-2 スイングドアの開閉性能： ・ ※標準仕様書表16.9.21による ・SWD-1 ・SWD-2	14.4工 法	ガラス溝の大きさ： ※標準仕様書表16.14.11による ・ 熱線反射ガラスの映像調整： ・行う ・行わない 表面形状： ・図示 ・ブレン ・梨地 ・加減 ・ 寸法、厚み： ・図示 ・190x190x95 ・145x145x95 ・ 壁用金属枠： ・図示 ・7%Znイナスト ・スチール製 ・ステンレス製 ・ 補強剤： ・図示 ・ 化粧目地の色： ・白 ・グレー ・黒 ・ シーリング材： ・ポリウレタン系 ・ウレタン系 ・シリコン系 ・ 金属製化粧カバー： ・図示 ・ 風圧力に対応した工法： ・ 目地幅： ※標準仕様書による ・ 伸縮調整目地の位置： ※標準仕様書による ・ 伸縮調整目地の仕上： ※標準仕様書による ・	2.9 鏡	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法</th> <th>材 質</th> </tr> <tr> <td>・衝突防止表示</td> <td>・図示 ・</td> <td>・ステンレス ・</td> </tr> <tr> <td>・室名札</td> <td>・図示 ・ ≒80x200</td> <td>・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート</td> </tr> <tr> <td>・ピクトグラフ</td> <td>・図示 ・ ≒200x200</td> <td>・アクリル板/シルクスクリーン</td> </tr> <tr> <td>・案内板</td> <td>・図示 ・</td> <td>・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート</td> </tr> <tr> <td>・階数表示板</td> <td>・図示 ・ ≒250x250</td> <td>・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート</td> </tr> <tr> <td>・非常用進入口</td> <td>・図示 ・</td> <td>・カーテイングシート</td> </tr> </table>	種類	形状・寸法	材 質	・衝突防止表示	・図示 ・	・ステンレス ・	・室名札	・図示 ・ ≒80x200	・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート	・ピクトグラフ	・図示 ・ ≒200x200	・アクリル板/シルクスクリーン	・案内板	・図示 ・	・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート	・階数表示板	・図示 ・ ≒250x250	・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート	・非常用進入口	・図示 ・	・カーテイングシート			
種類	形状・寸法	材 質																											
・衝突防止表示	・図示 ・	・ステンレス ・																											
・室名札	・図示 ・ ≒80x200	・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート																											
・ピクトグラフ	・図示 ・ ≒200x200	・アクリル板/シルクスクリーン																											
・案内板	・図示 ・	・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート																											
・階数表示板	・図示 ・ ≒250x250	・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート																											
・非常用進入口	・図示 ・	・カーテイングシート																											
9.3 機 構	戸の開閉方法： ・ センサーの種類： ・フォトスイッチ ・光線スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダ ルスイッチ ・多機能便所スイッチ 凍結防止装置： ・有 ・無	14.5ガラスロック積み	1 0. 自閉式上吊り引戸装置 性能： ※標準仕様書表16.10.11による ・	⑦ 表示	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形状・寸法</th> <th>材 質</th> </tr> <tr> <td>・ビクトグラフ</td> <td>・図示 ・ ≒200x200</td> <td>・アクリル板/シルクスクリーン</td> </tr> <tr> <td>・案内板</td> <td>・図示 ・</td> <td>・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート</td> </tr> <tr> <td>・階数表示板</td> <td>・図示 ・ ≒250x250</td> <td>・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート</td> </tr> <tr> <td>・非常用進入口</td> <td>・図示 ・</td> <td>・カーテイングシート</td> </tr> </table>	種 類	形状・寸法	材 質	・ビクトグラフ	・図示 ・ ≒200x200	・アクリル板/シルクスクリーン	・案内板	・図示 ・	・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート	・階数表示板	・図示 ・ ≒250x250	・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート	・非常用進入口	・図示 ・	・カーテイングシート									
種 類	形状・寸法	材 質																											
・ビクトグラフ	・図示 ・ ≒200x200	・アクリル板/シルクスクリーン																											
・案内板	・図示 ・	・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート																											
・階数表示板	・図示 ・ ≒250x250	・アクリル板/シルクスクリーン ・アクリル板/カーテイングシート																											
・非常用進入口	・図示 ・	・カーテイングシート																											
10.3性能等	1 0. 自閉式上吊り引戸装置 性能： ※標準仕様書表16.10.11による ・																												
11.2形式及び機構	1 1. 重量シャッター シャッターの種類： ・図示 ・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・防煙シャッター ・屋内用防火シャッター ・ 耐風圧性能： ・50 ・80 ・120 ・ 開閉機能： ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 ・ シャッターケース： ・図示 ※設ける ・設けない																												
11.3材 料	スラット等鋼板の種類： ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 ・ 溶融亜鉛めっきの付着量： ・Z12(F12) ・																												
					<table border="1"> <tr> <td>業務名/工事名</td> <td colspan="3">虹ヶ丘配水池建設(場内配管・電気機械室装置)工事</td> </tr> <tr> <td>施工箇所名</td> <td colspan="3">電気・機械室装置工事</td> </tr> <tr> <td>図面の種類</td> <td colspan="3">特記仕様書-6</td> </tr> <tr> <td>縮 尺</td> <td>-</td> <td>図番番号</td> <td>19 業之内6</td> </tr> <tr> <td>設 計 者</td> <td colspan="3">株式会社 東京設計事務所</td> </tr> <tr> <td>事 務 所 名</td> <td colspan="3">可見市水道部水道課</td> </tr> </table>	業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設(場内配管・電気機械室装置)工事			施工箇所名	電気・機械室装置工事			図面の種類	特記仕様書-6			縮 尺	-	図番番号	19 業之内6	設 計 者	株式会社 東京設計事務所			事 務 所 名	可見市水道部水道課		
業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設(場内配管・電気機械室装置)工事																												
施工箇所名	電気・機械室装置工事																												
図面の種類	特記仕様書-6																												
縮 尺	-	図番番号	19 業之内6																										
設 計 者	株式会社 東京設計事務所																												
事 務 所 名	可見市水道部水道課																												

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項					
① 建 物 外 装 工 事 他	2.11 煙突ライニング	ライニング材： ・Z/フライト系珪酸カルシウム板 ・心材付繊維積層ライニング材 適用安全使用温度： ・	② 内 装 工 事 他	*.13 アゲイド7	表面材： ・図示 ・ビニルシート張り 形式： ・図示 ・両開 ・片開 折りたたみ幅(mm)： ・図示 ・								
	2.12 ブラインド	形式： ・横型ブラインド スラットの材質： ・アルミニウム合金 開閉方式、操作方式： ・ギヤ式 ・コード式 スラット成形幅(mm)： ・25		*.14 スリットボード7	パネル厚さ： ・図示 表面仕上げ： ・図示 接点の接床処置： ・有 ・無								
	2.13 ロックオン	操作方法： ・ブルード式 ・チェーン式 巾・高さ： ・図示 材質・品質等： ・図示		*.15 天井点検口	材質等： ・アルミニウム既製品（内外枠共） 寸法(mm)： ・450×450 ・600×600								
	2.14 カーテン及びカーテンレール	カーテンレール： ・図示 ・シングル ・ダブル		*.16 床下点検口	材質： ・ステンレス既製品（目地材質共） 寸法(mm)： ・450×450 ・600×600								
		きれ地の品質		ひだの種類	形式				引分装置	施工箇所			
		・		・フラスひだ ・つまみひだ	・片引				・有				
		・		・フラスひだ ・つまみひだ	・片引				・有				
	暗幕用カーテンの重なり： ・300mm以上			レール、ブレード強さ区分	レール材料区分				レール上	形状			
				・10-90	・AS ・AP				・アルミ	・角形			
				・10-60	・SUS ・S				・2次電解着色	・			
	3.2 材料	3. プレキャストコンクリート工事 補強鉄線の寸法： ・図示 ・φ3.2x100x100 ・φ3.2x50x50 コンクリートの設計基準強度： ・図示 ※標準仕様書による 鉄筋の配筋： ・図示 ※標準仕様書による		*.17 屋上点検口	材質： ・木製【 ・米検 ・米柄】 ・アルミプレート【厚さ： ・3.0mm ・】				*.18 換気扇取付け枠 *.19 換気口 *.20 戸・扉 *.21 番拭きマット *.22 浴槽 *.23 すのこ *.24 屋上丸環 *.25 避難ハッチ等 *.26 チェーンブロック	*.20 5 t 用			
	3.3 製作	4. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み 間知石の材質： ・竜岩石 ・御影石 コンクリート間知ブロック面の形状： ・長方形 ・正方形 ・H型 ・六角形 JISによる質量区分： ※ブロックA ・ブロックB 練り込みの工法： ※谷積み ・布積み 目塗り： ・行う ・行わない 伸縮目地材の材質及び厚さ： ・図示 ・55x40t=10		*.18 換気扇取付け枠	材質： ・木製【 ・米検 ・米柄】 ・アルミプレート【厚さ： ・3.0mm ・】 材質等： ・硬質塩化ビニル管50φ（内側ステンレス製防虫網外側併用樹脂製） ◎床下換気金物 ・ 鋼鉄（コールド焼付厚9mm） ・ 樹脂製 ・ ステンレス金網裏打ち ・ 裏打ちなし ◎レジスター、固定ガラリ ・ 既製品（外部水切り付固定ガラリ 内部ステンレス製防虫網【外壁取付時】）								
3.4 養生その他	取得方法： ・図示		*.19 換気口	種類： ・一般型 ・防水型 ・防臭型 性能： ・防水防臭型【 ・化粧型 ・一般用】 鍵： ・有 ・無									
4.2 材料	取得方法： ・図示		*.20 戸・扉	材質： ・塩化ビニル又はゴム／受枠： ステンレス鋼 ・硬質アルミニウム合金 ・ ステンレス板									
4.3 工法	取得方法： ・図示		*.21 番拭きマット	水抜パイプ： ・有 ・無									
*.1 階段手すり	*. その他工事 笠木： ・ビニル製 ・造作用集成材 受け材： ・スチール ・ステンレス		*.22 浴槽	種類： ・A種 ・B種（ ・ホロー ・FRP ・ステンレス）									
*.2 カテン・ブラインドボックス	材質： ・木製 ・スチール製 ・アルミ製 ボックスの種類： ・カーテン ・ブラインド ・スクリーン		*.23 すのこ	材質： ・木製【 ・ヒキ ・ヒバ】 ・米検 ・台検】 ・合成樹脂（市場品）									
*.3 ロックオン	操作方法： ・ブルード式 ・チェーン式 材質・品質等： ・図示 巾・高さ： ・図示		*.24 屋上丸環	材質： ・ステンレス鋼									
*.4 黒板及びホワイトボード	黒板の種類／色彩／枠： ・焼付け／緑／アルミニウム合金 ・焼付／黒／木製		*.25 避難ハッチ等	材質： ・ステンレス（フレームは樹脂巻き式）									
*.5 建物銘板	ホワイトボードの種類／色彩／枠： ・ほうろろ／白／アルミニウム合金 種別： ・館名板 ・融資館名板 寸法／材質／仕上げ： ・ 文字数／字体： ・ 字程度／ 体		*.26 チェーンブロック	◎0.5 t 用									
*.6 案内板	枠材／形状： ・図示 ・ステンレス製 仕上材： ・特殊発泡加工エポキシ樹脂貼（周囲押縁）												
*.7 掲示板	材質： ・図示 ・ステンレス ・アルミニウム合金 ・真鍮 高さ： ・図示 ・1.8m程度 ・天井まで 材質： ・アルミニウム製 ・塩化ビニル製												
*.8 コナビード	材質： ・アルミニウム製 ・塩化ビニル製												
*.9 天井見切り線	材質： ・ステンレス製												
*.10 床見切り押え金物	形状： ・への字型；幅 mm ・ハット型；40mmx20mm ・目地棒型；6mm												
*.11 ジョイナー	材質： ・塩化ビニル製												
*.12 既製間仕切	材質： ・図示 ・化粧鋼板製 組立形式： ・図示 ・パネル式 ・スラット式 耐火性能： ・不燃 ・準不燃 ・難燃												

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 （構内配管・電気機械室築造）工事		
施工箇所名	電気・機械室築造工事		
図面の種類	特記仕様書-7		
縮尺	—	図番番号	19 葉之内 7
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可見水運部水道課		

配置図
S=1:200



鉄塔


既設 虹ヶ丘配水池

電気室

計画建物
計画地盤高+153.50

虹ヶ丘四丁目

虹ヶ丘二丁目

凡例
 本工事建物を示す。

座標			
測点	X	Y	地盤高(m)
KT. 2	-64941.023	-13872.186	146.521
KT. 3	-64945.511	-13885.704	147.065
KT. 4	-64936.824	-13902.949	154.043
KT. 5	-64915.226	-13899.668	154.022
KT. 6	-64917.860	-13877.394	147.134
A1	-64954.774	-13916.410	-
A2	-64952.834	-13912.685	-
A3	-64959.255	-13909.340	-
A4	-64961.195	-13913.065	-

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	配置図		
縮 尺	1/200	図面番号	19 葉之内 9
設 計 者	株式会社 東京設計事務所		
事 務 所 名	可児市水道部水道課		

工事区分一覧表

(工事区分の記載事項については区分が不明確になる恐れのあるものについて記入する。)

NO	項目	場所	建築工事	建築機械 設備工事	建築電気 設備工事	土木工事	配管工事	プラント電気 設備工事	備考	NO	項目	場所	建築工事	建築機械 設備工事	建築電気 設備工事	土木工事	配管工事	プラント電気 設備工事	備考	記載項目例		
1	土工事	掘削、埋戻し、残土処分				○				38											・躯体	・ボーチ
2	土工事	ハンドホール部				○				39											・接コン	・寄土
3	土工事	外部階段部	○							40											・砂利地業	・足洗場
4	躯体	1階S Lより下部				○				41											・止水板	・スロープ
5	躯体	1階S Lより上部	○							42											・スリーブ	・床返し
6	地業工事	接コン				○				43											・高 柱	・花 壇
7	地業工事	外部階段部 砕石、接コン、砂利地業	○							44											・仕 上	・流し台
8	ボーチ、外部階段 仕上共	外部	○							45											・取合差筋	・コンロ台
9	ハンドホール 躯体、無筋、接コン、基石 マンホール蓋、足掛金物未	外部				○				46											・マンホール蓋	・水切欄
10	外部仕上	1階S Lより上部	○						仕上表参照	47											・ハンドホール	・吊戸棚
11	内部仕上	1階S Lより上部	○						仕上表参照	48											・タラップ	・浴 槽
12	床 無筋コンクリート 側溝共	弁室					○			49											・ホイストレール	・スノコ
13	床 無筋コンクリート 配線ピット共	電気室						○		50											・受枠及蓋	・バランス蓋
14	床仕上、巾木：床用塗料	電気室						○		51											・ドレーン	・防水パン
15	階段床仕上：モルタル塗	内部	○							52											・縁	・安全水櫃
16	階段床：アクリルスリップ	内部	○							53											・換気扇取付枠	・フード
17	排水ピット	弁室				○				54											・床排水目皿	・地下貯油槽外段
18	グレーチング 受枠共	電気室				○				55											・連通管	・配管トラフ
19	機械基礎	電気室						○		56											・トップライト	・配管ピット
20	同 差筋	電気室				○				57											・ルーフファン	
21	スリーブ・霜抜 開口補強筋共	1階S Lより下部 (但し、ハンドホール部を含む)				○				58											・筋渡板	
22	埋込管	弁室					○			59											・床無筋 コンクリート	
23	スリーブ・霜抜 開口補強筋共	1階S Lより上部	○							60											・床仕上	
24	ホイストレール	弁室上部				○				61											・機械基礎及差筋	
25	ホイストレール	電気室上部	○							62											・階段室及階ウラ	
26	軒礎	外部	○							63											・側 溝	
27	壁礎	外部	○							64											・グレーチング	
28	アルミ手摺	外部	○							65											・手 摺	
29	アルミ手摺	内部	○							66											・雨水軒	
30	配管受台	弁室					○			67											・笠 木	
31	同 差筋	弁室				○				68											・ノンスリップ	
32	雨水拵	外部				○				69												
33	場内側溝	外部				○																
34	チェンブロック (0.5 t)	弁室上部				○																
35	チェンブロック (0.5 t)	電気室上部	○																			
36	荷重表示板	弁室、電気室上部	○																			
37																						

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	工事区分一覧表		
縮 尺	-	図面番号	19 葉之内 10
設 計 者	株式会社 東京設計事務所		
事 務 所 名	可児市水道部水道課		

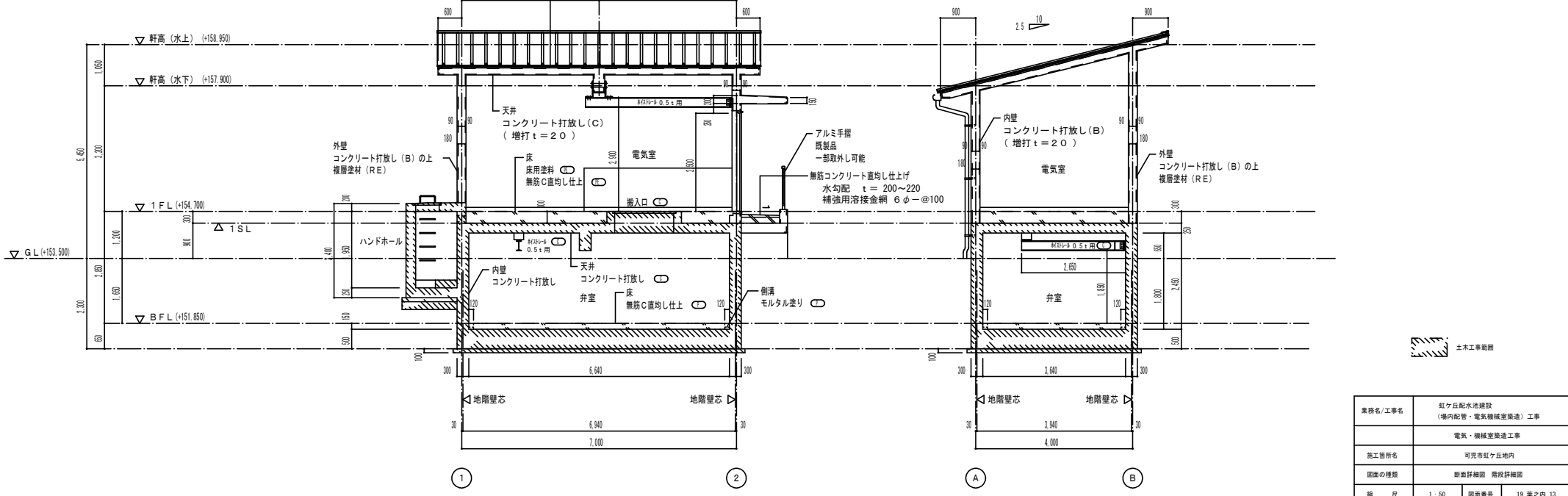
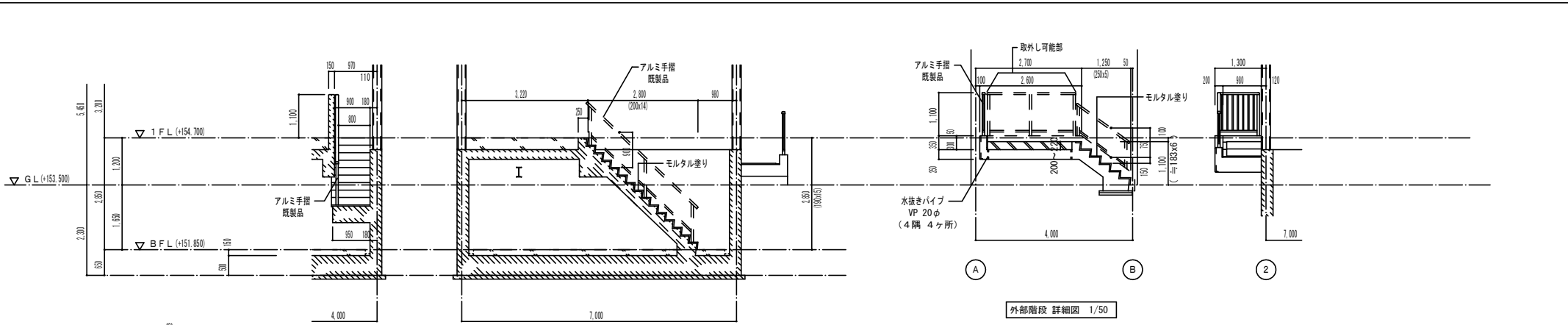
建築物名	電気・機械室建設工事	法令・条項	項目	該当事項	項目	摘要
敷地面積	約 3,563.90m ²	都計法	都市計画区域	都市計画区域内	防火対象物	防火対象物 第15項 協議済
構造・規模	鉄筋コンクリート構造 地下1階 地上1階建て	建基法 43条	敷地等と道路との関係	接道（法42条1項2号道路）	管廊・別棟との接続	無
建築面積	28.85 m ²	建基法 48条	用途地域	第2種住居専用地域	条例等による制限の附加の有無	無
延べ床面積	55.34 m ²	建基法 52・53条	容積・建ぺい率（全施設）	容積率 200% 建ぺい率 60%		
軒高さ	4.400 m	建基法 56・56の2条	建築物の高さ	斜線 日影		
最高の高さ	5.810 m	建基法 61・62条	防火地域等	指定なし		
		その他の法令・条例	騒音規制、各種保全地域 宅地規制、公園法、その他			

消防法（令）				
審査項目	法令条項		判定	
	法	令		
消火設備	消火器具	17 10	延面積（55.34 m ² ） ・ 設置 [延300m ² をこえる又は地階・無窓階・3階以上で床面積50m ² 以上] ・ 不要	○
	屋内消火栓設備	11	延面積（55.34 m ² ）地階無窓階の床面積6.34 m ² 構造（耐火） ・ 設置 [耐火構造で3,000m ² 以上又は地階等で床面積600m ² 以上] ・ 不要	該当なし
	水噴霧消火設備等	3-18	発電機室・電気室・ボイラー室等の面積（m ² ） ・ 設置 [200m ² 以上] ・ 緩和申請する ・ 不要	—
警報設備	屋外消火栓設備	19	地上階の1階又は1+2階の床面積（28.00 m ² ） 構造（耐火） ・ 設置 [耐火構造で9,000m ² 以上] ・ 不要	該当なし
	自動火災報知器設備	21	1) 延面積（55.34m ² ）2) 地階・無窓階・3階以上の床面積（6.34 m ² ） ・ 設置 [延1,000m ² 以上又は床面積300m ² 以上] ・ 不要	該当なし
避難設備	非常警報設備	24	地階階数（1） ・ 設置 [地階階数3以上 且し自警報機設置] ・ 緩和申請する又は自警報機設置有り	該当なし
	誘導灯・誘導標識	26	[避難口・通路誘導灯] 地階 ○ 有 ・ 無 無窓階 ○ 有 ・ 無 ○ 設置 ・ 不要	○
その他	消防用水	27	1) 敷地面積（3,563.90 m ² ） 2) 床面積（55.34 m ² ） 3) 構造（耐火） ・ 設置 [1]が2万m ² 以上かつ2)が耐火構造で1,5万m ² 以上 ○ 不要	該当なし
	連結放水設備	28 42	1) 地階の床面積合計（— m ² ） ・ 設置 [1]の面積700m ² 以上] ・ 不要	該当なし
	無窓階	規則 5-2	避難上消火活動有効な開口部 [別表の計算書による] ○ 各階床面積の1/3以上有り ○ 床面積の1/3未満の階有り（81階）	該当
危険物	緩和应用条項	32	・ 屋内消火栓設備 ・ 水噴霧消火栓設備等 ・ 屋外消火栓設備 ・ 消防用水 ・ 自動火災報知設備 ・ 連結放水設備	—
	危険物の制限等	10	・ 軽油 ・ 重油 ・ 潤滑油等の使用量及び保管場所 ・ 少量危険物 ・ 一部危険物 ・ 貯蔵所 室名（発電機室+燃料室）	—
			危険物の量（4,000kg） 構造及び仕上（耐火+不燃）	—

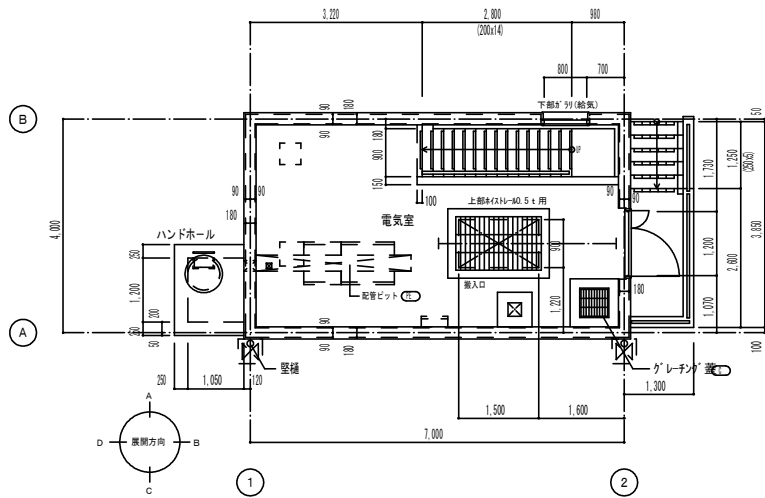
建築基準法（令）				
審査項目	法令条項		判定	
	法	令		
耐火・準耐火構造等	地域・規模による構造制限	61 62	防火地域 一階数（ ） 延面積（ m ² ） 構造（ ） [階数3・面積100m ² 以上耐火、左記以外準耐火又は耐火] 準防火地域・階数（ ） 延面積（ m ² ） 構造（ ） [地上4階以上1,500m ² をこえるもの耐火、地上3又は500m ² をこえ1,500m ² 以下の準耐火]	—
	屋根葺材	22	・ 施行令109条の5区域 構造（ ） 屋根材（ ） ○ 区域外 [耐火・準耐火以外の屋根は各第1361号]	該当なし
居室の採光・換気等	居室の採光及び換気	28		—
	換気設備の技術的基準	200 2-3	・ 有 一室名（ ） 火を使用する居室の有無 換気方法（ ） ・ 無	—
	換気設備（自然換気）	129 206	給気口高さ（ m）/天井高さ（ m） ≤ 1/2 排気口高さ（ m） ≤ 給気口高さ（ m）	—
	窓その他開口部を有しない居室等	116 42	無窓居室 ・ 有 室名（ ） ・ 無	—
階段・廊下	無窓居室の主要構造部	350 3	構造（RC造+GB-R(LGS下地））[耐火構造又は不燃材料]	—
	2以上の直通階段	36 121 1-3	居室の床面積 避難上階（ ）/400 ≤ 1ヶ所 その他の階（ ）/200 ≤ 2ヶ所	—
	避難階段の設置及構造	122 123	地上（1）階、地下（2）階 ・ 避難階段 [5階以上、地下2階以下] ・ 特別避難階段 [15階以上、地下3階以下] ・ 必ず	該当なし
	直通階段・歩行距離	120 125	無窓居室 一歩行距離（ m） ≤ 30 ・ 1.0mを加えている その他の居室一歩行距離（ m） ≤ 50 [廊下・階段 準不燃]	—
	階段・誘導の幅 蹴上げ・踏面寸法	36 23	直上階居室計（ ） > 200m ² - f. 2m ≤ （ ） 20/24 ≤ （ ） 蹴上げに準ずる 0.75m ≤ 蹴上げ ≤ 0.80 23/15 ≤ 踏面	○
	誘導の位置及び直階段の踏幅	24	階高（ ） m ・ 4mまで ・ 4m以上に付き踏幅設ける（ ）ヶ所、ふみ幅（ m） ≥ 1.2m	—
	階段及び誘導の手すり	26	階段の幅・高さ（ 0.80m、25cm） 一般手すり ・ 該当 中間手すり ・ 該当 [幅・高さ 3m・1mをこえる] ・ 不	○
	階段に代わる傾斜路	24	勾配（ ） ≤ 1/8 表面仕上材（ ）	—
	廊下幅	36 119	その階の居室の床面積（ m ² ）、廊下幅（ m） [A > 2.00m は、両側居室1.6m以上、片側居室1.2m以上]	—
	屋外階段	23 121 42	直通階段の幅（ 80cm） ≥ 90cm、その他の階段（ cm） ≥ 80cm 直通階段の構造（ ） [木造以外]	○
屋上広場 バルコニー等の手摺	126	高さ（ m） ≥ 1.1m	—	

防火区画・防火戸	項目	摘要	判定	
				法
防火区画・防火戸	防火区画	36 112	[すべて1,500m ² 以内]	○
	防火区画・壁穴区画	112 -9	その他の部分と防火区画	—
	防火区画に接する部分の構造等	112 -10 1114	90cm以内の壁面等の構造（ ） 耐火 [準耐火構造・各第1369号] 防火戸面積（ ） ≤ 3m ²	—
	防火区画を貫通するダンパーの構造等	112 -16	AM No.（ ）（別図による）	—
	防火戸その他の防火設備	109	延焼の恐れある部分 ・ 有 その部分の構造（ ） ・ 無	該当なし
排煙	排煙設備の設置	36 124 42	居室の床面積 100m ² （全ての居室） ・ こえない ・ こえる こえる場合の措置法（ ） [防煙室を設置] 居室の排煙面積1/50 以上 ・ 以下も有り 以下の場合の措置法（ ）	—
	排煙設備の構造	124 42	排煙口までの距離（ m） ≤ 30m 排煙位置（高さ）、壁付1.5m ≥ （ m） ≥ 0.8、天井下付（ m） FL+1.8m 排煙口面積 [別表計算書による] ・ 全て自然排煙 ・ 一部 機械排煙	—
非常照明	非常照明設備	36 126 44	階数（ ） 延面積（ 55.34 m ² ） ・ 設置 [3以上500m ² をこえる、又は延1,000m ² をこえる] ○ 不要	○
非常用進入入口	非常用進入入口の設置	126 46	・ 設置（ ） ≥ 3） ・ 要 代用進入入口の間隔（ m） ≤ 10m	該当なし
	非常用進入入口の構造	126 47	代用進入入口の 巾 高さ 又は 大きさ （ ） ≥ 0.75m、 ≥ 1.2m、 ≥ 直径1.0m	—
内装制限	制限を受ける特殊建築物等	36 128 44	・ 階数が3以上、延べ500m ² をこえる ・ 階数が2以上延1,000m ² 又は階数が1で延3,000m ² をこえる ・ 耐火構造以外でこえる、ボイラー等火を使用する部屋がある	該当なし
	特殊建築物の内容	129	・ 該当しない 上記に該当する場合 居室の壁、天井の仕上材（ ） 準不燃材	—
その他	避雷設備	129 44	・ 設置（ m ≥ 20m） ・ 要	該当なし

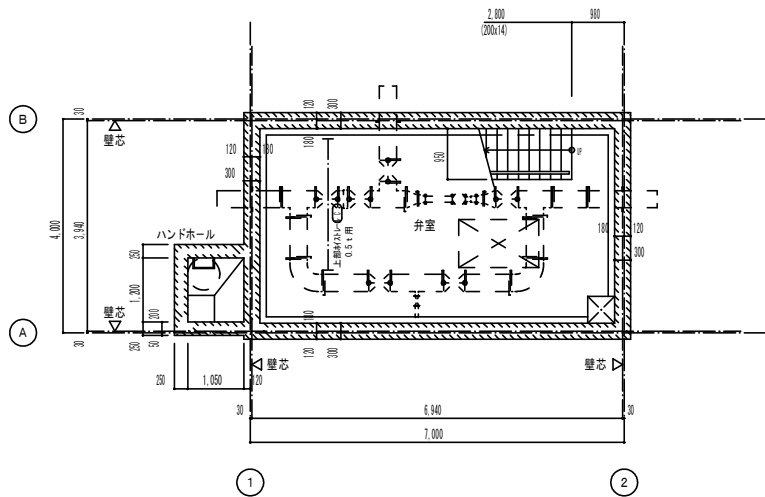
業務名/工事名	虹ヶ丘配水施設 (構内配管・電気機械室築造) 工事
電気・機械室築造工事	
施工箇所名	可児市虹ヶ丘内
図面の種類	接続チェックリスト
層 尺	—
図面番号	19 業之内 11
設計者	株式会社 東京設計事務所
事務所名	可児市水通町水通



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	断面詳細図 階段詳細図		
縮尺	1:50	図面番号	19-渠之内 13
設計者	株式会社 東洋設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		

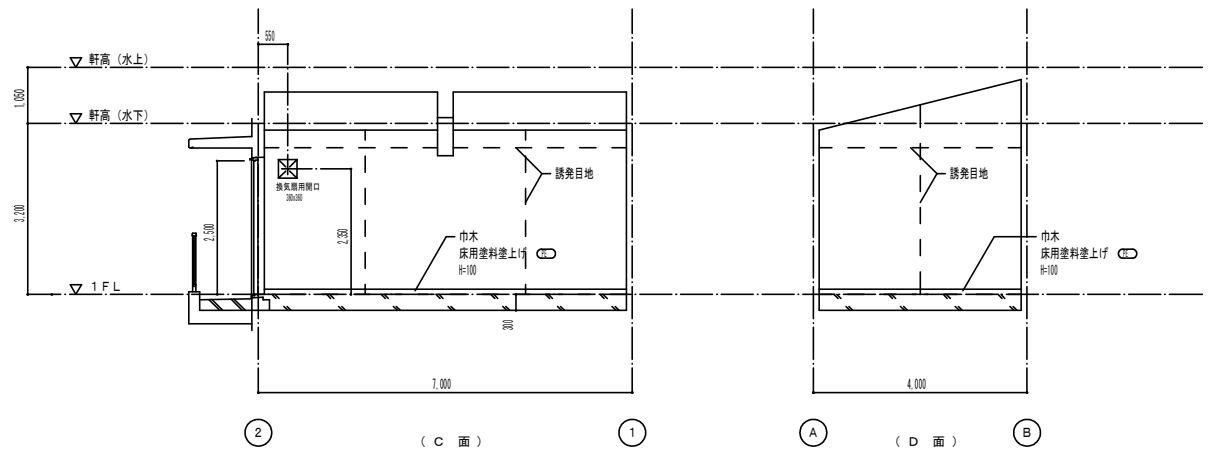
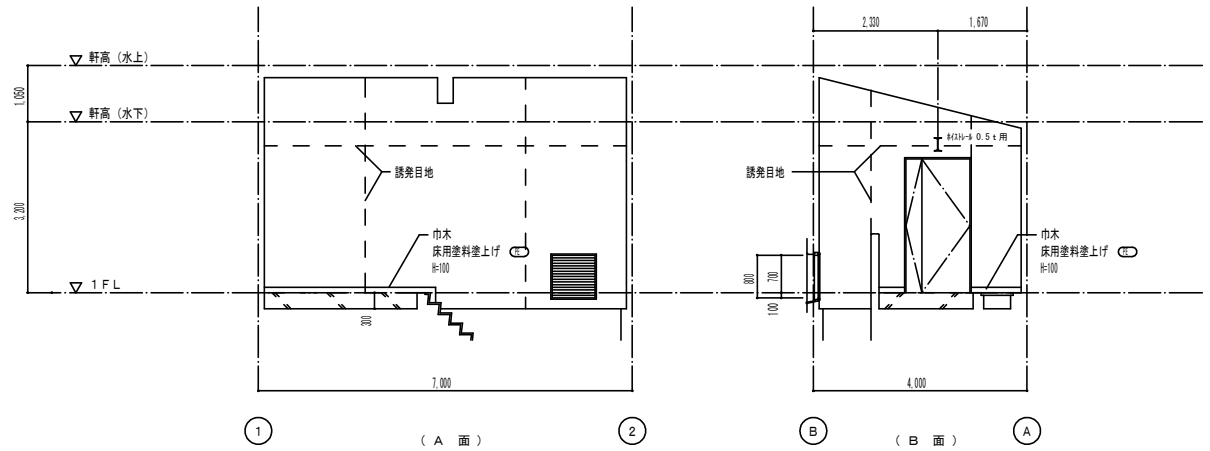


1階 平面詳細図 1/50



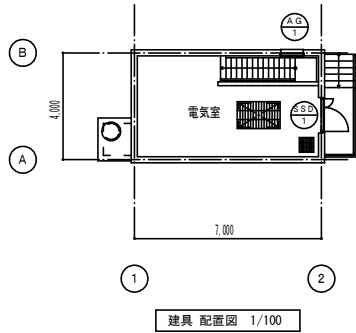
地階 平面詳細図 1/50

土木工事範囲

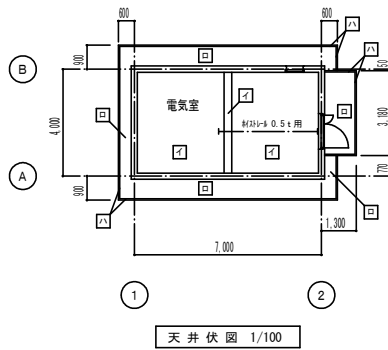


電気室 展開図 1/50

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	平面詳細図	展開図	
縮 尺	1:50	図面番号	19 葉之内 14
設 計 者	株式会社 東栄設計事務所		
事 務 所 名	可児市水道部水道課		



建具配置図 1/100



天井伏図 1/100

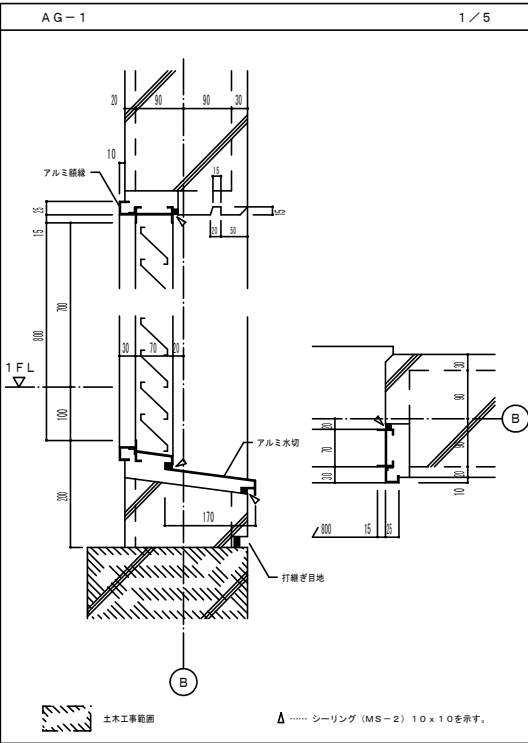
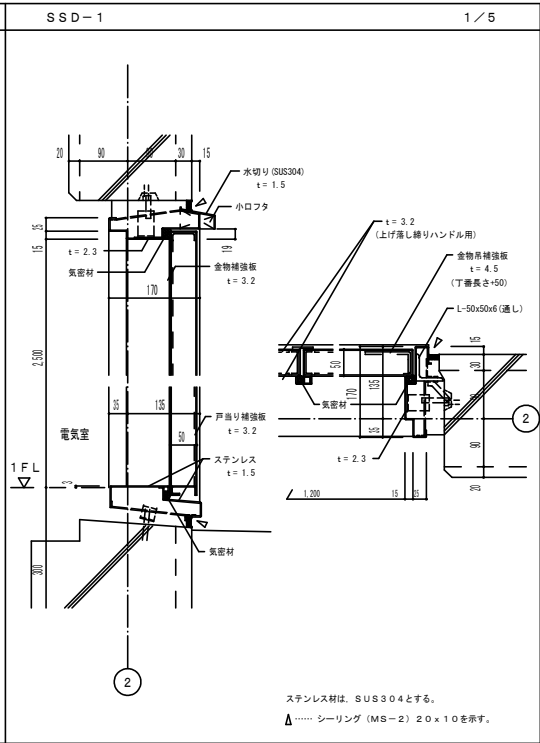
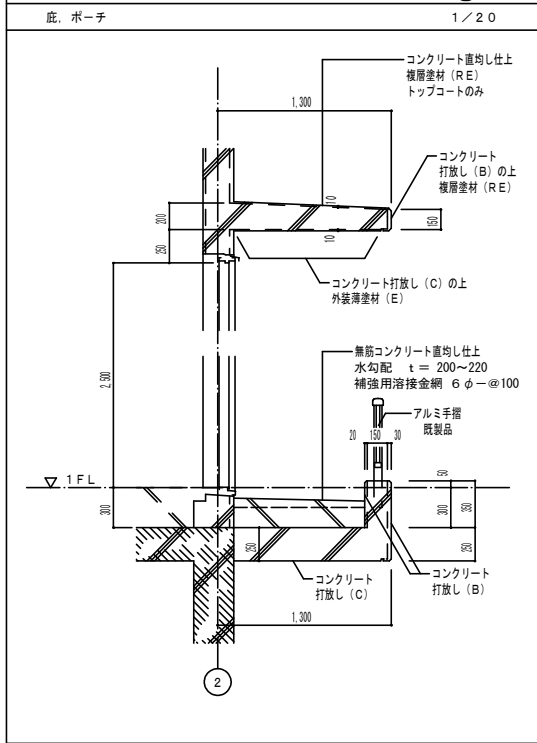
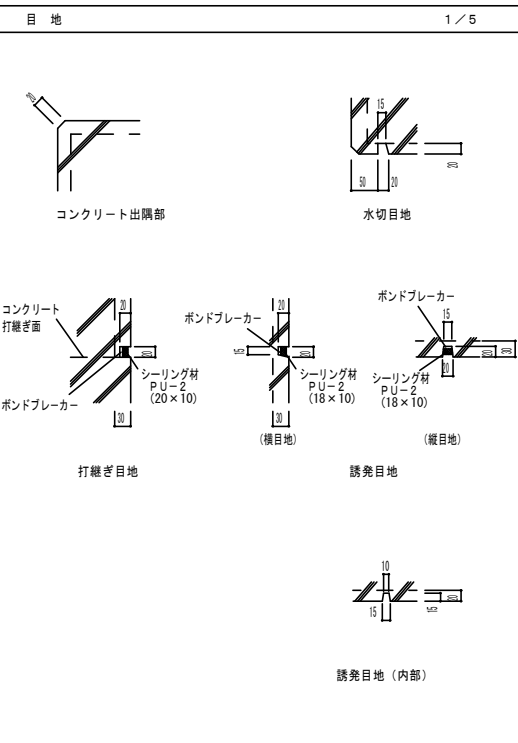
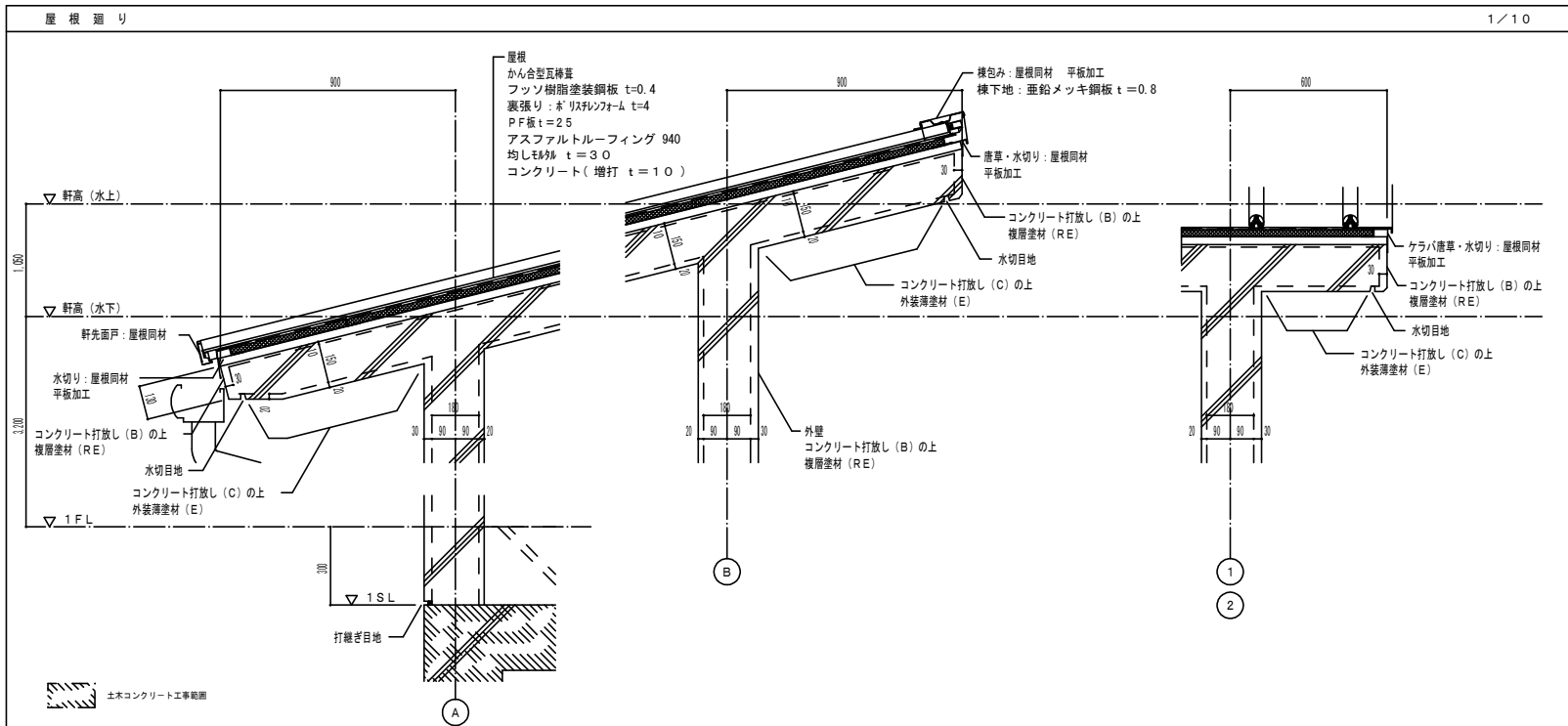
□	コンクリート打放し (C)
□	コンクリート打放し (C) 外装薄塗材 (E)
ハ	水切目地
□	
□	

符号・名称・個数	SSD 1	両開きフラッシュ戸	1	AG 1	両開きフラッシュ戸	1
場所		電機室			電機室	
仕上(特共)		H L			B-2	
建具		見込 (ランマ)	5 0			
		ガラリ			B型	
建具枠	見込取合 窓摺	1 7 0	詳細図による	詳細図による	7 0	詳細図による 詳細図による
枠記号 窓摺 (水切) 記号			2型	Ⅲ型		a-2
建具金物		大型丁番・大型戸当り×2・あおり止め×2(壁付) 三点運動両面練りハンドル・シリンダー本練り錠(内部サムターン)				付属金物一式
その他		大型簡易気密建具(外部用)				アルミ水切(見込170)・アルミ網縁(四方 25x30)・防虫網
形状・寸法						

ガラリ	くつぶり	建具枠	枠 水切り
A型	1型	1型	a-1
B型	Ⅱ型	2型	a-2
C型	Ⅲ型	3型	
開口率30%			
開口率30%			
開口率30~40%			

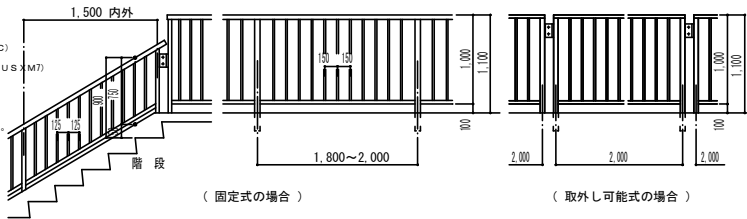
種別	戸	窓	ガラリ	チーバー ヘッド付	ガラス フロック	シャッター
アルミニウム製	A D	A W	A G	A O D	GW	A S
鋼製	S D	S W	S G	S O D		S S
鋼製軽量	L D					L S
ステンレス製	SS D	SS W	SS G			SS S
木製	W D	W W	W G			
F	型板ガラス					D C
P	フロート板ガラス					A H
N	網入型板ガラス					F H
N P	網入みがき板ガラス					P H
H L	ヘアライン仕上					
B-2	着色種補強化塗層複合皮膜					
D P	耐熱性塗料塗り					

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事
	電気・機械室築造工事
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内
図面の種類	天井伏図 建具表
縮 尺	1:50 1:100 図面番号 19 葉之内 15
設 計 者	株式会社 東京設計事務所
事 務 所 名	可児市水道部水道課



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事
	電気・機械室築造工事
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内
図面の種類	部分詳細図-1
縮 尺	1:5 1:10 1:20 図面番号 19 葉之内 16
設 計 者	株式会社 東洋設計事務所
事 務 所 名	可児市水道部水道課

- 仕様・注記
- 1) 材質は、JIS 544100によるA6063S-T6またはA6063S-T6またはA6063S-T6とし引出し形材を使用する
 - 2) 表面処理は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）14.2.1条のB-1種とする
 - 3) 支柱、笠木、支柱には補強材を使用しない。その他の部位に使用する補強材はJIS G3101によるSUS400とし、規格の寸法（寸法）を90%以上確保（クローズドチャンネルはJIS H3220Cを参照）以上とする
 - 4) 小径の部材はステンレス製（SUS304、SUS305 J1またはSUS316M7）とする
 - 5) 現場取付け作業以外の組立などは工場製作とする。現場組立は必要に応じて行う
 - 6) 切断面の処理はバリ等を適切な方法で除去する。端部の小口は研削にてふくまえて仕上げる
 - 7) 設計耐力およびたわみ量は、工場にて試験を行い監査員に報告する。なお、公的試験機の試験成績書をもって、これに代える事が出来る
 - 8) 床面直前で手摺を固定していない箇所については、現場にて、落下防止処置を実施すること

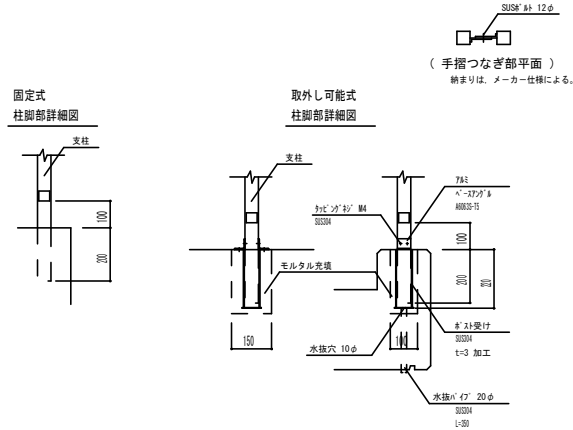


形状寸法表 (単位mm)

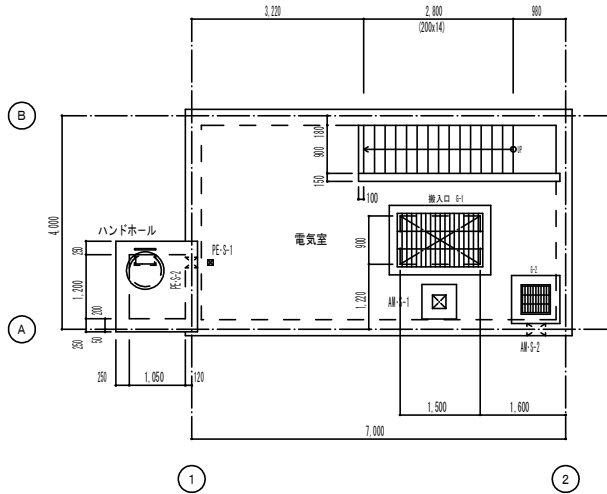
部材名	支柱間隔	笠木	手摺子間隔	手摺子径	下部の脚間	支柱
一般部	1.500	30	—	φ30	1.000	100
階段	1.500 内外	—	—	φ120 内外	90	100
部材厚	3mm以上	3mm以上	—	—	—	3mm以上

設計条件

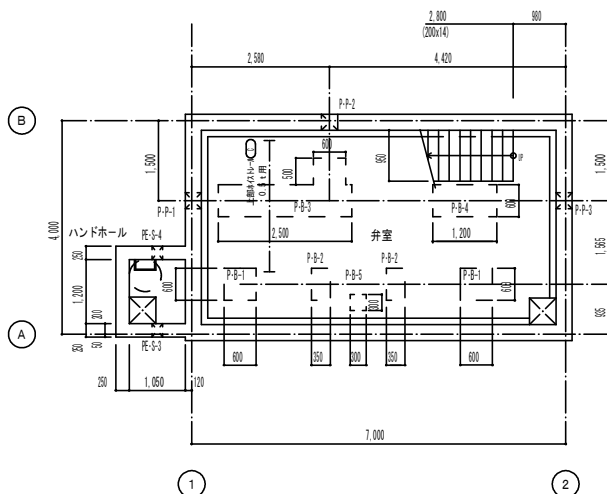
部材名	荷重方向	設計条件
笠木	水平方向	設計耐力 1.5 kN/m
		たわみ量 500 N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500 Nで1/100以下
	垂直方向	設計耐力 1.0 kN/m
		たわみ量 500 N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500 Nで1/100以下
支柱	水平方向	設計耐力 2.7 kNまたは3.0 kN たわみ量 局部荷重500 Nで1/100以下



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	部分詳細図-2		
縮尺	1:10 1:30	図面番号	19 葉之内 17
設計者	株式会社 東洋設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		



1階平面詳細図 1/50



地階平面詳細図 1/50

箱 抜 リ ス ト

・ 位置寸法は、開口寸までの寸法を示す。
・ 特記無き限り、土木工事とする。

符号	形状寸法	部位	位置		備考
AM-S-1	250x250	床	○-○ 4.635	○-○ 515	
AM-S-1	300x300	壁	○-○ 550	○-○ 152.650	建築工事
PE-S-1	100x100	床	○-○ 350	○-○ 1.250	
PE-S-2	200x200	壁	○-○ 1.250	○ 6L+1.000	
PE-S-3	200x200	壁	○- 645	6L- 450	
PE-S-4	200x200	壁	○- 645	6L- 450	

埋 込 管 リ ス ト

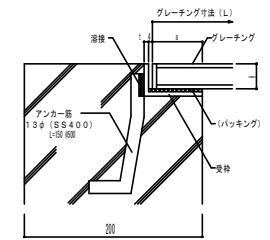
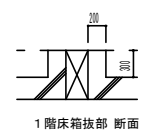
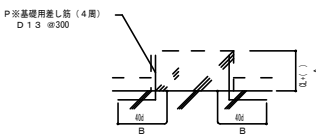
・ 位置寸法は、開口寸までの寸法を示す。
・ FL±0 以上の高さ寸法は、基準FL() 以上の寸法を示す。

符号	形状寸法	部位	位置		備考
P-P-1	300φ	壁	○-○ 2.500	○ 6L-1.200	
P-P-2	300φ	壁	○-○ 2.500	○ 6L-1.200	
P-P-3	300φ	壁	○-○ 2.500	○ 6L-1.200	

P※基礎 差筋リスト

・ 基礎高さ部の差筋長さは、MAX 520 (40d) とする。

符号	基礎高さ	差筋径	差筋長さ	スラブ定着部	備考
P-B-1	6L450	D 13	1,040	50	
P-B-2	6L500	D 13	1,040	50	
P-B-3	6L500	D 13	1,040	50	
P-B-4	6L500	D 13	1,040	50	
P-B-5	6L422	D 13	1,040	50	



グレーチング製法選定表 (参考)

注) ①は、②より、①または、②は採用 (歩行用) の参考値である。

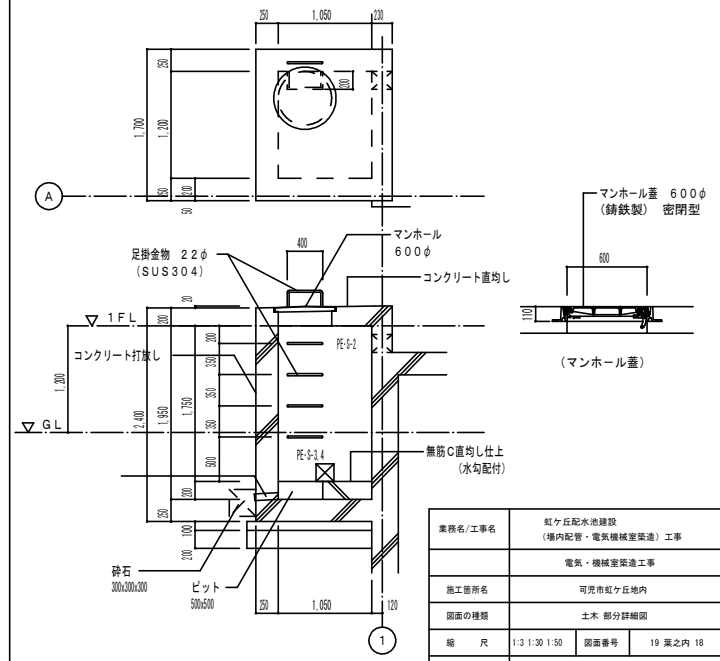
A. 鋼製 - 設計荷重 3.5 kN/m²

L (mm)	① (mm)	② (mm)	③ (mm)	④ (mm)
~ 500	30	30	30	4.5
501~1,500	30	30	30	6.0
1,501~1,700	30	30	30	6.0
1,701~1,900	30	30	40	6.0
1,901~2,100	30	30	30	6.0

- 注記
- 1) グレーチング、枠は鋼製とし、製造所の形状寸法とする。
 - 2) グレーチング、枠は同材質のものを使用する。
 - 3) バッキングが必要な場合は受枠側に設置する。
 - 4) 裏には荷重表示を行う。
 - 5) 設計荷重は歩行用 5 kN/m² とする。
 - 6) 許容たわみ量は、歩行用 1/300 以下とする。
 - 7) 多雪地域は、ラバー付を標準とする。
 - 8) スベリ止めの有無を明記すること。
 - 9) 専用用は、別途下荷重仕様とする。

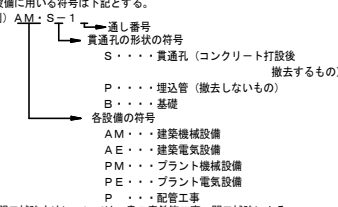
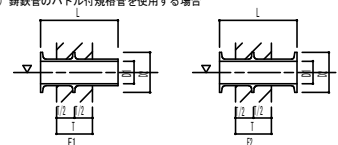
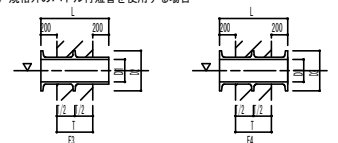
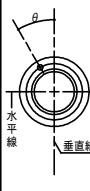
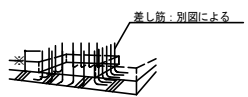
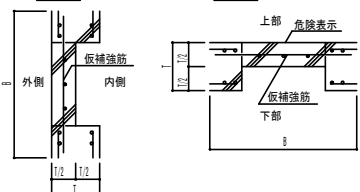






グレーチング量リスト

符号	開口寸法				受枠	割付枚数 (参考)	箇所数	スベリ止め	備考
	L	B	H	h					
EH	600	1,000	1,000	1,600	5	1	1	1	—
EH	300	300	600	600	10	4.5	1	1	—



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事
	電気・機械室築造工事
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内
図面の種類	土木 部分詳細図
縮 尺	1:3 1:30 1:50
図番	19 葉之内 18
設 計 者	株式会社 東洋設計事務所
事 務 所 名	可見市水道部水道課

貫通孔、埋込管 及び 機器基礎仕様書

<p>1. 適用基準 2. 施工図等 3. 発生材の処理 4. 符号 5. 開口補強 6. 工法 7. 特記事項</p>	<p>特記事項</p> <p>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」平成25年版（以下、書という） 各部記筋参考図 4.4 5.5 7.1 配管・配線系統を打ち合せ、位置・寸法及び方向を検討し、施工図を速やかに監督員に提出し、承諾を受ける。</p> <p>a) 発生材のうち、特記により引き渡すを要するものは、指示された場所に整理のうえ、調書を添えて引き渡す。 b) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し関係法令等に従い適切に処理する。</p> <p>各設備に用いる符号は下記とする。 (例) A M 1 S 1 </p> <p>貫通孔の形状の符号 S・・・貫通孔（コンクリート打設後撤去するもの） P・・・埋込管（撤去しないもの） B・・・基礎 各設備の符号 AM・・・建築機械設備 AE・・・建築電気設備 PM・・・プラント機械設備 PE・・・プラント電気設備 P・・・配管工事</p> <p>a) 開口補強方法については、書5章鉄筋工事・開口補強による。 1) 壁開口補強 ※A型・B型 但し、耐震壁は図示による。 2) 床版開口部補強は、書 5.5による。 3) 梁貫通孔の補強は特記による。特記がなければ、書 7.1 7.2 による。</p> <p>a) 貫通孔、埋込管は、寸法・位置に充分注意して堅固に取り付ける b) 埋込管を水槽・外壁に取付ける場合は、漏水のないように、充分考慮し施工する。</p> <p>a) 印のついたものを適用する。印のない場合は※印のあるものを適用する。又、◎と◎ある場合は共に適用する。</p>	<p>2. 埋込管の形式</p> <p>a) 鉄鉄管のバドル付規格管を使用する場合 </p> <p>b) 規格外のバドル付短管を使用する場合 </p> <p>3. フランジ穴の取付け位置 </p>	<p>4. 機器基礎</p> <p>B 4 </p>	<p>5. リスト記入方法</p> <p>a) 符号は 1. 一般事項 4. 符号による。 b) 寸法 1) 貫通孔については、形状寸法を記入する。 (例) φ400 300L×500W 2) 埋込管については、形状寸法を記入する。 (例) φ400 × 800L 3) 基礎については、形状寸法及び仕上り面よりの立ち上り高さを記入する。又、B 4 無筋コンクリートを抜く場合は、形状寸法及び無筋コンクリート厚さを記入する。 (例) 500W×400L×100H c) 材料形式は一印の前に材料を指示し、後に形式を指示する。 (例) S1- P1-F1 -B1 d) 床・壁の区分 1) 壁部分は壁に○印を、床部分の場合は床に○印を記入する。 e) 位置の表示は、下記による。 1) 壁部分の位置・・・平面は、最寄り通り芯よりの寸法を記入し高さは、基準面（※ TP・HP・P）より高さ表示とする。 (例) ○ → ○ 800 ○ → ○ 500 2) 床部分の位置表示は、最寄り通り芯よりの寸法を記入する。 (例) ○ → ○ 2.400 3 ○ ← ○ 800 3) 位置の表示は、それぞれの施工芯表示とする。 f) 備考欄には配管系統等を記入する。</p>																																																																																																				
<p>貫通孔</p>	<p>1. 材料、材質 a) 貫通孔に用いる材料は共通仕様書 2.2. 2. 3による。 b) 貫通孔の材料</p> <table border="1" data-bbox="224 766 515 805"> <tr> <th>記号</th> <th>S 1</th> <th>S 2</th> <th>S 3</th> <th>S 4</th> </tr> <tr> <th>材料</th> <td>鋼管</td> <td>硬質塩ビ管</td> <td>溶融亜鉛メッキ鋼板</td> <td>つば付鋼板</td> </tr> </table> <p>2. 次期工事の貫通孔処理 </p> <table border="1" data-bbox="246 1101 448 1173"> <tr> <th>B</th> <th>仮補強筋</th> </tr> <tr> <td>300未満</td> <td>無筋</td> </tr> <tr> <td>300~1500</td> <td>φ13~φ20</td> </tr> <tr> <td>1500以上</td> <td>主筋と同等</td> </tr> </table>	記号	S 1	S 2	S 3	S 4	材料	鋼管	硬質塩ビ管	溶融亜鉛メッキ鋼板	つば付鋼板	B	仮補強筋	300未満	無筋	300~1500	φ13~φ20	1500以上	主筋と同等	<p>1. 分類</p> <p>a) 基礎の分類は下記による</p> <table border="1" data-bbox="739 957 1052 1077"> <tr> <th>記号</th> <th>形状</th> </tr> <tr> <td>B 1</td> <td>鉄筋コンクリート立ち上り基礎</td> </tr> <tr> <td>B 2</td> <td>無筋コンクリート部分等の基礎</td> </tr> <tr> <td>B 3</td> <td>防水層部分の立ち上り基礎</td> </tr> <tr> <td>B 4</td> <td>土木・建築で差し筋のみを指す場合</td> </tr> </table> <p>B 1 </p> <p>B 2 </p> <p>B 3 </p>	記号	形状	B 1	鉄筋コンクリート立ち上り基礎	B 2	無筋コンクリート部分等の基礎	B 3	防水層部分の立ち上り基礎	B 4	土木・建築で差し筋のみを指す場合	<table border="1" data-bbox="739 662 1120 933"> <tr> <th>口径</th> <th>φ</th> <th>ボルトの呼び径</th> <th></th> </tr> <tr> <td>φ75~100</td> <td>45°</td> <td>φ75~200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>φ150</td> <td>30°</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>φ200~250</td> <td>22° 5'</td> <td>φ250~300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>φ300~350</td> <td>18°</td> <td>φ350~400</td> <td></td> </tr> <tr> <td>φ400~500</td> <td>15°</td> <td>φ450~600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>φ600~700</td> <td>11° 25'</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>φ800~900</td> <td>9°</td> <td>φ700~1100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>φ1000~1100</td> <td>7° 5'</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス管</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10~65A</td> <td>45°</td> <td>10~20A</td> <td>M12</td> </tr> <tr> <td>80~150A</td> <td>22° 5'</td> <td>25~100A</td> <td>M16</td> </tr> <tr> <td>200~250A</td> <td>15°</td> <td>125~200A</td> <td>R20</td> </tr> <tr> <td>300~400A</td> <td>11° 25'</td> <td>250~350A</td> <td>R22</td> </tr> <tr> <td>450~550A</td> <td>9°</td> <td>400~500A</td> <td>R24</td> </tr> <tr> <td>600~750A</td> <td>7° 5'</td> <td>550~900A</td> <td>R30</td> </tr> <tr> <td>800~1000A</td> <td>6° 42'</td> <td></td> <td>R30</td> </tr> <tr> <td>1200A</td> <td>5° 62' 50"</td> <td>1000~1200A</td> <td>R30</td> </tr> </table>	口径	φ	ボルトの呼び径		φ75~100	45°	φ75~200		φ150	30°			φ200~250	22° 5'	φ250~300		φ300~350	18°	φ350~400		φ400~500	15°	φ450~600		φ600~700	11° 25'			φ800~900	9°	φ700~1100		φ1000~1100	7° 5'			ステンレス管				10~65A	45°	10~20A	M12	80~150A	22° 5'	25~100A	M16	200~250A	15°	125~200A	R20	300~400A	11° 25'	250~350A	R22	450~550A	9°	400~500A	R24	600~750A	7° 5'	550~900A	R30	800~1000A	6° 42'		R30	1200A	5° 62' 50"	1000~1200A	R30	
記号	S 1	S 2	S 3	S 4																																																																																																				
材料	鋼管	硬質塩ビ管	溶融亜鉛メッキ鋼板	つば付鋼板																																																																																																				
B	仮補強筋																																																																																																							
300未満	無筋																																																																																																							
300~1500	φ13~φ20																																																																																																							
1500以上	主筋と同等																																																																																																							
記号	形状																																																																																																							
B 1	鉄筋コンクリート立ち上り基礎																																																																																																							
B 2	無筋コンクリート部分等の基礎																																																																																																							
B 3	防水層部分の立ち上り基礎																																																																																																							
B 4	土木・建築で差し筋のみを指す場合																																																																																																							
口径	φ	ボルトの呼び径																																																																																																						
φ75~100	45°	φ75~200																																																																																																						
φ150	30°																																																																																																							
φ200~250	22° 5'	φ250~300																																																																																																						
φ300~350	18°	φ350~400																																																																																																						
φ400~500	15°	φ450~600																																																																																																						
φ600~700	11° 25'																																																																																																							
φ800~900	9°	φ700~1100																																																																																																						
φ1000~1100	7° 5'																																																																																																							
ステンレス管																																																																																																								
10~65A	45°	10~20A	M12																																																																																																					
80~150A	22° 5'	25~100A	M16																																																																																																					
200~250A	15°	125~200A	R20																																																																																																					
300~400A	11° 25'	250~350A	R22																																																																																																					
450~550A	9°	400~500A	R24																																																																																																					
600~750A	7° 5'	550~900A	R30																																																																																																					
800~1000A	6° 42'		R30																																																																																																					
1200A	5° 62' 50"	1000~1200A	R30																																																																																																					
<p>埋込管</p>	<p>1. 材料、材質 a) 埋込管に用いる材料は、下記のものとする。 埋込管の材料</p> <table border="1" data-bbox="224 1228 582 1268"> <tr> <th>記号</th> <th>P 1</th> <th>P 2</th> <th>P 3</th> <th>P 4</th> <th>P 5</th> </tr> <tr> <th>材料</th> <td>ステンレス管</td> <td>鋼管</td> <td>鋳鉄管</td> <td>塩ビ管</td> <td>ライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>b) 埋込管の材質については、下記による。 1) ステンレス管・・・JIS G 3459 JIS 10kg/m² 鋼管差し込み溶接フランジ規格 ※ C-1 sch 20 C-2 sch 40 2) 鋼管・・・JIS ※ 3452 (SGP) ※ 3442 (SGPW) 3) 鋳鉄管・・・JISWAS G-1・JDPAG 1025 1026 4) 塩ビ管・・・JIS K 6741 ※ VP・VU 5) ライニング鋼管・・・JWWA K 116 ※ (SGP-FVD) c) 使用する材質が重複する場合は、リストの備考欄に明記の事。</p>	記号	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	材料	ステンレス管	鋼管	鋳鉄管	塩ビ管	ライニング鋼管	<p>4. 機器基礎</p> <p>B 1 </p> <p>B 2 </p> <p>B 3 </p>																																																																																										
記号	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5																																																																																																			
材料	ステンレス管	鋼管	鋳鉄管	塩ビ管	ライニング鋼管																																																																																																			

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	貫通孔、埋込管 及び 機器基礎仕様書		
縮尺	-	図面番号	19 葉之内 19
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		

構造細目共通図(複合構造物)

< 平成27年版 >

1 特記事項

1.1 適用範囲

- (1) 本構造細目共通図は、水道施設における複合構造物に適用する。
- (2) 土木工事と建築工事の区分は図面による。
- (3) 図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

土木工事	1) 土木工事特記仕様書 2) 土木工事一般仕様書・土木工事必須
建築工事	1) 建築工事特記仕様書 2) 建築工事一般仕様書 3) 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通省大臣官房官庁事務部 (平成25年版)

- (4) 項目は○印のついたものを適用する。●印のない場合は、※印のあるものを適用する。○印と●印のある場合は、共に適用する。

1.2 鉄筋の仕様

鉄筋の種類及び継手は1.2.1表による。

1.2.1表 鉄筋の種類及び継手

鉄筋の種類	種別	径	
		土木	建築
鉄筋の種類	SD295A	—	※D16以下
	※SD345 SD390 SD490	※D13以上	—
	SD345	—	※D19以上
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外	
	ガス圧接	※D19以上の柱、梁主筋 ※D16以上の増設床の床、壁鉄筋	※D19以上、D29以下の柱、梁主筋
	機械式継手	●図面による。	

1.3 コンクリートの仕様

コンクリートは1.3.1表による。

1.3.1表 コンクリートの仕様

分類	コンクリート種別	設計基準強度(N/mm ²)	スラブ(c _m)	セメントの種類
土木	鉄筋コンクリート	※普通	※12	※高炉セメントB ・普通ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント
		※普通	※12	※高炉セメントB ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB
建築	鉄筋コンクリート	地上	※18	※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB
		地下 基礎、基礎梁	※15	※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB
土木	無筋コンクリート	※18	※12	※高炉セメントB ・普通ポルトランドセメント
建築	無筋コンクリート	※18	※15	・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB

注1：無筋コンクリートには均しコンクリート、捨てコンクリートを含む。

1.4 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリート

砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの厚さは1.4.1表による。

1.4.1表 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの仕様

部 位	種 別	厚 さ (mm)
土木工事	砂利または砕石	※200
	均しコンクリート	※100
建築工事	砂利または砕石	※60
	捨てコンクリート	※50

2 共通事項

2.1 記号及び符号

設計図中で使用する記号及び符号は、2.1.1表及び2.1.2表を標準とする。

2.1.1表 鉄筋の断面表示

区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築		●	×	○	●	○	○	⊗	⊗
土木				●					

●又は建築による。

2.1.2表 一般凡例

記号	内 容	※印の説明及び注意事項
F※	フーチング断面種別	※ 番号
※1C※2	柱断面種別	※1 階数 ※2 その階の番号
※1G※2	大梁断面種別	※1 階数、地中大梁はFとする ※2 その階の番号 X方向1, 2, 3, ... Y方向A, B, C, ...
CG※	片持大梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1B※2	小梁断面種別	※1 地中小梁のみFとする。 ※2 階別区分はしない 地中小梁を除く
CB※	片持小梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1W※2	壁配筋種別	※1 E: 耐震壁、K: 階段壁 D: 土圧、水圧を受ける壁 階別区分はしない ※2 壁厚(c _m)
※1S※2※3	床版配筋種別	※1 A: 片持床版制 B: 二面固定床版制 ※2 配筋種別(数字) 階別区分はしない
※1K※2	階段の配筋種別	※1 A: 片持床版制 B: 二面固定床版制 ※2 配筋種別(数字) 階別区分はしない
CB※	コンクリートブロック壁	※ 壁厚(c _m)
///	打ち増し範囲	
///	梁、床版の上がり下がり	一般には基準FLよりの+、-に 応じた凡例により表示
(※)	床用積載荷重	積載荷重の値(kN/m ²)
S.T.P	あばら筋、スターループ	梁、基礎梁、小梁
H.O.O.P	帯筋、帯鉄筋、フープ	柱
S.H.O.O.P	スパイラル筋、らせん筋	柱、梁、壁
幅止筋	幅止筋	柱、梁、壁
組立筋	組立筋	床版、床版

2.2 一般注意事項

- (1) 設計図は監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。

3 土木工事

3.1 鉄筋の曲げ加工

鉄筋の曲げ加工は、3.1.1表及び3.1.2表を標準とする。

- (1) Dは、曲げ内法直径を示す。
- (2) dは、鉄筋直径(呼び名)を示す。

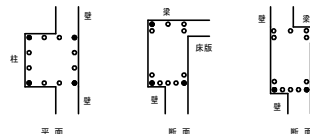
曲げ角度	折曲げ図	すべてのコンクリート		使用箇所	
		SD345			
		D16以下	D19~D32		
180°		D	5d以上	5d以上	定着末端部
135°		D	5d以上	5d以上	スターループ、帯鉄筋 フープ筋等
90°		D	5d以上	5d以上	
135° 90°		D	5d以上	5d以上	幅止筋

曲げ角度	折曲げ図	すべてのコンクリート		使用箇所	
		SD345			
		D16以下	D19~D32		
90° 以下		D	4d以上	4d以上	あばら筋、帯筋 スパイラル筋
		D	10d以上	10d以上	折曲げ鉄筋

3.2 異形鉄筋の末端部

異形鉄筋の末端部には、3.2.1表によりフックを設ける。

部 位	重ね継手	圧接継手	備 考	
			1)	2)
柱	西隅の主筋	1) 最上階の柱頭	1) 最上階の柱頭	3.2.1 図の●印
		2) 継手部		3.8.1 図参照
	上下階の柱 断面が異なる場合	1) 下階の柱主筋を引き通す事が出来ない柱頭部	1) 下階の柱主筋を引き通す事が出来ない柱頭部	3.2.1 図の●印
		2) 継手部		3.8.2 図参照
帯筋(HOOP)	1) 末端部	1) 末端部	3.9.1 図参照	
	2) 継手部			
主筋	1) 出隅及び下階筋の出隅(基礎梁を除く)		3.2.1 図の●印	
	2) 継手部			
あばら筋(STP)	1) 末端部	1) 末端部	3.12.1 図参照	
	2) 継手部			
独立フーチング基礎の底版筋	1) 末端部	1) 末端部	3.25.1 図参照	
	2) 継手部			
煙突の鉄筋	1) 末端部	1) 末端部	壁の一部となる場合を含む	
	2) 継手部			
幅止筋			3.1.1 表参照	

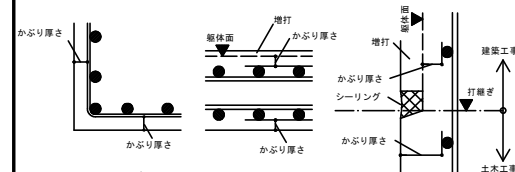
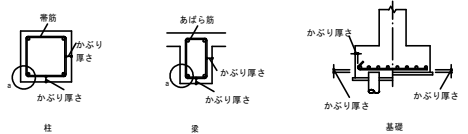


3.2.1図 異形鉄筋の末端部

3.3 鉄筋のかぶり及び間隔

3.3.1 かぶり厚さ

かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋(幅止筋を除く)の外面から躯体面までの距離(3.3.1図)をいう。
鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



3.3.1図 鉄筋のかぶり厚さ

3.3.2 最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、3.3.1表による。

- (1) 床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、均しコンクリートの厚さを含まない。
- (2) 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保して最小かぶり厚さを定める。
- (3) 溶接金網にも適用する。

3.3.1表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)

A 通常の施工の場合					
構造部分の種別	スラブ	床版・フーチング		梁	柱、壁
		柱基礎下階部	その他		
一般	40	60	60	40	40
水中・土中等	50	60	60	50	50

B 塩害対策地域の施工の場合						
対策区	構造部分の種別	スラブ	床版・フーチング		梁	柱、壁
			柱基礎下階部	その他		
I, II, III	一般	70	70	70	70	
	水中・土中等	50	60	50	60	
	水中・土中等	50	60	50	60	

- 1) 部位により最小かぶり厚さの判断が困難な場合は、監督職員の指示を受ける。
- 2) 「その他」は床版・フーチングの上下面及び側面とする。
- 3) 塩害対策地域区分は、土木工事特記仕様書による。

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内
図面の種類	構造細目共通図(複合構造物)(1)
縮 尺	— 図面番号 18 葉之内 1
設 計 者	株式会社 東京設計事務所
事務所名	可児市水道部水道課

3 土木工事

3.4 鉄筋相互のあき

3.4.1 梁・壁・床版

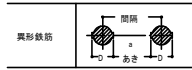
鉄筋相互のあきは、下記(1)、(2)、(3)の最大値以上とする。

- (1) 粗骨材の最大寸法の4/3倍
- (2) 最小のあき20mm
- (3) 異形鉄筋の直径(呼び名)以上

3.4.2 柱

鉄筋相互のあきは、下記(1)、(2)、(3)の最大値以上とする。

- (1) 粗骨材の最大寸法の4/3倍
- (2) 最小のあき40mm
- (3) 異形鉄筋の直径(呼び名)の1.5倍以上



(注) D: 鉄筋の最外径 d: 鉄筋直径(呼び名)

3.4.1図 鉄筋のあき

3.4.1表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径 (mm)	鉄筋径 d	鉄筋相互のあき: a			最小鉄筋間隔		
		(1) 粗骨材×4/3倍	(2) 最小あき	(3) 鉄筋径×1.5	(イ) a+D	(ロ) a+D	
D13	14	33mm	梁: 20mm 柱: 40mm	鉄筋径×1.0	2.0mm	4.7mm	5.4mm
D16	18			1.6mm	2.4mm	5.1mm	5.8mm
D19	21			1.9mm	2.9mm	5.4mm	6.1mm
D22	25			2.2mm	3.3mm	5.8mm	6.5mm
D25	28			2.5mm	3.8mm	6.1mm	6.8mm
D29	33			2.9mm	4.4mm	6.6mm	7.7mm

3.5 鉄筋の継手及び定着

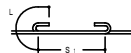
3.5.1 継手長さ及び定着長さの基本

- (1) 鉄筋の継手及び定着の長さは、3.5.1表による。なお、定着長さ $S_2 \cdot S_3$ は、3.1項による曲げ加工後の直線部分で確保する。ただし、主鉄筋の中心間隔が100mm未満の場合は、別途継手及び定着の長さを算定し図面に示すものとする。

3.5.1表 鉄筋の重ね継手及び定着の長さ(主鉄筋中心間隔100mm以上)

鉄筋の種別	鉄筋径区分	設計基礎強度[N/mm ²]	フックなし			フックあり		
			S ₁ : 重ね継手長さ	S ₂ : 定着長さ	S ₃ : 定着長さ	S ₁ : 重ね継手長さ	S ₂ : 定着長さ	S ₃ : 定着長さ
SD345	D16以下	2.4以上 2.7未満	50・d	45・d	40・d	40・d	35・d	30・d
	D19~D22		60・d	50・d	45・d	50・d	40・d	35・d
	D25以上		65・d	60・d	50・d	55・d	50・d	40・d

- (2) 径が異なる鉄筋の継手長さは、細い鉄筋の径による。
- (3) 継手は相互にずらすことを原則とする。
- (4) フックのある場合の継手長さ及び定着長には、3.5.1図に示すようにフック部分Lを含まない。

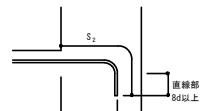


3.5.1図 フックのある場合の継手及び定着要領

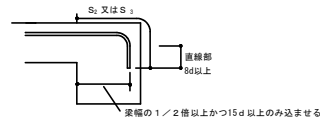
3.5.2 継手の特記事項

- (1) 継手は極力応力の小さい位置に設ける。
- (2) 異径の鉄筋をガス圧接する場合は、鉄筋径の直近の範囲内とする。

3.5.3 梁主筋の柱内定着



3.5.2図 梁主筋の柱内定着要領

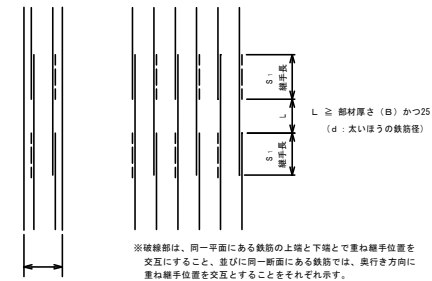


3.5.3図 小梁及びスラブ上端筋の梁内折曲要領

3.6 隣り合う継手の位置

3.6.1 主鉄筋の重ね継手

- (1) 同一断面での継手の割合(集中度)は1/2以下(相互にずらす)とする。
- (2) 継手長さは、軸方向に相互にずらして設ける。
- (3) ずらす距離(L)は、部材厚(B)、かつ、太いほうの鉄筋径の2.5倍以上とする。
- (4) 前記(1)を確保できない場合は、基本定着長の1.7倍の継手長さとし、横方向の鉄筋で補強する。
- (5) 前記(1)を確保できない場合等は、監督職員の承諾を得て、ガス圧接継手又は機械式継手工法を採用することができる。
- (6) 継手部の鉄筋のあきは、粗骨材の最大寸法以上とする。



3.6.1図 重ね継手工法

3.6.2 主鉄筋のガス圧接および機械式継手

主鉄筋、配力鉄筋のガス圧接継手及び機械式継手は以下のとおりとする。機械式継手は、ねじ節継手工法とし、土木学会「鉄筋継手指針(1982)」による。また、ねじ節継手工法以外の機械式継手を採用する場合は、監督職員の承諾を得ること。

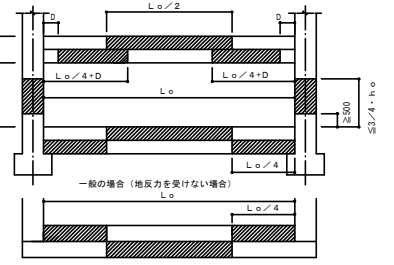
- (1) 同一断面での継手の割合(集中度)は1/2以下とする。
- (2) 継手は軸方向に相互にずらして設ける。
- (3) ガス圧接の場合のずらす距離(L)は、太いほうの鉄筋径の2.5倍以上とする。
- (4) 機械式継手の場合のずらす距離(L)は、太いほうの鉄筋径の3.0倍以上とする。



3.6.2図 各種継手工法

3.7 継手及び圧接中心位置(柱・大梁)

- (1) 柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から50cm以上、150cm以下かつ3/4h_o(h_oは柱の内法高さ)以下とする。
- (2) 梁の継手及び圧接中心位置は下記による。
上端筋 中央: L_o/2以内
下端筋 両端: 柱より梁せい(D)以上離し、L_o/4を加えた範囲以内
- (3) 通常の応力と異なる場合の継手位置は、3.7.1図によらず図面による。

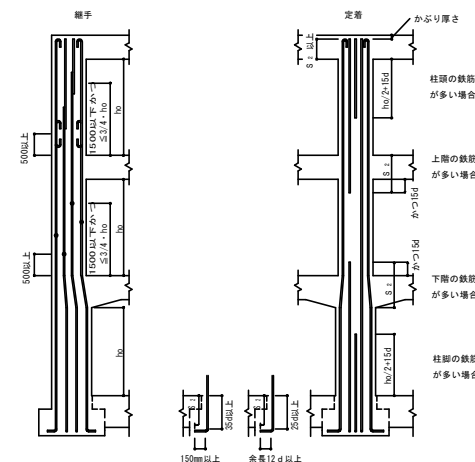


3.7.1図 継手及び圧接中心位置

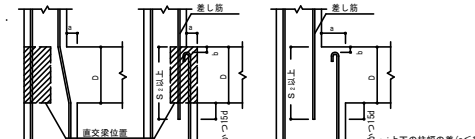
3.8 柱筋の継手及び定着

3.8.1 一般事項

- (1) 継手長さはS₁とし、定着及び余長は、3.8.1図による。
- (2) 柱頭定着長さS₃が確保出来ない場合は、図面による。
- (3) 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、3.8.2図による。
- (4) 柱脚定着長さ25d(余長12d以上)または35dが確保出来ない場合は、図面による。



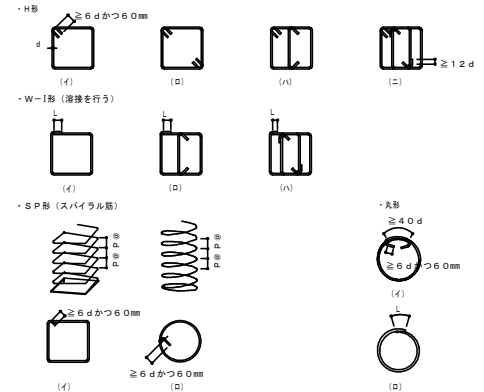
3.8.1図 柱主筋の継手、定着及び余長



3.8.2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

3.9 帯筋の形状

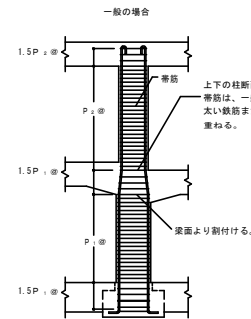
- (1) 帯筋の形状は、3.9.1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。
(a) H形とする。
(b) H形の1/35°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
(c) 溶接する場合の溶接長さは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
(d) S形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の巻きを行う。



3.9.1図 帯筋組立の形

3.10 帯筋の割付け

- (1) フック及び継手の位置は交互とし、位置を変える。
- (2) 帯筋の割付けは、3.10.1図による。ただし、図面にある場合は図面による。
- (3) 柱、梁の交差部(パネルゾーン)の帯筋のせん断補強比は、0.2%以上を確保し、ピッチは1.5倍とする。



3.10.1図 帯筋の割付け

柱幅(cm)	パネルゾーン
≦45	D13 @ 150
≦55	D13 @ 150
≦70	D13 @ 150
≦80	D13 @ 150
≦100	D13 @ 125
≦125	D13 @ 100
≦130	D16 @ 150
≦155	D16 @ 125

*P₁、P₂のピッチは100以下とする。

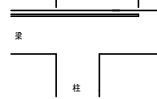
業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設(構内配管・電気機械室築造)工事
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内
図面の種類	構造組立共通図(複合構造物) (2)
縮尺	— 図面番号 18 葉之内 2
設計者	株式会社 東京設計事務所
事務所名	可児市水道部水道課

3 土木工事

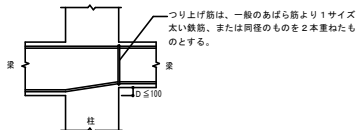
3.1.1 大梁筋の継手及び定着

3.1.1.1 一般事項

- 継ぎ手長さ、定着長さ及び余長は、3.1.1.1図から3.1.1.10図による。
- 梁主筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数のときは柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、3.5.2図のように柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、3.1.1.1図による。
- 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
上端筋：曲げ下ろす
下端筋：原則として曲げ上げる。
梁主筋のみ込み長さは、柱せいの3/4倍以上かつ20d以上を確保する。(※1)
- 梁にハンチをつける場合、その傾斜は図面による。図面になければ1:4とする。
- 印は、継ぎ手及び余長を示す。
- 破線は柱内定着の場合を示す。
- 3.2異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋にはフックをつける。
- 段違い梁は3.1.1.2図による。



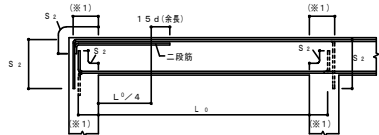
3.1.1.1 図 梁主筋を梁内定着



3.1.1.2 図 段違い梁

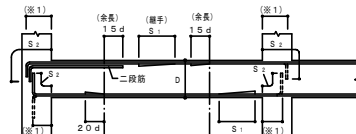
3.1.1.2 ハンチのない場合

(1) 最上階の場合

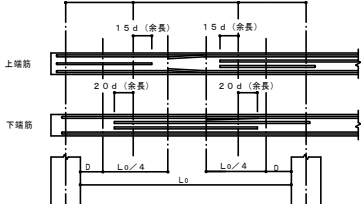


3.1.1.3 図 大梁の重ね継手、定着及び余長(最上階)

(2) 一般階の場合



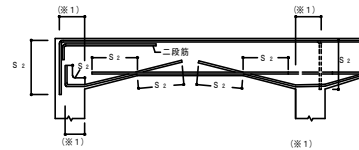
3.1.1.4 図 大梁の重ね継手、定着及び余長(一般階その1)



3.1.1.5 図 大梁の重ね継手、定着及び余長(一般階その2)

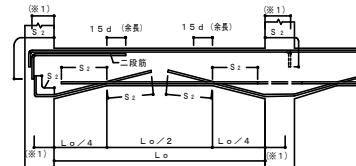
3.1.1.3 ハンチのある場合

(1) 最上階の場合



3.1.1.6 図 ハンチのある大梁の定着及び余長(最上階)

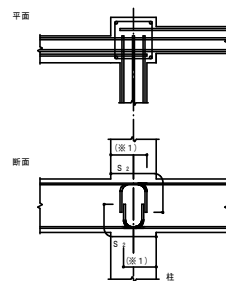
(2) 一般階の場合



3.1.1.7 図 ハンチのある大梁の定着及び余長(一般階)

3.1.1.4 水平段差のある場合

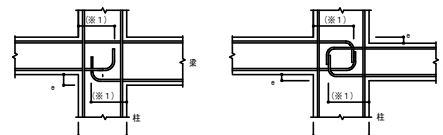
(1) 水平段差のある場合



3.1.1.8 図 大梁の定着及び余長(水平段差のある場合)

3.1.1.5 鉛直段差(e)のある場合

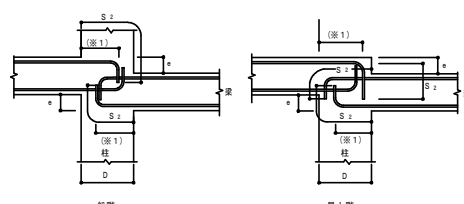
(1) e/D≦1/6の場合



定着の長さは、3.1.1.2図に準ずる

3.1.1.9 図 鉛直段差(その1)

(2) e/D>1/6の場合



3.1.1.10 図 鉛直段差(その2)

3.1.2 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

3.1.2.1 一般事項

- 腹筋に継手をつける場合の継手長さは、150mm程度とする。
- 壁梁の場合、腹筋の継手長さはS₂定着長さをSとする。
- 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
- 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D13-1000mmピッチ程度とする。
- 破線は柱内定着の場合を示す。

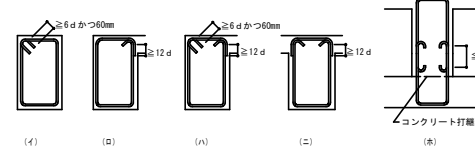
3.1.2.2 あばら筋組立の形及びフックの位置

- 形は、3.1.2.1図(イ)を標準とする。ただし、(イ)によることが出来ない場合は、下記の方法によることが出来る。

- 床版が片側に付く場合は、(ロ)又は(ハ)
- 床版が両側に付く場合は、(ロ)～(ニ)

(2) フックの位置

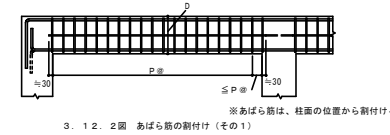
- (イ)の場合は交互とする。
- (ロ)の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側 床版が両側に付く場合は交互
- (ハ)の場合は床版の付く側を90°折曲げる。
- (ホ)は梁の上下にスラブが付く場合で、かつ梁せいが1.5m以上の場合に適用することが出来る。(基礎梁)



3.1.2.1 図 あばら筋組立の形及びフックの位置

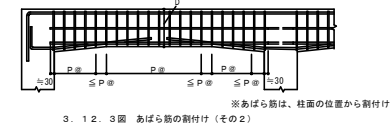
3.1.2.3 あばら筋の割付け

(1) 間隔が一様でハンチのない場合



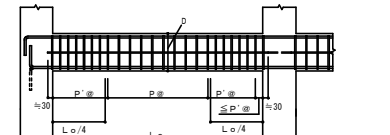
※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

(2) 間隔が一様でハンチのある場合



※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合

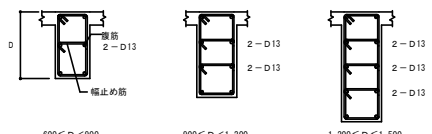


※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3.1.2.4 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁

a) 腹筋及び幅止め筋



600≦D<900 900≦D<1,200 1,200≦D≦1,500

(2) 特殊な梁

腹筋及び幅止め筋は、図面による。

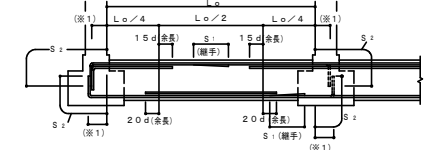
3.1.3 基礎梁及び底版の継手及び定着

3.1.3.1 一般事項

- 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は柱内に定着する。やむを得ず梁内に定着する場合は、3.1.1.1図に準ずる。
- 梁筋を柱内に定着する場合は、3.1.1.1(3)による。
- 柱幅<梁幅の場合の定着は、3.1.3.3図による。
- 印は、継ぎ手及び余長を示す。
- 破線は柱内定着の場合を示す。

3.1.3.2 基礎梁の場合

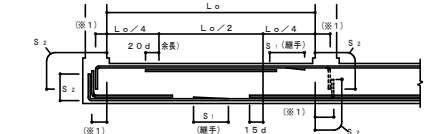
(1) 基礎梁の継手及び定着



3.1.3.1 図 主筋の継手、定着及び余長(その1)

3.1.3.3 連続基礎及びべた基礎の場合

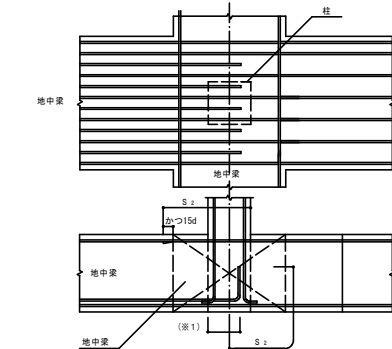
(1) 柱幅≧梁幅の場合



3.1.3.2 図 主筋の継手、定着及び余長(その2)

(2) 柱幅<梁幅の場合

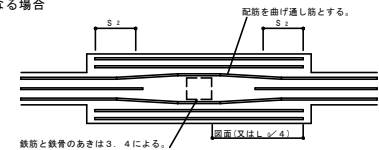
- 交差部のスターラップを設ける場合は、図面による。



3.1.3.3 図 主筋の継手、定着及び余長(その3)

3.1.3.4 梁形を設けない場合の基礎底版

- 鉄骨造のB×H柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合



3.1.3.4 図 主筋の継手、定着及び余長(その4)

鉄筋と鉄骨のあきは3.4による。

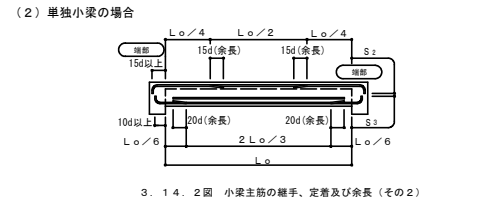
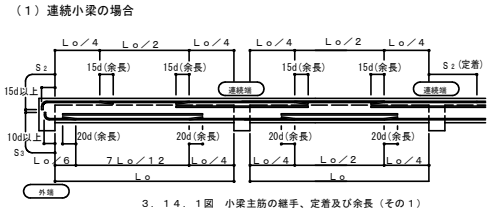
業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (管内配管・電気機械室築造)工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	構造組立共通図(複合構造物)(3)		
縮尺	—	図面番号	18 業之内 3
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		

3 土木工事

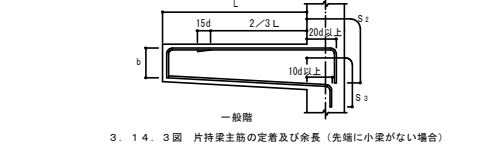
3. 1. 4 小梁及び片持梁の配筋要領

3. 1. 4. 1 一般事項
 (1) 図面でない事項は大梁、梁のあばら筋、及び基礎梁の項に準ずる。
 (2) 印は、余長位置を示す。

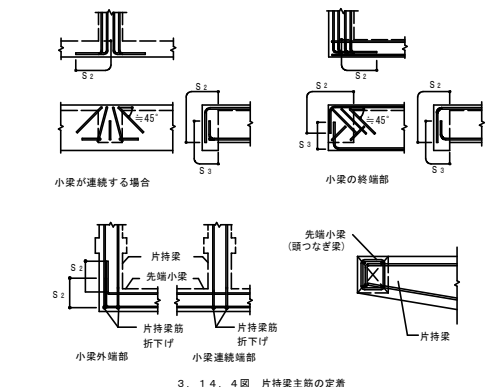
3. 1. 4. 2 小梁
 梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長が取れない場合、斜めにしてもよい。



3. 1. 4. 3 片持梁筋の定着
 (1) 先端に小梁のない場合
 a. 先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
 b. 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。

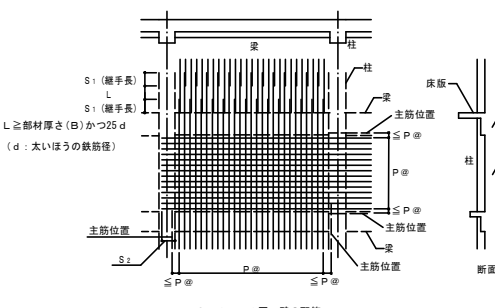


- (2) 先端に小梁がある場合
 a. 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
 b. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
 c. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。



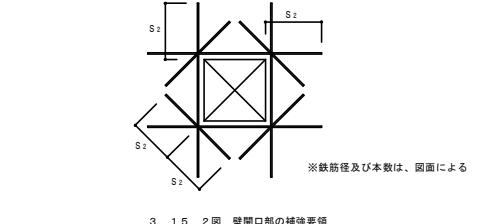
3. 1. 5 壁の配筋要領

3. 1. 5. 1 一般事項
 (1) 壁配筋の継手長さをS₁、定着の長さは、S₂とする。
 (2) 土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、継手長さをS₁、定着長さをS₂とする。
 (3) 幅止めの筋は、縦、横ともD13-@1000mmを標準とする。
 (4) 一般部壁筋は、3. 1. 5. 1図によることとし、隣接する壁の鉄筋と重ね継手を取り付ける場合は、3. 6項に従うものとする。



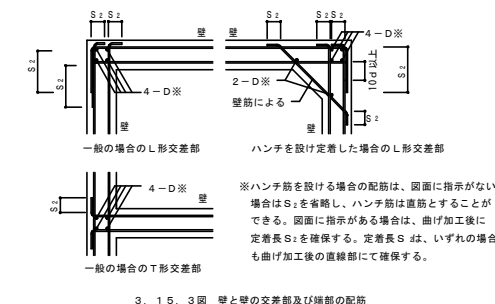
3. 1. 5. 2 耐震壁の開口
 (1) 耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。
 (2) やむを得ず開口をあける場合は、構造上安全であることを構造計算によって確認すること。

3. 1. 5. 3 壁開口部の補強
 (1) 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、3. 1. 5. 2図を標準とする。

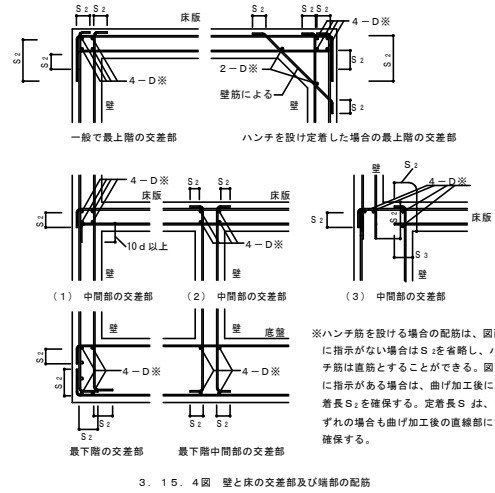


- (2) 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

3. 1. 5. 4 壁の交差部及び端部
 (1) 壁と壁の交差部は3. 1. 5. 3図による。
 a. 交差部補強筋径D※はD16以上、かつ壁配筋と同径とする。



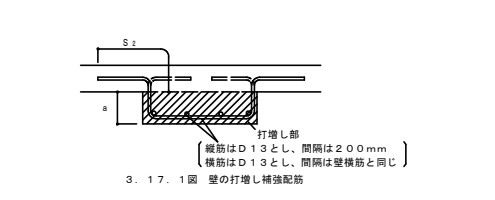
- (2) 壁と床版の交差部は3. 1. 5. 4図による。
 a. 交差部補強筋径D※はD16以上、かつ壁配筋と同径とする。



3. 1. 5. 4図 壁と床の交差部及び端部の配筋

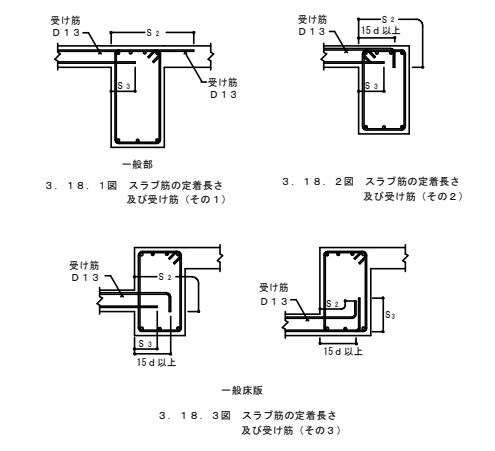
3. 1. 7 壁の打増し要領

- (1) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、3. 1. 7. 1図による。打増し厚さのaが50mm以上、200mm以下に適用する。200mmを超える場合は、特記による。

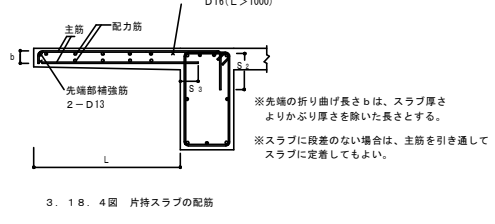


3. 1. 8 床の配筋要領

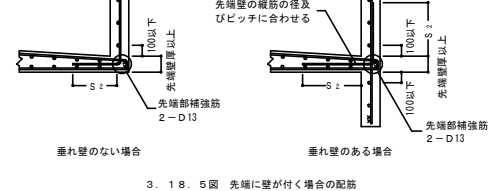
3. 1. 8. 1 一般事項
 (1) 鉄筋の継手長さは、S₂とする。
 (2) 定着長さ及び受け筋は、3. 1. 8. 1図による。ただし、引き通すことができない場合は、3. 1. 8. 2図、3. 1. 8. 3図により梁内に定着する。
 (3) 基礎梁と床版を一体打ちとし、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。図面になければ3. 2. 0. 5図による。



3. 1. 8. 2 片持スラブ
 (1) 片持スラバの配筋



- (2) 先端に小梁がない壁が付く場合

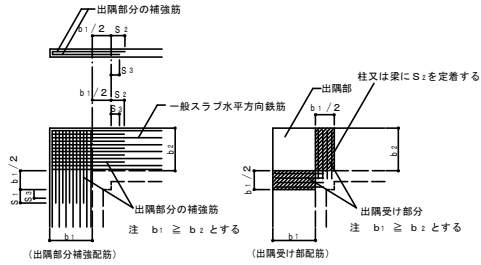


業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	構造組立共通図 (複合構造物) (4)		
縮 尺	-	図面番号	18 業之内 4
設 計 者	株式会社 東京設計事務所		
事 務 所 名	可児市水道下水道課		

3 土木工事

3.18.3 出隅部の配筋方法

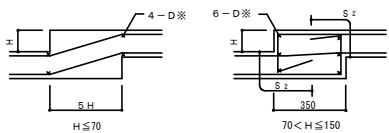
- 補強の配筋は図面による。配筋方法は、3.18.6図による。特記がない場合は、D13@100ダブル程度とする。
- 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面(幅は $b/2$ とする)による。



3.18.6図 片持スラブ出隅部の補強配筋

3.18.4 段差床版の補強

- 同一床版に段差がある場合、3.18.7図の補強を行う。ただし、 $H > 150$ の場合は、小梁を設ける事を原則とする。

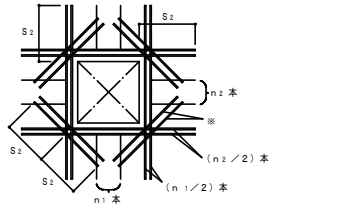


D※：鉄筋径は、図面による。

3.18.7図 段差のある床版の補強配筋

3.18.5 床版開口部の補強

- 開口の最大径 ≤ 700 の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(3.18.8図) 開口の最大径 > 700 の場合は図面による。

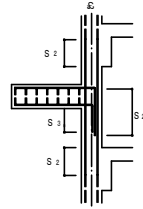


3.18.8図 床版開口部の補強配筋

- 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

3.19 階段の配筋要領

- 壁配筋は、図面による。
- 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ降ろす。

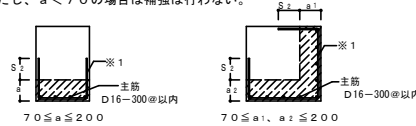


3.19.1図 片持スラブ形階段配筋の定着

3.20 柱及び梁の増し打ち要領

3.20.1 柱

- 増し打ちコンクリートの補強は、3.20.1図による。ただし、 $a < 70$ の場合は補強は行わない。

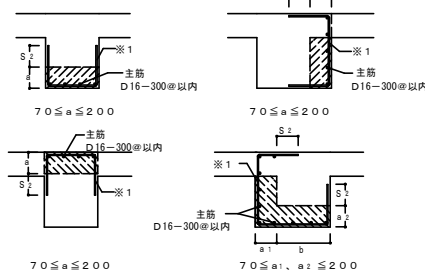


※1：帯筋と同径・同ピッチとする。
3.20.1図 柱の増し打ち補強配筋

- 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
- 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、S以上とする。
- 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

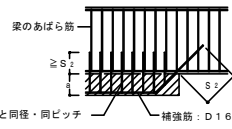
3.20.2 梁

- 増し打ちコンクリートの補強は、3.20.2図による。ただし、 $a < 70$ の場合、補強は行わない。



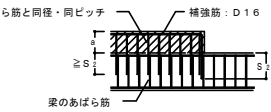
※1：あばら筋と同径・同ピッチとする。
3.20.2図 梁の増し打ち補強配筋

- 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
- 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、S以上とする。
- 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
- 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合。



3.20.3図 梁の上下の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)

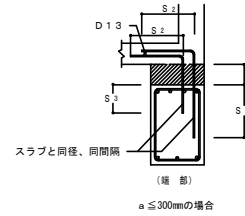
- 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合。



3.20.4図 梁の側面の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)

3.20.3 土間スラブの打継ぎ補強

- 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合。

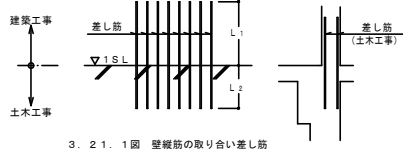


3.20.5図 土間スラブの打継ぎ補強配筋(ダブル)

3.21 土木部分と建築部分の取り合い

3.21.1 壁縦筋の取り合い

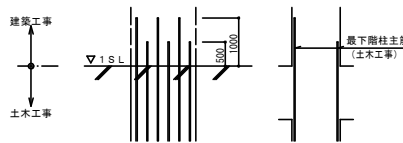
- 差し筋の仕様は建築工事仕様とする。(径は図面による)
- L_1 及び L_2 は4.5.1表による。



3.21.1図 壁縦筋の取り合い差し筋

3.21.2 柱主筋の取り合い

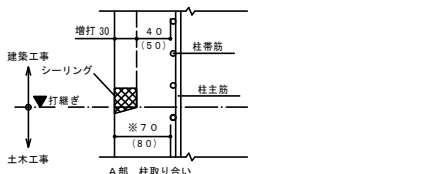
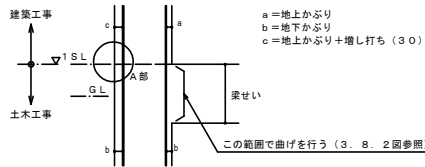
- 最上層の柱主筋は、1階建築部分の柱断面に応じ、3.21.2図の圧接位置まで延ばすこと。



3.21.2図 柱主筋の取り合い差し筋

3.21.3 柱主筋かぶり厚の取り合い

- 土木工事の外壁に面する柱主筋のかぶり厚は、3.3.1表によらず、3.21.3図による。



※ かぶり厚 $\geq 70(80)$ mmは、柱部材の外壁に面する部分のみに適用する。()内は、塩害対策地域に適用する。

3.21.3図 柱主筋かぶり厚の取り合い

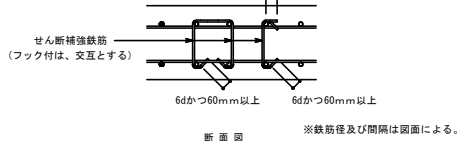
業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造)工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	構造組立共通図(複合構造物) (5)		
縮 尺	—	図面番号	18 業之内 5
設 計 者	株式会社 東京設計事務所		
事 務 所 名	可児市水道部水道課		

3 土木工事

3.2.3 せん断補強鉄筋

3.2.3.1 底版、床版

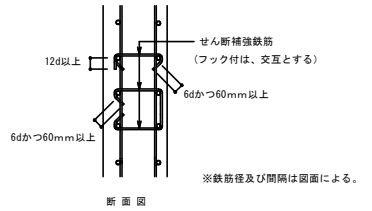
(1) 底版、床版のせん断補強要領は3.2.3.1図及び3.2.3.3図による。



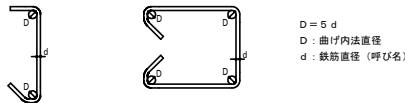
3.2.3.1図 底版、床版のせん断補強要領

3.2.3.2 壁

(1) 壁のせん断補強要領は3.2.3.2図及び3.2.3.3図による。



3.2.3.2図 壁のせん断補強要領

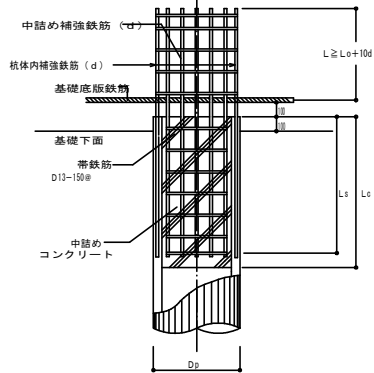


3.2.3.3図 せん断補強加工要領

3.2.4 杭基礎の補強

3.2.4.1 一般事項

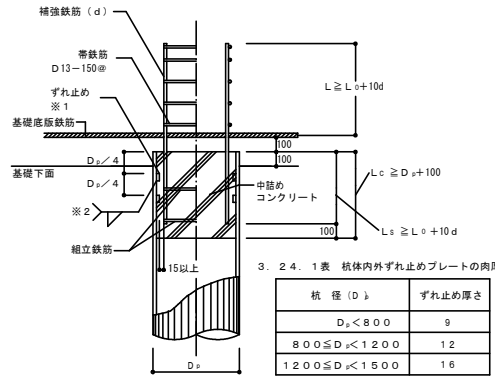
- 補強鉄筋にSD390またはSD490を用いる場合、中詰めコンクリート及び補強鉄筋が定着する基礎底版コンクリートの設計基準強度を30N/mm²以上とする。
- 鉄筋種別、径・本数は、図面による。
- 杭基礎の補強鉄筋の定着長Lは、3.5d以上とする。
- 杭頭補強鉄筋が底版厚より長くなる場合は、3.2.4.6図による。
- 杭体内補強鉄筋は必要に応じ配置する。



杭頭処理形態	部材寸法
カットオフする場合	鉄筋 $L \geq 50\phi + L + 1.0d$
	コンクリート $L \geq 2.5D + 100, \phi \geq 2\phi + L + (幅 \times 100)$
カットオフしない場合	鉄筋 $L \geq 1.0d$
	コンクリート $L \geq 2.5D + 100, \phi \geq L + (幅 \times 100)$

注1. ϕ は、P.C鋼棒径とする。

3.2.4.1図 PHC杭の杭頭補強



3.2.4.1表 杭体内外ずれ止めプレートの肉厚

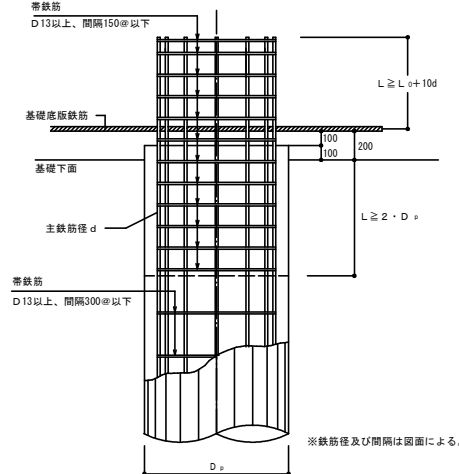
杭径(D)	ずれ止め厚さ
$D_p < 800$	9
$800 \leq D_p < 1200$	12
$1200 \leq D_p < 1500$	16

※材質はSS400

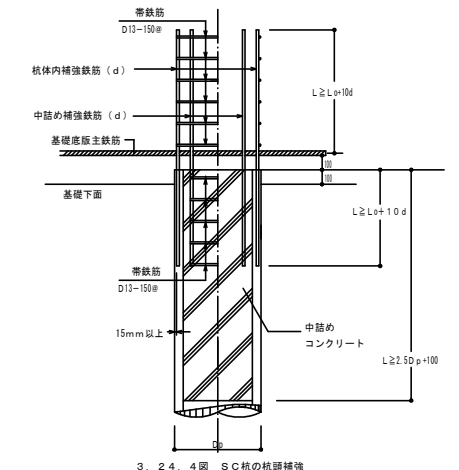
※1: ずれ止めの大きさは、3.2.4.1表による。

※2: 全周現場すみ肉溶接

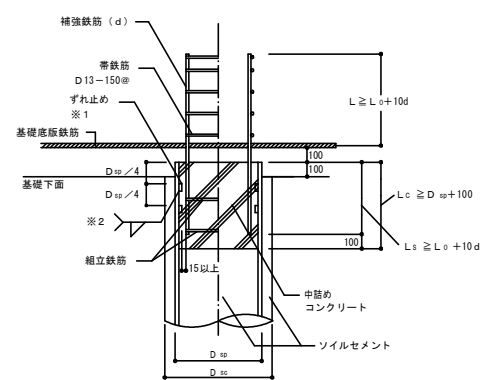
3.2.4.2 鋼管杭の杭頭補強



3.2.4.2図 鋼管杭の杭頭補強



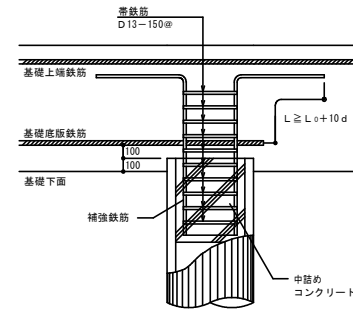
3.2.4.3図 S.C杭の杭頭補強



3.2.4.5図 鋼管ソイルセメント杭の杭頭補強

※1: ずれ止めの大きさは、3.2.4.1表による。

※2: 全周現場すみ肉溶接

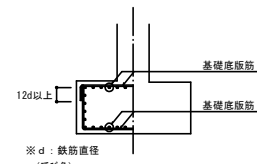


3.2.4.6図 杭頭補強鉄筋が底版厚より長くなる場合の杭頭補強

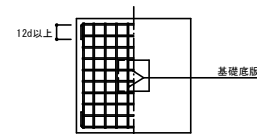
3.2.5 独立基礎の補強

3.2.5.1 フーテングの補強

(1) 補強方法は図面による。



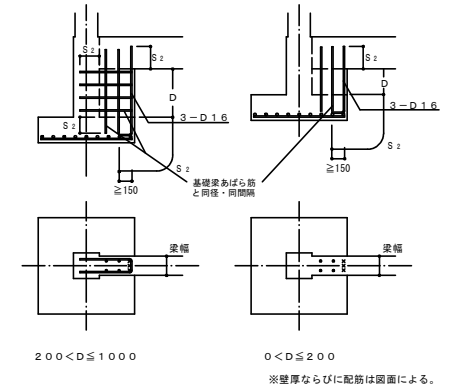
※d: 鉄筋直径 (呼び名)



3.2.5.1図 独立基礎の補強配筋

(2) 基礎底版鉄筋の配筋は、図面による。

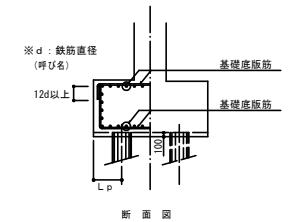
3.2.5.2 基礎接合部の補強



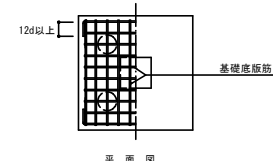
3.2.5.2図 基礎接合部の補強配筋

3.2.5.3 杭基礎の場合のフーテング配筋方法

- 杭基礎の場合のフーテング配筋方法は、3.2.5.3図とする。
- 杭頭処理の方法は、3.2.4項に基づくものとする。
- 杭芯とフーテング外端面との距離(Lp)は、場所打ち、打ち込み杭、埋め込み杭は1.0D(Dは杭径)以上とする。



断面図



平面図

3.2.5.3図 杭基礎の場合のフーテング配筋方法

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (管内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	構造細目共通図(複合構造物) (6)		
縮尺	—	図面番号	18 業之内 6
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		

4 建築工事

4.1 鉄筋の曲げ加工

鉄筋の曲げ加工は、4.1.1表及び4.1.2表を標準とする。

- (1) Dは、曲げ内法直径を示す。
- (2) dは、鉄筋直径(呼び名)を示す。

4.1.1表 末端部

曲げ角度	折曲げ図	すべてのコンクリート			使用箇所
		D16以下	D19~D26	D29~D38	
180°		D	3d以上	4d以上	柱、梁の主筋 杭基礎のベース筋 D19以上の鉄筋
135°		D	3d以上	4d以上	D13以下の鉄筋 あばら筋、帯筋、 スパイラル筋
90°		D	3d以上	4d以上	T形及びL形の梁の あばら筋
135° 90°		D	3d以上	4d以上	幅止め筋

- (注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側先端で90°フック又は135°フックを用いる場合は、余長を4dとする。
2. 90°未満の折曲げの内法直径は図面による。

4.1.2表 中間部

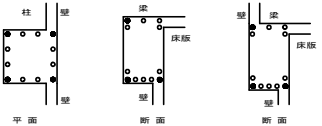
曲げ角度	折曲げ図	すべてのコンクリート			使用箇所
		D16以下	D19~D26	D29~D38	
90°以下		D	3d以上	4d以上	あばら筋、帯筋 スパイラル筋
		D	4d以上	6d以上	

4.2 異形鉄筋の末端部

異形鉄筋の末端部は、4.2.1表によりフックを設ける。

4.2.1表 フックを設ける位置

部 位	継手方式		備 考
	重ね継手	圧接継手	
柱	1) 最上層の柱頭 2) 継手部	1) 最上層の柱頭	4.2.1図の印 4.7.1図参照
	1) 下層の柱主筋を 引き通すが 出来ない柱頭部 の場合	1) 下層の柱主筋を 引き通すが 出来ない柱頭部	4.2.1図の印 4.7.1図参照
	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	4.8.1図参照
梁	1) 出隅及び下端筋 の出隅 (基礎梁は除く)	—	4.2.1図の印
	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	4.11.1図参照
煙突の鉄筋	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	壁の一部となる 場合を含む
幅止め筋	—	—	4.1.1表参照

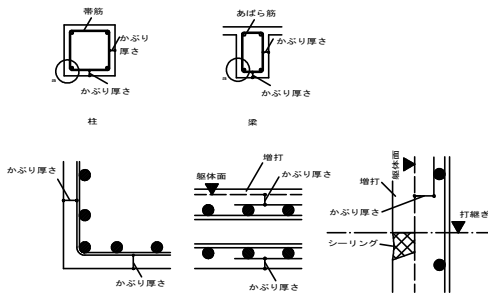


4.2.1図 異形鉄筋の末端部

4.3 鉄筋のかぶり及び間隔

4.3.1 かぶり厚さ

かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋(幅止め筋、組立筋を除く)の外面から躯体面までの距離(4.3.1図)をいう。
鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



4.3.1図 鉄筋のかぶり厚さ

4.3.2 最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、4.3.1表による。

- (1) 床版、梁、基礎及び補壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
- (2) 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保して最小かぶり厚さを定める。
- (3) 溶接金網にも適用する。

4.3.1表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)

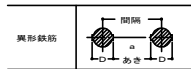
構造部分の種別	通常の施工の場合		傷害対策を 必要とする場合
	一般	土、水に 接する部分	
一 般	床、耐力壁以外の壁	30	40
	柱、梁、耐力壁	40	50
	底版	40	50
	柱、梁、床、壁	40	50
煙突等の高熱を受ける部分	60	70	70

1: 打継目部分では目地底より最小かぶり厚さを確保する。
2: 仕上なしの場合を標準とする。
3: 傷害対策地域区分は、建築工事特記仕様書による。

4.4 鉄筋相互のあき

鉄筋相互のあきは、下記の最大値のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合は、図面による。

- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 最小のあき25mm
- (3) 異形鉄筋の直径(呼び名の数値)の1.5倍以上



(注) D: 鉄筋の最外径 D: 鉄筋直径(呼び名)

4.4.1図 鉄筋のあき

4.4.1表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径 (mm)	粗骨材 D	鉄筋相互のあき: a		最小鉄筋間隔 a+D
		(1) 粗骨材径×1.25	(2) 最小あき	
D10	11	15mm	4.2mm	31mm 粗骨材 最大径 25mm の場合
D13	14	20mm	4.5mm	
D16	18	24mm	4.9mm	
D19	21	29mm	5.2mm	
D22	25	33mm	5.8mm	
D25	28	38mm	6.6mm	
D29	33	44mm	7.7mm	

4.5 継手及び定着

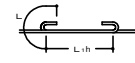
4.5.1 鉄筋の重ね継手

- (1) 鉄筋の重ね継手の長さは、4.5.1表による。
- (2) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- (3) 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40d(軽量コンクリートの場合は50d)と4.5.1表の重ね継手長さのうち大きい値とする。

4.5.1表 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の 種 類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)		L ₂ (フックあり)	
		小梁	スラブ	小梁	スラブ
SD295A	21	40d	30d	30d	25d
	24, 27	35d	25d	25d	20d
	30	35d	25d	25d	20d
SD345	21	45d	30d	30d	25d
	24, 27	40d	30d	30d	25d
	30	35d	25d	25d	20d

- (注) 1. L₁, L₂: フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合のL₂は、4.5.1図に示すようにフック部分L₂を含めない。



4.5.1図

4.5.2 継手の特記事項

- (1) 継手は、極力応力の小さい位置に設ける。
- (2) 異径種の鉄筋をガス圧接する場合は、鉄筋径の直近の範囲内とする。

4.5.3 鉄筋の定着

- (1) 鉄筋の定着の長さは、4.5.2表による。

4.5.2表 鉄筋の定着の長さ

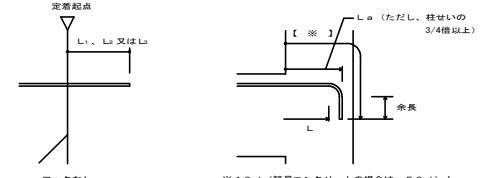
鉄筋の 種 類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	フックなし				フックあり			
		L ₁	L ₂	小梁	スラブ	L _{1h}	L _{2h}	小梁	スラブ
SD295A	21	40d	35d	—	—	30d	25d	—	—
	24, 27	35d	30d	—	—	25d	20d	—	—
	30	35d	30d	—	—	25d	20d	—	—
SD345	21	45d	35d	—	—	30d	25d	—	—
	24, 27	40d	35d	—	—	30d	25d	—	—
	30	35d	30d	—	—	25d	20d	—	—

4.5.4 定着の方法

定着の方法は4.5.2表による。

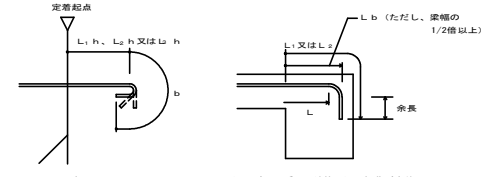
なお、(ロ)折曲げ定着の梁主筋の柱内折曲げ定着において、仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さが、4.5.2表のフックあり定着の長さ確保できない場合は、全長を4.5.2表に示すフックなし定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを4.5.3表に示す長さ(かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上、小梁の場合は1/2以上)のみ込ませる。

- (注) 1. L_a、L_bは、4.5.3表の鉄筋の投影定着長さを示す。



※40d(軽量コンクリートの場合は、50d)と4.5.2表のフックなし定着長さのうち大きい値とする

梁主筋の柱内折曲げ定着



(イ) 直線定着

(ロ) 折曲げ定着

4.5.2図 定着の方法

4.5.3表 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の 種 類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L _a		L _b	
		小梁	スラブ	小梁	スラブ
SD295A	21	15d	15d	15d	15d
	24, 27	15d	15d	15d	15d
	30	15d	15d	15d	15d
SD345	21	20d	20d	20d	20d
	24, 27	20d	20d	20d	20d
	30	15d	15d	15d	15d

- (注) 1. L_a: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ(基礎梁、片持ちスラブを含む。)
2. L_b: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)

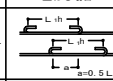
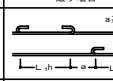

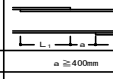
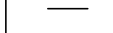
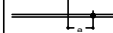
業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造)工事
施工箇所	可児市虹ヶ丘地内
図面の種類	構造細目共通図(複合構造物) (7)
縮 尺	— 図面番号 18 葉之内 7
設 計 者	株式会社 東京設計事務所
事 務 所 名	可児市水道部水道課

4 建築工事

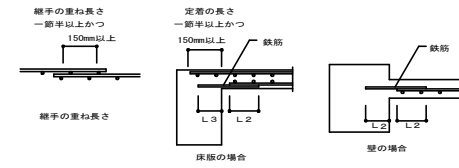
4. 5. 5 隣り合う継手の位置及び定着

隣り合う継ぎ手の位置は、4. 5. 4表により、a寸法を守ること。
ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

4. 5. 4表 隣り合う継手の位置

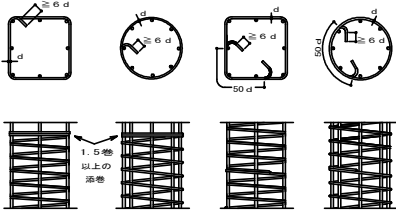
条件	重ねる場合	離す場合
重ね継手	フック有りの場合 	$a \geq 0.5L_h$ 
	フックなしの場合 	$a \geq 0.5L_l$ 
圧接継手		$a \geq 400\text{mm}$ 

(1) 溶接金網の継手及び定着



4. 5. 3図 溶接金網の継手及び定着要領

(2) スパイラル筋の継手及び定着

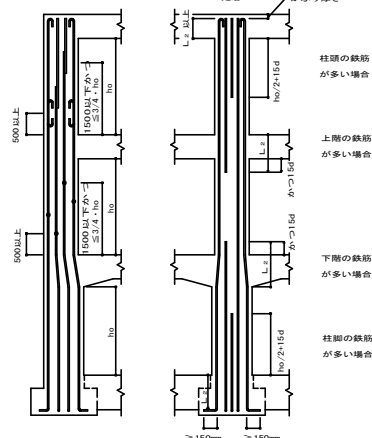


4. 5. 4図 スパイラル筋の継手及び定着要領

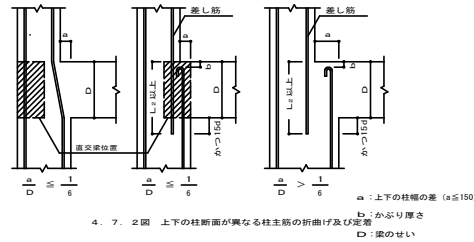
4. 7 柱筋の継手及び定着

4. 7. 1 隣り合う継手の位置及び定着

- (1) 継手長さはLとし、定着及び余長は、4. 7. 1図による。
- (2) 柱頭定着長さLが確保出来ない場合は、図面による。
- (3) 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、4. 7. 2図による。



4. 7. 1図 柱主筋の継手、定着及び余長

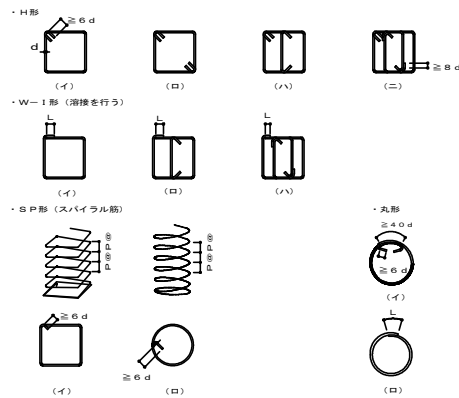


4. 7. 2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

4. 8 帯筋の形状

(1) 帯筋の形状は、4. 8. 1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。

- (a) H形とする。
- (b) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
- (c) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
- (d) S P形において、柱頭及び柱間の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。



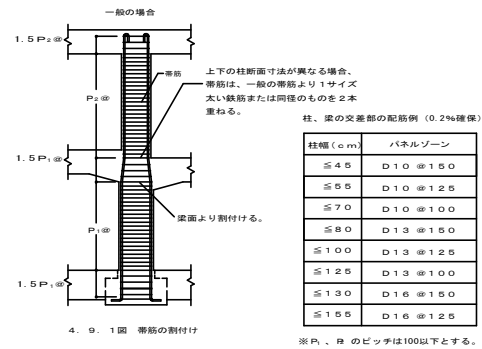
4. 8. 1図 帯筋組立の形

4. 6 継手及び圧接中心位置 (柱)

柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から50cm以上、150cm以下かつ3/4h_o (h_oは柱の内法高さ) 以下とする。

4. 9 帯筋の割付け

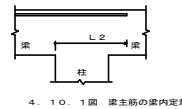
- (1) フック及び継手の位置は交互とし、位置を変える。
- (2) 帯筋の割付けは、4. 9. 1図による。ただし、図面にある場合は図面による。
- (3) 柱、梁の交差部 (バネルゾーン) の帯筋のせん断補強率は、0. 2%以上を確保し、ピッチは1.5倍とする。



4. 10 大梁筋の継手及び定着

4. 10. 1 大梁 (基礎梁以外の大梁に限る) 主筋の継手、定着及び余長

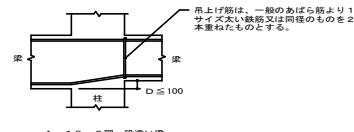
- (1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
 - a. 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことが出来ない場合は、b. により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、4. 10. 1図による。



4. 10. 1図 梁主筋の梁内定着

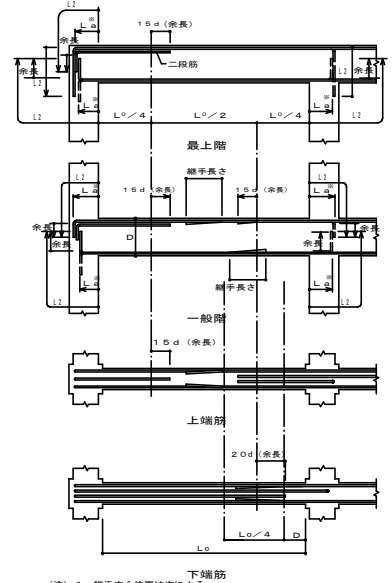
- b. 梁主筋を、柱内に折曲げて定着する場合は次による。
なお、定着の方法は、4. 5. 4による。
上端筋：曲げ下ろす。
下端筋：原則として曲げ上げる。

c. 段違い梁は4. 10. 2図による。



4. 10. 2図 段違い梁

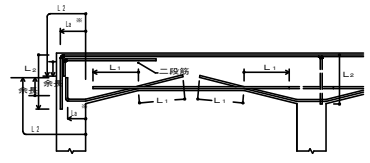
4. 10. 2 ハンチのない場合



- (注) 1. 継手中心位置は次による。
上端筋：中央 L_o/2 以内
下端筋：柱面より梁せい (D) 以上とし、L_o/4 を加えた範囲以内
- 2. 異形鉄筋の末端部 (2) で定めた鉄筋には、フックを付ける。
- 3. 印は、継手及び余長を示す。
- 4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
- ※ L_oの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

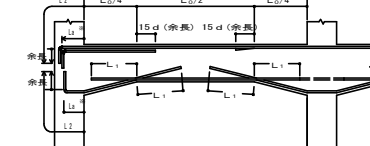
4. 10. 3 ハンチのある場合

(1) 最上層の場合



4. 10. 4図 ハンチのある大梁の定着及び余長 (最上層)

(2) 一般層の場合



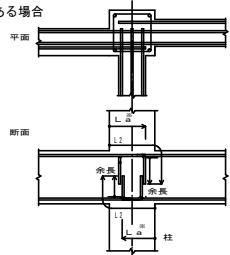
- (注) 1. 異形鉄筋の末端部 (2) で定めた鉄筋には、フックを付ける。
- 2. 印は、継手及び余長を示す。
- 3. 梁内定着の場合下端筋が後述の図面のように引き通すことができる。
- 4. 破線は、梁内定着の場合を示す。
- ※ L_oの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内		
図面の種類	構造細目共通図 (複合構造物) (8)		
縮尺	-	図面番号	18葉之内 8
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可見市水道部水道課		

4 建築工事

4. 10. 4 水平段差のある場合

(1) 水平段差のある場合

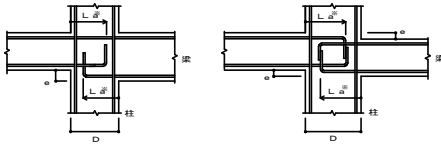


※ L₂の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

4. 10. 6図 大梁の定着及び余長 (水平段差のある場合)

4. 10. 5 鉛直段差 (e) のある場合

(1) e/D ≤ 1/6 の場合

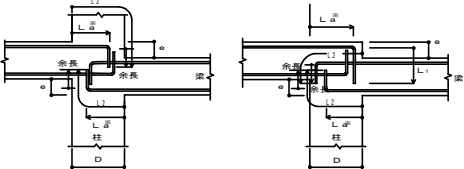


定着の長さは、4. 10. 2図に準ずる。

※ L₂の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

4. 10. 7図 鉛直段差梁 (その1)

(2) e/D > 1/6 の場合

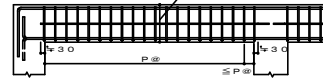


※ L₂の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

4. 10. 8図 鉛直段差梁 (その2)

4. 11. 3 あばら筋の割付け

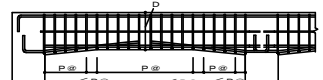
(1) 間隔が一律でハンチのない場合



(注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割付ける。
2. 図中のPは、特記されたあばら筋の間隔を示す。

4. 11. 2図 あばら筋の割付け (その1)

(2) 間隔が一律でハンチのある場合

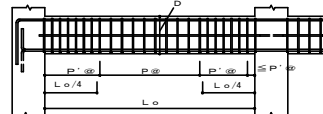


(注) 1. あばら筋は、柱面の位置及びハンチに切り替わる位置から割付ける。

2. 図中のPは、特記されたあばら筋の間隔を示す。

4. 11. 3図 あばら筋の割付け (その2)

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合



(注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

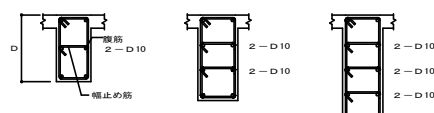
2. 図中のP₁、P₂は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

4. 11. 4図 あばら筋の割付け (その3)

4. 11. 4 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁

a) 腹筋及び幅止め筋



600 ≤ D < 900 900 ≤ D < 1,200 1200 ≤ D ≤ 1,500

4. 11. 5図 腹筋及び幅止め筋

(2) 特殊な梁

腹筋及び幅止め筋は、図面による。

4. 11 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

4. 11. 1 一般事項

- 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
- 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、Lとする。
- 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
- 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-100mmピッチ程度とする。

4. 11. 2 あばら筋組立の形及びフックの位置

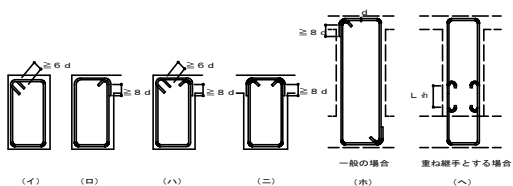
(1) 形は、11. 1図 (イ) を標準とする。

ただし、(イ) によることが出来ない場合は、下記の方法による事が出来る。

- 床版が片側に付く場合は、(ロ) 又は (ハ)
- 床版が両側に付く場合は、(ロ) ~ (ニ)

(2) フックの位置

- (イ) の場合は交互とする。
- (ロ) の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側 床版が両側に付く場合は交互
- (ハ) の場合は床版の付く側を90°折曲げ、8d確保する。
- (ホ) (ヘ) の場合は梁の上下にスラブが付く場合でかつ、梁せいが1.5m以上の場合に適用する事ができる。(基礎梁)



4. 11. 1図 あばら筋組立の形及びフックの位置

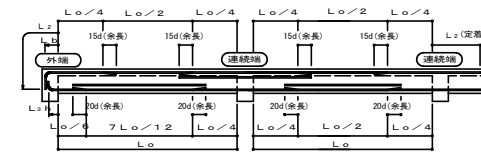
4. 12 小梁及び片持梁の配筋要領

4. 12. 1 一般事項

- 図面にない事項は大梁、梁のあばら筋の項に準ずる。
- 印は、継ぎ手及び余長を示す。

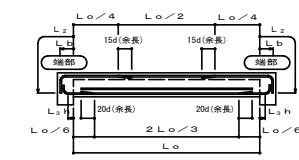
4. 12. 2 小梁

(1) 連続小梁の場合



4. 12. 1図 小梁主筋の継手、定着及び余長 (その1)

(2) 単独小梁の場合



4. 12. 2図 小梁主筋の継手、定着及び余長 (その2)

(注) 1. 梁内の定着筋において梁せいが小さく曲線で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。

2. 図示のない事項は、4. 10に準ずる。

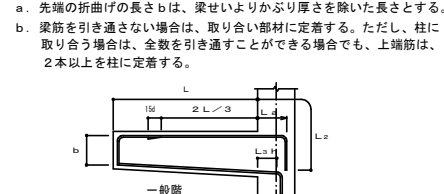
4. 12. 3 片持梁筋の定着

(1) 先端に小梁のない場合

- 先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
- 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。

(2) 先端に小梁がある場合

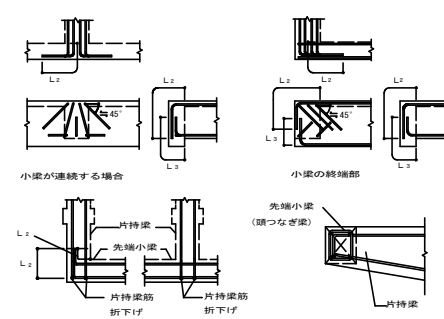
- 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
- 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
- 先端小梁の連続筋は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。



4. 12. 3図 片持梁主筋の定着及び余長 (先端に小梁のない場合)

(2) 先端に小梁がある場合

- 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
- 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
- 先端小梁の連続筋は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

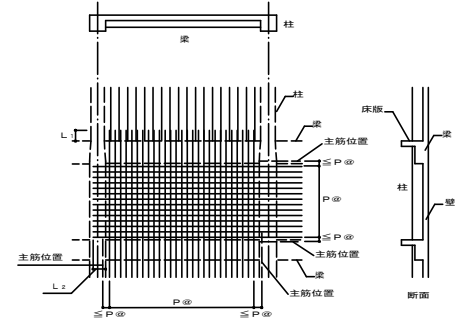


4. 12. 4図 片持梁主筋の定着

4. 13 壁の配筋要領

4. 13. 1 一般事項

- 壁配筋の継手の長さはL₁及び定着の長さは、L₂とする。
- 土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、継手長さをL₁、定着長さをL₂とする。ただし、耐力壁の重ね継手の長さは、4Dと4. 5. 2表のフックなし重ね継手長さのうち大きい値とする。
- 幅止め筋は、縦、横ともD10-@1000を標準とする。
- 一般部壁筋は、4. 13. 1図による。



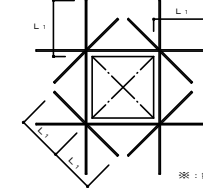
4. 13. 1図 壁の配筋

4. 13. 2 耐震壁の開口

- 耐震壁等の開口は、図面に示すもの以外は設けてはならない。
- やむを得ず開口を設ける場合は、H19国土交通省告示593号の規定を満足することを構造計算によって確認すること。

4. 13. 3 壁開口部の補強

- 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、4. 13. 3図を標準とする。



※：鉄筋径及び本数は、図面による

4. 13. 3図 壁開口部の補強の定着長さ

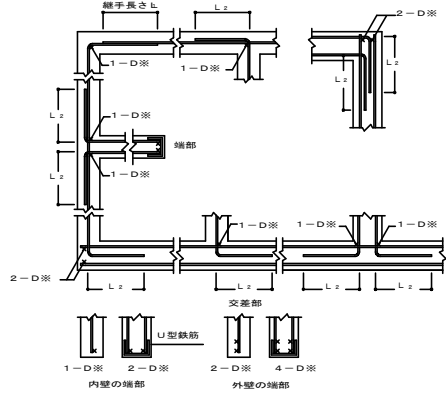
- 壁開口部の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	構造細目共通図 (複合構造物) ⑨		
縮尺	-	図面番号	18葉之内 9
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		

4 建築工事

4. 1. 3. 4 壁の交差部及び端部

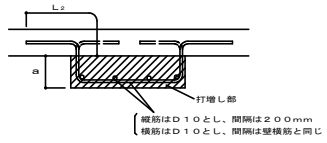
- (1) 壁と壁の交差部は、4. 1. 3. 4図による。
 a. 交差部補強筋D※はD13以上、かつ主筋と同径とする。
 b. ()内は、土圧、水圧及び耐震壁等の継手長さを示す。
 c. 壁の端部にU型鉄筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及び同間隔とする。



4. 1. 3. 4 壁の交差部及び端部の配筋
 ※壁構造の場合は、「壁構造設計指針」(建築学会)に基づき図面による。

4. 1. 4 壁の打増し要領

- (1) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、4. 1. 4. 1図による。
 打増し厚さのaが50mm以上、200mm以下に適用する。
 200mmを超える場合は、特記による。

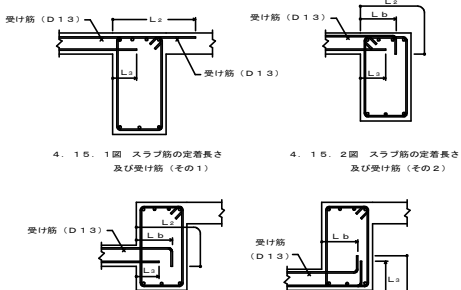


4. 1. 4. 1 壁の打増し補強配筋

4. 1. 5 床の配筋要領

4. 1. 5. 1 一般事項

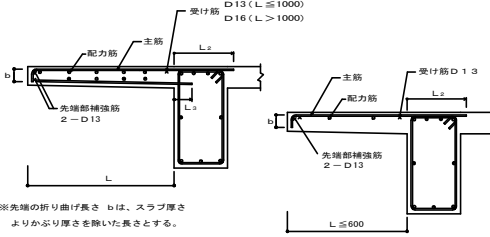
- (1) 鉄筋の継手長さは、Lとする。
 (2) 定着長さ及び受け筋は、4. 1. 5. 1図による。ただし、引き通すことができない場合は、4. 1. 5. 2図、4. 1. 5. 3図により案内に定着する。
 (3) 基礎梁と床版を一体打ちとして、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。



4. 1. 5. 3 床の配筋の定着長さ及び受け筋 (その3)

4. 1. 5. 2 片持スラブ

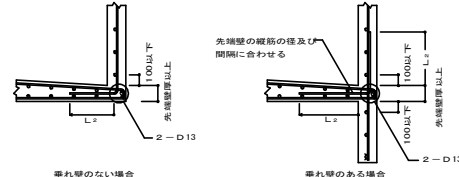
(1) 片持スラブの配筋



※先端の折り曲げ長さ bは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

4. 1. 5. 4 片持スラブの配筋

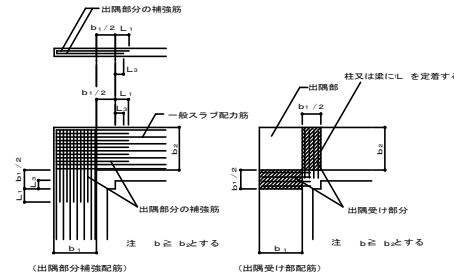
(2) 先端に小梁がなく壁が取り付く場合



4. 1. 5. 5 先端に壁が付く場合の配筋

4. 1. 5. 3 出隅部の配筋方法

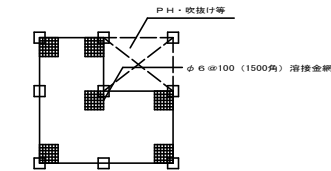
- (1) 補強の配筋は図面による。配筋方法は、4. 1. 5. 6図による。特記がない場合は、D10@100ダブルとする。
 (2) 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面(幅はb/2とする)による。



4. 1. 5. 6 片持スラブ出隅部の補強配筋

4. 1. 5. 4 地上部最上階の屋根床版

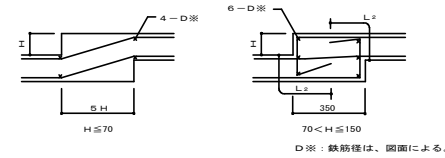
- (1) 出隅及び入隅部分には、4. 1. 5. 7図により、補強筋(溶接金網)を上端筋の下側に配筋する。
 (2) 陸屋根、勾配屋根共通とする。



4. 1. 5. 7 出隅及び入隅部分の補強配筋

4. 1. 5. 5 段差床版の補強

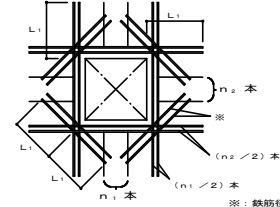
- (1) 同一床版に段差がある場合、4. 1. 5. 8図の補強を行う。ただし、H>150の場合は、小梁を設ける事を原則とする。



4. 1. 5. 8 段差のある床版の補強配筋

4. 1. 5. 6 床版開口部の補強

- (1) 開口の最大径≦700の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(4. 1. 5. 9図)
 開口の最大径>700の場合は図面による。

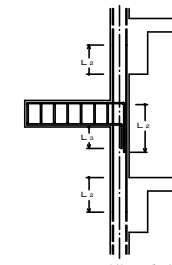


4. 1. 5. 9 床版開口部の補強配筋

- (2) 床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることでより開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。

4. 1. 7 階段の配筋要領

- (1) 壁配筋は、図面による。
 (2) 階段主筋は、壁の中心線を越えてから緩に曲げ降ろす。

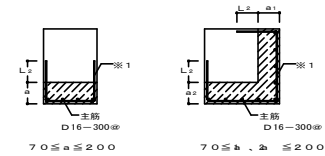


4. 1. 7. 1 片持スラブ形階段配筋の定着

4. 1. 8 柱及び梁の増し打ち要領

4. 1. 8. 1 柱

- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、4. 1. 8. 1図による。ただし、a<70mmの場合は補強は行わない。

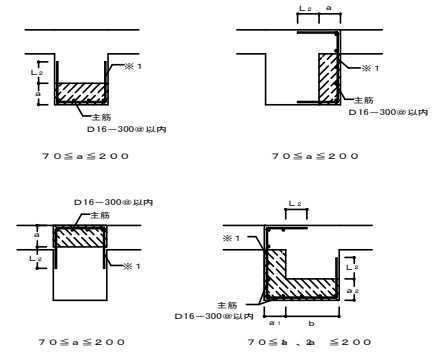


4. 1. 8. 1 柱の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
 (3) 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、L以上とする。
 (4) 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

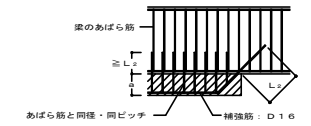
4. 1. 8. 2 梁

- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、4. 1. 8. 2図による。ただし、a<70mmの場合、補強は行わない。



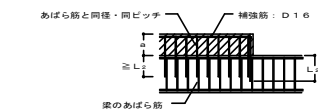
4. 1. 8. 2 梁の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
 (3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、L以上とする。
 (4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
 (5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合



4. 1. 8. 3 梁の上下の増し打ち補強配筋 (途中で終わる場合)

- (6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合



4. 1. 8. 4 梁の側面の増し打ち補強配筋 (途中で終わる場合)

業務名/工事名	虹ヶ丘水産建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工場所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	構造細目共通図(複合構造物)(10)		
縮尺	-	図面番号	18 梁之内 10
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		

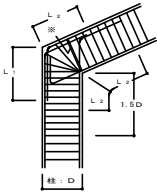
4 建築工事

4. 19 勾配屋根の取り合い

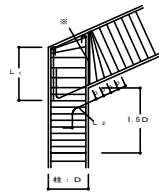
4. 19. 1 斜め柱・斜め梁の取り合い

- (1) ※印の鉄筋は、同径以上とし、かつダブル巻きとする。
- (2) 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、またはダブル巻きとし@100以下とする。
- (3) 柱の取合い部における斜め梁のせん断補強筋中心間隔は、当該梁部材のせん断補強筋中心間隔p以下とする。

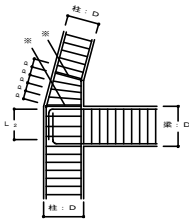
a) 柱幅と斜材（柱又は梁）幅が同一



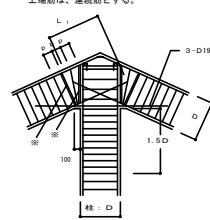
b) 柱幅と斜材幅が異なる



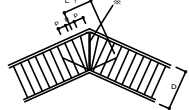
c) 柱頭で斜材となる



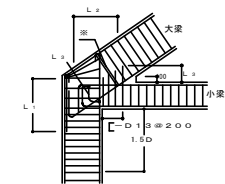
d) 柱頭で斜材となる上端筋は、連続筋とする。



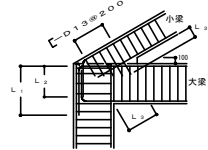
e) 梁が斜材となる上端筋は、連続筋とする。



f) 斜め大梁に小梁が接する場合柱筋は a)・b) に依る。



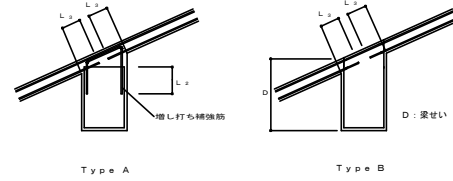
g) 大梁に斜め小梁が接する場合



4. 19. 1 図 斜め柱・斜め梁の取り合い配筋

4. 19. 2 梁と床版の取り合い

増し打ち補強要領は、16. 2による。



4. 19. 2 図 梁と床版の取り合い配筋

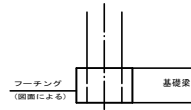
4. 19. 3 円柱の取り合い

(1) 円柱と梁の取り合い



1) 柱頭部で柱芯に梁が取り付く場合

2) 柱頭部で柱外面に梁が取り付く場合

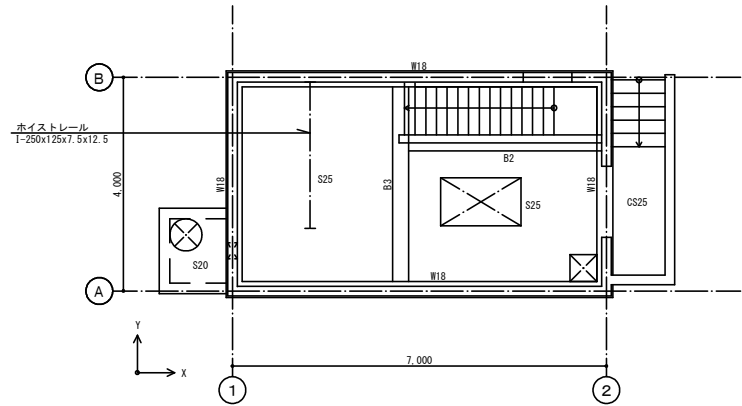


3) 柱頭部の円柱と基礎との取合い

4. 19. 3 図 円柱の取り合い配筋

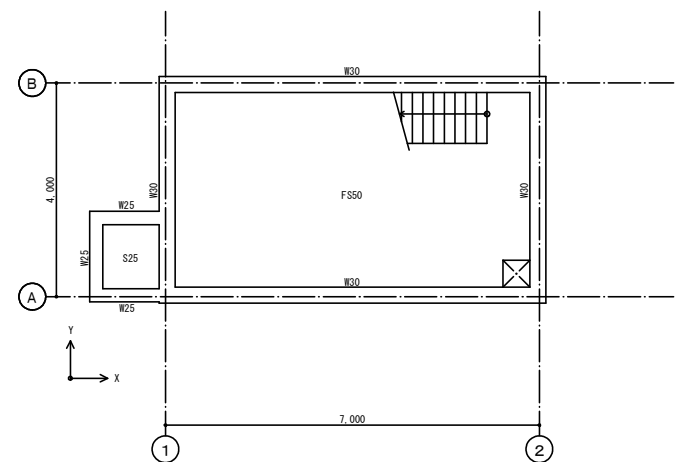
業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	構造細目共通図(複合構造物)(1)		
縮 尺	—	図面番号	18 葉之内 11
設 計 者	株式会社 東京設計事務所		
事 務 所 名	可児市水道部水道課		

使用材料			
コンクリート	Fc=24 (N/mm ²)	鋼材	SS400
鉄筋	SD295A (D16以下)	高力ボルト	F8T
	SD345 (D19以上)	アンカーボルト	中ボルト SS400



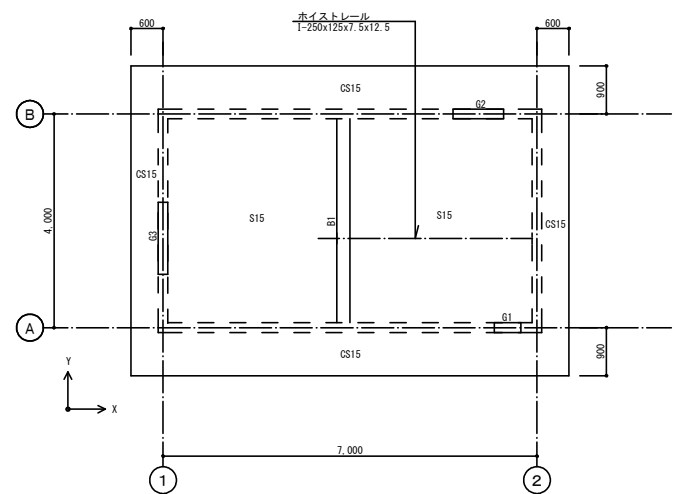
1階 伏図 1/50

共通事項 特記なき限り下表による



B 1階 伏図 1/50

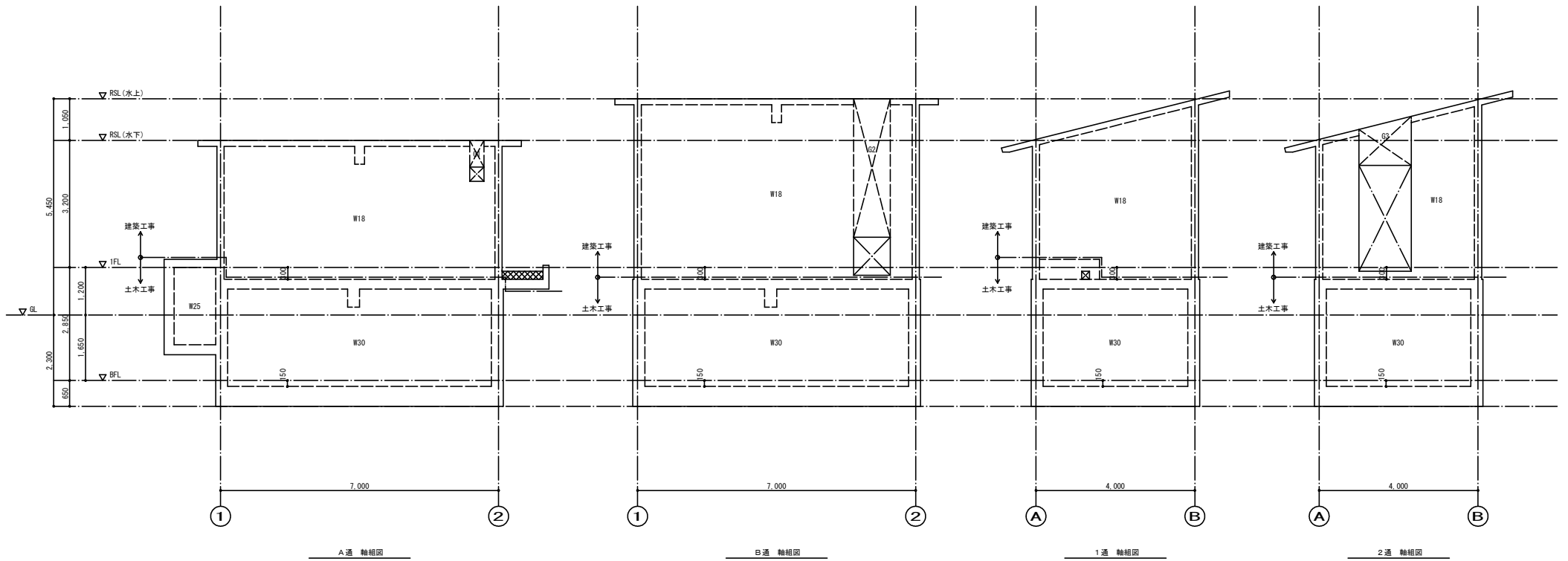
共通事項 特記なき限り下表による



R階 伏図 1/50

共通事項 特記なき限り下表による

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	伏図		
縮尺	1:50	図面番号	18 葉之内 12
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		



1/50

共通事項 特記なき限り下表による

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	軸組図		
縮尺	1:50	図面番号	18 葉之内 13
設計者	株式会社 東栄設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		

壁リスト(土木工事)

1/30

共通事項 特記なき限り ダブル配筋の巾止め筋はD13#1000以内で割付

符号	W25	W30	
断面			
縦筋	D13#200ダブル	D13#200ダブル	
横筋	D13#200ダブル	D13#200ダブル	
開口補強	縦筋	4-D16	4-D16
	横筋	4-D16	4-D16
	斜筋	2-D13	2-D13

小梁リスト(土木工事)

1/30

共通事項 特記なき限り 1. 巾止筋 D13#1000 とする。

梁リスト		B2	B3
位置		全断面	端部 中央
断面			
	目×D	300×700	300×700
上筋	3-D19	3-D19	3-D19
下筋	3-D19	3-D19	4-D19
スタラップ	□-D13#200	□-D13#200	
腹筋	2-D13	2-D13	

スラブリスト(土木工事)

符号	版厚	位置	短辺方向		長辺方向		開口補強筋		備考
			端部	中央	端部	中央	縦横筋	斜筋	
S20	200	上	ダブル		ダブル		D16	D13	
		下	D13	#200	D13	#200			
S25	250	上	ダブル		ダブル		D16	D13	
		下	D13	#200	D13	#200			
FS50	500	上	ダブル		ダブル		D22	D19	
		下	D19	#200	D19	#200			

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	部材リスト(土木工事)		
縮尺	1:30	図番番号	18 葉之内 14
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		

壁リスト

1/30

共通事項 特記なき限り ダブル配筋の巾止め筋はD10#1000以内で割付

符号	W18	開口補強筋	壁筋の定着
断面			
縦筋	D10#150ダブル		
横筋	D10#150ダブル		
開口補強	縦筋	4-D13	
	横筋	4-D13	
	斜筋	2-D13	

壁梁リスト(建築工事)

1/30

共通事項 特記なき限り 1.巾止筋 D10#1000 とする。

梁リスト			
符号	G1	G2	G3
断面			
B x D	180 x 670	180 x 3490	180 x 905 ~ 1235
上筋	2-D13	2-D13	2-D13
下筋	2-D13	2-D13	2-D13
スタラップ	□-D10#150	□-D10#150	□-D10#150
腹筋	壁の横筋を引き通す	壁の横筋を引き通す	壁の横筋を引き通す

小梁リスト(建築工事)

1/30

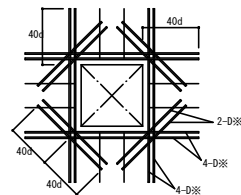
共通事項 特記なき限り 1.巾止筋 D10#1000 とする。

梁リスト	
符号	B1
位置	全断面
断面	
B x D	250 x 600
上筋	2-D16
下筋	2-D16
スタラップ	□-D10#200
腹筋	2-D10

スラブリスト

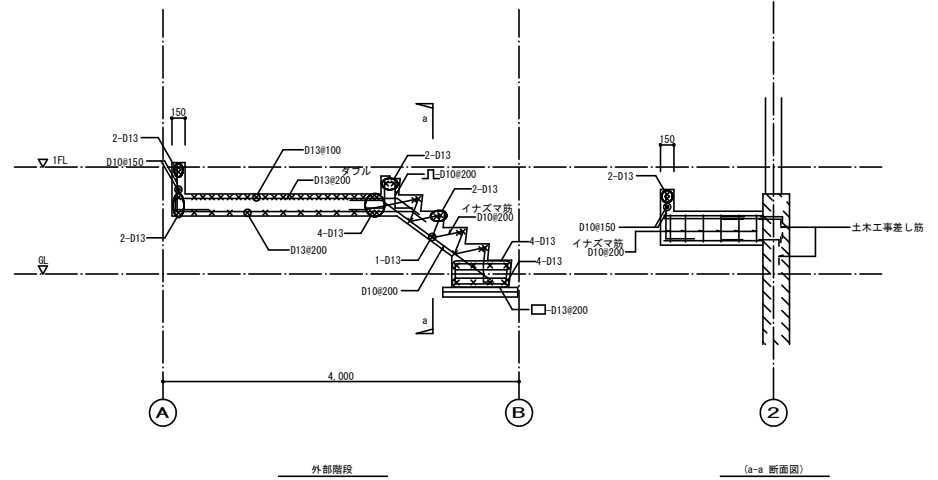
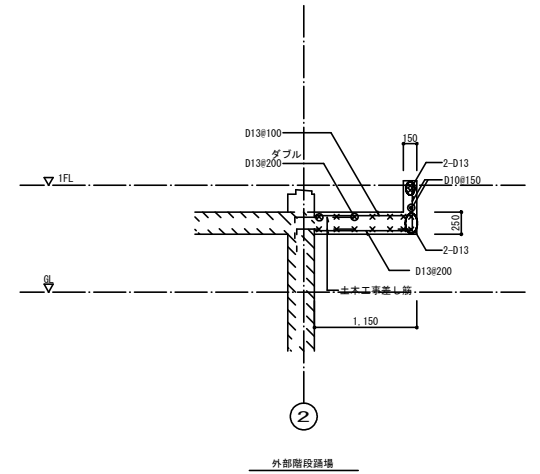
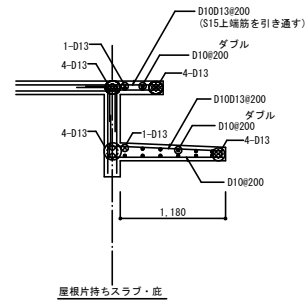
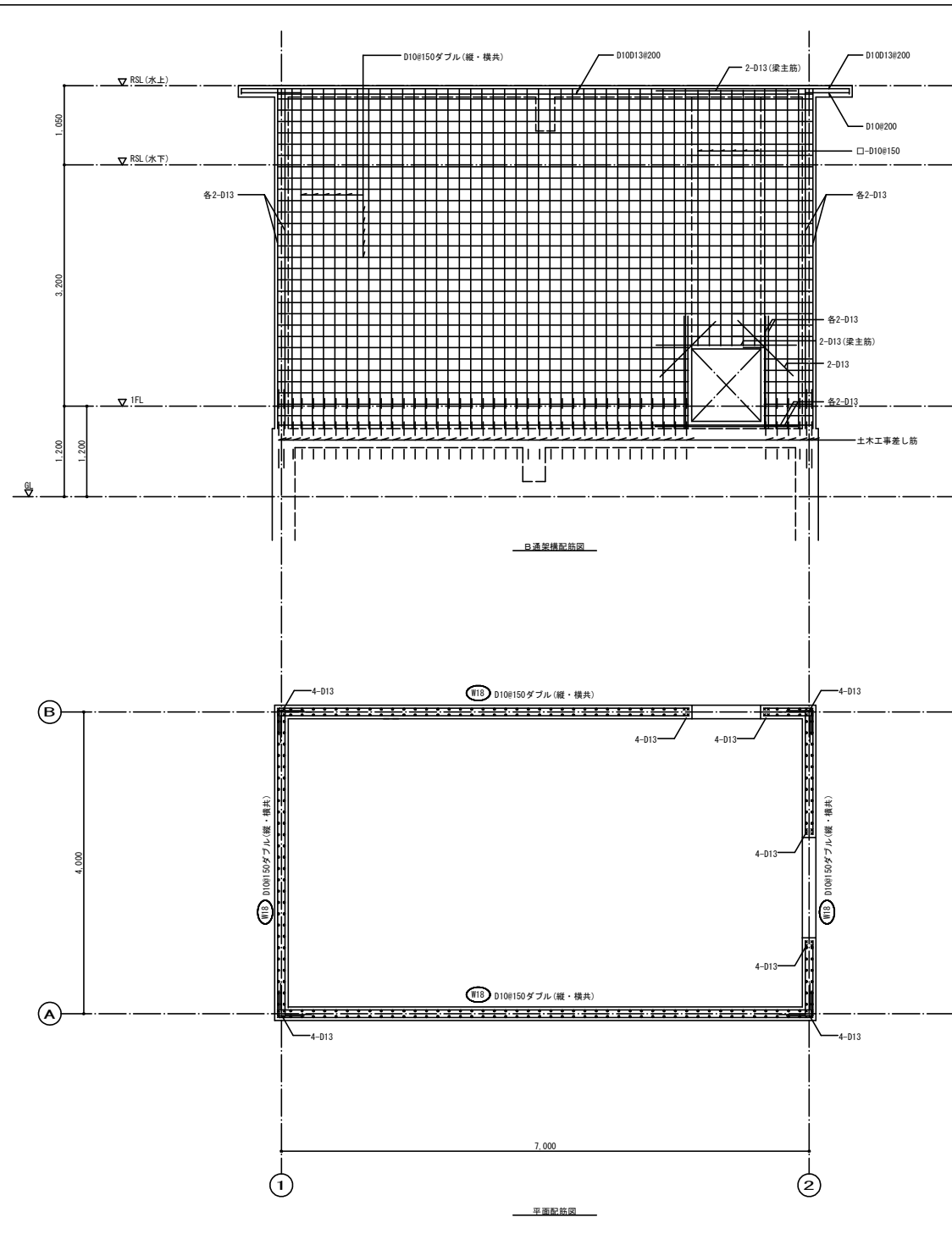
符号	版厚	位置	短辺方向		長辺方向		開口補強筋		備考
			端部	中央	端部	中央	縦横筋	斜筋	
S15	150	上 下	ダブル D10D13#200		ダブル D10D13#200		D13	D13	
CS15	150	上 下	D10D13#200 D10 #200		ダブル D10 #200		-	-	
CS25	250	上 下	D13 #100 D13 #200		ダブル D13 #200		-	-	

スラブ開口部の補強配筋



注) ※ は、リストの鉄筋径とする。

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	部材リスト(建築工事)		
縮尺	1:30	図番番号	18 業之内 15
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	平面・梁構配筋図・各部配筋図		
縮 尺	1:30	図面番付	18 葉之内 16
設 計 者	株式会社 東京設計事務所		
事 務 所 名	可児市水道部水道課		

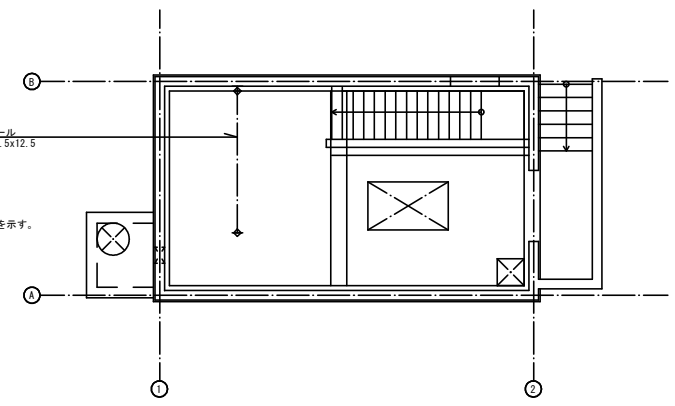
共通事項

- ・鋼材は、SS400とする。
- ・高力ボルトは、F8Tとする。
- ・溶融亜鉛メッキとする。
- ・ストッパー位置は、現場合わせとする。

溶接記号凡例

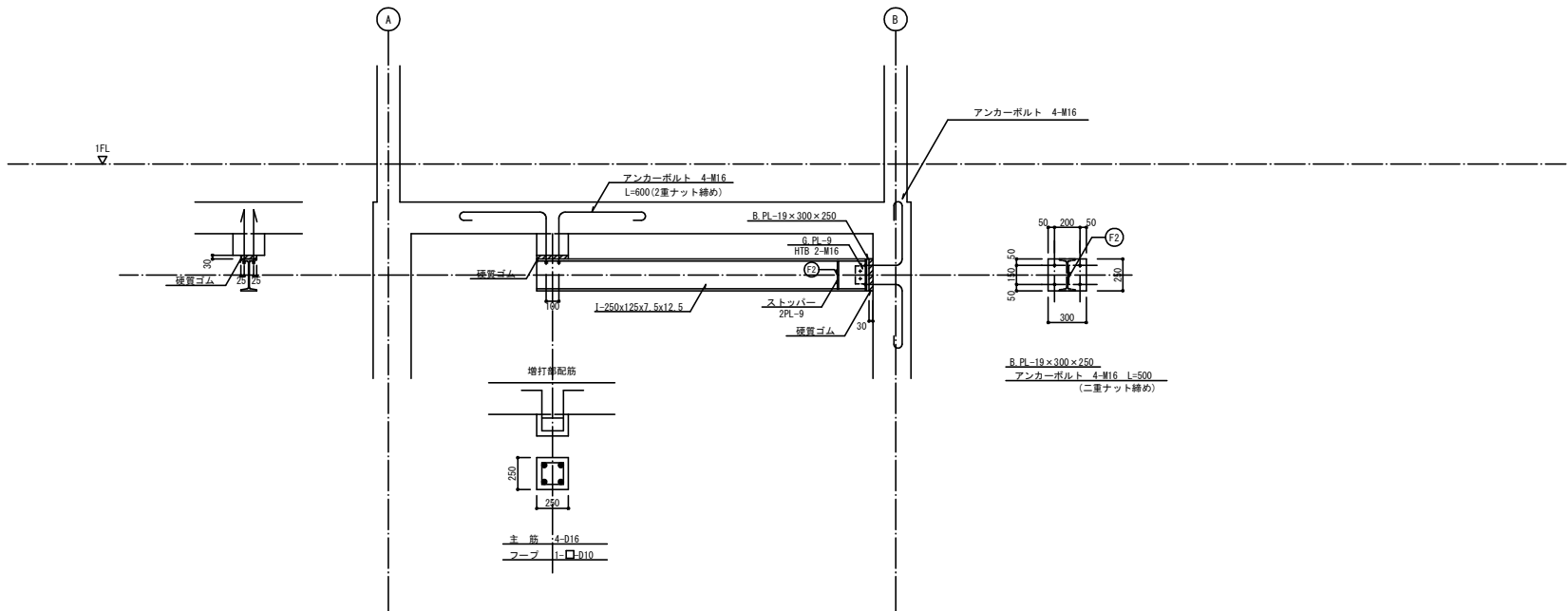
(F1)	隅肉溶接 (片面)
(F2)	隅肉溶接 (両面)
(T)	完全溶込み溶接 T形継手 (片面)

ホイストレール : 1 - 250x125x7.5x12.5



1F KEY PLAN

◇印は、ホイストレール支点を示す。



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内		
図面の種類	ホイストレール取付詳細図(1)		
縮尺	1:20	図番番号	18-業之内17
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可見市水道部水道課		

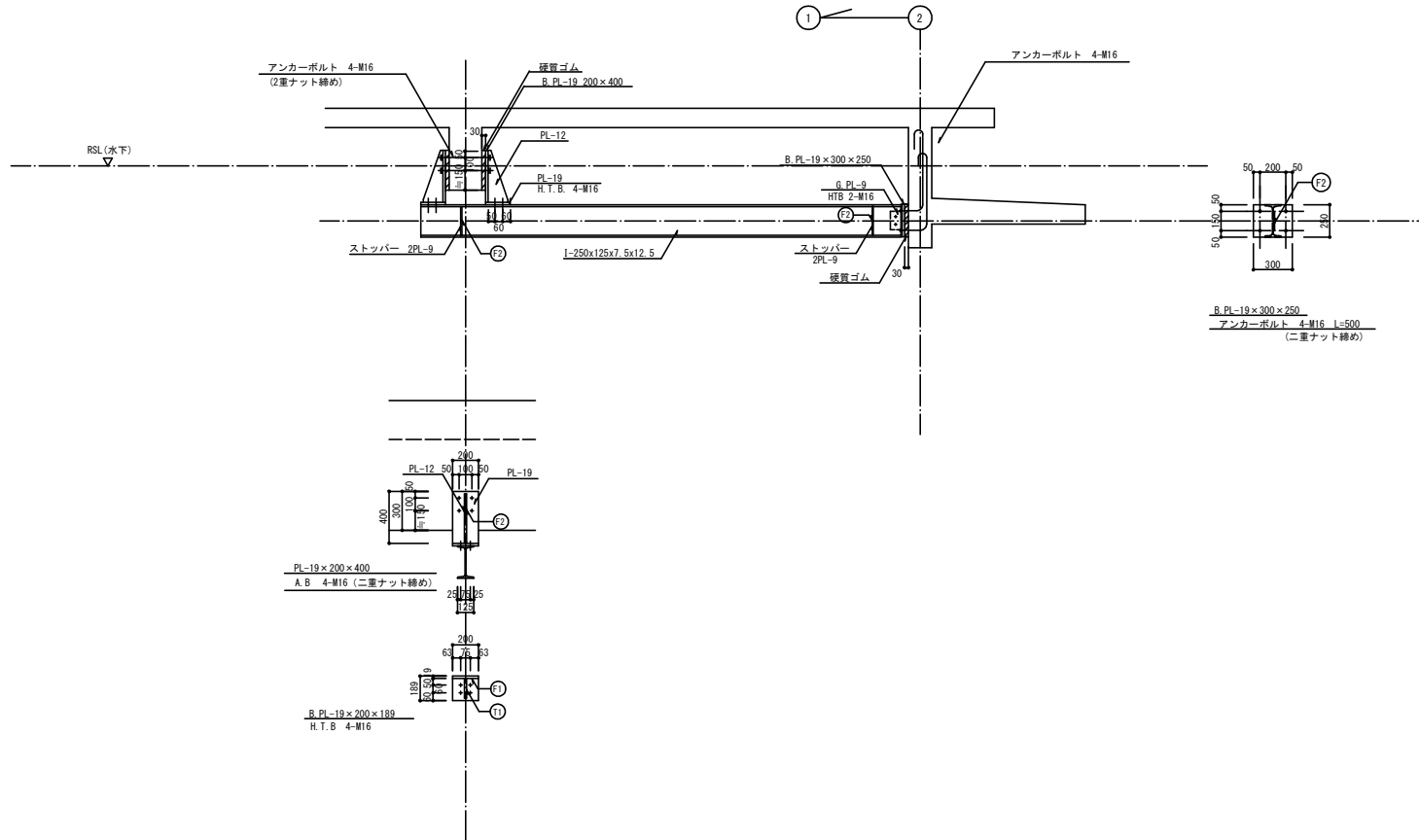
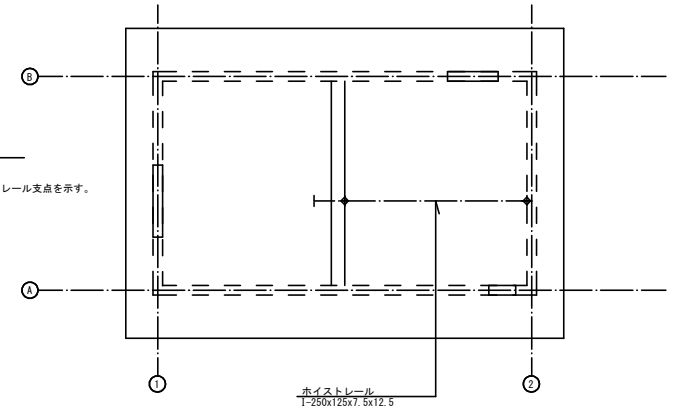
共通事項

- ・鋼材は、S400とする。
- ・高力ボルトは、F8Tとする。
- ・溶融亜鉛メッキとする。
- ・ストッパー位置は、現場合わせとする。

溶接記号凡例

(F1)	隅肉溶接 (片面)
(F2)	隅肉溶接 (両面)
(T)	完全溶込み溶接 T形継手 (片面)

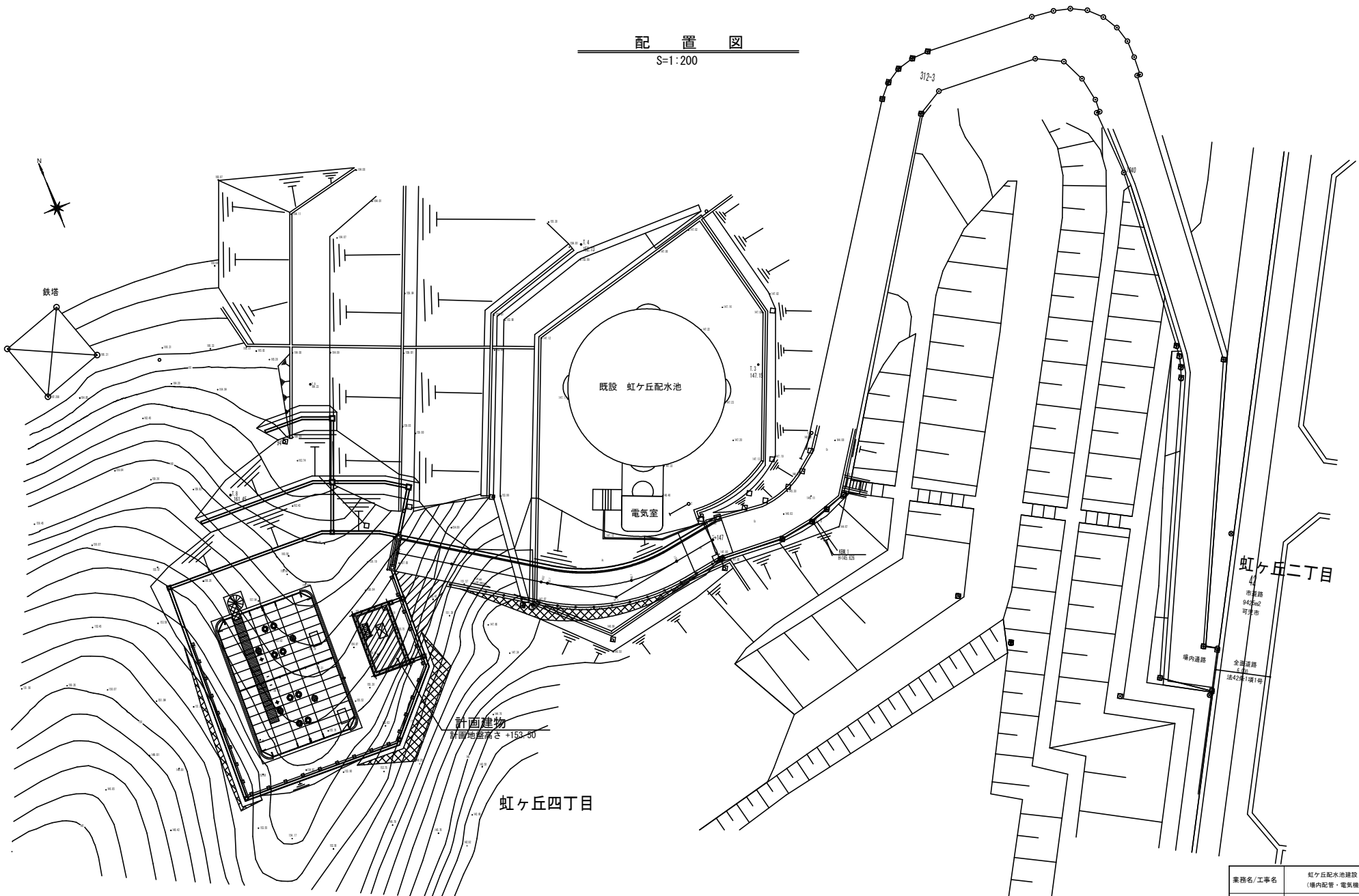
ホイストレール : 1 - 250×125×7.5×12.5




業務名/工名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	ホイストレール取付詳細図(2)		
縮尺	1:20	図番番号	18 業之内 18
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		

配置図

S=1:200

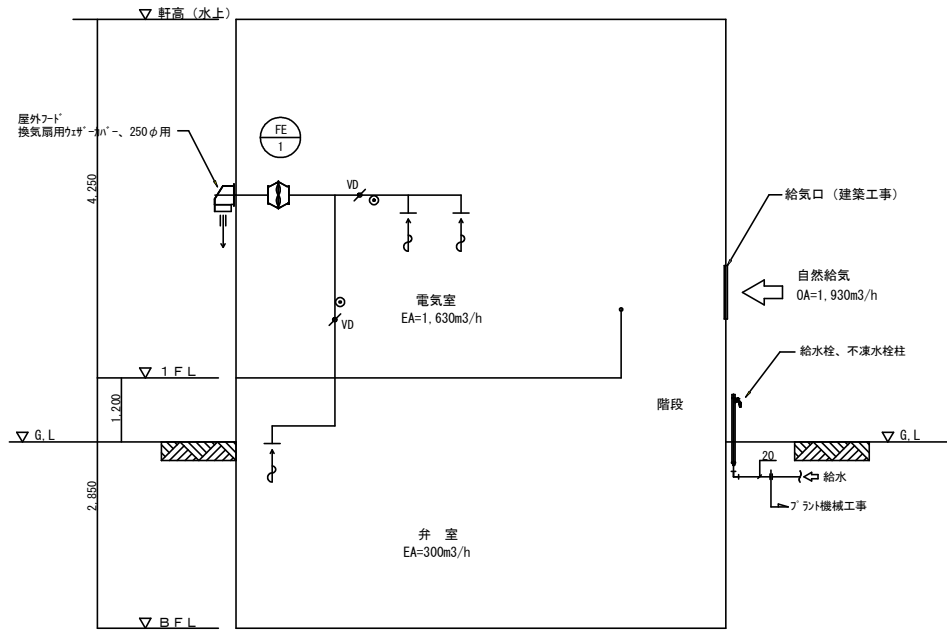


凡例

 本工事建物を示す。

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内		
図面の種類	配置図		
縮尺	1/200	図面番号	4 葉之内 AM-2
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可児市水道部水道課		

送風機類																
名称	記号	用途	系統	形式	材質	設置方法	型番 サイズ (ダクト径)	風量 [m ³ /h]	静圧 [Pa]	電動機				台数	運転方式	備考
										相	V	kW	極			
斜流・軸流	FE-1	排気ファン	電気室、弁室排気	斜流	鋼板製	天井吊	300φ	1,930	180	1	100	0.3	1	リレー及びサーモスタット		

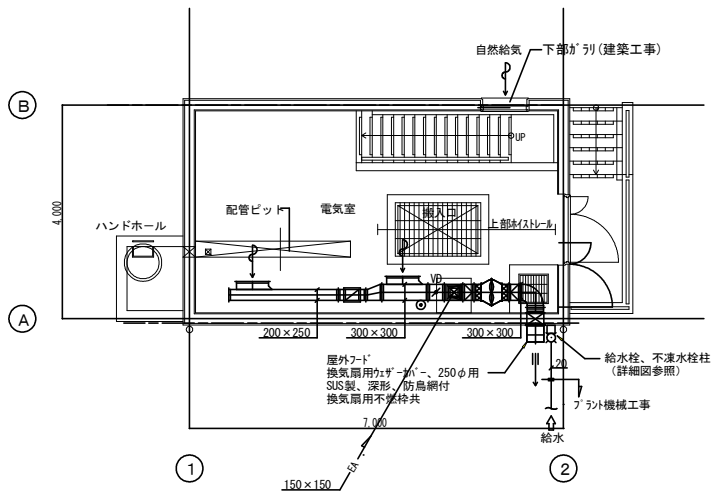


特記事項

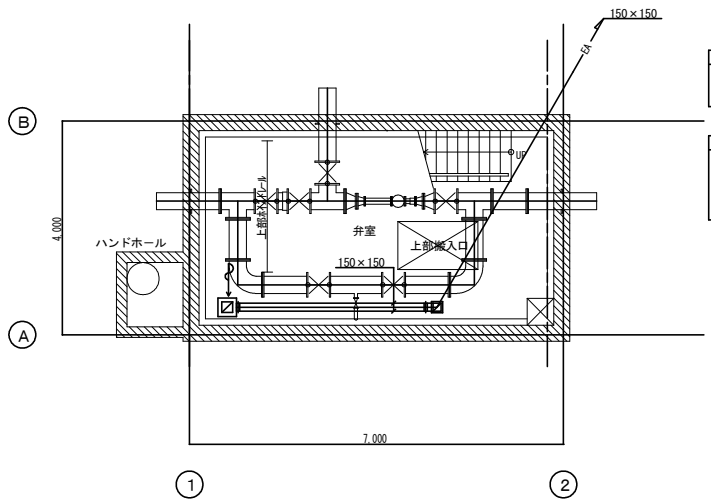
1. 凡例

記号	名称・摘要
—	亜鉛鉄板製ダクト
VD	風量調整ダンパ
⊙	風量測定口

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内		
図面の種類	換気・衛生設備	機器リスト、系統図	
縮尺	-	図面番号	4 葉之内 AM-3
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可見市水道部水道課		



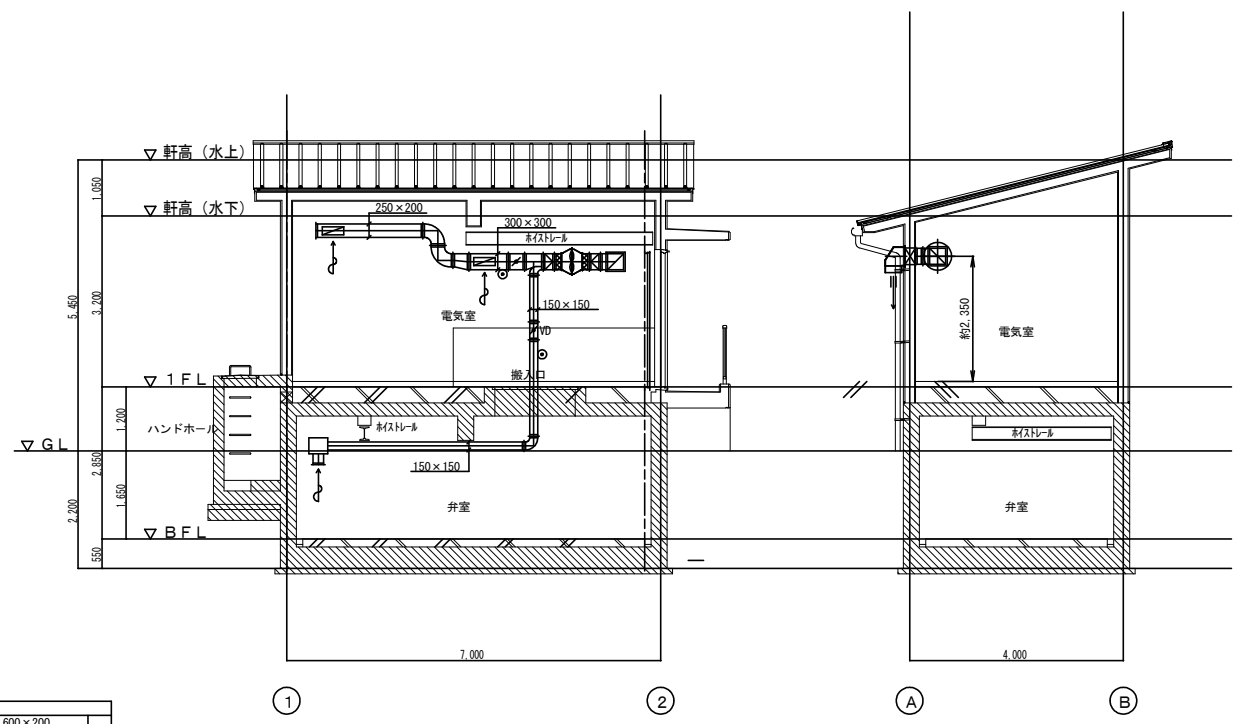
1階 平面詳細図 1/50



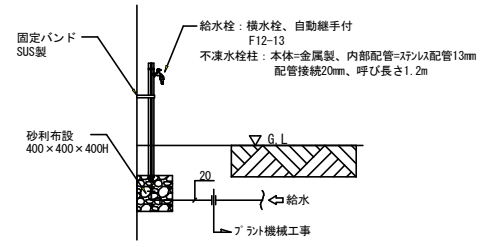
地階 平面詳細図 1/50

電気室			
GVS	600×200		
EA	815 CMH	2	
	1,630 CMH		

井室			
GVS	200×200		
OA	300 CMH	1	
	300 CMH		
取付フック	350×350×300H	1	



断面詳細図 1/50



給水栓廻り詳細図 1/30

土木コンクリート工事範囲

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内		
図面の種類	換気・衛生設備	平面図、断面図	
縮尺	1:50	図面番号	4 葉之内 AM-4
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可見市水道部水道課		

新虹ヶ丘配水池築造		工事設計図		平成 年 月 金 5 秋																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>特記仕様書</p> <p>1. 工事概要</p> <p>1. 工事場所 岐阜県可児市虹ヶ丘地内</p> <p>2. 建物概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物名称</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>延べ面積 (㎡)</th> <th>積付体積 (m³)</th> <th>用途区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気・機械室</td> <td>RC造</td> <td>2階建(地下1階 地上1階)</td> <td>55.34</td> <td>15階</td> <td>新築</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 延べ面積は建築基準法による表記)</p> <p>3. 工事項目 (●印の付いたものが対象工事項目)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物別及び層別</th> <th colspan="4">工事項目</th> </tr> <tr> <th>工事項目</th> <th>電気・機械室</th> <th>工</th> <th>事</th> <th>種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●電灯設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○動力設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○電気設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○管束設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○受変電設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○電力貯蔵設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○発電設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○構内情報通信設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○監視カメラ設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○情報表示設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○録画・音響設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○拡声設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○講義支援設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○予しび共振免振設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○窓部シールド設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○駐車場管理設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○防犯・入退管理設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○自動火災検知設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○中央監視制御設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○構内配電設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○構内通信設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○予しび電圧降下防設備</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 指定部分 ○ 無 ○ 有(対応部分)</p> <p>II. 工事仕様</p> <p>1. 共通仕様</p> <p>1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁管理業務種別の下記仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成25年版)」(以下「標準仕様書」という。) ○「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成25年版)」(以下「改修標準仕様書」という。) ○「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成25年版)」(以下「標準仕様書」という。) <p>2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、建築設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を採用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は() 図、建築工事の特記仕様書は() 図による。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○適用区分</td> <td>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 () ○風速 () ○積雪荷重 () ○積雪荷重 () 建設省告示第1455号における区域 別表 ()</td> </tr> <tr> <td>●環境への配慮</td> <td>(1) 国等による環境物品等の製造の推進等に関する法律」に基づく特定環境物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の製造に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」による。 (2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所定の品質及び性能を有すると共に、次の①から⑥を満たすものとする。 ① 木材、木炭系コーティング、構造用パネル、集成材、単層板、MDF、パーティクルボード、その他の木質材料、ウレタン樹脂板、壁紙、接着剤、塗料、腐食材、腐食材、新築材、塗料、土壌材料、アセドアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼン含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、揮発性(フタル酸エポキシ樹脂及びフタル酸ビスフェノールエチルヘキシルエーテル)を含有しない低揮発性のものを採用し、() が含まれていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、装飾品、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを含有しないが、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 (3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、両方「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。ただし、設計図書に規定がない場合は、監督職員と協議する。 ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散量材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散量材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</td> </tr> <tr> <td>○電気工事</td> <td>●別契約の關係受注者が定めたものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○「予り先行工法に関するガイドライン」に基づく設置の位置に当たっては、間ガイドラインの別紙「予り先行工法による足場の組立て等に関する基準」に準拠する(2)予り先行工法方式又は(3)予り先行工法方式により行う。 ○内部足場() 種 ○ 外脚足場() 種 ○ 理)</td> </tr> <tr> <td>○足場その他</td> <td>●別契約の關係受注者が定めたものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○「予り先行工法に関するガイドライン」に基づく設置の位置に当たっては、間ガイドラインの別紙「予り先行工法による足場の組立て等に関する基準」に準拠する(2)予り先行工法方式又は(3)予り先行工法方式により行う。 ○内部足場() 種 ○ 外脚足場() 種 ○ 理)</td> </tr> <tr> <td>○電源用設備</td> <td>●電線用設備</td> </tr> <tr> <td>○耐震措置</td> <td>設備等の固定は、次に示す事項を除き、「建築設備設計・施工指針 2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承認を受けるものとする。 (1) 設計用標準水平地震力 機器の重量 [kg] に、設計用標準水平地震力を乗じたものとする。 なお、図面に記載のない場合の設計用標準水平地震力は、次のによる。</td> </tr> <tr> <td>●電線本数、管路等</td> <td>設計用標準水平地震力</td> </tr> <tr> <td>○フラッシュプレート</td> <td>設備場所 機器種別 ○ 特記の施設 ○ 一般の施設</td> </tr> <tr> <td>○金属管の塗装</td> <td>重要機器 一般機器 重要機器 一般機器</td> </tr> <tr> <td>○インバータ装置の規制効率</td> <td>重要機器 一般機器 重要機器 一般機器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>重要機器は次のものを示す。 ○配電盤 ○ 発電装置 (防災用) ○ 直流電源装置 ○ 交流無停電電源装置 ○ 交換機 ○ 自動火災検知受信機 ○ 中央監視制御設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 設計用標準水平地震力 設計用標準水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>分電盤、制御盤、端子箱等の2次側以降の配線経路、電線本数、電線本数、管路等は、図面と相違して差し支えない。ただし、相違する場合は監督職員の承認を受ける。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フラッシュプレート図面に記載がない場合は、 ●金属製(ステンレス、新金属材料を含む。) ○ 樹脂製とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 屋外 () ○ 屋内 ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>三相可変速運転用インバータ装置の規制効率は、次の数値以上とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電動機出力 (kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11 15 18.5 22 30 37 45 規制効率 (%) 86.0 88.5 92.0 93.0 94.0 94.0 94.5 94.5 95.0 95.5 95.5 95.5 95.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【備考】①規制効率は、JIS R 245「汎用インバータの規制効率」より算出した値とする。 ②規制効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相可変速電動機」の定格電圧200V、1PNA、6極、50Hzの電動機を軸としたときの値とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>図面において、() 書きの室名は直天井室を示し、それ以外は二重天井室を示す。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>積雪荷重 () 引渡しを受けるもの以外は、構外に搬出し適切処理とし、搬出処理費は別途とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>既存部分の養生は、「改修標準仕様書」第1編第4章による。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>はつり工事は、事前に直定式地盤調査を行い、監督職員に報告すること。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工事写真 (建築工事に関する) 本工事で作成する施工写真のうち、次の原図及びその写真(1部)を監督職員に提出する。ただし、製作段階で図面として提供できないものは、図面に代わるものとしていい。 なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に用いる使用は、発注者に譲渡する。 () 種 ○ 理)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○提出図数 (原図サイズ ○ A1 ○ 部)、(複写図 部) CADデータの提出 () 要 () 不要) 要の場合、オリジナルファイルも提出する。 ○既存完成図 (CADデータ)の修正を行う。 ●図面に関する資料 A4ファイル横じり 部 ○建築物等の利用に関する説明書 A4ファイル横じり 部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事前調査 () 本工事 ○ 別途) 調査項目 () 既存資料調査 ○) 調査期間 () 日 ○ 日) 調査方法 () 図面 ○)</td> </tr> </tbody> </table>						建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	積付体積 (m ³)	用途区分	備考	電気・機械室	RC造	2階建(地下1階 地上1階)	55.34	15階	新築																																					建物別及び層別	工事項目				工事項目	電気・機械室	工	事	種	●電灯設備	一式				○動力設備	一式				○電気設備	一式				○管束設備	一式				○受変電設備	一式				○電力貯蔵設備	一式				○発電設備	一式				○構内情報通信設備	一式				○監視カメラ設備	一式				○情報表示設備	一式				○録画・音響設備	一式				○拡声設備	一式				○講義支援設備	一式				○予しび共振免振設備	一式				○窓部シールド設備	一式				○駐車場管理設備	一式				○防犯・入退管理設備	一式				○自動火災検知設備	一式				○中央監視制御設備	一式				○構内配電設備	一式				○構内通信設備	一式				○予しび電圧降下防設備	一式				○					○					○					○					項目	特記事項	○適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 () ○風速 () ○積雪荷重 () ○積雪荷重 () 建設省告示第1455号における区域 別表 ()	●環境への配慮	(1) 国等による環境物品等の製造の推進等に関する法律」に基づく特定環境物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の製造に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」による。 (2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所定の品質及び性能を有すると共に、次の①から⑥を満たすものとする。 ① 木材、木炭系コーティング、構造用パネル、集成材、単層板、MDF、パーティクルボード、その他の木質材料、ウレタン樹脂板、壁紙、接着剤、塗料、腐食材、腐食材、新築材、塗料、土壌材料、アセドアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼン含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、揮発性(フタル酸エポキシ樹脂及びフタル酸ビスフェノールエチルヘキシルエーテル)を含有しない低揮発性のものを採用し、() が含まれていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、装飾品、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを含有しないが、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 (3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、両方「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。ただし、設計図書に規定がない場合は、監督職員と協議する。 ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散量材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散量材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料	○電気工事	●別契約の關係受注者が定めたものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○「予り先行工法に関するガイドライン」に基づく設置の位置に当たっては、間ガイドラインの別紙「予り先行工法による足場の組立て等に関する基準」に準拠する(2)予り先行工法方式又は(3)予り先行工法方式により行う。 ○内部足場() 種 ○ 外脚足場() 種 ○ 理)	○足場その他	●別契約の關係受注者が定めたものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○「予り先行工法に関するガイドライン」に基づく設置の位置に当たっては、間ガイドラインの別紙「予り先行工法による足場の組立て等に関する基準」に準拠する(2)予り先行工法方式又は(3)予り先行工法方式により行う。 ○内部足場() 種 ○ 外脚足場() 種 ○ 理)	○電源用設備	●電線用設備	○耐震措置	設備等の固定は、次に示す事項を除き、「建築設備設計・施工指針 2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承認を受けるものとする。 (1) 設計用標準水平地震力 機器の重量 [kg] に、設計用標準水平地震力を乗じたものとする。 なお、図面に記載のない場合の設計用標準水平地震力は、次のによる。	●電線本数、管路等	設計用標準水平地震力	○フラッシュプレート	設備場所 機器種別 ○ 特記の施設 ○ 一般の施設	○金属管の塗装	重要機器 一般機器 重要機器 一般機器	○インバータ装置の規制効率	重要機器 一般機器 重要機器 一般機器		重要機器は次のものを示す。 ○配電盤 ○ 発電装置 (防災用) ○ 直流電源装置 ○ 交流無停電電源装置 ○ 交換機 ○ 自動火災検知受信機 ○ 中央監視制御設備		(2) 設計用標準水平地震力 設計用標準水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。		分電盤、制御盤、端子箱等の2次側以降の配線経路、電線本数、電線本数、管路等は、図面と相違して差し支えない。ただし、相違する場合は監督職員の承認を受ける。		フラッシュプレート図面に記載がない場合は、 ●金属製(ステンレス、新金属材料を含む。) ○ 樹脂製とする。		○ 屋外 () ○ 屋内 ()		三相可変速運転用インバータ装置の規制効率は、次の数値以上とする。		電動機出力 (kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11 15 18.5 22 30 37 45 規制効率 (%) 86.0 88.5 92.0 93.0 94.0 94.0 94.5 94.5 95.0 95.5 95.5 95.5 95.5		【備考】①規制効率は、JIS R 245「汎用インバータの規制効率」より算出した値とする。 ②規制効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相可変速電動機」の定格電圧200V、1PNA、6極、50Hzの電動機を軸としたときの値とする。		図面において、() 書きの室名は直天井室を示し、それ以外は二重天井室を示す。		積雪荷重 () 引渡しを受けるもの以外は、構外に搬出し適切処理とし、搬出処理費は別途とする。		既存部分の養生は、「改修標準仕様書」第1編第4章による。		はつり工事は、事前に直定式地盤調査を行い、監督職員に報告すること。		工事写真 (建築工事に関する) 本工事で作成する施工写真のうち、次の原図及びその写真(1部)を監督職員に提出する。ただし、製作段階で図面として提供できないものは、図面に代わるものとしていい。 なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に用いる使用は、発注者に譲渡する。 () 種 ○ 理)		○提出図数 (原図サイズ ○ A1 ○ 部)、(複写図 部) CADデータの提出 () 要 () 不要) 要の場合、オリジナルファイルも提出する。 ○既存完成図 (CADデータ)の修正を行う。 ●図面に関する資料 A4ファイル横じり 部 ○建築物等の利用に関する説明書 A4ファイル横じり 部		事前調査 () 本工事 ○ 別途) 調査項目 () 既存資料調査 ○) 調査期間 () 日 ○ 日) 調査方法 () 図面 ○)
建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	積付体積 (m ³)	用途区分	備考																																																																																																																																																																																																																																																
電気・機械室	RC造	2階建(地下1階 地上1階)	55.34	15階	新築																																																																																																																																																																																																																																																	
建物別及び層別	工事項目																																																																																																																																																																																																																																																					
工事項目	電気・機械室	工	事	種																																																																																																																																																																																																																																																		
●電灯設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○動力設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○電気設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○管束設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○受変電設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○電力貯蔵設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○発電設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○構内情報通信設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○監視カメラ設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○情報表示設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○録画・音響設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○拡声設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○講義支援設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○予しび共振免振設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○窓部シールド設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○駐車場管理設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○防犯・入退管理設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○自動火災検知設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○中央監視制御設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○構内配電設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○構内通信設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○予しび電圧降下防設備	一式																																																																																																																																																																																																																																																					
○																																																																																																																																																																																																																																																						
○																																																																																																																																																																																																																																																						
○																																																																																																																																																																																																																																																						
○																																																																																																																																																																																																																																																						
項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																					
○適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 () ○風速 () ○積雪荷重 () ○積雪荷重 () 建設省告示第1455号における区域 別表 ()																																																																																																																																																																																																																																																					
●環境への配慮	(1) 国等による環境物品等の製造の推進等に関する法律」に基づく特定環境物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の製造に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」による。 (2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所定の品質及び性能を有すると共に、次の①から⑥を満たすものとする。 ① 木材、木炭系コーティング、構造用パネル、集成材、単層板、MDF、パーティクルボード、その他の木質材料、ウレタン樹脂板、壁紙、接着剤、塗料、腐食材、腐食材、新築材、塗料、土壌材料、アセドアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼン含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、揮発性(フタル酸エポキシ樹脂及びフタル酸ビスフェノールエチルヘキシルエーテル)を含有しない低揮発性のものを採用し、() が含まれていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、装飾品、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを含有しないが、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。 (3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、両方「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。ただし、設計図書に規定がない場合は、監督職員と協議する。 ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散量材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散量材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料																																																																																																																																																																																																																																																					
○電気工事	●別契約の關係受注者が定めたものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○「予り先行工法に関するガイドライン」に基づく設置の位置に当たっては、間ガイドラインの別紙「予り先行工法による足場の組立て等に関する基準」に準拠する(2)予り先行工法方式又は(3)予り先行工法方式により行う。 ○内部足場() 種 ○ 外脚足場() 種 ○ 理)																																																																																																																																																																																																																																																					
○足場その他	●別契約の關係受注者が定めたものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○「予り先行工法に関するガイドライン」に基づく設置の位置に当たっては、間ガイドラインの別紙「予り先行工法による足場の組立て等に関する基準」に準拠する(2)予り先行工法方式又は(3)予り先行工法方式により行う。 ○内部足場() 種 ○ 外脚足場() 種 ○ 理)																																																																																																																																																																																																																																																					
○電源用設備	●電線用設備																																																																																																																																																																																																																																																					
○耐震措置	設備等の固定は、次に示す事項を除き、「建築設備設計・施工指針 2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承認を受けるものとする。 (1) 設計用標準水平地震力 機器の重量 [kg] に、設計用標準水平地震力を乗じたものとする。 なお、図面に記載のない場合の設計用標準水平地震力は、次のによる。																																																																																																																																																																																																																																																					
●電線本数、管路等	設計用標準水平地震力																																																																																																																																																																																																																																																					
○フラッシュプレート	設備場所 機器種別 ○ 特記の施設 ○ 一般の施設																																																																																																																																																																																																																																																					
○金属管の塗装	重要機器 一般機器 重要機器 一般機器																																																																																																																																																																																																																																																					
○インバータ装置の規制効率	重要機器 一般機器 重要機器 一般機器																																																																																																																																																																																																																																																					
	重要機器は次のものを示す。 ○配電盤 ○ 発電装置 (防災用) ○ 直流電源装置 ○ 交流無停電電源装置 ○ 交換機 ○ 自動火災検知受信機 ○ 中央監視制御設備																																																																																																																																																																																																																																																					
	(2) 設計用標準水平地震力 設計用標準水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。																																																																																																																																																																																																																																																					
	分電盤、制御盤、端子箱等の2次側以降の配線経路、電線本数、電線本数、管路等は、図面と相違して差し支えない。ただし、相違する場合は監督職員の承認を受ける。																																																																																																																																																																																																																																																					
	フラッシュプレート図面に記載がない場合は、 ●金属製(ステンレス、新金属材料を含む。) ○ 樹脂製とする。																																																																																																																																																																																																																																																					
	○ 屋外 () ○ 屋内 ()																																																																																																																																																																																																																																																					
	三相可変速運転用インバータ装置の規制効率は、次の数値以上とする。																																																																																																																																																																																																																																																					
	電動機出力 (kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11 15 18.5 22 30 37 45 規制効率 (%) 86.0 88.5 92.0 93.0 94.0 94.0 94.5 94.5 95.0 95.5 95.5 95.5 95.5																																																																																																																																																																																																																																																					
	【備考】①規制効率は、JIS R 245「汎用インバータの規制効率」より算出した値とする。 ②規制効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相可変速電動機」の定格電圧200V、1PNA、6極、50Hzの電動機を軸としたときの値とする。																																																																																																																																																																																																																																																					
	図面において、() 書きの室名は直天井室を示し、それ以外は二重天井室を示す。																																																																																																																																																																																																																																																					
	積雪荷重 () 引渡しを受けるもの以外は、構外に搬出し適切処理とし、搬出処理費は別途とする。																																																																																																																																																																																																																																																					
	既存部分の養生は、「改修標準仕様書」第1編第4章による。																																																																																																																																																																																																																																																					
	はつり工事は、事前に直定式地盤調査を行い、監督職員に報告すること。																																																																																																																																																																																																																																																					
	工事写真 (建築工事に関する) 本工事で作成する施工写真のうち、次の原図及びその写真(1部)を監督職員に提出する。ただし、製作段階で図面として提供できないものは、図面に代わるものとしていい。 なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に用いる使用は、発注者に譲渡する。 () 種 ○ 理)																																																																																																																																																																																																																																																					
	○提出図数 (原図サイズ ○ A1 ○ 部)、(複写図 部) CADデータの提出 () 要 () 不要) 要の場合、オリジナルファイルも提出する。 ○既存完成図 (CADデータ)の修正を行う。 ●図面に関する資料 A4ファイル横じり 部 ○建築物等の利用に関する説明書 A4ファイル横じり 部																																																																																																																																																																																																																																																					
	事前調査 () 本工事 ○ 別途) 調査項目 () 既存資料調査 ○) 調査期間 () 日 ○ 日) 調査方法 () 図面 ○)																																																																																																																																																																																																																																																					

項目	特記事項
●機材の品質等	(1) 本工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 本工事に使用する機材のうち、外部機関(一社)公共建築協会(他)以下記①~④の品質及び性能等が評価している機材は、その機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す面の写しを、監督職員に提出し承認を受けることにより、その機材について評価された品質及び性能等の責任は、監督職員への提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の業者の責任は、その供給者にあること。 ⑥ 製造、保守等の関係書類が整えられていること。
○電気工事	最大電力が500kW以上の工事においても、第一種電気工事士より施工を行うものとする。
●足場その他	●別契約の關係受注者が定めたものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○「予り先行工法に関するガイドライン」に基づく設置の位置に当たっては、間ガイドラインの別紙「予り先行工法による足場の組立て等に関する基準」に準拠する(2)予り先行工法方式又は(3)予り先行工法方式により行う。 ○内部足場() 種 ○ 外脚足場() 種 ○ 理)
○電源用設備	●電線用設備
○耐震措置	設備等の固定は、次に示す事項を除き、「建築設備設計・施工指針 2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承認を受けるものとする。 (1) 設計用標準水平地震力 機器の重量 [kg] に、設計用標準水平地震力を乗じたものとする。 なお、図面に記載のない場合の設計用標準水平地震力は、次のによる。
●電線本数、管路等	設計用標準水平地震力
○フラッシュプレート	設備場所 機器種別 ○ 特記の施設 ○ 一般の施設
○金属管の塗装	重要機器 一般機器 重要機器 一般機器
○インバータ装置の規制効率	重要機器 一般機器 重要機器 一般機器
	重要機器は次のものを示す。 ○配電盤 ○ 発電装置 (防災用) ○ 直流電源装置 ○ 交流無停電電源装置 ○ 交換機 ○ 自動火災検知受信機 ○ 中央監視制御設備
	(2) 設計用標準水平地震力 設計用標準水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
	分電盤、制御盤、端子箱等の2次側以降の配線経路、電線本数、電線本数、管路等は、図面と相違して差し支えない。ただし、相違する場合は監督職員の承認を受ける。
	フラッシュプレート図面に記載がない場合は、 ●金属製(ステンレス、新金属材料を含む。) ○ 樹脂製とする。
	○ 屋外 () ○ 屋内 ()
	三相可変速運転用インバータ装置の規制効率は、次の数値以上とする。
	電動機出力 (kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11 15 18.5 22 30 37 45 規制効率 (%) 86.0 88.5 92.0 93.0 94.0 94.0 94.5 94.5 95.0 95.5 95.5 95.5 95.5
	【備考】①規制効率は、JIS R 245「汎用インバータの規制効率」より算出した値とする。 ②規制効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相可変速電動機」の定格電圧200V、1PNA、6極、50Hzの電動機を軸としたときの値とする。
	図面において、() 書きの室名は直天井室を示し、それ以外は二重天井室を示す。
	積雪荷重 () 引渡しを受けるもの以外は、構外に搬出し適切処理とし、搬出処理費は別途とする。
	既存部分の養生は、「改修標準仕様書」第1編第4章による。
	はつり工事は、事前に直定式地盤調査を行い、監督職員に報告すること。
	工事写真 (建築工事に関する) 本工事で作成する施工写真のうち、次の原図及びその写真(1部)を監督職員に提出する。ただし、製作段階で図面として提供できないものは、図面に代わるものとしていい。 なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に用いる使用は、発注者に譲渡する。 () 種 ○ 理)
	○提出図数 (原図サイズ ○ A1 ○ 部)、(複写図 部) CADデータの提出 () 要 () 不要) 要の場合、オリジナルファイルも提出する。 ○既存完成図 (CADデータ)の修正を行う。 ●図面に関する資料 A4ファイル横じり 部 ○建築物等の利用に関する説明書 A4ファイル横じり 部
	事前調査 () 本工事 ○ 別途) 調査項目 () 既存資料調査 ○) 調査期間 () 日 ○ 日) 調査方法 () 図面 ○)

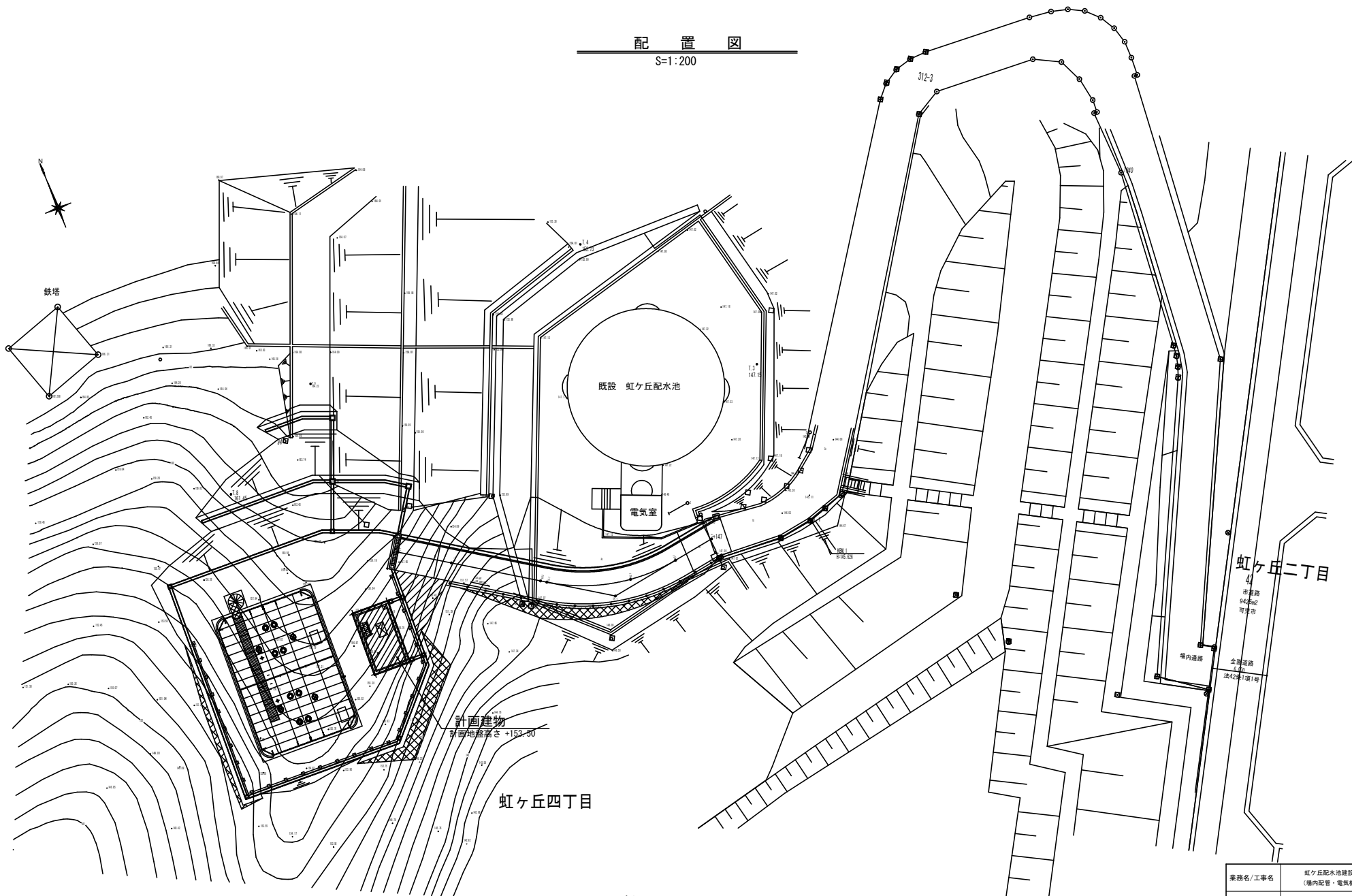
項目	特記事項
○仮設備工事	仮電源 () 受変電 () () 発電機 () 仮設備期間 () 図示)
●機器取付高さ	図面に記載がない場合は、表-1「機器標準取付高さ」による。
○接地極	図面に記載がない場合は、表-2「接地極一覧表」による。
●他工事との工事区分	図面に記載がない場合は、表-3「他工事との工事区分表」による。
	表-1 機器標準取付高さ 壁付、壁掛けの機器等の標準取付高さは、図面に記載がない場合は下表による。
	表-2 接地極一覧表 接地極が図面に記載がない場合は下表による。
	表-3 他工事との工事区分表 他工事との工事区分は、図面に記載がない場合は下表による。

項目	特記事項
○仮設備工事	仮電源 () 受変電 () () 発電機 () 仮設備期間 () 図示)
●機器取付高さ	図面に記載がない場合は、表-1「機器標準取付高さ」による。
○接地極	図面に記載がない場合は、表-2「接地極一覧表」による。
●他工事との工事区分	図面に記載がない場合は、表-3「他工事との工事区分表」による。
	表-1 機器標準取付高さ 壁付、壁掛けの機器等の標準取付高さは、図面に記載がない場合は下表による。
	表-2 接地極一覧表 接地極が図面に記載がない場合は下表による。
	表-3 他工事との工事区分表 他工事との工事区分は、図面に記載がない場合は下表による。


業務名/工事名	虹ヶ丘配水池築造 (構内配管・電気機械室築造) 工事
施工箇所名	可児市虹ヶ丘地内
図面の種類	建築電気設備工事特記仕様書
縮尺	縮尺なし
図面番号	5 葉之内 AC-1
設計者	株式会社 東京設計事務所
事務所名	可児市水道部水道課

配置図

S=1:200



凡例

 本工事建物を示す。

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (場内配管・電気機械室築造) 工事		
	電気・機械室築造工事		
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内		
図面の種類	配置図		
縮尺	1/200	図面番号	5 葉之内 AE-2
設計者	株式会社 東京設計事務所		
事務所名	可見市水道部水道課		

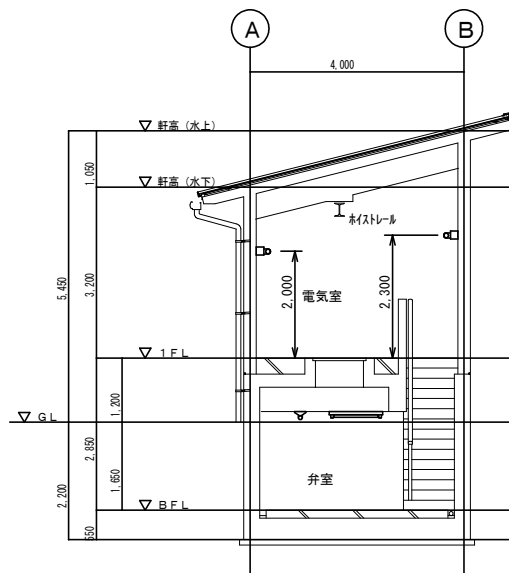
電灯分電盤リスト			特記事項		
記号	D-L-1		形式	●印を付けたものを適用する。	
主幹器具	MCCB 3P 20 AT		盤主要材質	● 鋼板製 1.6t 以上 ○ ステンレス鋼板 1.5t 以上	
負荷合計	容量 (VA)		塗装	● 指定色焼付塗装仕上 ○ ステンレスヘアライン仕上 ○ 垂鉛メッキ	
	今回	将来	合計	分岐遮断器	
	商用+自家発電	990	1,000	1,990	● JIS協約型IPサイズ、2P1E (100V) 2P2E (200V)
	商用電源	—	—	—	タイマースイッチ TS ● 機器制御：盤組込形、24時間式 (停電補償付)、入-自動-切スイッチ付
	予備	(2,000)	—	(2,000)	
合計	2,990	1,000	3,990		
幹線	工事区分	PE工事			
	入線方向	○上 ●下			
単線結線図					
凡例	① 1φ100V 防災関連電源 ② 1φ200V 商用+自家発電電源 ③ 1φ100V 商用+自家発電電源				

配管、配線 凡例 (原則として下記区分とする)			
電線管類	埋込配管	● PF管	
	地階露出配管	● HIVE (銘柄HI)	
	地上階室内露出配管	● ねじなし管(E)	
電線、ケーブル	● 600V IE (EM電線、JIS 第 C3612号)		
	● " EEF (EMケーブル、JIS 第 C3605号)		
記号	配線	隠蔽	露出
—	600V 1.6×2	PF16	
3	" 1.6×3		
4	" 1.6×4		
—	600V 1.6×2	HI16	E19
3	" 1.6×3		
4	" 1.6×4		
5	" 1.6×5		
6	" 1.6×6		
7	" 1.6×7		
8	" 1.6×8		
9	" 1.6×9		
2	600V 2.0×2		
3	600V 2.0×3		
ブルボックス プルボックスは図記号に傍記した767*7*にて区分し、下記とする。 ①A SS 200×200×200 (仕上げ塗装) ②共 共用の767*7*を示す			
機器 凡例			
記号	名称	仕様	
○	LED灯 (天井付)	発電機 + 商用回路	
□	LED灯 (壁付)	発電機 + 商用回路 (特記なき取付高さ → H=FL+2,300)	
○	LED灯 (非常照明、保安灯)	電池内蔵型	
□	LED灯 (屋外ブラケット)	屋外灯	
×	誘導標識	蓄光式 (高輝度以上) SH→避難口	
●	埋込スイッチ	1P15A×1、金属プレート	
●H	埋込スイッチ (絶縁付)	1PH15A×1、金属プレート	
⊙	埋込コンセント	2P15A×3、金属プレート	
⊙(E-WP)	防雨コンセント	2P15A×2 (防雨形) E付、E付、抜止め式 樹脂プレート (取付高さ → H=FL+1,000)	

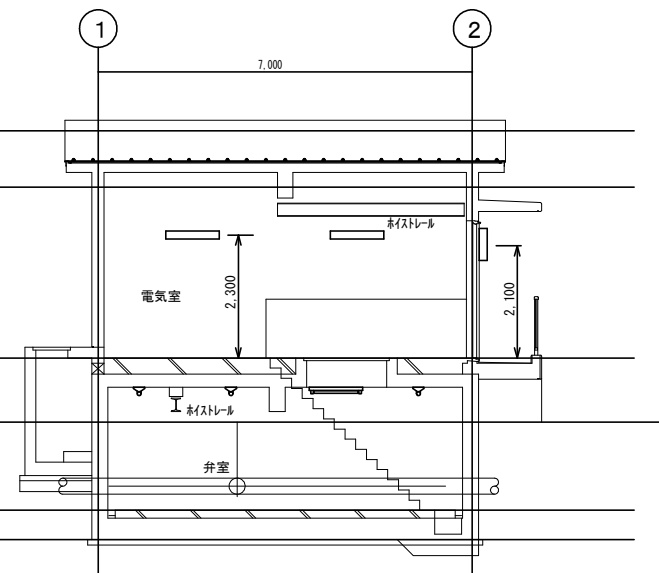
業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事
施工箇所名	電気・機械室築造工事
施工箇所	可見市虹ヶ丘地内
図面の種類	分電盤リスト、凡例
縮尺	— 図面番号 5 葉之内 AE-3
設計者	株式会社 東京設計事務所
事務所名	可見市水道部水道課

照明器具リスト		特記事項		階		地階		1階		合	備	考
名称	摘要	公共施設型番 照明器具記号、仕様	室	弁	階	電	階	屋	計			
										名	室	段
1. H f 形蛍光灯の出力は、記号末尾の表記より次とする。 P H = 高出力 P N = 定格出力												
LDE灯												
富士型	LED (一体型)	高出力タイプ LSS9-3200LM				3			3			
	LED (直管型)、防湿型	高出力タイプ × 1		3					3			
	非常灯 LED (一体型)	高出力タイプ					1	1	2			
	非常灯 LED (直管型)、防湿型	高出力タイプ × 1		1					1			
ブラケット	屋側灯 LED (直管型)、防湿・防雨型	5フ FL20W相当 SUS製枠、77リカカバー						1	1			
	誘導標識	避難口、高輝度(Sランク) 蓄光型	消防認定品 (検査時100ミリカチラ以上確保)				1		1			

照明器具姿図		
富士型 LED (一体型) LSS9-3200LM	富士型、非常灯 LED (一体型) 高出力3200LMタイプ	屋側灯 FL20W相当 LED (直管型)、防湿・防雨型
Hf32W相当高出力タイプ	Hf32W相当高出力タイプ	SUS製枠、77リカカバー
電池内蔵型	電池内蔵型	電池内蔵型
富士型 LED (直管型)、銅板製、防湿型	富士型、非常灯 LED (直管型)、銅板製、防湿型	誘導標識 (蓄光型) 避難口、高輝度(Sランク)
Hf32W相当高出力タイプ	Hf32W相当高出力タイプ	(検査時100ミリカチラ以上確保)

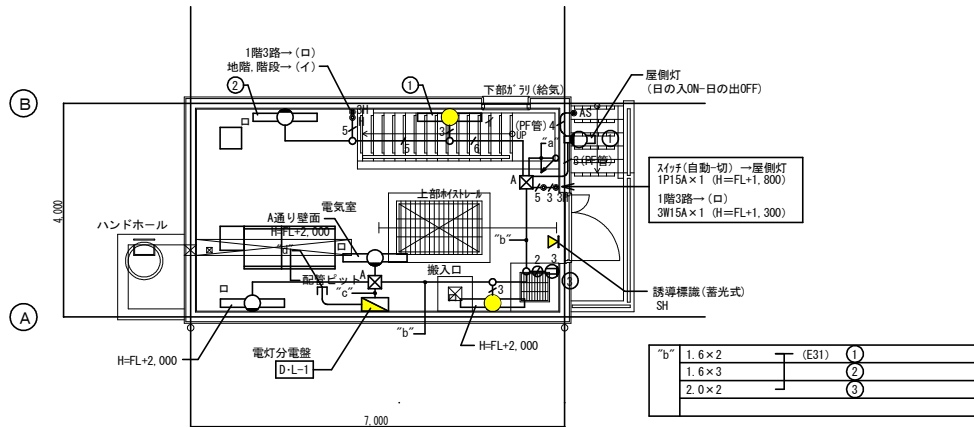


a-a 断面図 1/100



b-b 断面図 1/100

業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室設置) 工事
	電気・機械室築造工事
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内
図面の種類	電灯設備 断面図、照明器具リスト・姿図
縮尺	1:100 図面番号 5 葉之内 AE-4
設計者	株式会社 東京設計事務所
事務所名	可見市水道部水道課



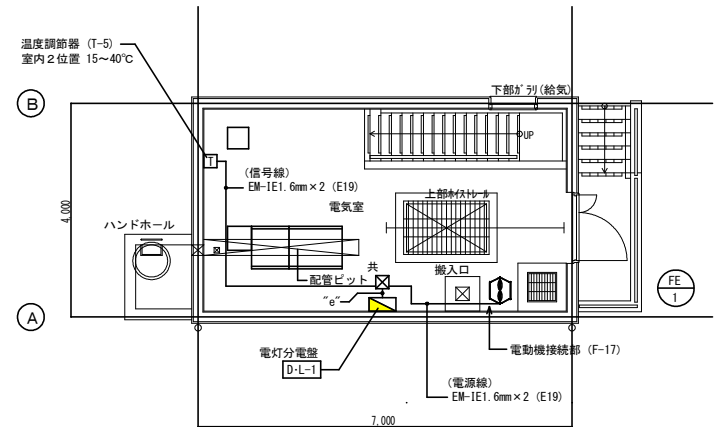
電灯設備
1階 平面詳細図 1/50

"b"	1.6×2	(E31)	(1)
	1.6×3		(2)
	2.0×2		(3)

"c"	1.6×2	(E25)	(1)
	1.6×2		(2)
	2.0×2		(3)

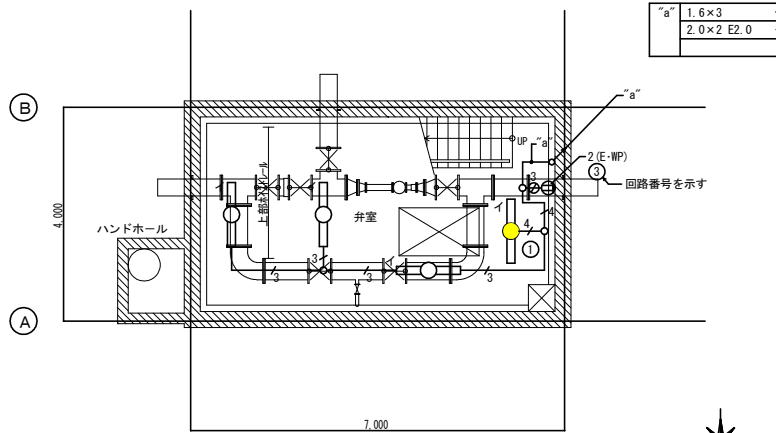
"d"	ピット内に突き出し		
	6	(E25) D-L-1 幹線用	
	6	(E31) 予備	

"a"	1.6×3	(H122)	(1)
	2.0×2 E2.0		(3)



電灯(換気扇)設備
1階 平面詳細図 1/50

"e"	1.6×2	(E19)	FE-1
	1.6×2	(E19)	温度調節器



電灯設備
地階 平面詳細図 1/50



業務名/工事名	虹ヶ丘配水池建設 (構内配管・電気機械室築造) 工事
	電気・機械室築造工事
施工箇所名	可見市虹ヶ丘地内
図面の種類	電灯設備 平面図
縮尺	1:50 図面番号 5 葉之内 AE-5
設計者	株式会社 東京設計事務所
事務所名	可見市水道部水道課